神 戸 市

公 園 施 設 標 準 図 集

（令和８年１０月 改 訂 版）

建設局　公園部

１．園路広場整備工

法面工

(1)　シガラ工（A）（B）　…… １～２

ウォール工

(1)　ウォール工(現場打)（A）－１ …… ３，４
(2)　ウォール工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)（A）－２ …… ５
(3)　ウォール工(現場打)（A）－３ …… ６
(4)　ウォール工(現場打)（B）－１ …… ７，８
(5)　ウォール工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)（B）－２ …… ９
(6)　ウォール工(現場打)（C）－１ …… 10，11
(7)　ウォール工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)（C）－２ …… 12，13
(8)　ウォール工（A）～（C）正面図 …… 14

腰石積

(1)　腰石積工（A）－１～６ …… 15
(2)　腰石積工（A）正面図 …… 16-2

排水工

(1)　ヒューム管布設工（φ150～φ600） …… 17～18
(2)　ヒューム管布設工（基礎一体型） …… 20-1
(3)　透水管工 …… 21-1

(4)　硬質塩化ビニール管工 …… 21-2
(5)　U 型側溝工(U 型ﾄﾗﾌ)（T_{-15}～T_{-30}）ﾀｲﾌﾟ-1,2 …… 22～23-1
(6)　U 型側溝工(U 型ﾄﾗﾌ)（T_{-15}～T_{-30}）細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 23-2
(7)　皿溝工 …… 24
(8)　U型側溝工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)－１，２ …… 25-1～2
(9)　U型側溝工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)細目かさ上げｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 …… 26
(10)　皿型ブロック工 …… 27
(11)　Ｌ型ブロック工 …… 28
(12)　U型側溝工(現場打)（A）（B） …… 29
(13)　U型側溝工(現場打)（D）（E）蓋付 …… 30
(14)　U型側溝工(現場打)（F）（G）蓋付 …… 30-2
(15)　U型側溝工(現場打)(D)～(G)細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 … 31
(16)　集水桝工（A）～（F） …… 32-1～37-4

縁石工

(1)　縁石ブロック工（A）（B）（C）（D）（F） …… 38～39
(2)　レンガ縁石工（A）～（D） …… 41
(3)　石材縁石工 …… 43-1～3
(4)　植樹桝工（A）（B） …… 44-1～2

（注）16-1, 19-1, 19-2, 20-2, 36, 37-1, 37-2, 40, 42 頁は図面なし

２．修景施設整備工

舗装工

(1)　コンクリート舗装工-1,2 ····· 45-1
(2)　真砂土敷均し工（A）（B） ····· 45-2
(3)　平板舗装工-1,2 ····· 46-1
(4)　インターロッキングブロック舗装工-1,2 ····· 46-2
(5)　レンガ舗装工（A）（B） ····· 47-2
(6)　鉄平石舗装工 ····· 48
(7)　洗い出し舗装工-1 ····· 49
(8)　簡易アスファルト舗装工-1,2 ····· 50
(9)　透水性アスファルト舗装工-1,2 ····· 51-1
(10)　脱色カラーアスファルト舗装工-1,2 ····· 51-2
(11)　透水性脱色カラーアスファルト舗装工-1,2 ····· 51-3
(12)　視覚障がい者誘導用ブロック工-1,2 ····· 52-2～4

階段工

(1)　丸太階段工（A）～（D） ····· 53-1

植栽工

(1)　２脚鳥居型支柱（2T-15，18） ····· 54
(2)　３脚鳥居型支柱（3T-15，18） ····· 55
(3)　４脚鳥居型支柱（4T-15，18） ····· 56
(4)　1本支柱（1S-15,18,1B-05,12,15） ····· 57-1～2
(5)　添柱 ····· 58
(6)　３本支柱（3S-3,3.6,4,6） ····· 59
(7)　４脚合掌型支柱（4G-18） ····· 60
(8)　生垣工（A）～（C） ····· 61～63
(9)　張芝工 ····· 66

（注）47-1, 52-1, 64, 65, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79 頁は
図面なし

３．休養施設工

休憩所工

(1)　パーゴラ（ｼｪﾙﾀｰ）柱工（Ｅ）（Ｆ） …… 80
　　パーゴラ屋根工（Ｃ）、シェルター屋根工（Ｃ）
(2)　パーゴラ屋根工（Ｃ） …… 81
(3)　パーゴラ（ｼｪﾙﾀｰ）柱工（Ｅ）（Ｆ）（基礎工） …… 82
(4)　シェルター屋根工（Ｃ） …… 83

ベンチ工

(1)　ベンチ工（Ａ）（Ｂ）（Ｄ）（Ｅ） …… 84-1～88
(2)　野外卓工（Ｂ）～（Ｃ） …… 92～93-1
(3)　縁台工 …… 93-2
(4)　スツール工（Ａ）（Ｂ） …… 94

４．遊戯施設整備工

遊器具

(1)　二連ブランコ工 …… 98
(2)　二連ブランコ工（安全柵） …… 99～100
(3)　二連ブランコ工（踏板,カップリング） …… 101
(4)　ジャングルジム工 …… 102
(5)　ラダー工 …… 103
(6)　スベリ台工 …… 105-1～2
(7)　三連、二連鉄棒工 …… 106
(8)　 施設プレート工 …… 107

砂場工

(1)　砂場縁取工（Ａ）砂場工 …… 108
(2)　砂場縁取工（Ｃ）砂場工 …… 110

（注）89, 90, 91, 95, 96, 97, 104, 109 頁は図面なし

５．便益施設整備工

水飲み台工

（1） 水飲み台工（桝なし） ……111-1
（2） 水飲み台工（現場打桝） ……111-2
（3） 水飲み台工（ＰＣ桝） ……111-3
（4） 水飲み台工グレーチング蓋 ……113

６．管理施設整備工

門工

（1） 園名柱工・園名板工 …… 114

柵工

（1） 鉄柵工（Ａ） …… 116
（2） 鉄柵工（Ｂ） …… 117
（3） 擬木柵工 …… 120-2
（4） 手すり工（Ａ） …… 120-3
（5） 手すり工（Ｂ） …… 120-4
（6） 手すり用点字シール …… 120-5

照明工

（1） 照明工ＬＥＤ（灯柱） …… 121-1
（2） 照明工（引込柱） …… 121-3
（3） 施設プレート（照明用） …… 122-1
（4） 照明工遮光板 …… 122-2
（5） ハンドホール工 …… 123-1～2
（6） 分電盤Ａ・Ｂ・Ｃ …… 124-1～2
（7） 電線管布設工・水道管布設工 …… 125
（8） 参考図：照明工ＬＥＤ（アルミポール灯柱） ····· 126-1～2

（注）112, 115, 118, 119, 120-1, 121-2 頁は図面なし

給水工

(1)　散水栓工 ····· 127-1～2

車止工

(1)　車止工（A）（B）（E）（F）（G） ····· 128-1～5

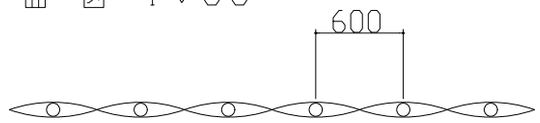
擁壁工

(1)　石積工、ブロック積工 ····· 129
(2)　石積、ブロック積基礎工（A）（B） ····· 130

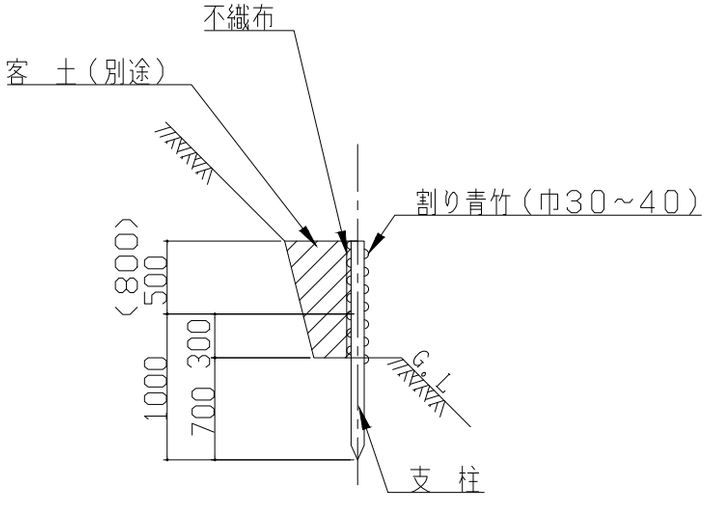
（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 H=500	数量 H=800	摘要
支柱	皮はぎ松丸太 末口径90 L=1500	本	1．666	————	加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	皮はぎ松丸太 末口径90 L=1800	〃	————	1．666	
編材	青竹、不織布	式	1	1	割り竹、巾30~40

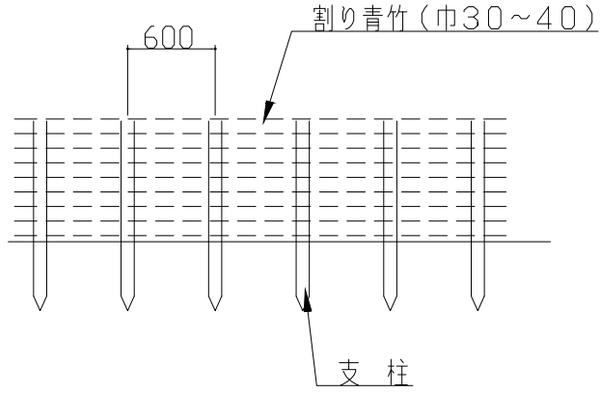
平 面 図 1:50



断 面 図 1:50



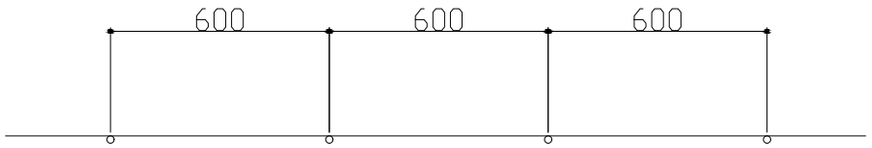
正 面 図 1:50



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・竹の継目の重ねしろは300mmとする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。	シ ガ ラ 工 （A）	備考 14年 9月修正 15年10月修正		1

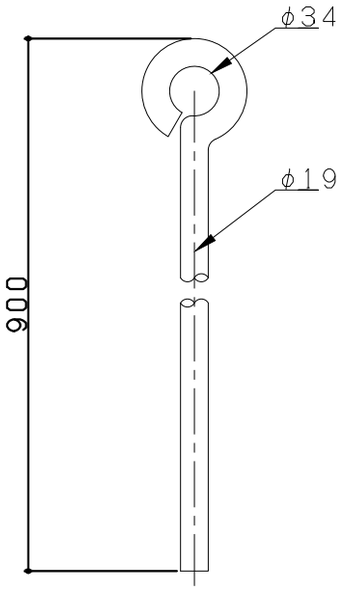
法面平面図　1：20



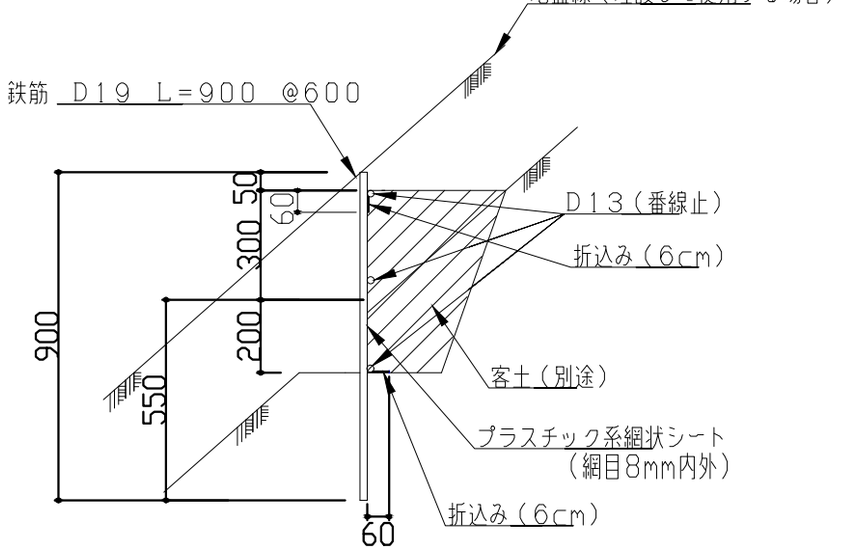
（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
支柱	鉄筋　D19	kg	3．375	
編材	プラスチック網	m^2	0．620	
横補強筋	鉄筋　D13	kg	2．985	
雑材料		式	1．0	

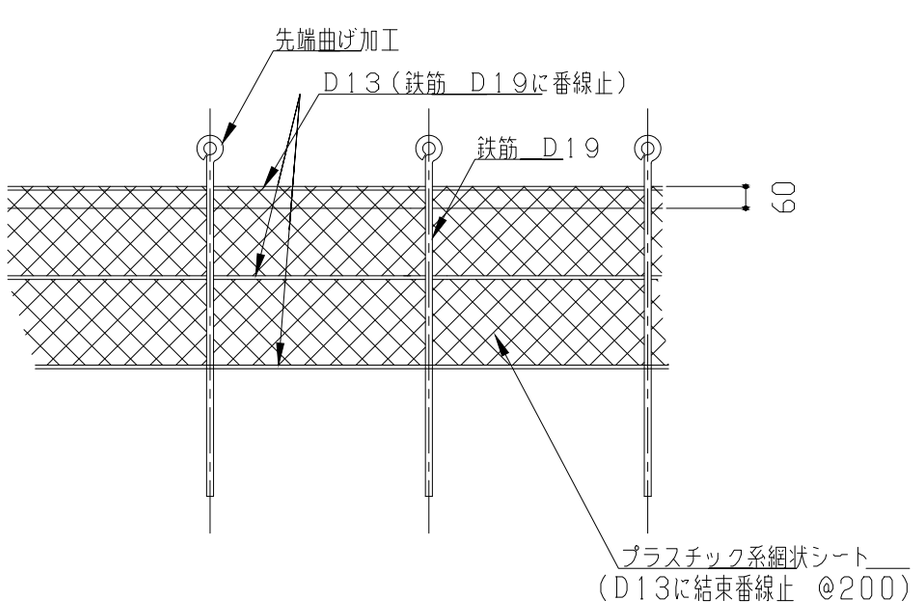
先端曲げ加工詳細



断　面　図　1：20

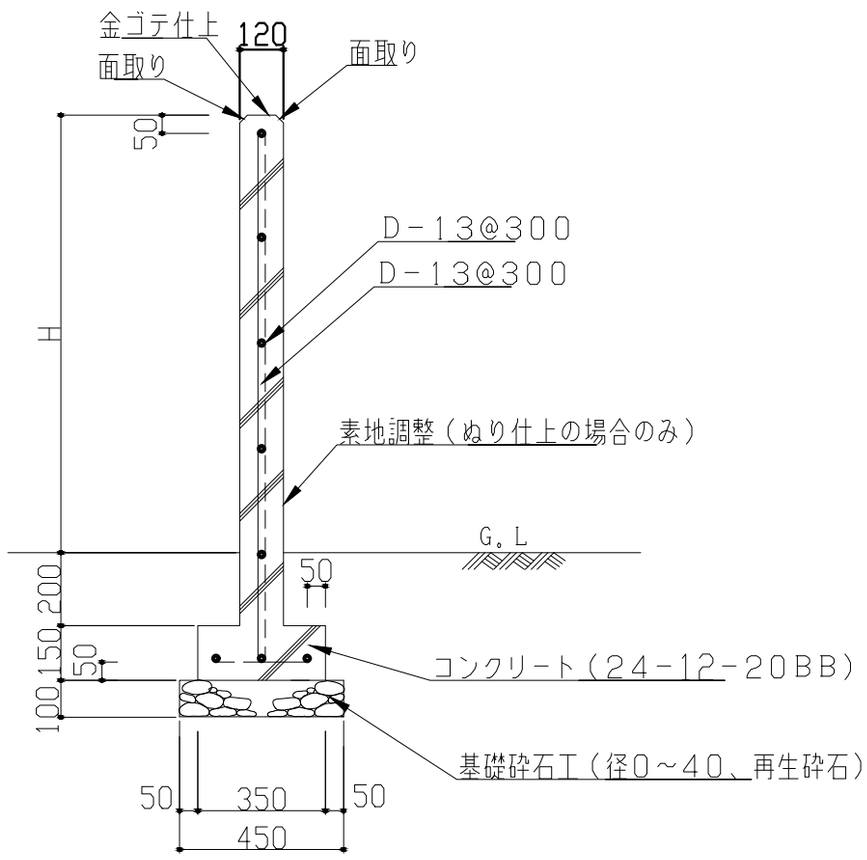


立　面　図　1：20



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・鉄筋の先端を尖らして貫入しやすくすること。 ・ジガラ上部については折込み、下部は客土の下に敷くこと。 ・切土部、岩盤部等に使用。 ・人の立ち入るところには使用しない。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	シガラ工（B）	備　考 5年7月修正 21年10月修正 14年9月修正		2

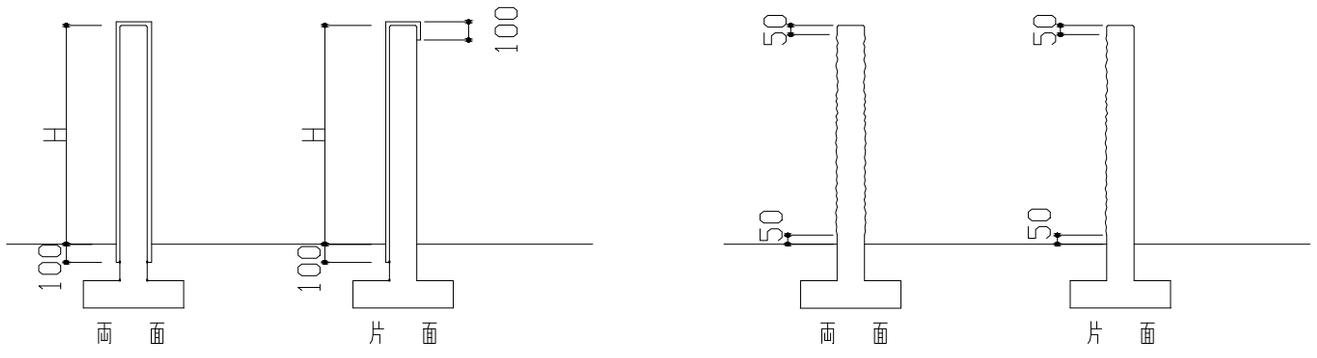


躯体断面図　1：20

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 片側	数量 両側	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4		再生砕石
コンクリート	24－12－20BB	m^3	0．12H+0．08		
型枠損料		m^2	2H+0．70		
鉄筋工	D－13	kg	6．63H+5．06		
素地調整		m^2	H+0．3	2H+0．3	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上　t20	〃	H+0．3	2H+0．4	
	人造石研出仕上　t20				
	人造石洗い出し仕上　t20				
吹付仕上	アクリル系リシン	〃	H+0．3	2H+0．3	JASS 23
	吹付タイルE				
はつり仕上		〃	H－0．10	2H－0．20	
床堀		m^3	－		
埋戻		〃	－		
残土処分		〃	－		

※600≦H≦1，200とする。

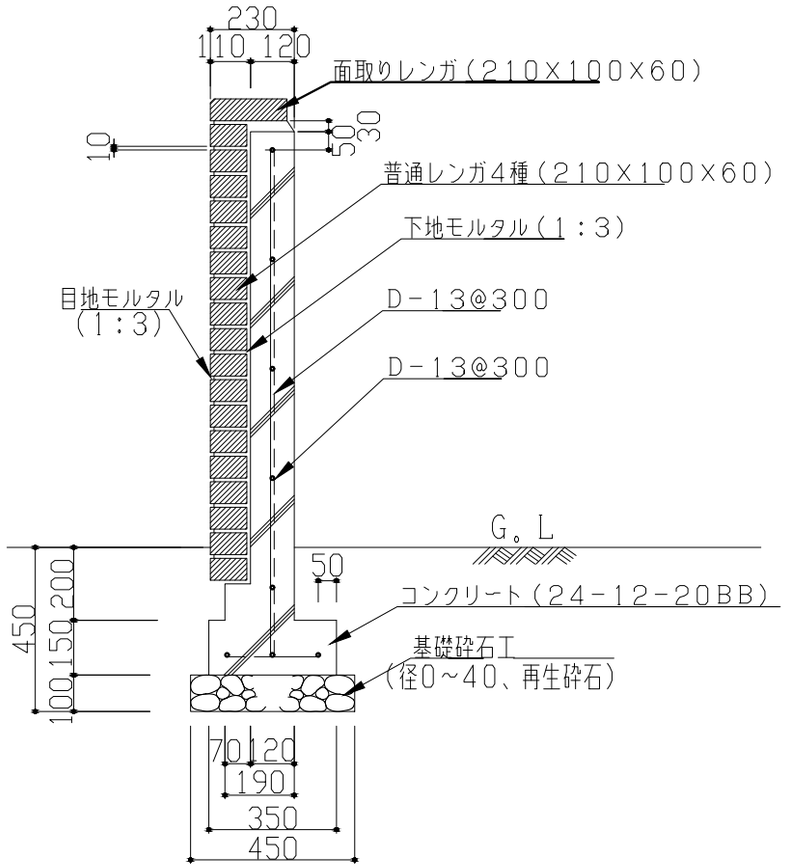


仕上面詳細（ぬり仕上、吹付仕上）

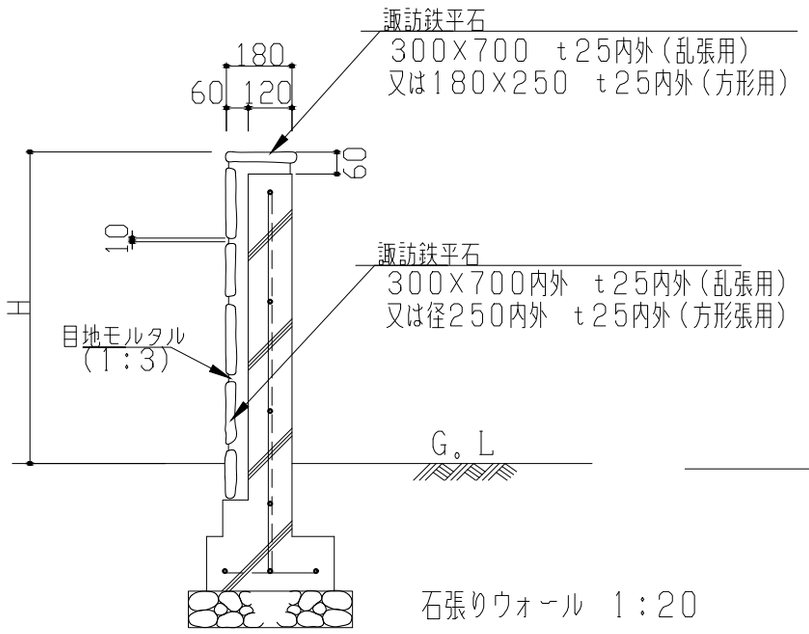
はつり仕上

令和8年10月改定

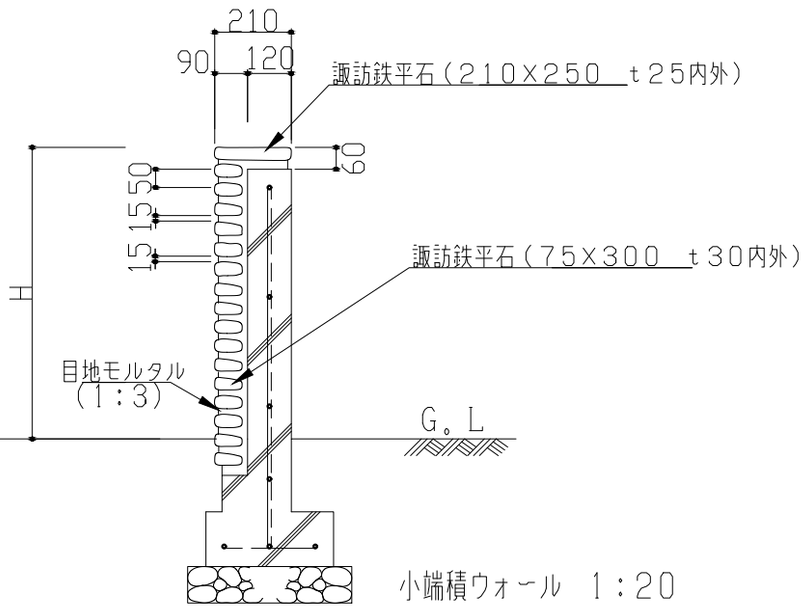
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・15～20mごとに1ヵ所、伸縮目地をいれること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（A）－1（ぬり仕上 / 吹付仕上 / はつり仕上）	S5015 備考 13年9月修正　05年4月修正 14年9月修正　06年10月修正 21年10月修正		3



レンガウォール　1：20



石張りウォール　1：20



小端積ウォール　1：20

（1。0m当り）

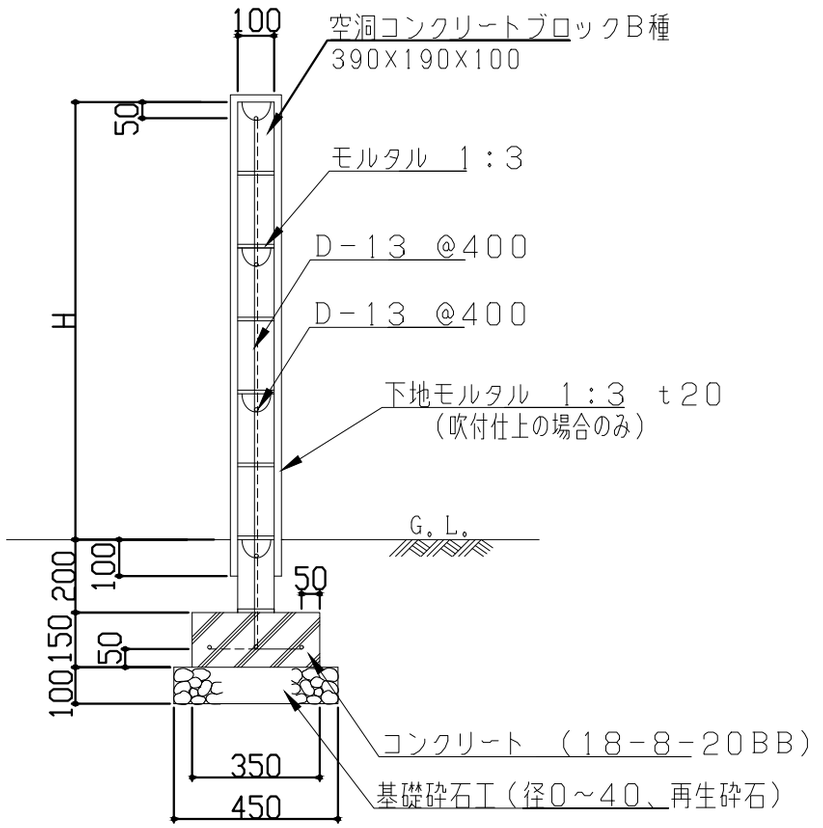
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0。4	再生砕石
コンクリート	24－12－20BB	m^3	0。12H+0。08	
型枠損料		m^2	2H+0。6	
鉄筋工	D13	kg	6。63H+4。46	
モルタル 1：3	レンガウォール	m^3	0。01H+0。004	
	小端積ウォール		0。015H+0。005	
	石張ウォール		0。035H+0。007	
天端材	面取りレンガ	m	1。0	
	鉄平石（小端積用）		1。0	
	鉄平石（方形張用）		1。0	
	鉄平石（乱張用）		1。0	
壁材	普通レンガ4種	m^2	H+0。03	JIS R1250
	鉄平石（小端積用）		H+0。065	
	鉄平石（方形張用）		H+0。065	
	鉄平石（乱張用）		H+0。065	
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

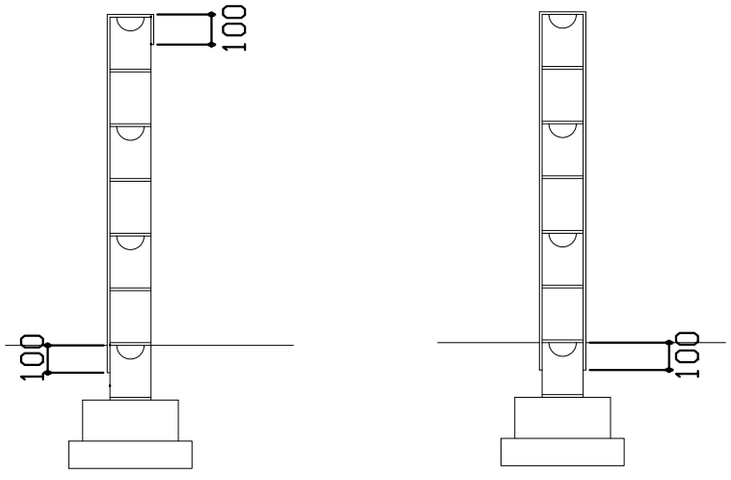
※600≦H≦1，200とする。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（A）－1（レンガ／小端積／石張り）	S5015 備考 13年9月修正　22年10月修正 14年9月修正　05年4・10月修正 21年10月修正　06年10月修正		4

断面図 1:20





(1.0m当り)

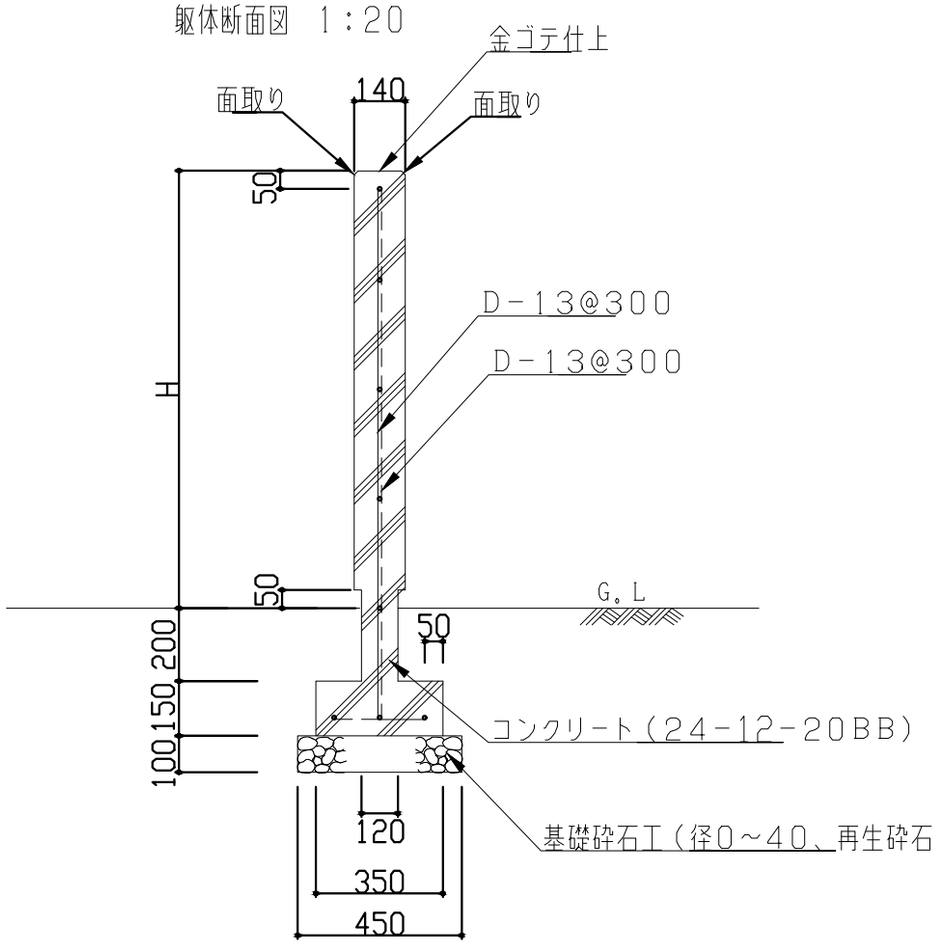
名称	形状寸法	単位	数量 片側	数量 両側	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0.4		再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.05		
型枠損料		m^2	0.3		
下地モルタル	1:3	〃	H+0.32	2H+0.34	吹付仕上のみ
鉄筋工	D-13	kg	4.98H+4.54		
空洞ブロック積	B種(390X190X100)	m^2	H+0.2		JIS A5406
ぬり仕上	カラーモルタル仕上 t20	m^2	H+0.32	2H+0.34	
吹付仕上	アクリル系リシン	m^2	H+0.36	2H+0.38	JASS 23
	吹付タイルE				
床堀		m^3	−		
埋戻		〃	−		
残土処分		〃	−		

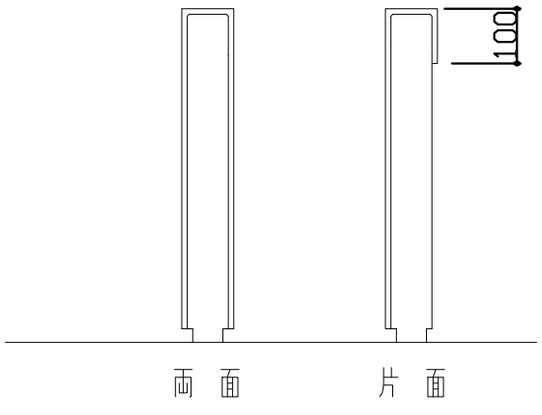
※600≦H≦1,200とする

令和8年10月改定

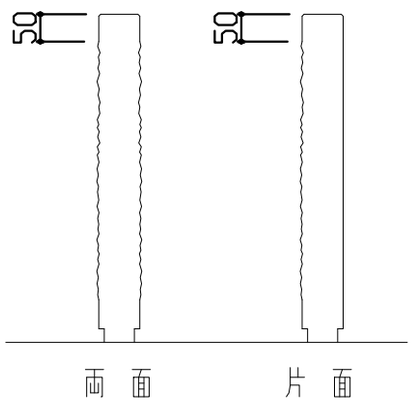
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・ヨコ筋が通る位置のブロックには、ヨコ筋用ブロックを使用すること。 ・ブロック間の空隙は、モルタル1:3で充填すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工(プレキャスト)(A)-2 (ぬり、吹付仕上)	S5020 備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 07年10月修正		5

躯体断面図　1：20





吹付仕上



はつり仕上

（1．0m当り）

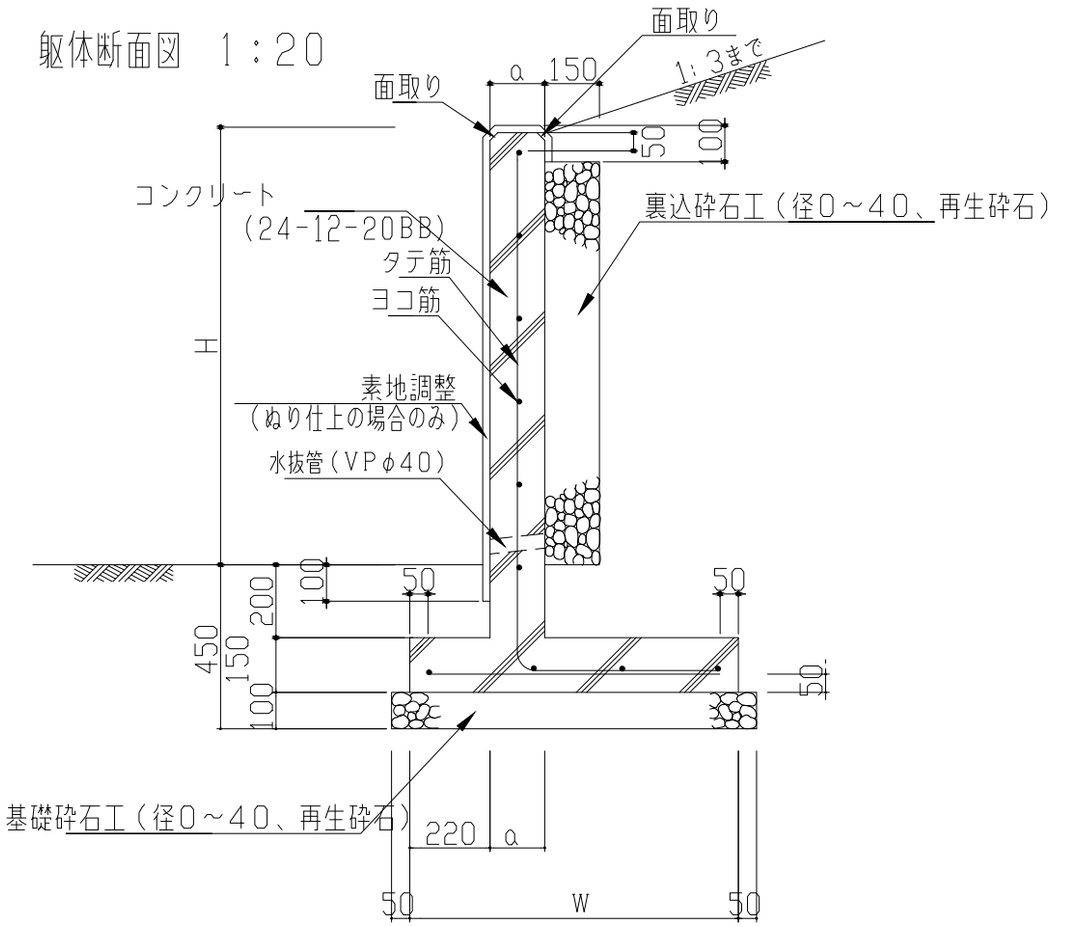
名称	形状寸法	単位	数量 片側	数量 両側	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4		再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	m^3	0．14H+0．075		
型枠損料		m^2	2H+0．70		
鉄筋工	D－13	kg	6．63H+5．06		
吹付仕上	アクリル系リシン吹付タイルE	m^2	H+0．19	2H+0．04	JASS 23
はつり仕上			H-0．10	2H-0．20	
床堀		m^3	－		
埋戻		〃	－		
残土処分		〃	－		

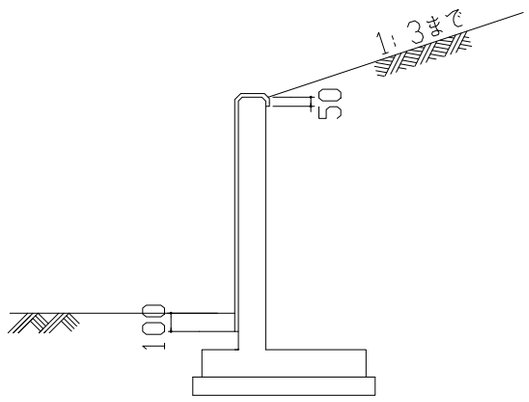
※600≦H≦1，200とする

令和8年10月改定

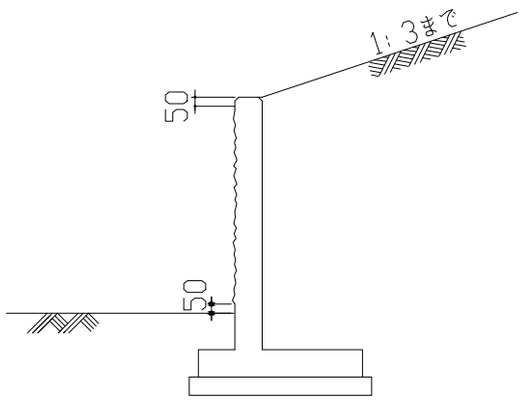
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（A）－3（吹付仕上 はつり仕上）	S5015 備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 05年4月修正		6

躯体断面図　1：20





仕上詳細図（ぬり仕上、吹付仕上）



（はつり仕上）

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H＝600	H＝900	H=1，200	
基礎砕石工	径0～40、t100	m^2	0．7	0．8	1．0	再生砕石
裏込砕石工	径0～40、t150	m^3	0．075	0．1	0．1	再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	〃	0．2	0．2	0．3	
型枠損料		m^2	1．9	2．5	3．1	
鉄筋工	D-13	kg	13	18	21	
素地調整		m^2	0．95	1．25	1．55	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ仕上　t20	〃	0．9	1．2	1．5	
吹付仕上	アクリル系リシン	〃	0．9	1．2	1．5	JASS 23
	吹付タイルE					
はつり仕上			0．5	0．8	1．1	
床堀		m^3	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	

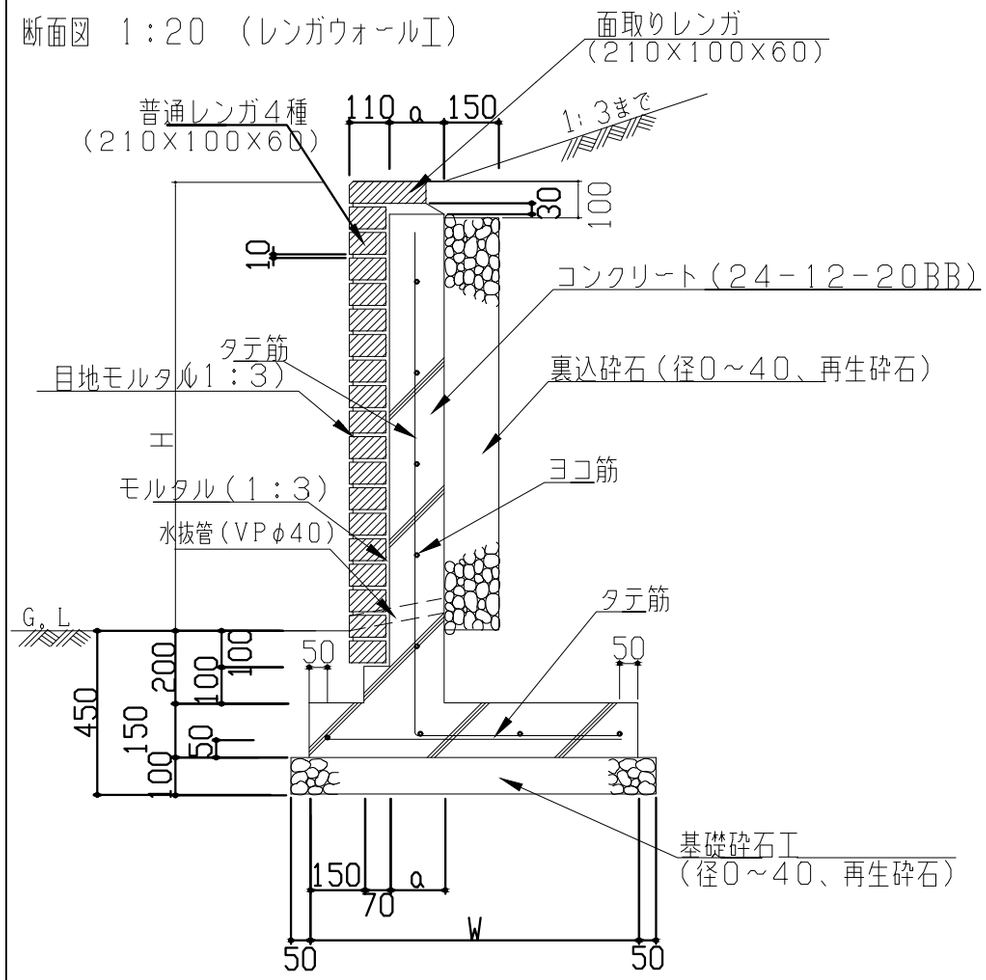
寸法表

H	a	W	鉄筋	
			タテ筋	ヨコ筋
600	120	600	D13 @250	D13 @250　7本
900	120	750	D13 @250	D13 @250　9本
1，200	150	900	D13 @250	D13 @250　10本

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・$2m^2$毎に1本、水抜管（VPφ40）を入れること。 ・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・必要地耐力は、5t/m^2とする。 ・背面土の勾配は、1：3まで可とする。 ・ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（B）－1 （ぬり、はつり、吹付）	S5015 備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 05年4月修正 18年3月修正 07年10月修正		7

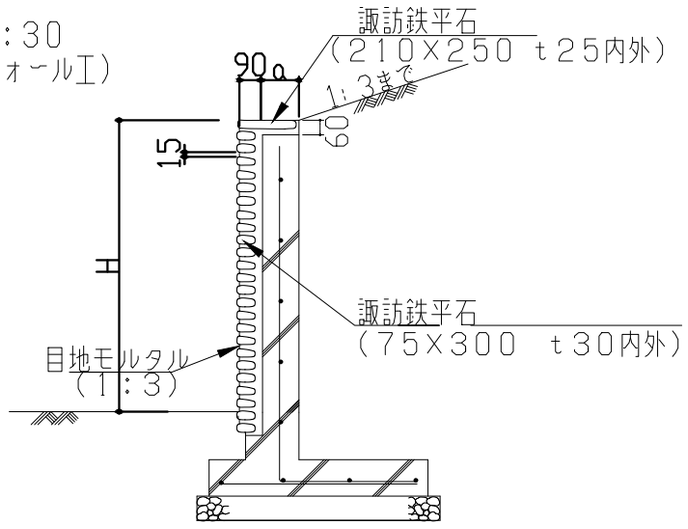
断面図　1：20　（レンガウォール工）



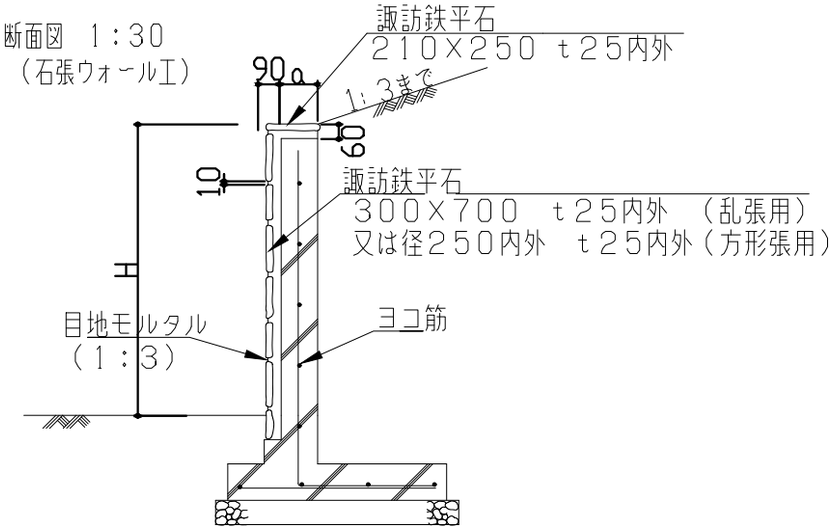
（1.0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
基礎砕石工	径0～40、t100	m^2	0.7	0.8	1.0	再生砕石
裏込砕石工	径0～40、t150	m^3	0.07	0.1	0.1	再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	〃	0.1	0.2	0.3	
型枠損料		m^2	1.7	2.3	2.9	
鉄筋工	D-13	kg	12	16	20	
モルタル	レンガウォール	m^3	0.01	0.01	0.01	
	石張ウォール		0.02	0.03	0.04	
	小端積ウォール					
天端材	面取レンガ	m	1.0	1.0	1.0	
	鉄平石（小端積用）					
	鉄平石（乱張用）					
	鉄平石（方形張用）					
壁材	普通レンガ4種	m^2	0.640	0.940	1.240	JIS R1250
	鉄平石（小端積用）		0.675	0.975	1.275	
	鉄平石（乱張用）					
	鉄平石（方形張用）					
床堀		m^3	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	

断面図　1：30
（小端積ウォール工）



断面図　1：30
（石張ウォール工）

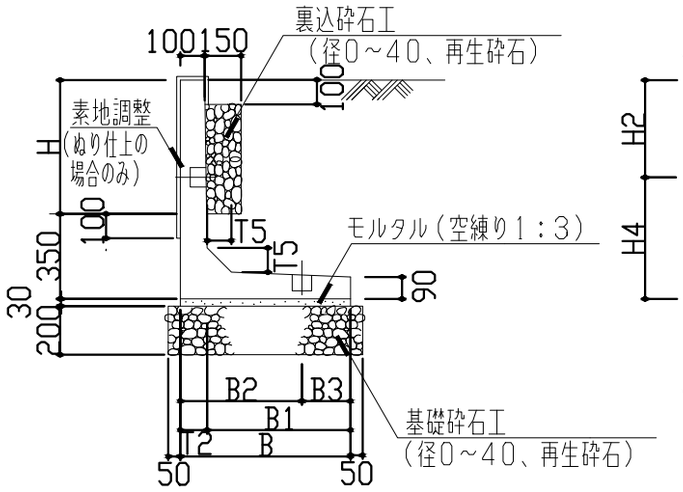


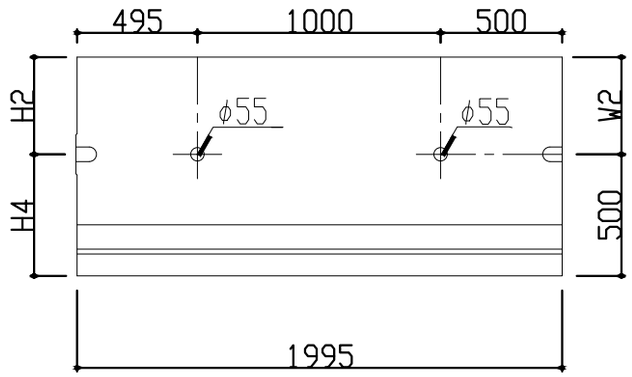
寸法表

H	a	W	鉄筋	
			タテ筋	ヨコ筋
600	120	600	D-13@250	D-13@250
900	120	750	D-13@250	D-13@250
1,200	150	900	D-13@250	D-13@250

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・$2m^2$毎に1本、水抜管（VPφ40）を入れること。 ・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・必要地耐力は、$5t/m^2$とする。 ・背面土の勾配は、1：3まで可とする。 ・ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（B）－1 （小端積、レンガ、石張）	S5015 備考 13年9月修正　22年10月修正 18年3月修正　05年4・10月修正 21年10月修正　06年10月修正		8



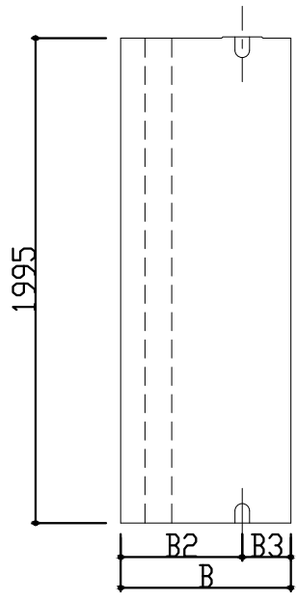


(1.0m当り)

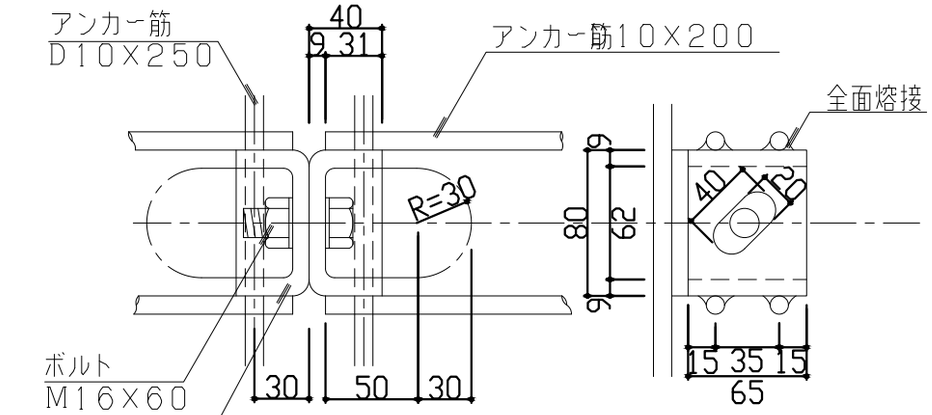
名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=650	H=850	H=1,150	
本　　体		m	1.0	1.0	1.0	
基礎砕石工	径0~40　t200	m^2	0.8	0.9	1.2	再生砕石
モルタル	空練り1:3	m^3	0.02	0.02	0.03	
裏込砕石工	径0~40　t150	〃	0.08	0.1	0.1	再生砕石
素地調整		m^2	0.9	1.1	1.4	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上　t20	〃	0.9	1.1	1.4	
吹付仕上	アクリル系リシン 吹付タイルE	〃	0.9	1.1	1.4	JASS 23
床堀		m^3	−	−	−	
埋戻		〃	−	−	−	
残土処分		〃	−	−	−	

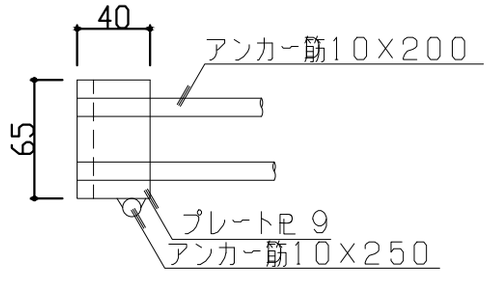
寸法表

H	B	H2	H4	B1	B2	B3	T2	T4	T5	W2
650	750	500	500	640	500	250	110	110	100	500
850	850	500	700	730	600	250	120	120	100	700
1,150	1,100	500	1,000	980	700	400	120	120	120	1,000

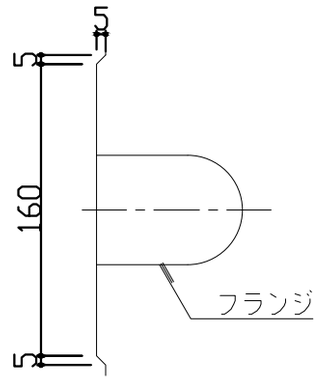


フランジ詳細図



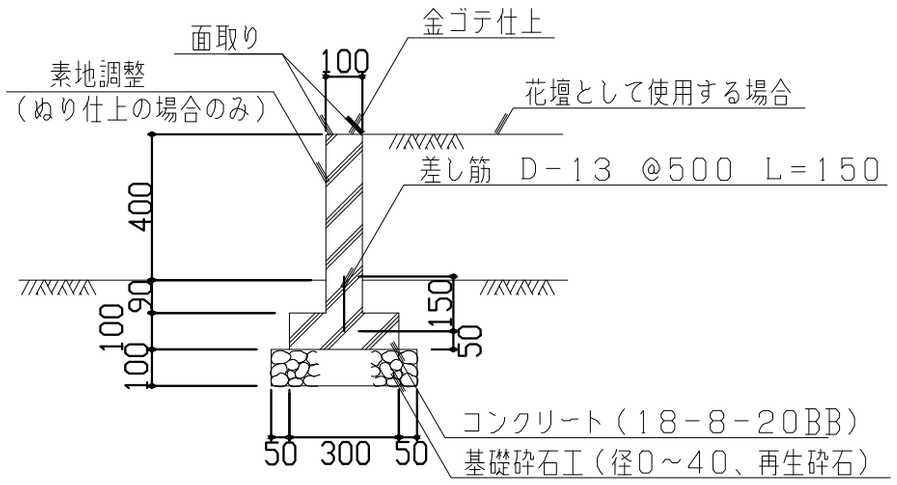


合端部拡大図



令和8年10月改定

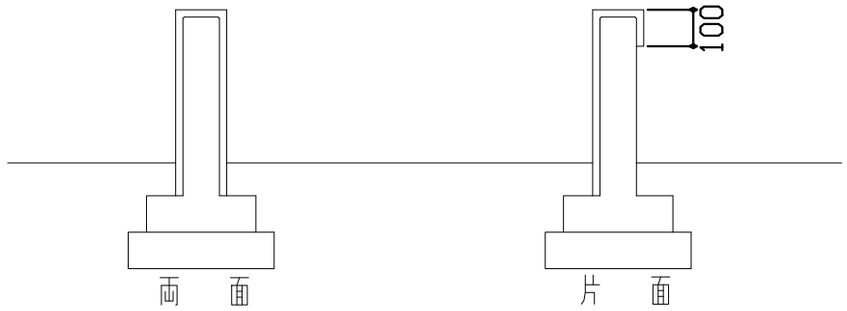
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・$2m^2$毎に1本、水抜管(VPφ40)を入れること。 ・15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・必要地耐力は、$5t/m^2$とする。 ・ウォール工背後に法面が生じる場所には使用しないこと。 ・ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	ウォール工(プレキャスト)(B)-2	S5020 備考 13年9月修正　06年10月修正 14年9月修正　07年10月修正 18年3月修正		9



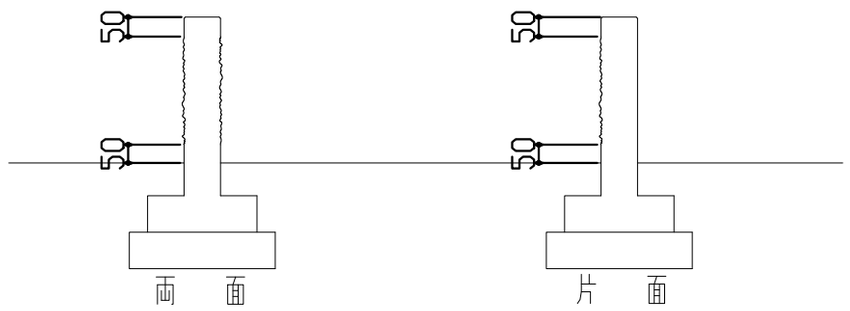
躯体断面図　1：20

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片側	両側	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4		再生砕石
コンクリート	18－8－20BB	m^3	0．07		
型枠損料		m^2	1．1		
差し筋	D－13	kg	0．299		
素地調整		m^2	0．6	1．0	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上　t20	〃	0．7	1．1	
吹付仕上	アクリル系リシン	〃	0．6	1．0	JASS 23
	吹付タイルE				
はつり仕上		〃	0．3	0．6	
床堀		m^3	－		
埋戻		〃	－		
残土処分		〃	－		



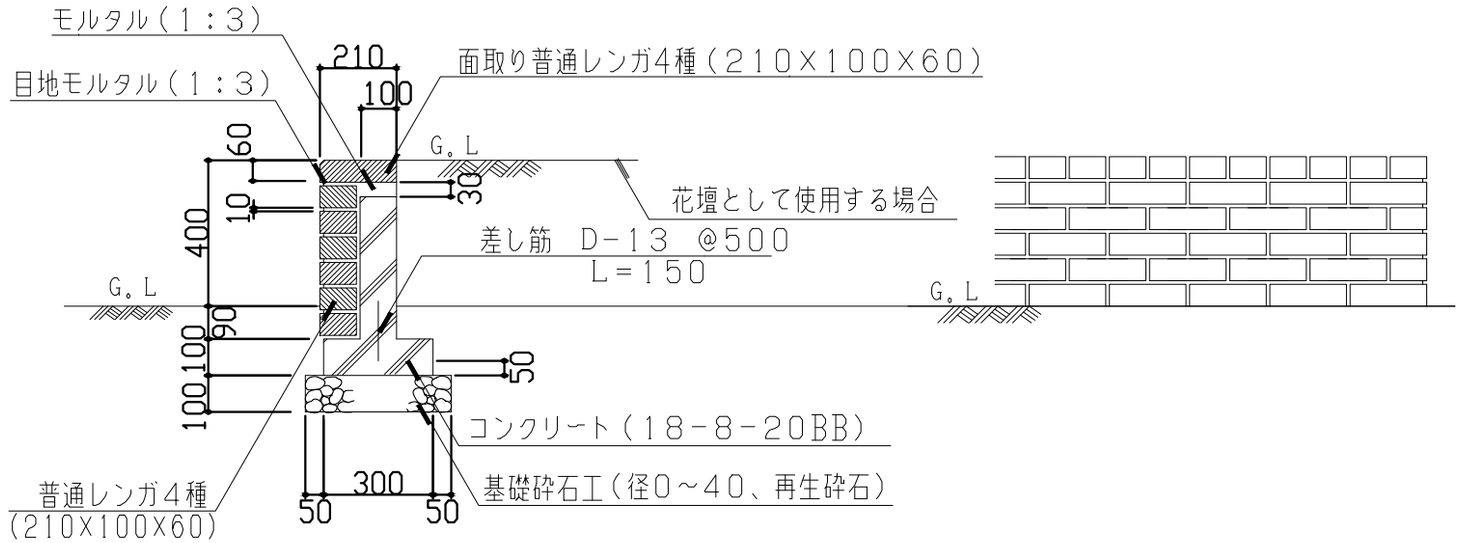
吹付、ぬり仕上



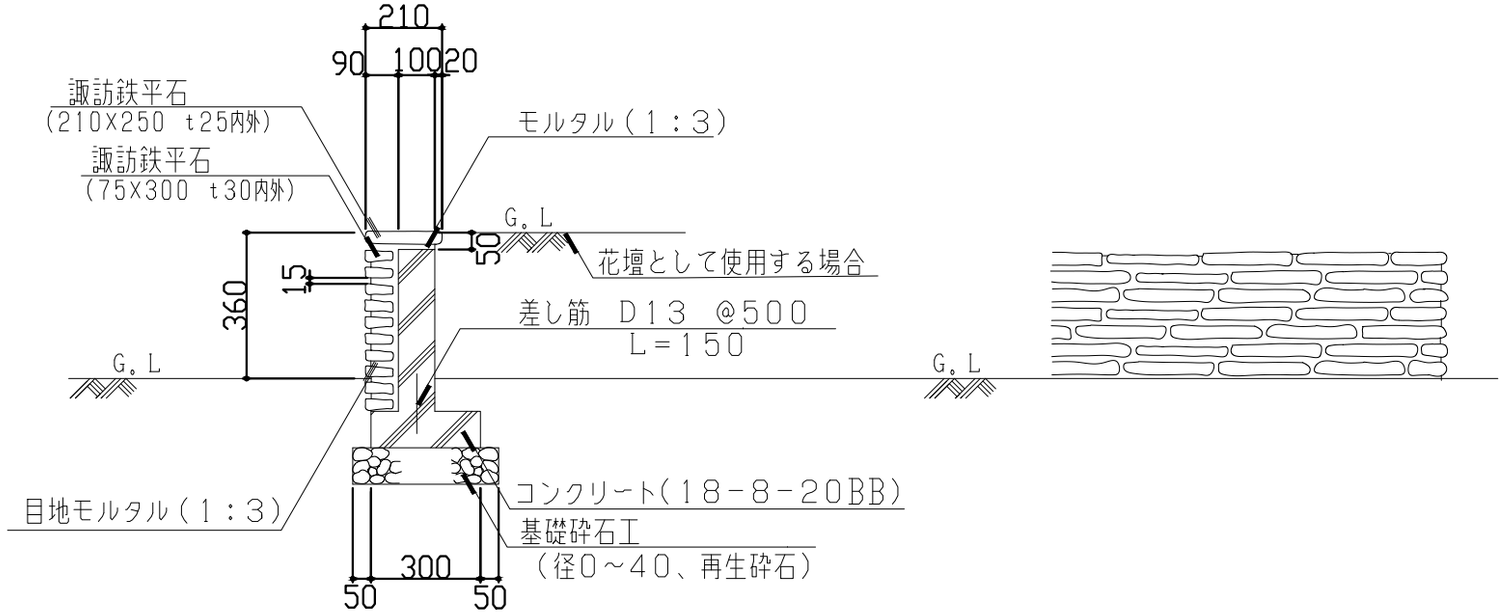
はつり仕上

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（C）－1（はつり／吹付／ぬり）	S5015 備考 13年9月修正　21年10月修正 14年9月修正　06年10月修正 07年10月修正		10



断面図　１：２０



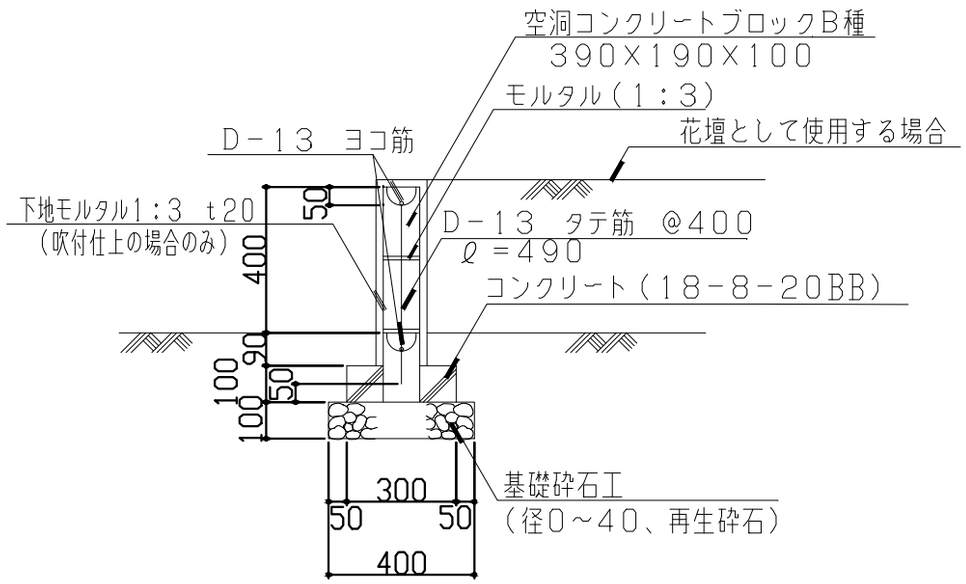
断面図　１：２０

（１。０m当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0。4	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0。070	
型枠損料		m^2	1。0	
差し鉄	D-13	kg	0。299	
モルタル	1：3	m^3	0。006	
天端材	面取り普通レンガ4種（210×100×60）	m	1。0	JIS R1250
	鉄平石（210×250 t25内外）		1。0	
壁材	普通レンガ4種（210×100×60）	m^2	0。420	JIS R1250
	鉄平石（75×300 t30内外）		0。410	
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

令和8年10月改定

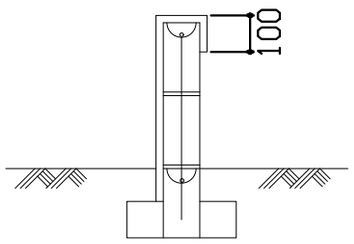
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・15～20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（現場打）（C）-1（レンガ 小端積）	S5015 備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 22年10月修正		11



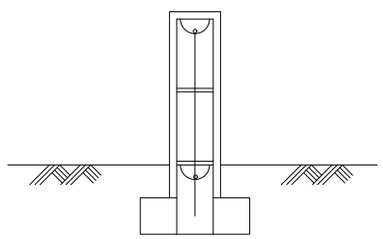
躯体断面図　1：20

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片面仕上	両面仕上	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4		再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．02		
型枠損料		m^2	0．2		
異形棒工	D－13	kg	3．7		
空洞ブロック積	B種 390×190×100	m^2	0．5		JIS A5406
下地モルタル	1：3	〃	0．01	0．02	吹付仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル　t20	〃	0．7	1．1	
吹付仕上	アクリル系リシン 吹付タイルE	〃	0．7	1．1	JASS 23
床堀		m^3	－		
埋戻		〃	－		
残土処分		〃	－		



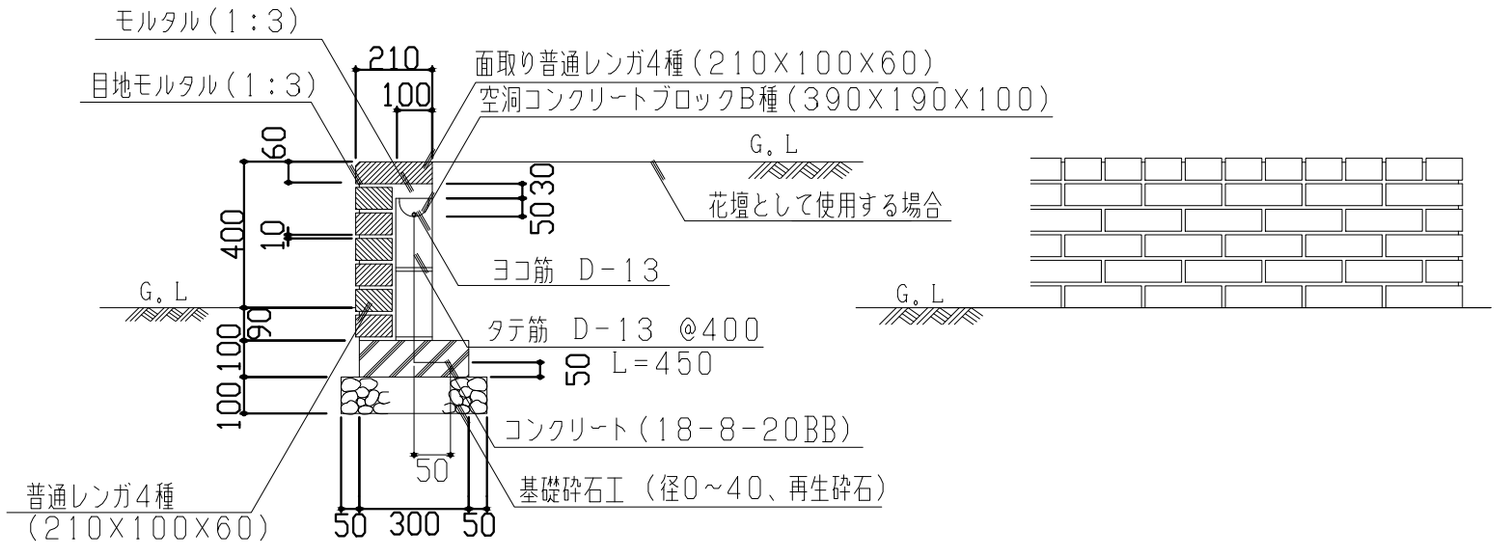
片面仕上



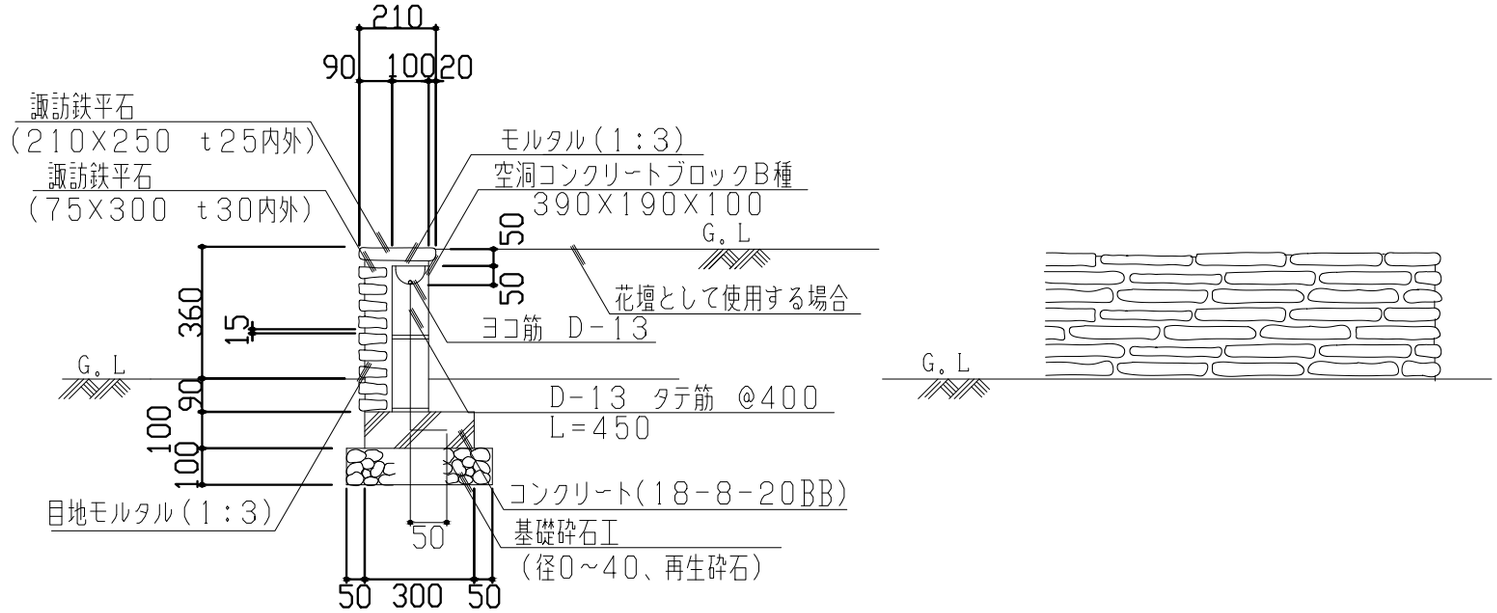
両面仕上

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・空洞コンクリートブロック間の空隙は、モルタル1：3で充填すること。 ・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（プレキャスト）（C）-2（ぬり仕上／吹付仕上）	S5020 備考 14年9月修正　21年10月修正 16年9月修正　06年10月修正 07年10月修正		12



断面図　1：20



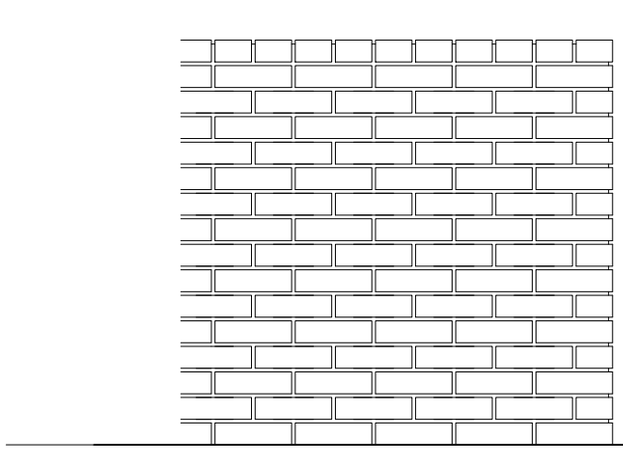
断面図　1：20

（1。0m当り）

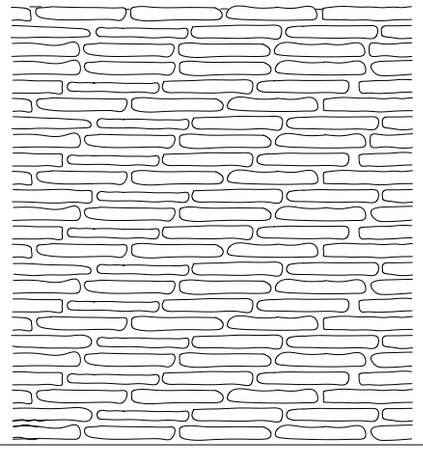
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0。4	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0。03	
型枠損料		m^2	0。2	
鉄筋工	D-13	kg	2。1	
空洞ブロック積	B種（390x190x100）	m^2	0。4	JIS A5406
モルタル	レンガ	m^3	0。007	
	小端積	〃	0。008	
天端材	面取り普通レンガ4種（210X100X60）	m	1。0	JIS R1250
	鉄平石（210X250 t25内外）			
壁材	普通レンガ4種（210X100X60）	m^2	0。420	JIS R1250
	鉄平石（75X300 t30内外）		0。410	
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

令和8年10月改定

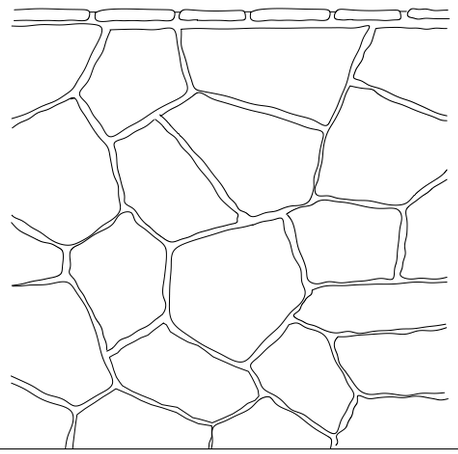
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ウォール工（プレキャスト）（C）-2（レンガ 小端積）	S5020 備考 14年9月修正　22年10月修正 15年10月修正　05年10月修正 21年10月修正		13



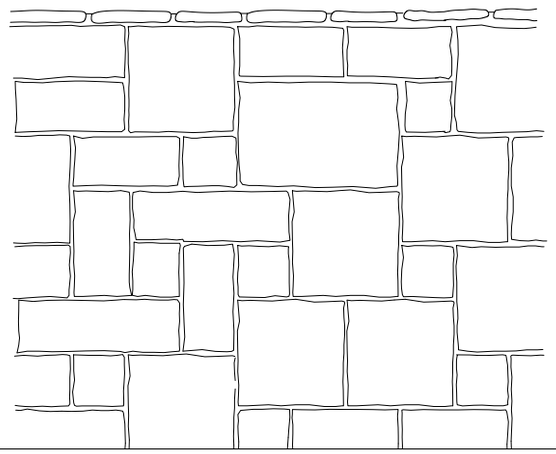
レンガ積



小端積



鉄平石乱張



鉄平石方形張

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・目地深さは、レンガウォールでは10mm程度、小端積ウォールでは15mm程度、石張ウォールは1mm程度を標準とする。 ・目地幅は、レンガ、石張ウォールでは10mm、小端積みウォールでは15mmを標準とする。	ウォール工（A）～（C）正面図 （レンガ、小端積、乱張、方形乱張）	――― 備　考 5年7月追加		14

基礎部　1.0m当り　（S5031）

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			(A)-1	(A)-2	(A)-3	(A)-4	(A)-5	(A)-6	
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.040	0.045	0.050	0.055	0.060	0.065	
型枠損料		m^2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
床掘		m^3	0.176	0.193	0.211	0.229	0.246	0.264	
埋戻		〃	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051	

石積部　1.0 m^2 当り　（S5036）

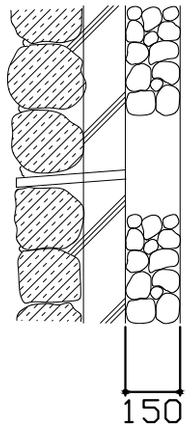
名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			(A)-1	(A)-2	(A)-3	(A)-4	(A)-5	(A)-6	
石材	玉石	m^2	1.0	1.0	1.0				
	丹波雑石					1.0	1.0	1.0	
	花コウ岩雑石								
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.200	0.216	0.233				玉石
			0.225	0.250	0.275	0.300	0.325	0.350	丹波雑石
目地モルタル ※	1:2	〃	0.007	0.008	0.008	0.009	0.01	0.01	
裏込砕石工	径0~40、再生砕石	m^3	(H-0.10)×0.15×1.0						

※花コウ岩雑石については目地モルタルを使用しない。

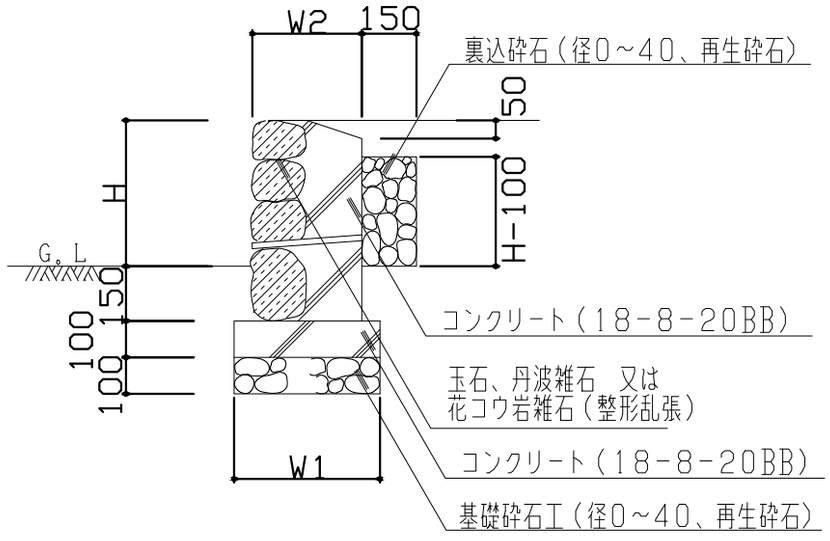
	玉石	丹波雑石	花コウ岩雑石
(A)-1	φ150　内外	控15cm以上	控15cm以上
(A)-2	φ200　内外	控20cm以上	控20cm以上
(A)-3	φ250　内外	控25cm以上	控25cm以上
(A)-4		控30cm以上	控30cm以上
(A)-5		控35cm以上	控35cm以上
(A)-6		控40cm以上	控40cm以上

	W1	W2
(A)-1	400	300
(A)-2	450	350
(A)-3	500	400
(A)-4	550	450
(A)-5	600	500
(A)-6	650	550

平面図　1:20

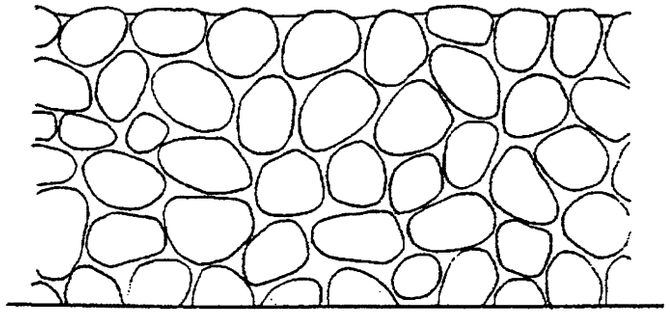


標準断面図　1:20

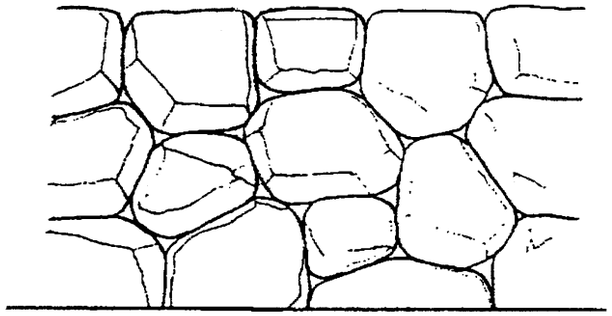


令和8年10月改定

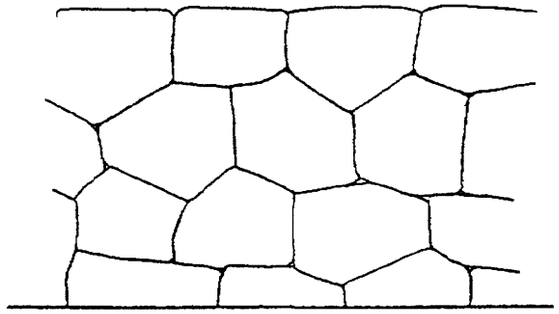
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・H=0.8mまでは直とし、H=0.8~1.5mまでを2分勾配とする。 ・2m^2毎に1本、水抜管（VPφ40）を入れること。 ・背面土に法勾配が生じる場所や、車両が通行する場所には使用しないこと。 ・15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。　・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・目地モルタルについては深目地とする。　・裏込砕石は、H=400以上で湧水の有る場合に別途計上する。	腰石積工（A）-1~6	S5031，S5036 備考 14年9月修正　24年10月修正　07年10月修正 15年10月修正　27年10月修正 21年10月修正　05年10月修正		15



玉　石



丹波雑石



花コウ岩雑石

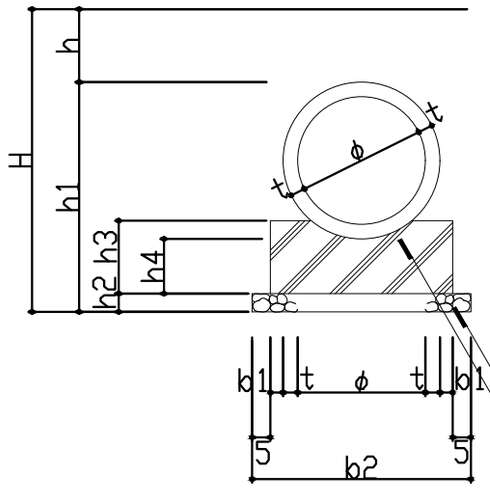
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
		腰石積工（A） 正　面　図	S5031，S5036 備　考 4年7月追加 24年10月修正		16-2

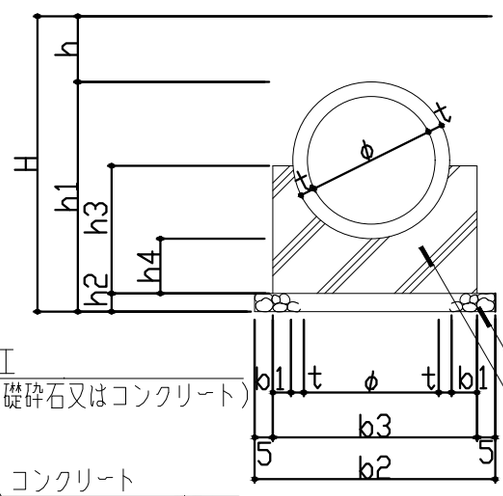
（1．0m当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎工	基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	－	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB		－	
コンクリート		18-8-20BB	m^3	－	
ヒューム管		1種B型管	m	1．0	JIS A 5372
鉄筋工		D-13	kg	－	
〃		D-16	〃	－	
型枠損料			m^2	－	
床堀			m^3	－	
埋戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

90°基礎断面図

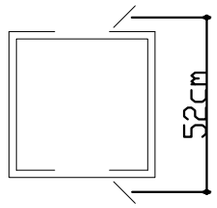


180°基礎断面図

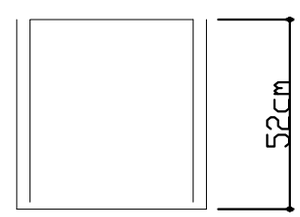


※ ㊷ 鉄筋加工図

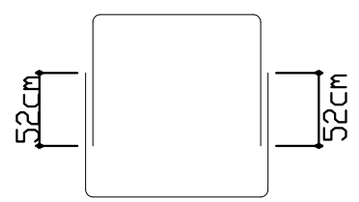
φ300以下



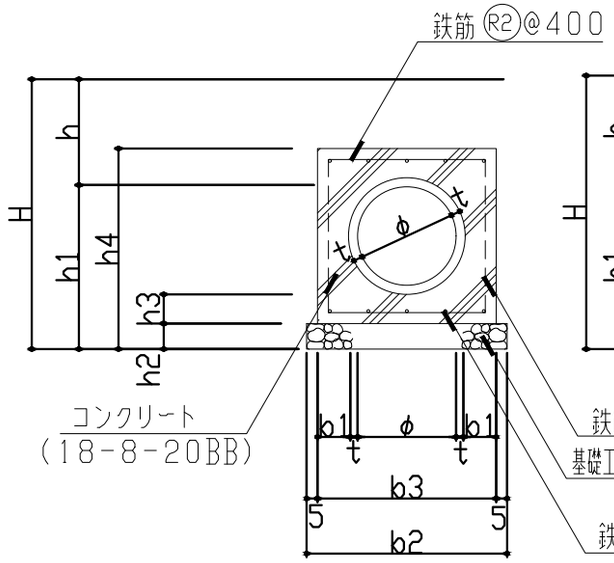
φ350以上



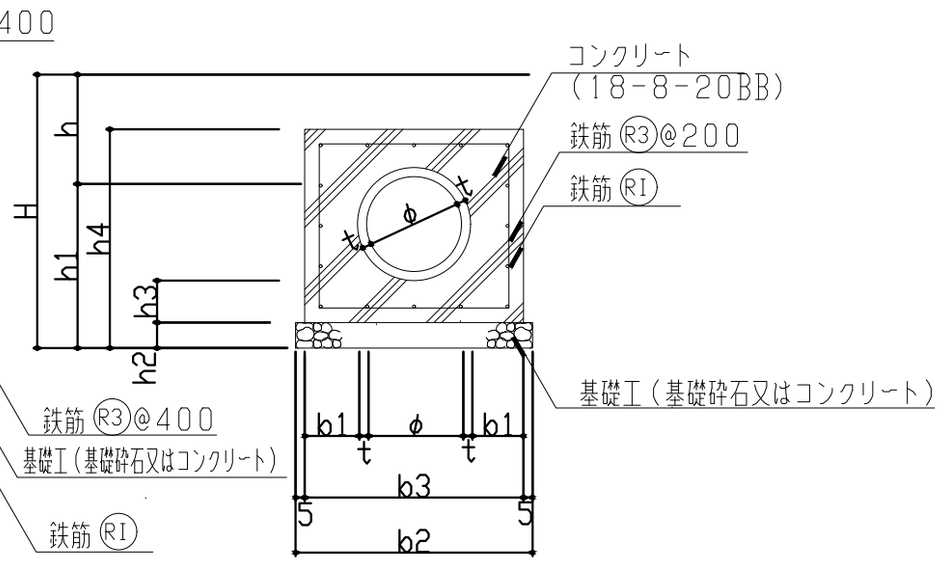
φ400以上



360°基礎（φ≦500の場合）断面図



360°基礎（φ600の場合）断面図



※ ㊷ と ㊸ は，@200で交互に配列する。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・設置にあたっては（社）日本道路協会「道路土工 擁壁・カルバート・仮設構造物工指針」を参照の事 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	ヒューム管布設工（φ150~φ600）	CB222860 備考 13年9月修正 28年10月修正 14年9月修正 05年10月修正 21年10月修正		17

表-1-1

寸　法　表　(90°基礎)　(CM)

工種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	b3
		A	B	C	A	B						
90°基礎(150)	15	40.2	35.2	30.2	10	5	13	10	2.6	7.4	45	35
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	14	10	2.7	7.3	50	40
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	15	10	2.8	7.2	55	45
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	16	10	3.0	7.0	60	50
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	17	10	3.2	6.8	65	55
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	22	15	3.5	4.0	65	55
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	23	15	3.8	3.7	70	60
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	24	15	4.2	3.3	75	65
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	26	15	5.0	2.5	85	75

表-1-2

寸　法　表　(180°基礎)　(CM)

工種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	b3
		A	B	C	A	B						
180°基礎(150)	15	41.1	36.1	31.1	10	5	21	10	2.6	12.4	55	45
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	23	10	2.7	12.3	60	50
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	26	10	2.8	12.2	65	55
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	28	10	3.0	12.0	70	60
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	31	10	3.2	11.8	75	65
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	39	15	3.5	11.5	80	70
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	42	15	3.8	11.2	85	75
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	45	15	4.2	10.8	90	80
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	50	15	5.0	10.0	100	90

表-1-3

寸　法　表　(360°基礎・鉄筋入り)　(CM)

工種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	鉄筋						b3
												(R1)		(R2)		(R3)		
		A	B	C	A	B						D13	D16	本	cm	本	cm	
360°基礎(150)	15	40.2	35.2	30.2	10	5	10	42	2.6	10.9	52	6	—	5	32	5	116	42
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	10	46	2.7	10.3	56	6	—	5	36	5	124	46
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	10	52	2.8	10.7	62	6	—	5	42	5	136	52
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	10	56	3.0	10.0	66	6	—	5	46	5	144	56
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	10	62	3.2	10.3	72	8	—	5	52	5	156	62
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	15	78	3.5	15.5	88	10	—	5	68	5	188	78
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	15	84	3.8	15.7	94	10	—	5	74	5	200	84
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	15	90	4.2	15.8	100	—	10	5	80	5	212	90
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	15	100	5.0	15.0	110	20	—			10	232	100

基礎区分

基礎の区分	材　質	形状寸法
A	基礎砕石	径0~40mm
B	コンクリート	18-8-20BB
C	な　し	———

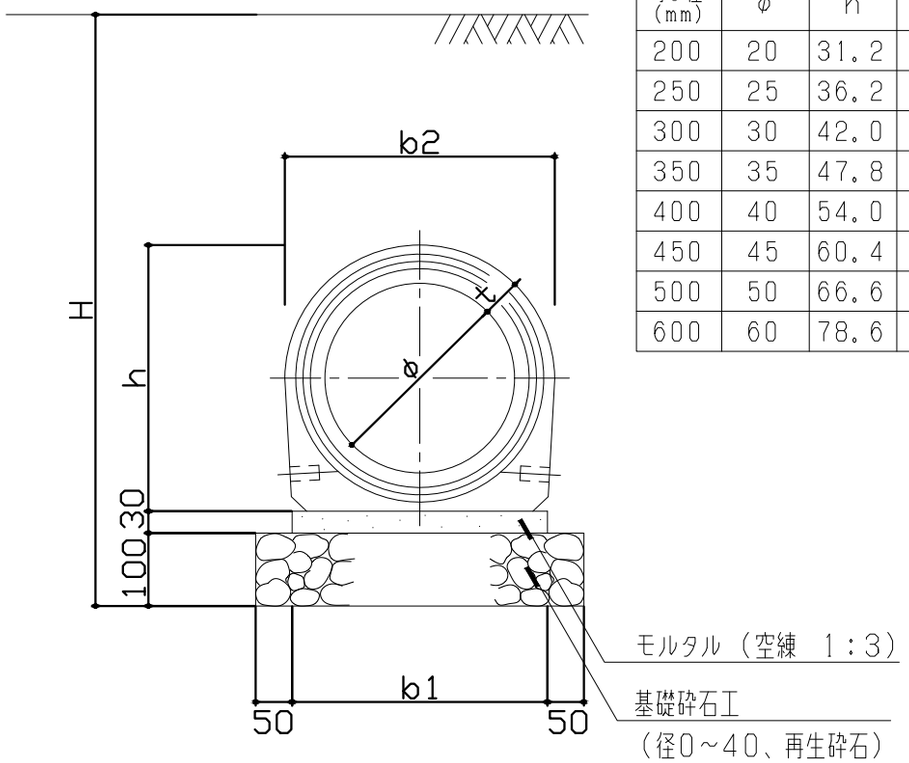
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
		ヒューム管布設工(φ150~φ600) 寸法表	CB222860 備考 13年9月修正 14年9月修正		18

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		m	1．0	
モルタル	空練　1：3	m^3	－	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	－	再生砕石
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

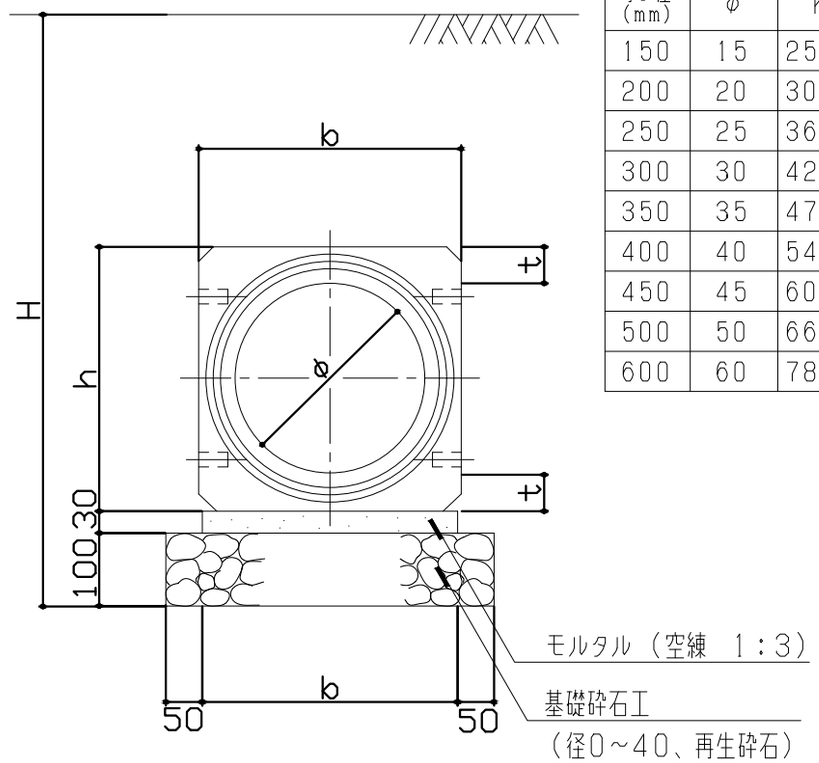
180°巻タイプ　断　面　図



寸　法　表　　単位cm

呼び径（mm）	φ	h	b1	b2	t
200	20	31．2	28	31．4	5．6
250	25	36．2	33	36．4	5．6
300	30	42．0	38	42．4	6．0
350	35	47．8	44	48．2	6．4
400	40	54．0	50	54．6	7．0
450	45	60．4	56	61．0	7．7
500	50	66．6	62	67．4	8．3
600	60	78．6	73	79．6	9．3

360°巻タイプ　断　面　図

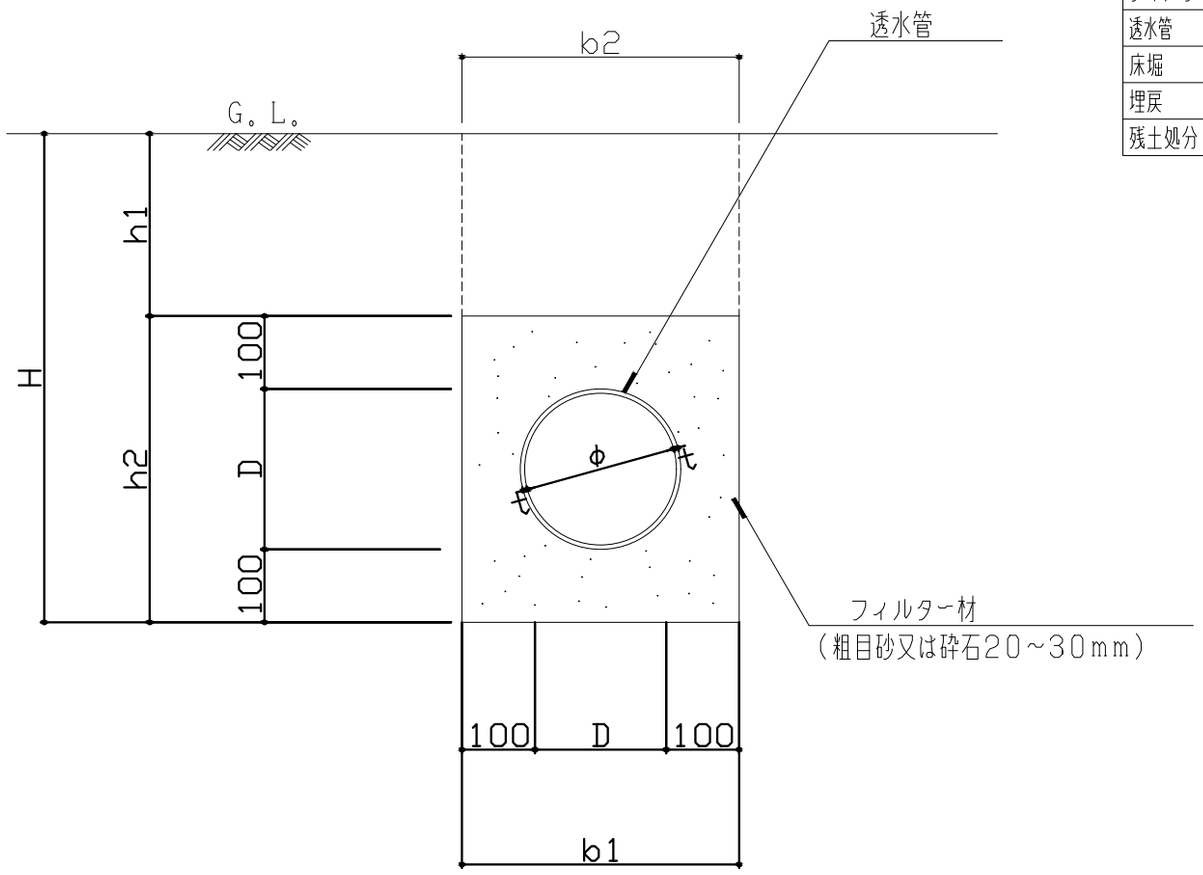


寸　法　表　　単位cm

呼び径（mm）	φ	h	b	t
150	15	25．4	25．4	5．2
200	20	30．8	30．8	5．4
250	25	36．2	36．2	5．6
300	30	42．0	42．0	6．0
350	35	47．8	47．8	6．4
400	40	54．0	54．0	7．0
450	45	60．4	60．4	7．7
500	50	66．6	66．6	8．3
600	60	78．6	78．6	9．3

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
		ヒューム管布設工（基礎一体型）	CB222850		20－1
			備　考		
			13年9月修正 05年10月修正 14年9月修正		



（1。0m当り）

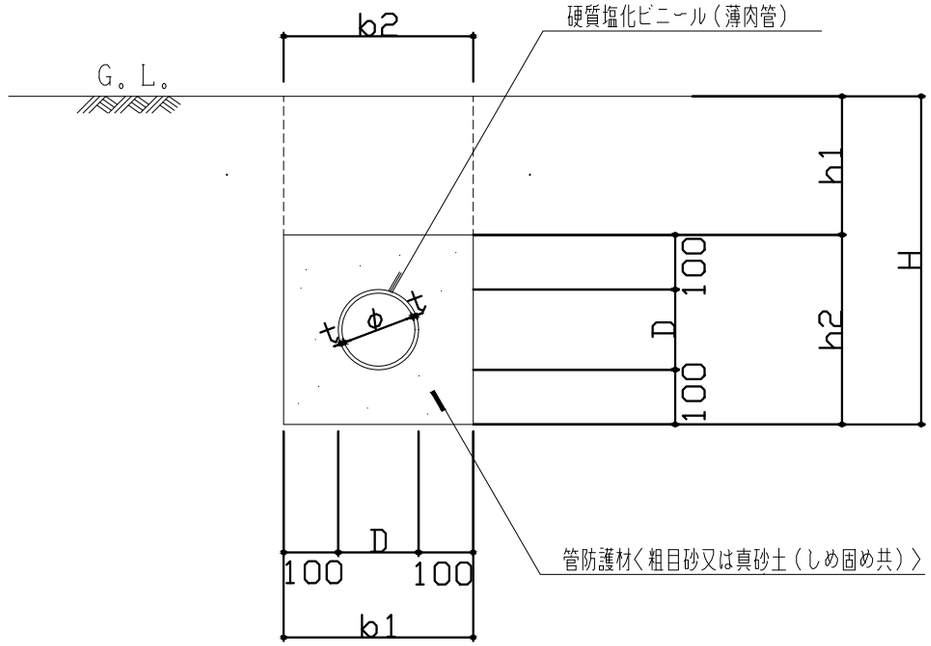
名称	形状寸法	単位	数量					摘要
			φ50	φ75	φ100	φ150	φ200	
フィルター材	粗目砂又は砕石20~30mm	m^3	下記数量表参照					
透水管	波状。網状	m	1.0					
床堀		m^3	-					
埋戻		〃	-					
残土処分		〃	-	-	-	-	-	

単位：mm

呼び径	D（外径）	b1	b2	h2	フィルター材（m^3）
φ50	60	260	260	260	0。06
φ75	84	285	285	285	0。07
φ100	110	310	310	310	0。08
φ150	160	360	360	360	0。10
φ200	210	410	410	410	0。13

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	。埋戻は、良質土によること。	透水管工	CB222770 備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 29年10月修正		21-1



（1。0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 φ150	φ200	φ250			摘要
管防護材	粗目砂又は真砂土	m^3	下記数量表参照					
硬質塩化ビニール管	薄肉管	m	1.0					
床堀		m^3	-					
埋戻		〃	-					
残土処分		〃	-	-	-			

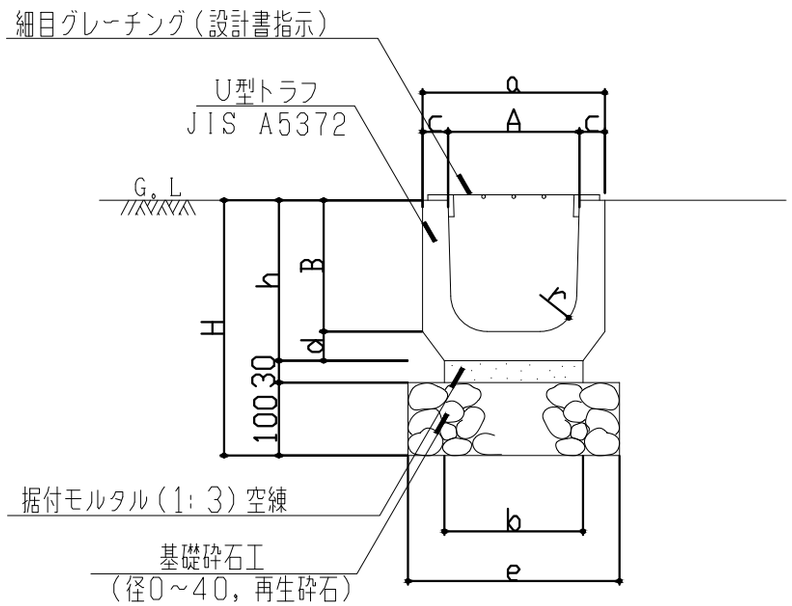
単位：mm

呼び径	D（外径）	b1	b2	h2	管防護材（m^3）
φ150	165	365	365	365	0.11
φ200	216	416	416	416	0.13
φ250	267	467	467	467	0.16

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	◦集水桝等に接続する場合は、砂つき管を使用すること。 ◦硬質塩化ビニール管の接合方式は、ゴム輪接合方式とする。 ◦ゴム輪形受口の形状及び寸法は、ＪＩＳ Ｋ６７４１によること。 ◦埋戻は、良質土によること。	硬質塩化ビニール管工	WB610370 備考 14年9月修正 05年10月修正 15年10月修正 08年10月修正 21年10月修正		21-2

タイプ1　断面図



（1.0m当り）

名　称	形状寸法	単位	数量						摘要
			T-15	T-18	T-24	T-30(A)	T-30(B)	T-30(C)	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	再生砕石
据付モルタル	空練1：3	m^3	0.004	0.005	0.007	0.009	0.009	0.009	
U型トラフ		m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A5372
細目グレーチング	T-2（軽荷重）	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床　堀		m^3	－	－	－	－	－	－	
埋　戻		〃	－	－	－	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	－	－	－	

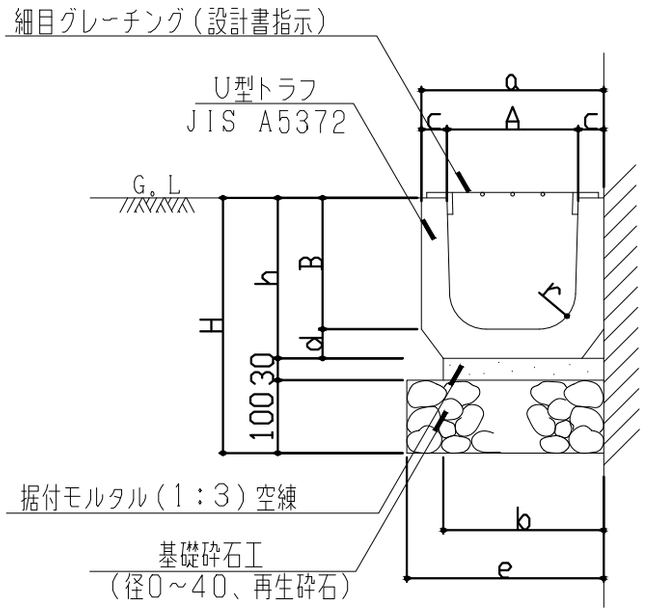
寸法表　　単位：mm

名称	A	B	H	a	b	c	d	e	h	r
T-15	150	150	315	210	160	30	35	260	185	30
T-18	180	180	350	250	190	35	40	290	220	50
T-24	240	240	420	330	240	45	50	340	290	50
T-30(A)	300	240	430	400	300	50	60	400	300	50
T-30(B)	300	300	490	400	300	50	60	400	360	50
T-30(C)	300	360	555	400	300	50	65	400	425	50

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル（1：2）使用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	U型側溝工（U型ﾄﾗﾌ）（T-15~T-30） タイプ－1	WB821410 備考 13年 9月修正　18年3月修正 14年 9月修正　25年10月修正 29年10月修正		22

タイプ2　断面図



（1.0m当り）

名　称	形 状 寸 法	単位	数　量						摘要
			T-15	T-18	T-24	T-30(A)	T-30(B)	T-30(C)	
基礎砕石工	t100	m^2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	再生砕石
据付モルタル	空練1：3	m^3	0.005	0.006	0.008	0.010	0.010	0.010	
U型トラフ		m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A5372
細目グレーチング	T-2（軽荷重）	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床　堀		m^3	−	−	−	−	−	−	
埋　戻		〃	−	−	−	−	−	−	
残土処分		〃	−	−	−	−	−	−	

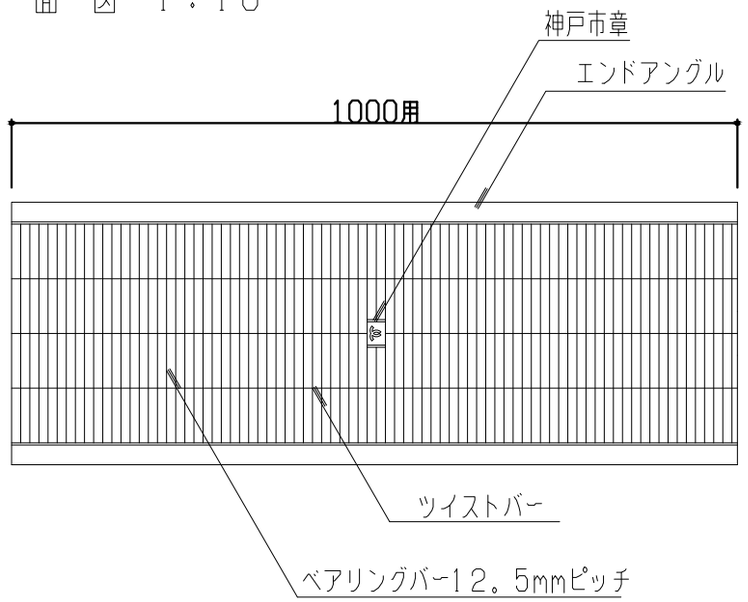
寸法表　　単位：mm

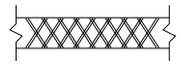
名称	A	B	H	a	b	c	d	e	h	r
T-15	150	150	315	210	185	30	35	235	185	30
T-18	180	180	350	250	220	35	40	270	220	50
T-24	240	240	420	330	285	45	50	335	290	50
T-30(A)	300	240	430	400	350	50	60	400	300	50
T-30(B)	300	300	490	400	350	50	60	400	360	50
T-30(C)	300	360	555	400	350	50	65	400	425	50

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル（1：2）使用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	U型側溝工（U型ﾄﾗﾌ）（T-15~T-30） タイプ-2	WB821410 備　考 13年 9月修正　18年3月修正 14年 9月修正　25年10月修正 29年10月修正		23-1

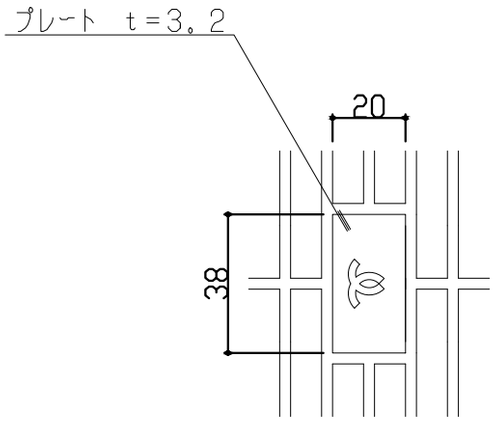
平 面 図 1:10



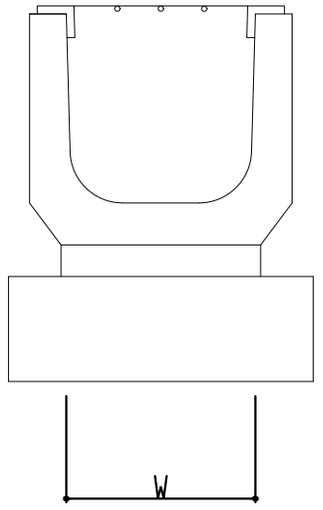


ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

断 面 図 1:10



市章プレート

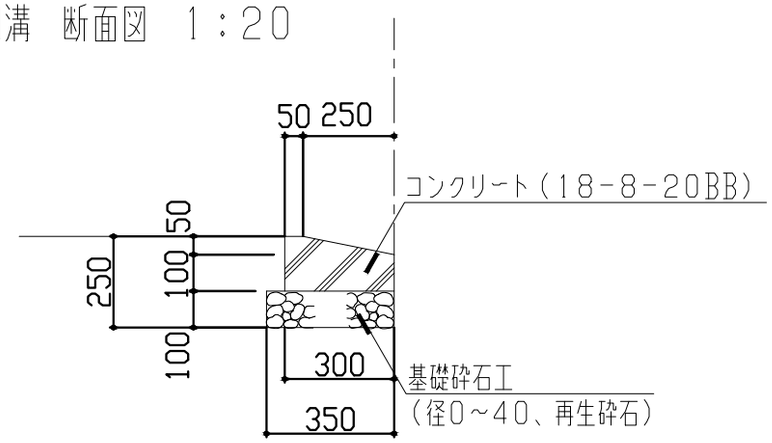


みぞ幅W
150
180
240
300

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・荷重はT-2（軽荷重）とする。 ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・表面はノンスリップタイプとする。	U型側溝工（U型ﾄﾗﾌ）（T-15~T-30） 細目グレーチング蓋	WB821430 備考 6年7月修正 29年10月修正 25年10月修正		23-2

皿溝　断面図　1：20

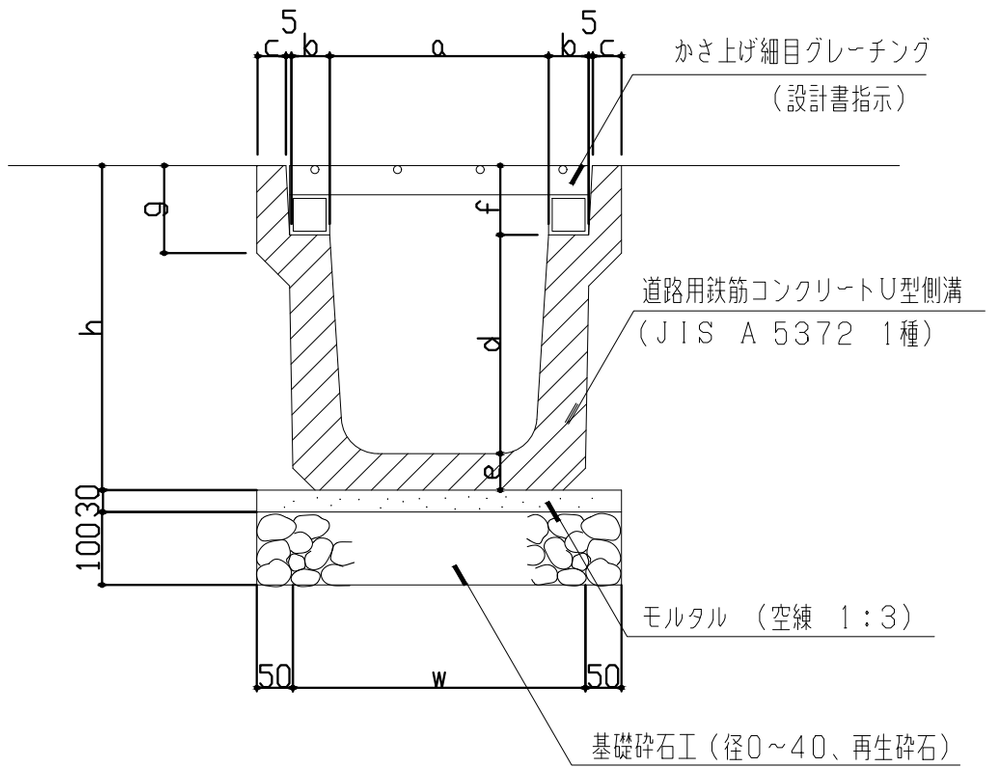


（1．0m当り）

名　　称	形状寸法	単位	数　量	摘　　要
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0．3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．03	
型枠損料		m^2	0．1	
床　　堀		m^3	－	
埋　　戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　　様	名　　称	コード番号	記　　号	ページ
		皿　溝　工	S5075		24
			備　　考		
			13年9月修正 14年9月修正		



（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量								摘要
			250	300A	300B	300C	400A	400B	500A	500B	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4	0．5	0．5	0．5	0．6	0．6	0．7	0．7	再生砕石
モルタル	空練　1：3	m^3	0．01	0．01	0．01	0．01	0．01	0．01	0．02	0．02	
道路用鉄筋コンクリートU型側溝	1種	m	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	JIS A 5372
かさ上げグレーチング	T－2（細目）	枚	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	設計書指示
床堀		m^3	－	－	－	－	－	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	－	－	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	－	－	－	－	－	

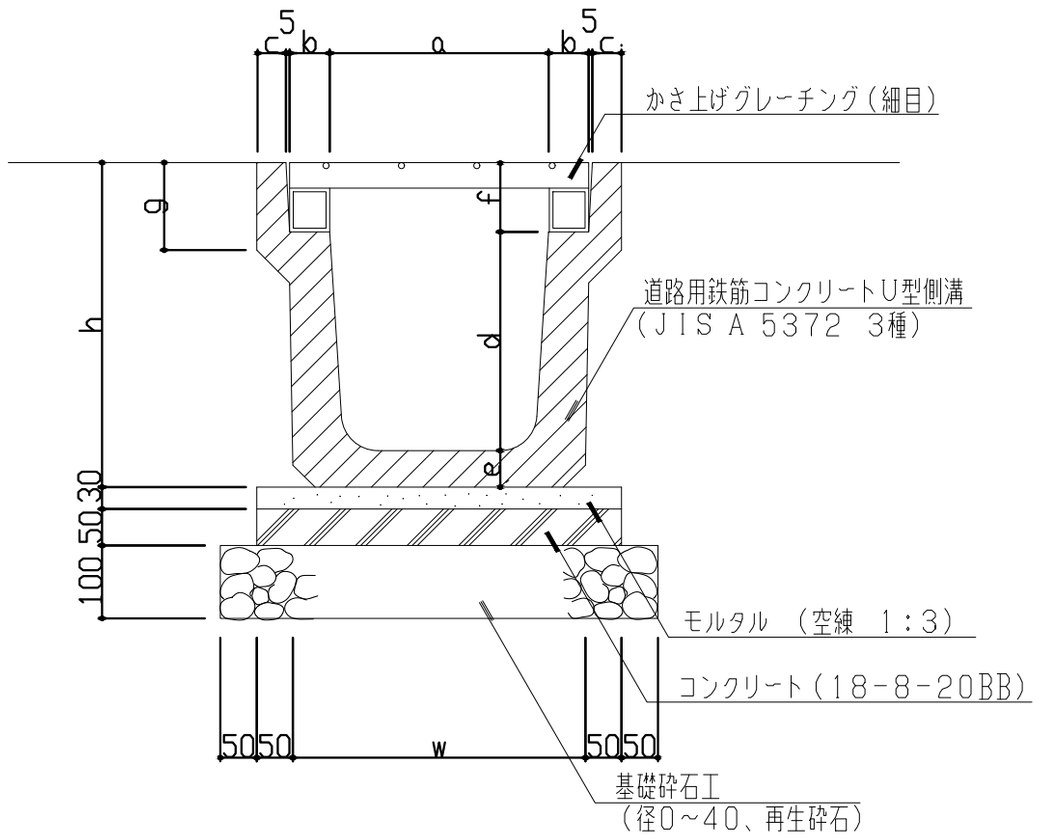
寸法表

単位：mm

名称	a	b	c	d	e	f	g	h	w	L（長さ）
250	250	55	40	250	55	90	120	395	360	2，000
300A	300	55	40	300	60	95	120	455	410	2，000
300B	300	55	40	400	65	95	120	560	410	2，000
300C	300	55	40	500	70	95	120	665	410	2，000
400A	400	55	40	400	65	110	135	575	510	2，000
400B	400	55	40	500	70	110	135	680	510	2，000
500A	500	60	45	500	70	125	150	695	610	2，000
500B	500	60	45	600	75	125	150	800	610	2，000

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地幅は10mmを標準とし、目地モルタル（1：2）を使用すること。 ・グレーチングの荷重はT－2とし、歩行者用とする。 ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	U型側溝工（プレキャスト）－1	WB821410 備考 14年9月修正 25年10月修正 15年9月修正 28年10月修正		25－1



（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量								摘要
			250	300A	300B	300C	400A	400B	500A	500B	
基礎砕石工	径0～40 t100	m^2	0．5	0．6	0．6	0．6	0．7	0．7	0．8	0．8	再生砕石
モルタル	空練 1：3	m^3	0．01	0．01	0．01	0．01	0．01	0．01	0．02	0．02	
道路用鉄筋コンクリートU型側溝	3種	m	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	JIS A 5372
かさ上げグレーチング	T-6（細目）	枚	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	設計書指示
コンクリート	18-8-20	m^3	0．02	0．02	0．02	0．02	0．03	0．03	0．03	0．03	
型枠損料		m^2	0．100	0．100	0．100	0．100	0．100	0．100	0．100	0．100	
床堀		m^3	－	－	－	－	－	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	－	－	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	－	－	－	－	－	

寸法表　　単位：mm

名称	a	b	c	d	e	f	g	h	w	L（長さ）
250	250	55	45	250	65	90	120	405	360	2，000
300A	300	55	50	300	70	95	140	465	410	2，000
300B	300	55	50	400	70	95	140	565	410	2，000
300C	300	55	50	500	80	95	140	675	410	2，000
400A	400	55	55	400	70	110	140	560	510	2，000
400B	400	55	55	500	80	110	140	690	510	2，000
500A	500	60	60	500	80	125	155	705	620	2，000
500B	500	60	60	600	90	125	175	815	620	2，000

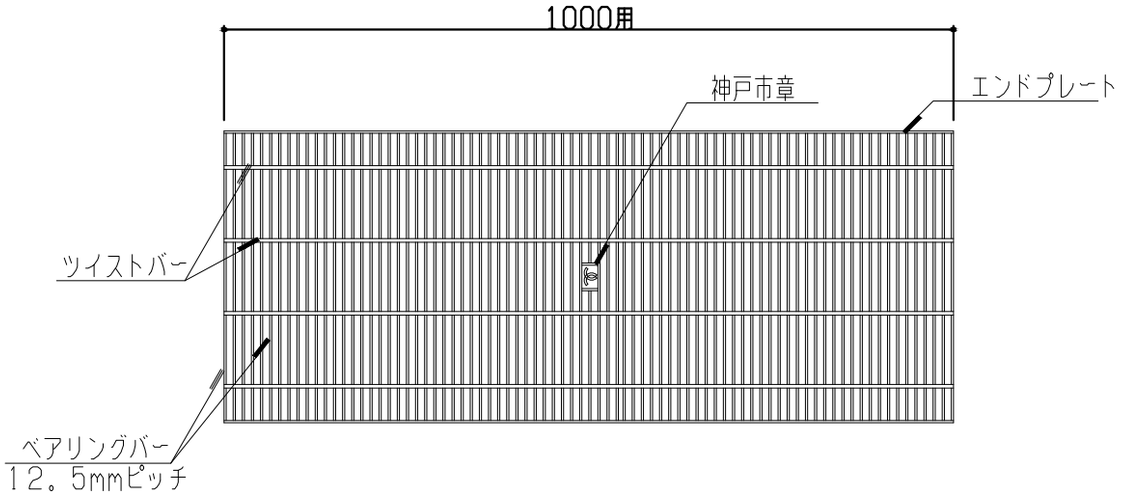
令和8年10月改定

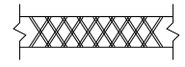
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地幅は10mmを標準とし、目地モルタル（1：2）を使用すること。 ・グレーチングの荷重はT-6とし、管理車両通行用とする。 ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	U型側溝工（プレキャスト）-2	WB821410 備考 13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正 28年10月修正 25年10月修正		25-2

寸 法 表

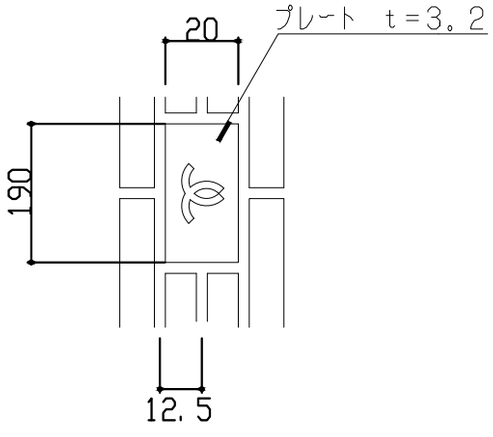
B	W	H	
360	250	90	T-2用
410	300	95	
510	400	110	
620	500	125	
360	250	90	T-6用
410	300	95	
510	400	110	
620	500	125	

平 面 図 1:10



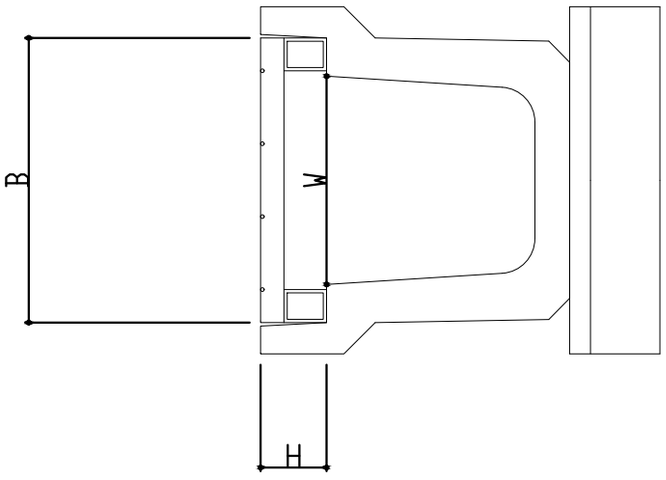


ベアリングバー上面
（ノンスリップ）



市章プレート

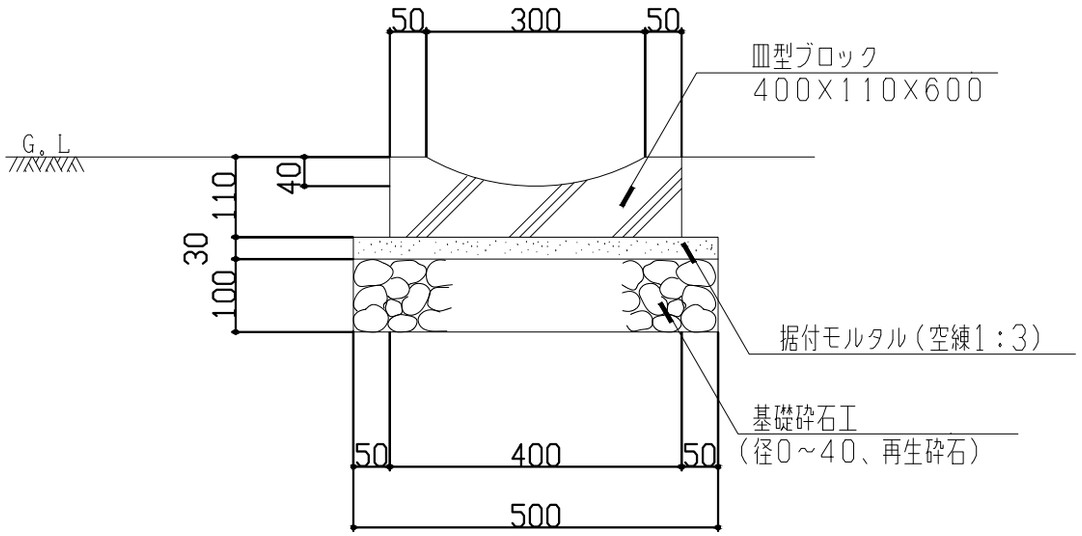
断 面 図 1:10

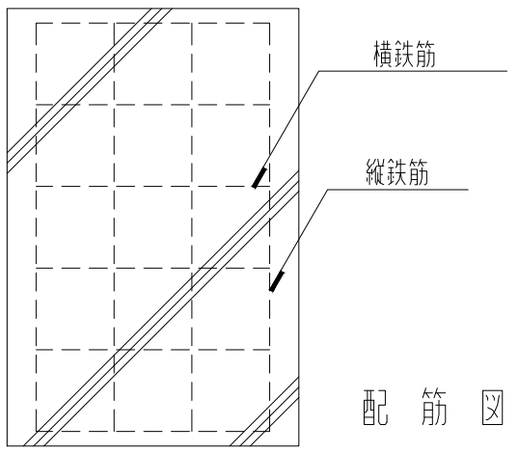


令和8年10月改定

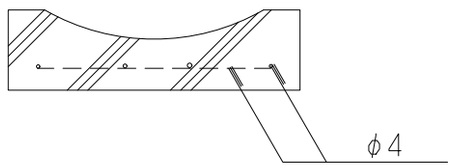
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・表面はノンスリップタイプとする。	U型側溝工（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ） 細目かさ上げグレーチング蓋	WB821430 備考 6年7月修正 25年10月修正		26

皿型ブロック工　1：10





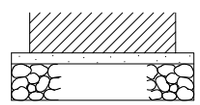
配　筋　図



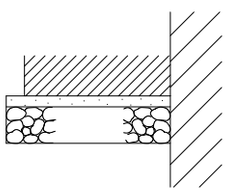
（1．0m当り）

名　称	形　状　寸　法	単位	数　量		摘　要
			タイプ－1	タイプ－2	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．5	0．4	再生砕石
据付モルタル	空練，1：3	m^3	0．01	0．01	
皿型ブロック	コンクリート打ちはなし 洗出（白ミカゲ、金華、鹿島、蛇紋） 擬石皿型（錆、万成を除く）	m	1．0	1．0	
床　掘		m^3	－	－	
埋　戻		〃	－	－	
残土処分		〃	－	－	

タイプ－1



タイプ－2



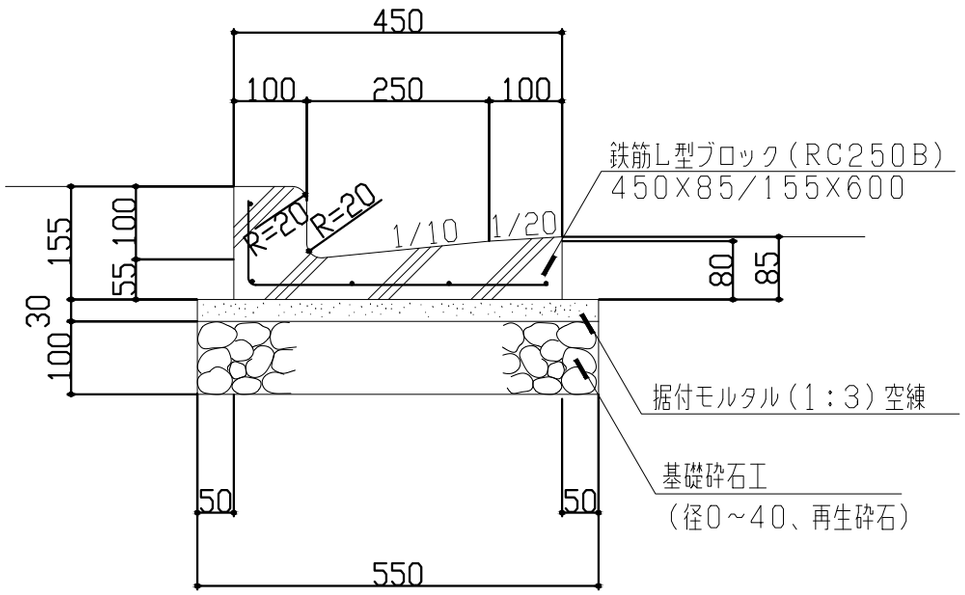
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・目地巾は10mmとし目地モルタル（1：2）使用とする。 ・車椅子の通行には適さない。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・歩行者動線には設置しないこと。	皿型ブロック工	WC698500 備　考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正		27

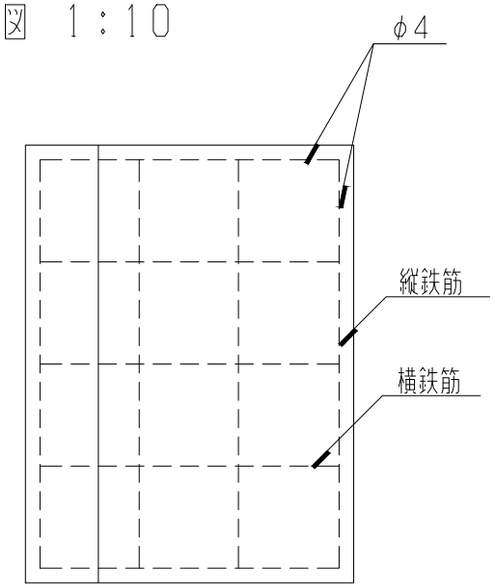
（1．0m当り）

名　称	形 状 寸 法	単位	数　量		摘　要
			タイプ－1	タイプ－2	
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．5	0．45	再生砕石
据付モルタル	空練1：3	m^3	0．01	0．01	
鉄筋L型ブロック	450×85／155×600	m	1．0	1．0	JIS A 5372 RC250B
床　掘		m^3	－	－	
埋　戻		〃	－	－	
残土処分		〃	－	－	

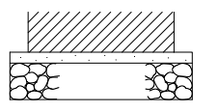
L型ブロック工　1：10



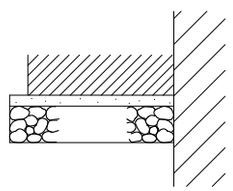
配筋図　1：10



タイプ－1



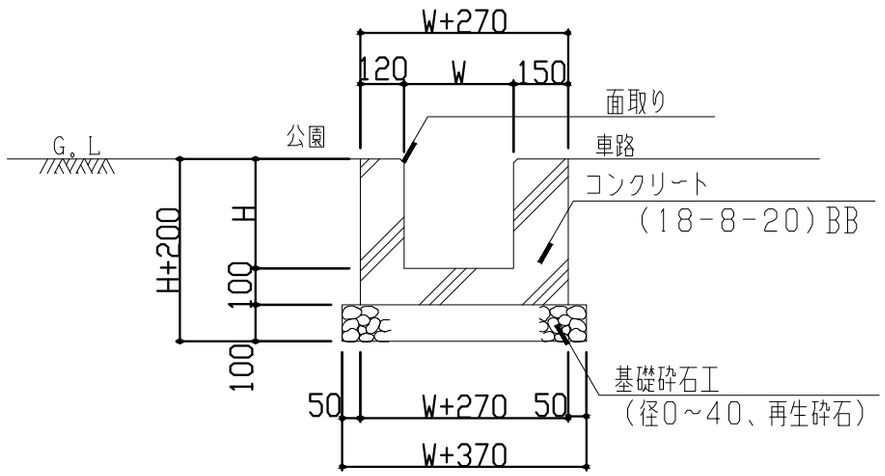
タイプ－2



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・目地巾は10mmとし目地モルタル（1：2）使用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	L 型 ブ ロ ッ ク 工	WC698500 備　考 13年9月修正　27年10月修正 14年9月修正　28年10月修正 18年3月修正		28

U型側溝（A）断面図　1：20



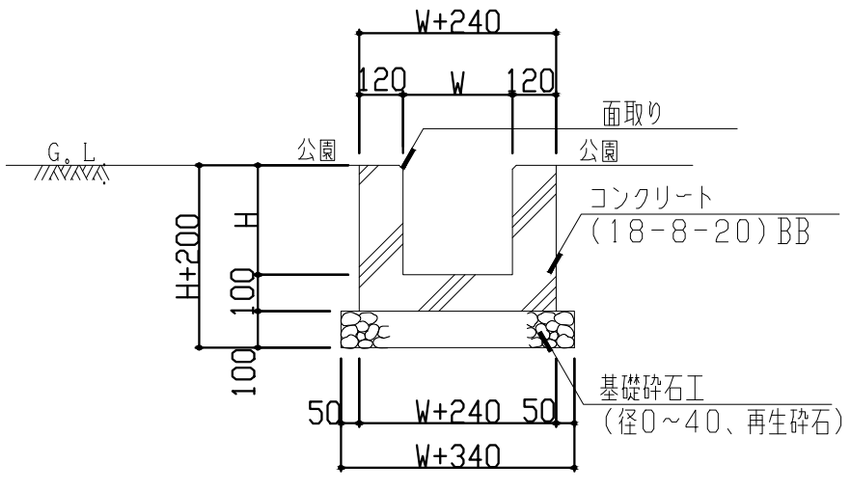
（1。0m当り）

	名　　称	形状寸法	単位	数　　量	摘　要
（A）	基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	W+0。37	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0。1W+0。27H+0。027	
	型枠損料		m^2	4H+0。44	
	床　　堀		m^3	-	
	埋　　戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	

	名　　称	形状寸法	単位	数　　量	摘　要
（B）	基礎砕石工	径0~40、t100	m^2	W+0。34	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0。1W+0。24H+0。024	
	型枠損料		m^2	4H+0。44	
	床　　堀		m^3	-	
	埋　　戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	

注）側溝深さは、150≦H≦600とする。
　　側溝幅は、250、300、400、500の4種とする。

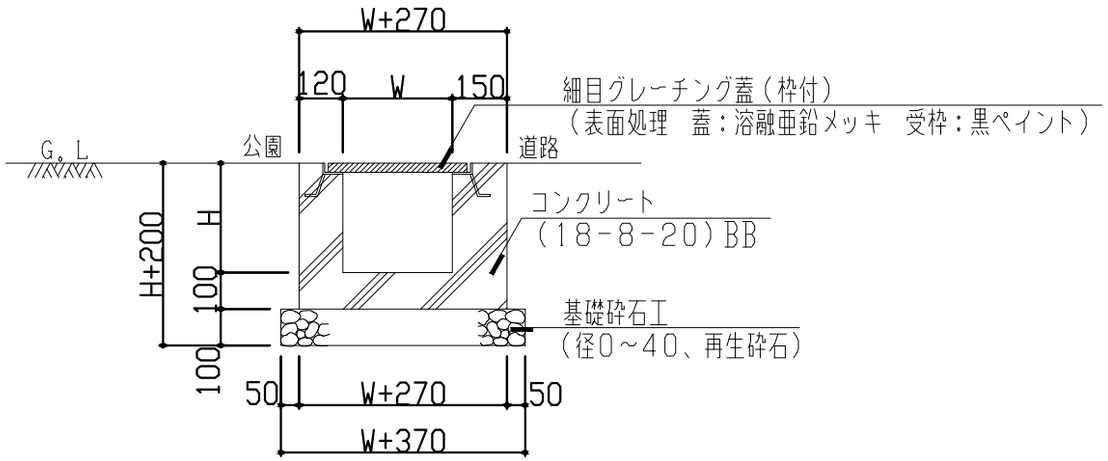
U型側溝（B）断面図　1：20



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
		U型側溝工（現場打）（A）（B）	S5065		29
			備　考		
			13年9月修正 28年10月修正 14年9月修正		

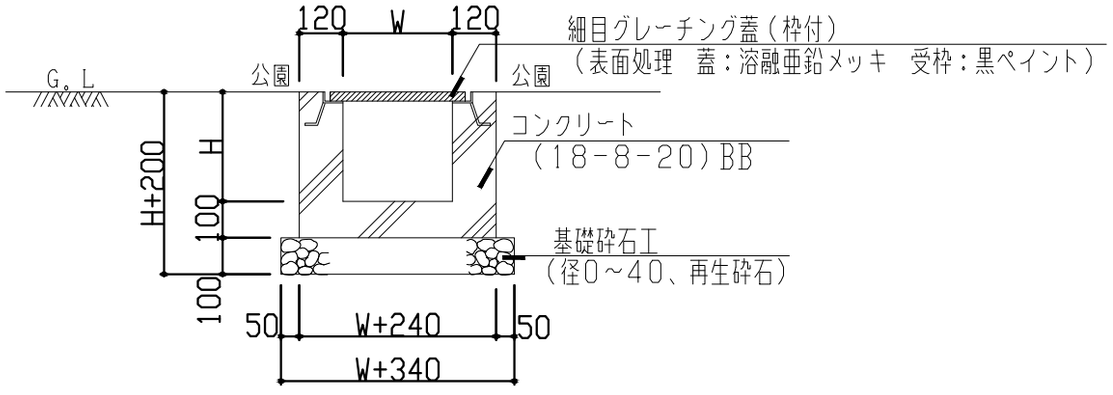
U型側溝(D)断面図　1:20



(1.0m当り)

	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
(D)	基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	W+0.37	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.1W+0.27H+0.027	
	型枠損料		m^2	4H+0.44	
	細目グレーチング	枠付	枚	1.0	設計書指示
	床堀		m^3	-	
	埋戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	
(E)	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	基礎砕石工	径0~40、t100	m^2	W+0.34	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.1W+0.24H+0.024	
	型枠損料		m^2	4H+0.44	
	細目グレーチング	枠付	枚	1.0	設計書指示
	床堀		m^3	-	
	埋戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	

U型側溝(E)断面図　1:20

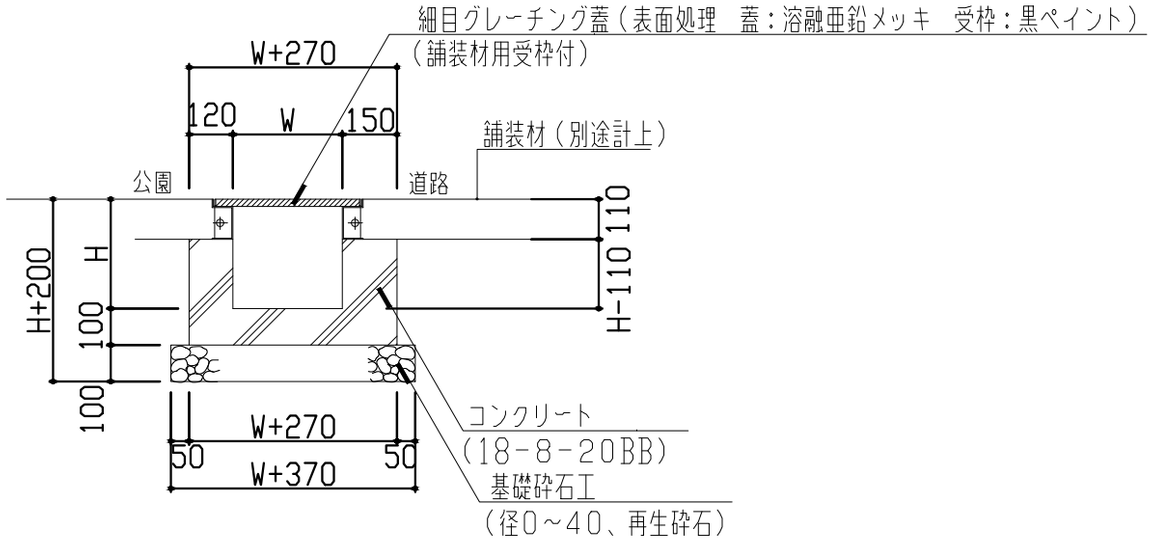


注)側溝深さは、150≦H≦600とする。
側溝幅は250、300、400、500の4種とする。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・グレーチング同士、必要に応じて連結させること。	U型側溝工(現場打)(D)(E)蓋付	S5065 備考 14年9月修正　25年10月修正 15年9月修正　27年10月修正 18年3月修正　28年10月修正		30

U型側溝（F）断面図　1：20

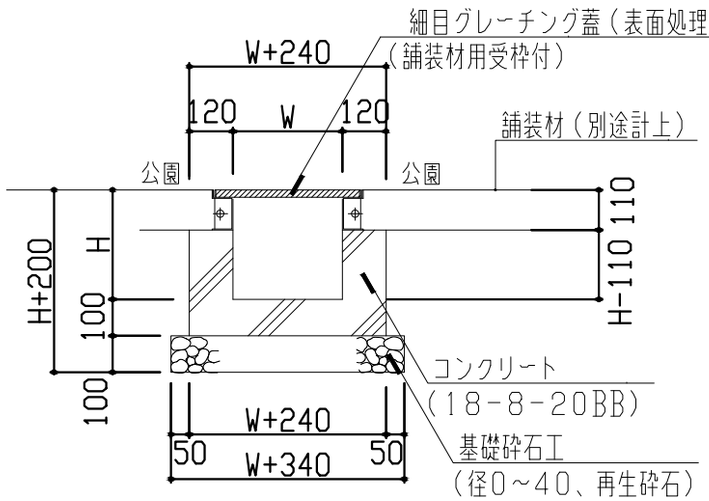


（1．0m当り）

	名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
（F）	基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	W+0．37	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．1W+0．27H-0．002	
	型枠損料		m^2	4H-0．04	
	細目グレーチング	舗装材用受枠付	枚	1．0	設計書指示
	床堀		m^3	－	
	埋戻		〃	－	
	残土処分		〃	－	

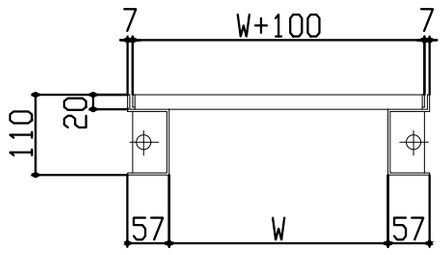
	名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
（G）	基礎砕石工	径0~40t100	m^2	W+0．34	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．1W+0．24H-0．002	
	型枠損料		m^2	4H-0．04	
	細目グレーチング	舗装材用受枠付	枚	1．0	設計書指示
	床堀		m^3	－	
	埋戻		〃	－	
	残土処分		〃	－	

U型側溝（G）断面図　1：20

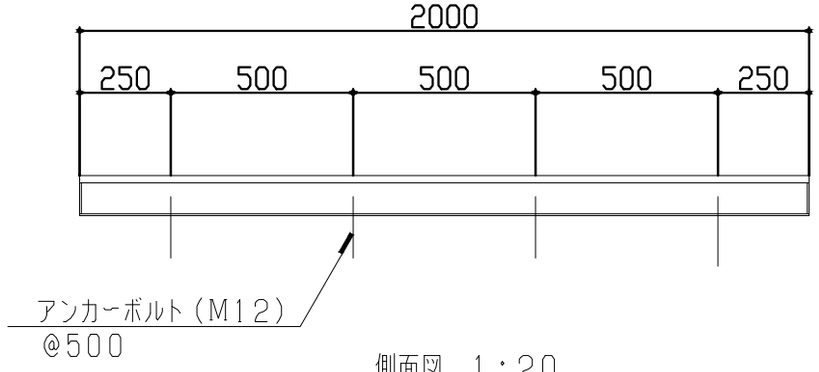


注）側溝深さは、150≦H≦600とする。
　　側溝幅は250、300、400、500の4種とする。

舗装材用受枠詳細図



断面図　1：10



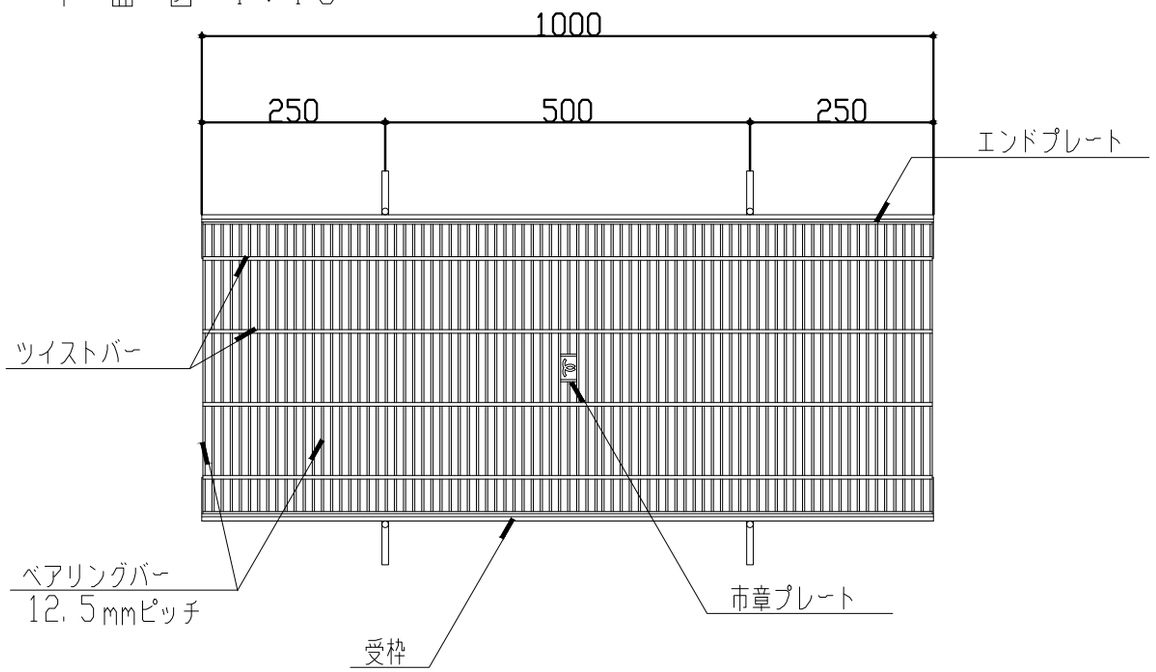
側面図　1：20

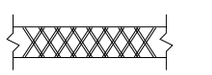
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・グレーチング同士、必要に応じて連結させること。 ・舗装材用受枠は、錆止塗装（1回塗り）とする。	U型側溝工（現場打）（F）（G）蓋付	S5065 備考 14年9月修正 25年10月修正 06年10月修正 15年9月修正 27年10月修正 18年3月修正 28年10月修正		30-2

B	W	
350	250	T-2用
400	300	
500	400	
600	500	
350	250	T-6用
400	300	
500	400	
600	500	

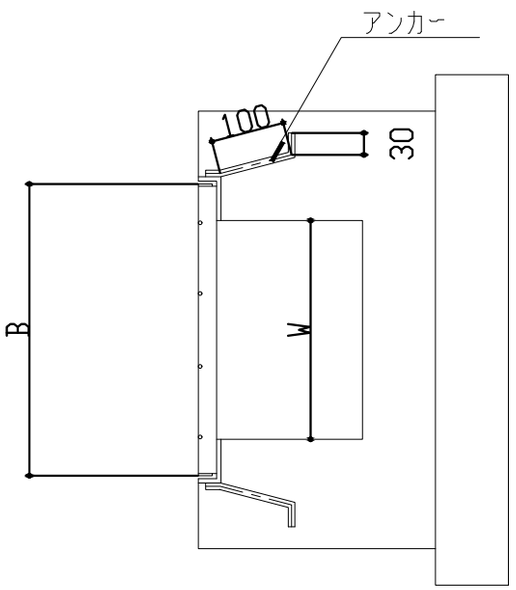
平 面 図 1:10

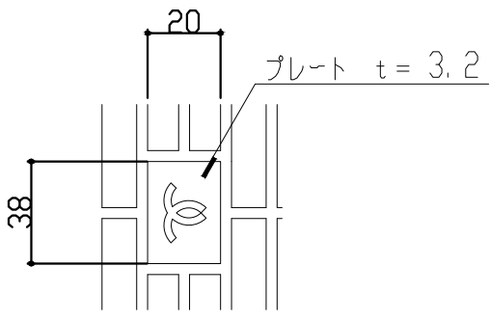




ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

断 面 図 1:10



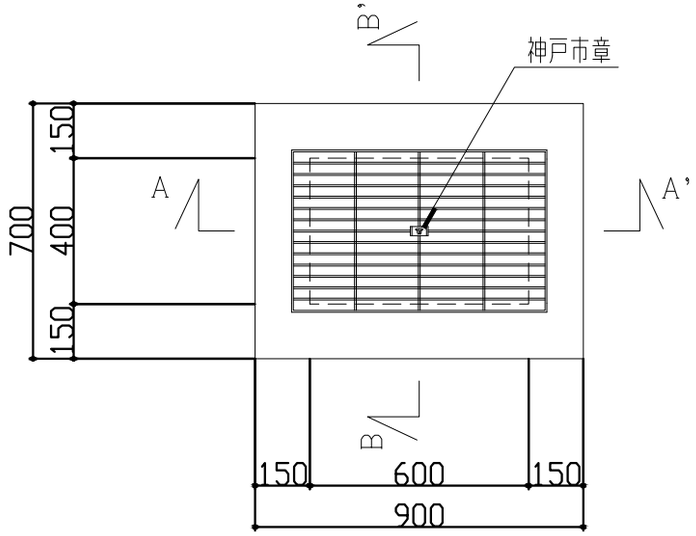


市章プレート

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・（F）（G）については、受枠を含まない。 ・表面はノンスリップタイプとする。	U型側溝工（現場打）（D）～（G） 細目グレーチング蓋	S5065 備考 6年7月修正 25年10月修正 24年10月修正 27年10月修正		31

平　面　図　1：20

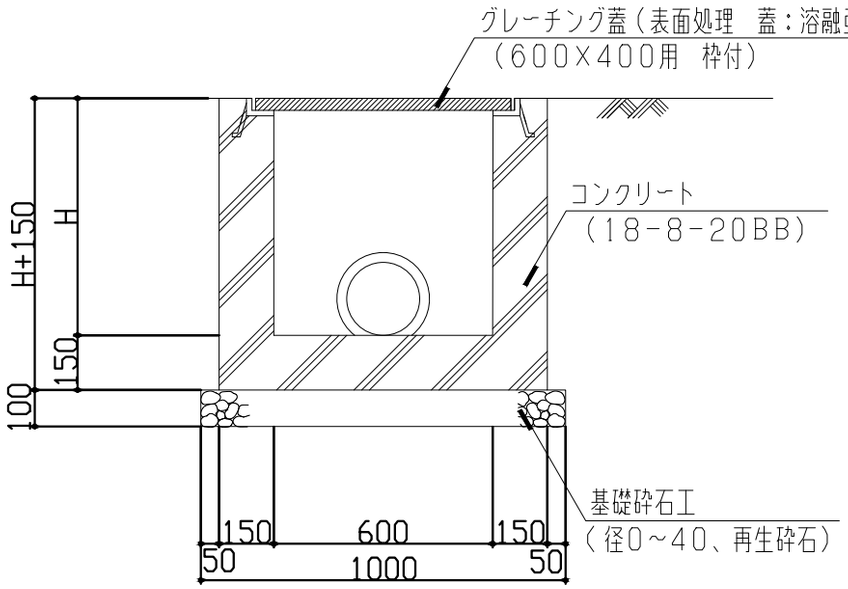


（1．0基当り）

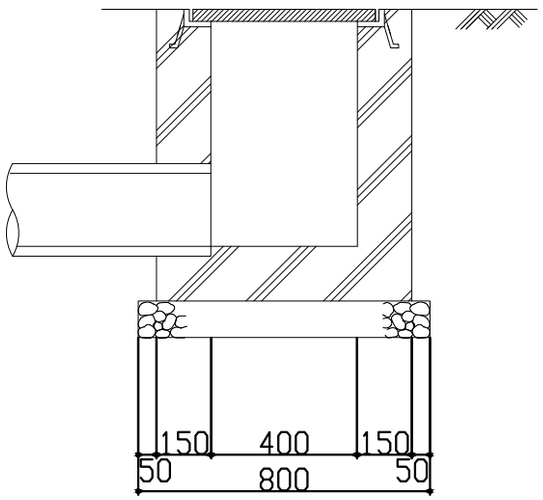
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．8	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．39H+0．094	
型枠損料		m^2	5．2H+0．78	
グレーチング蓋	600×400用　枠付	枚	1．0	設計書指示
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

使用範囲　　H＝0．6～1．2m

A－A'　断面図　1：20



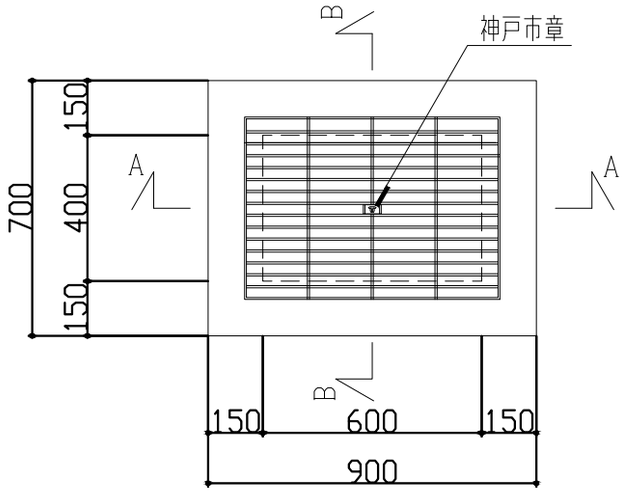
B－B'　断面図　1：20



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。	集　水　桝　工　（A）	S5085 備　考 13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正		32-1

平 面 図 1:20

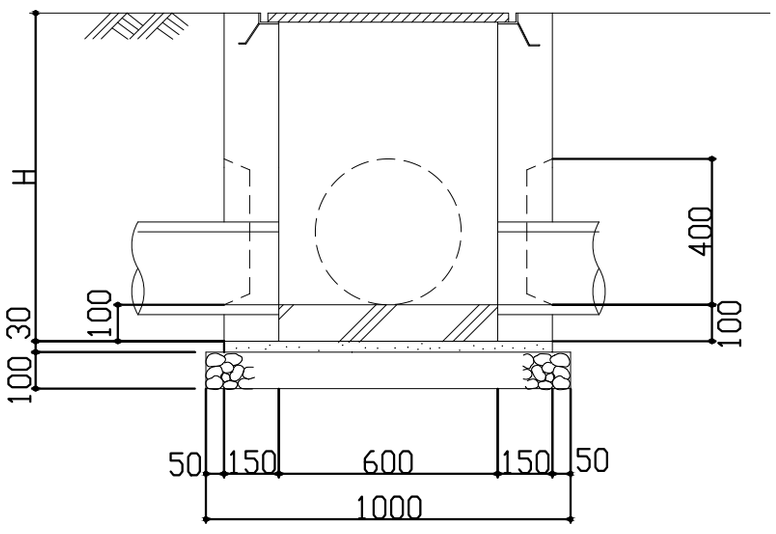


（1．0基当り）

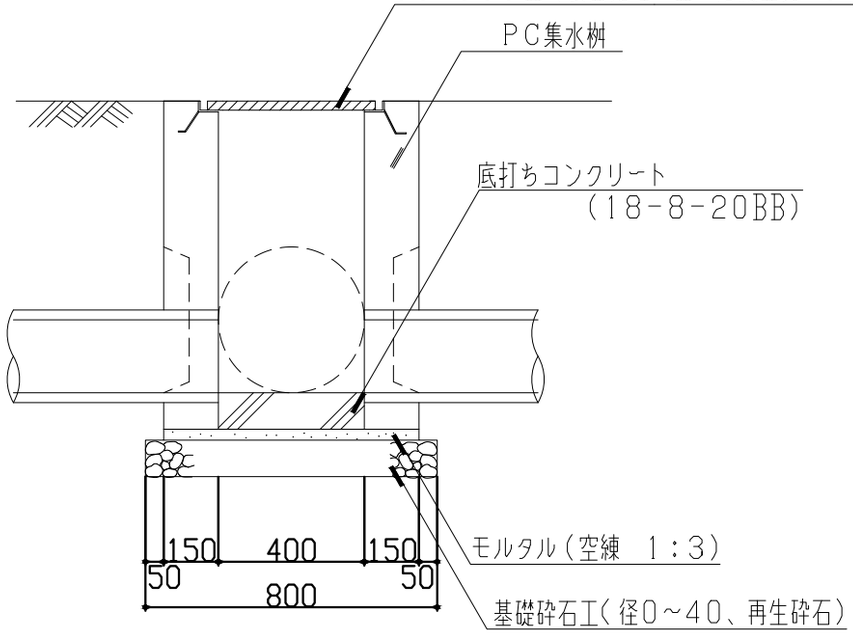
名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
本体		個	1．0	1．0	1．0	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．02	0．02	0．02	
モルタル	空練 1:3	〃	0．01	0．01	0．01	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．8	0．8	0．8	再生砕石
グレーチング		枚	1．0	1．0	1．0	設計書指示
床堀		m^3	−	−	−	
埋戻		〃	−	−	−	
残土処分		〃	−	−	−	

H=600、900、1，200とする。

A−A’ 断面図 1:20



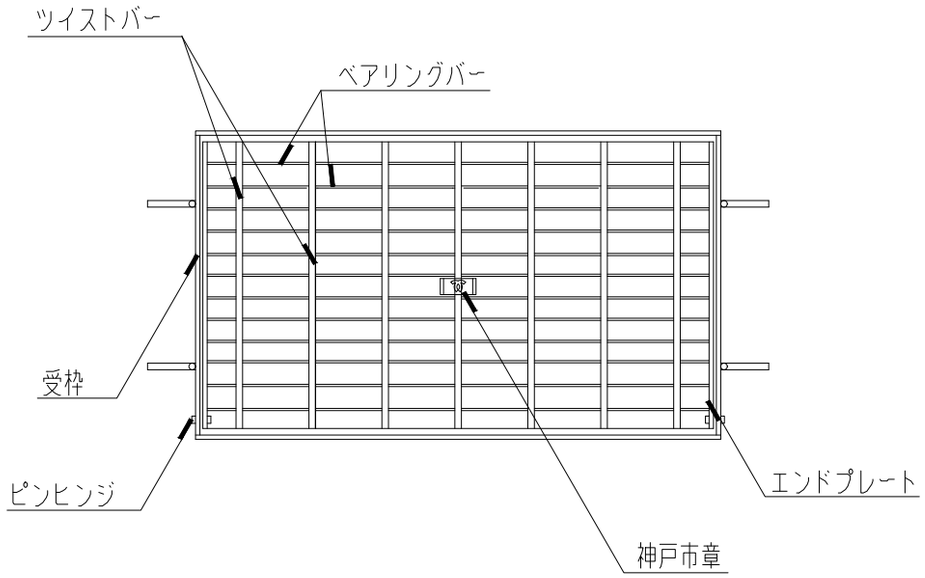
B−B’ 断面図 1:20



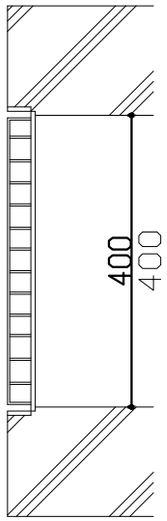
令和8年10月改定

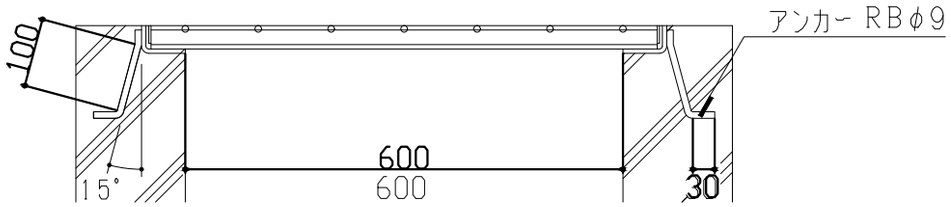
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。	集水桝工（A）−2	CB222800 備考 13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正		32-2

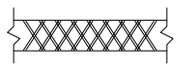
平 面 図 1:10



断 面 図 1:10







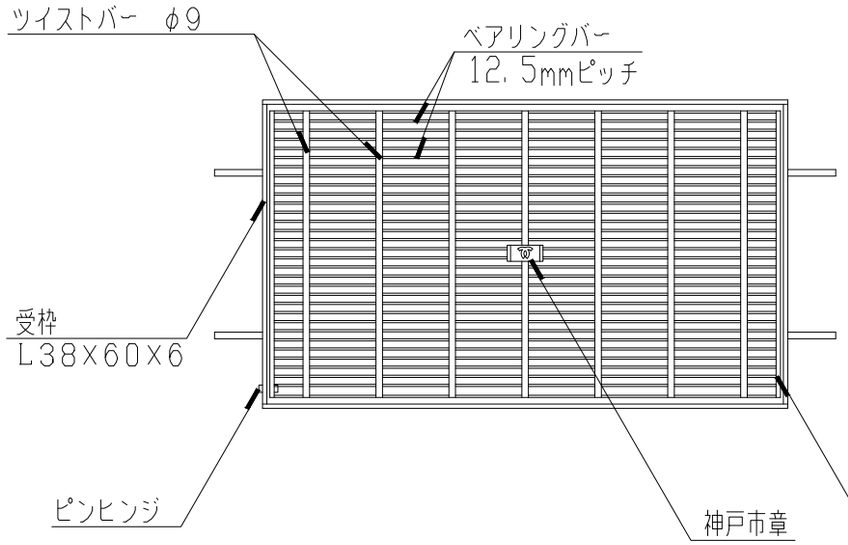
ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

表面処理　蓋　：溶融亜鉛メッキ
　　受枠：黒ペイント

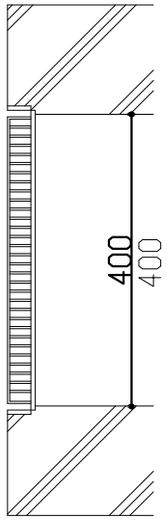
令和8年10月改定

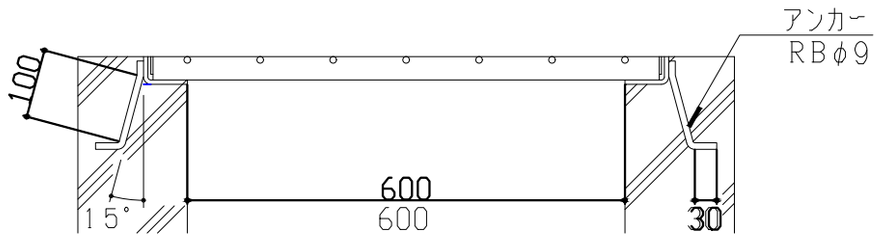
神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。 ・蓋の開閉角度は１１０度とすること。	集水桝工（Ａ） （グレーチング蓋）	S5085 CB222800 備　考 6年7月修正 27年10月修正 25年10月修正		33-1

平 面 図 1:10

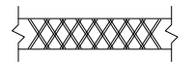


断 面 図 1:10





表面処理　蓋　：溶融亜鉛メッキ
受枠：黒ペイント

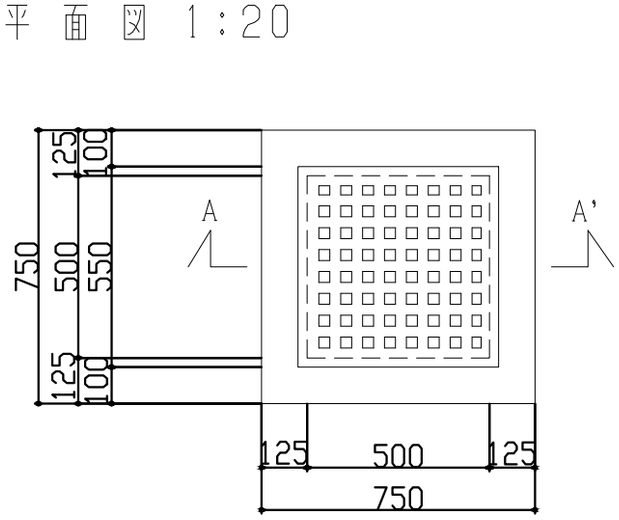


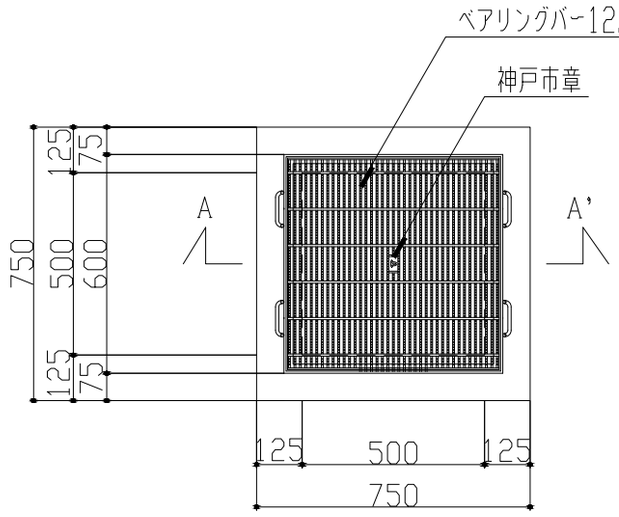
ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。 ・蓋の開閉角度は110度とすること。	集水桝工（A） （細目グレーチング蓋）	S5085 CB222800 備　考 6年7月修正 25年10月修正 14年9月修正 27年10月修正		33-2

平 面 図 1:20



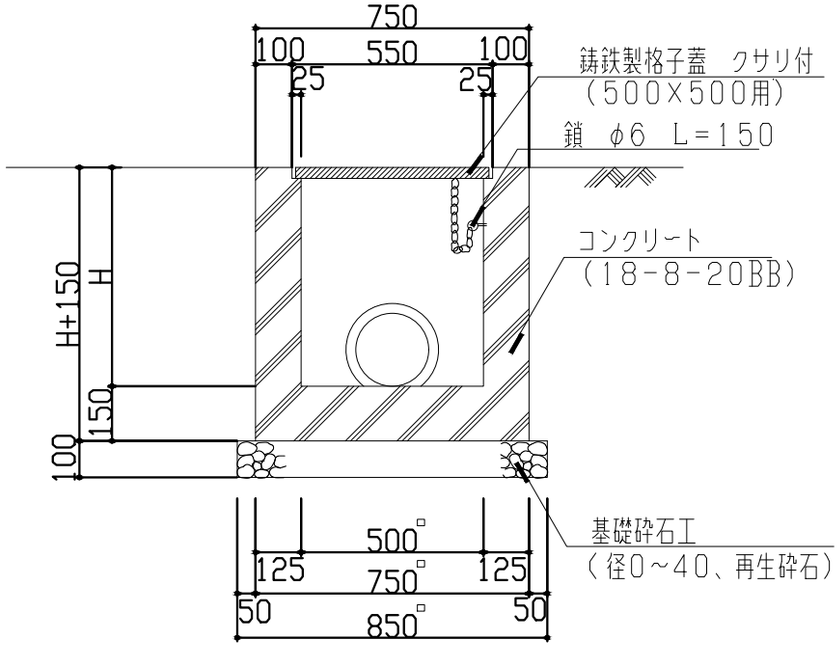


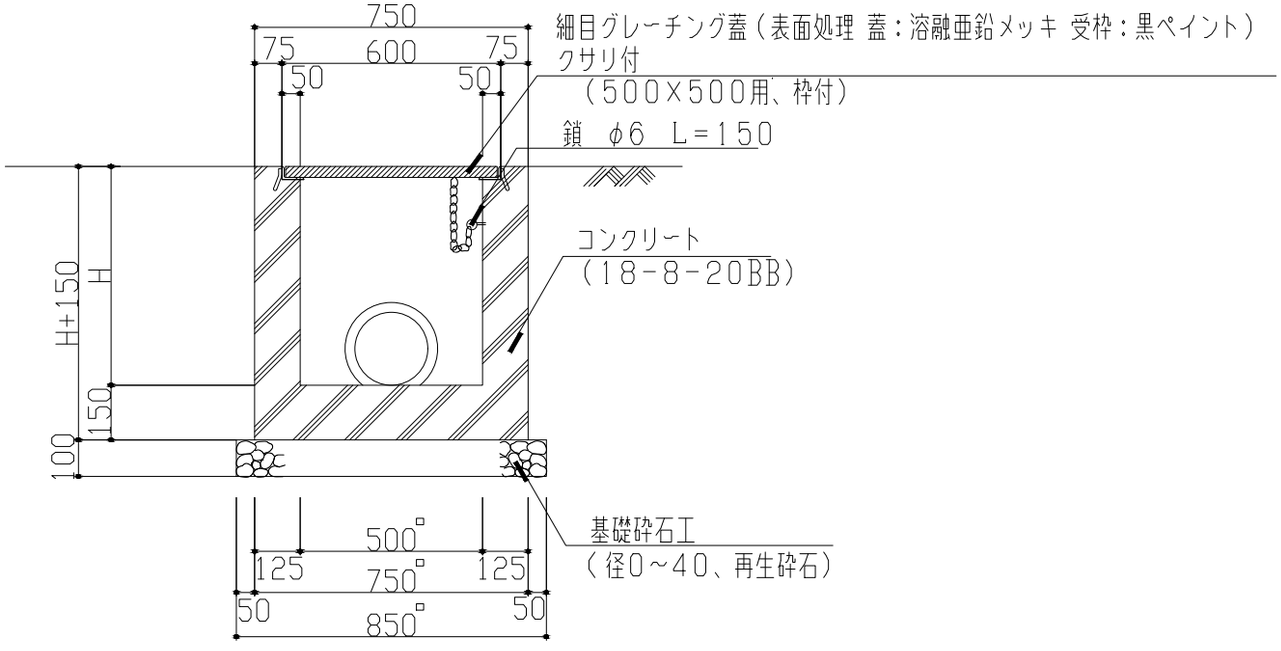
（1.0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0.7	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.312H+0.084	
型枠損料		m^2	5H+0.75	
鋳鉄製格子蓋、スチール製縞目格子蓋	500X500用	枚	1.0	
床堀		m^3	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

使用範囲　H=0.6~1.2m

A-A' 断面詳細図 1:20

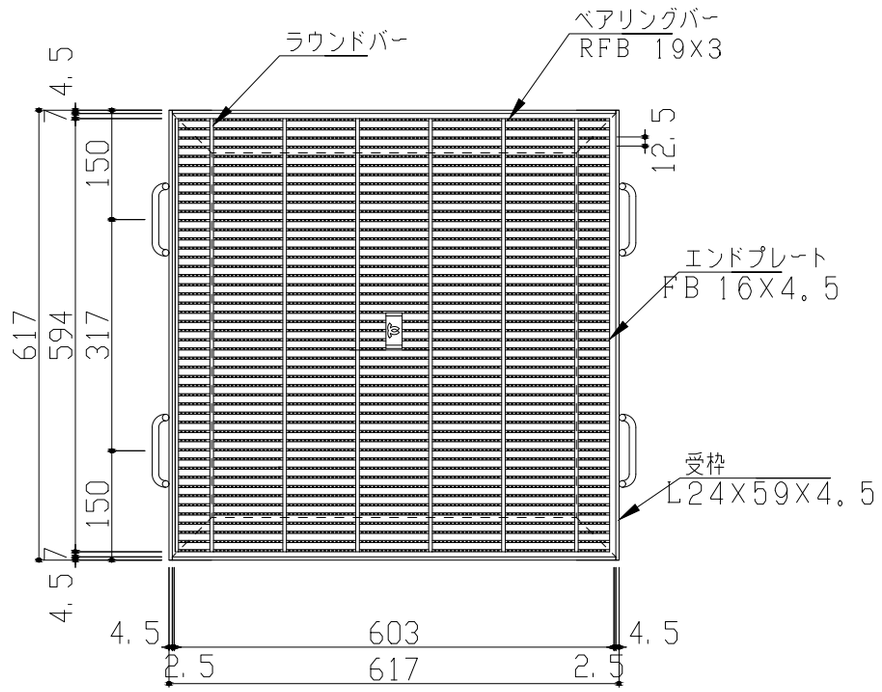




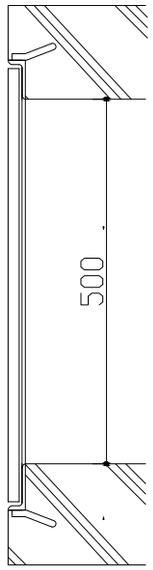
令和8年10月改定

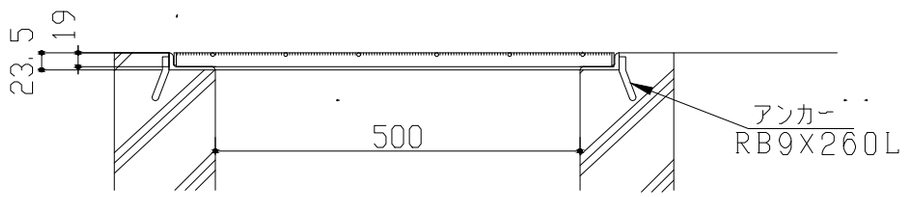
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。 ・表面はノンスリップタイプとする。	集水桝工（B）	S5085 備考 13年9月修正 21年10月追加 14年9月修正 25年10月修正		34-1

平 面 図 1:10

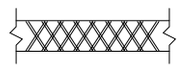


断 面 図 1:10





表面処理　蓋　：溶融亜鉛メッキ
　　受枠：黒ペイント

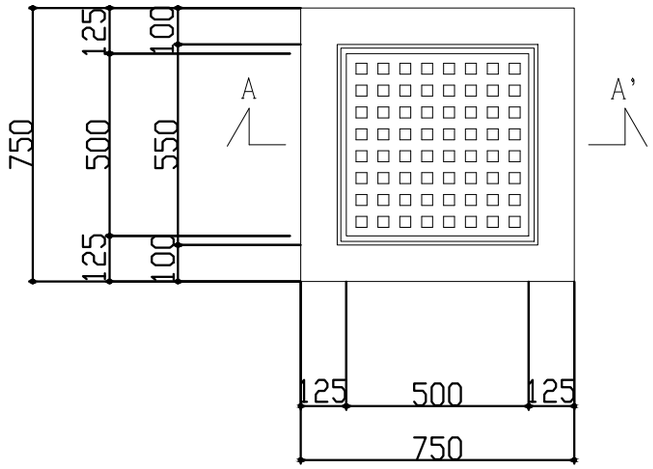


ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

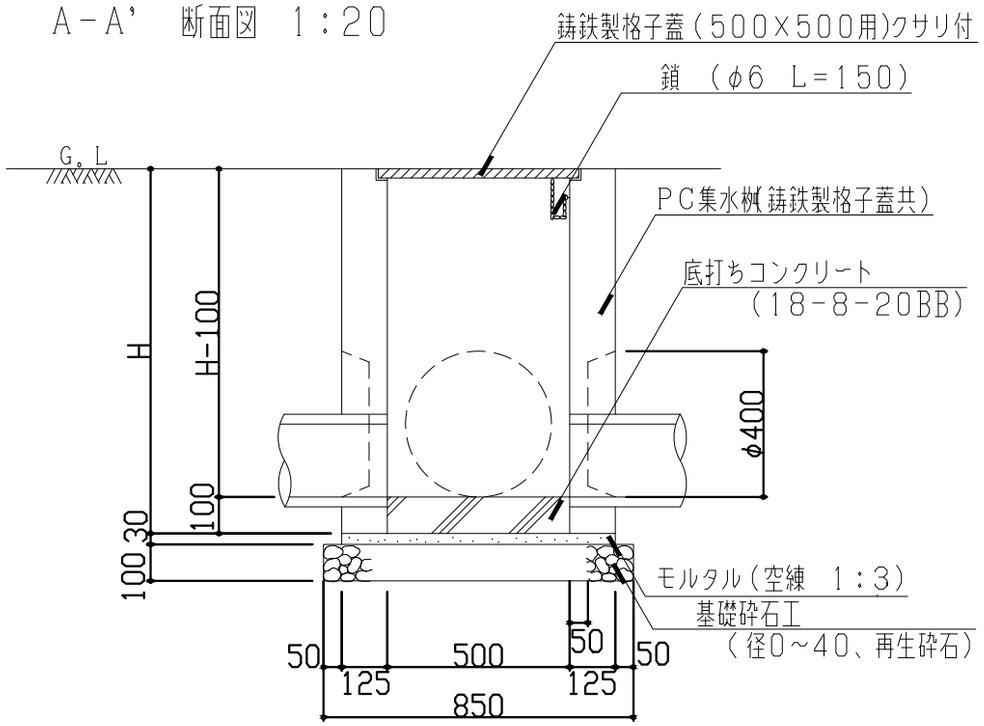
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。	集水桝工（B） （細目グレーチング蓋）	S5085 CB222800 備　考 6年 7月修正 25年10月修正 21年10月修正		34-2

平 面 図 1:20



A－A' 断面図 1:20



(1.0基当り)

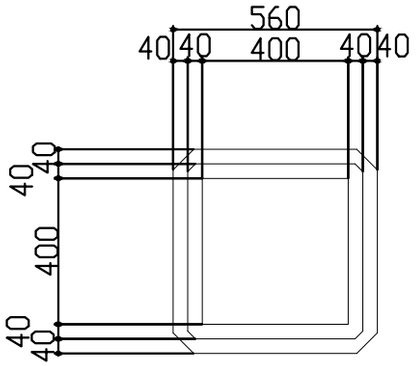
名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
本体		個	1.0	1.0	1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.02	0.02	0.02	
モルタル	空練 1:3	〃	0.01	0.01	0.01	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0.7	0.7	0.7	再生砕石
鋳鉄製格子蓋		枚	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床堀		m^3	−	−	−	
埋戻		〃	−	−	−	
残土処分		〃	−	−	−	

H=600、900、1,200とする。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	集水桝工(B)-2	CB222800 備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正		34-3

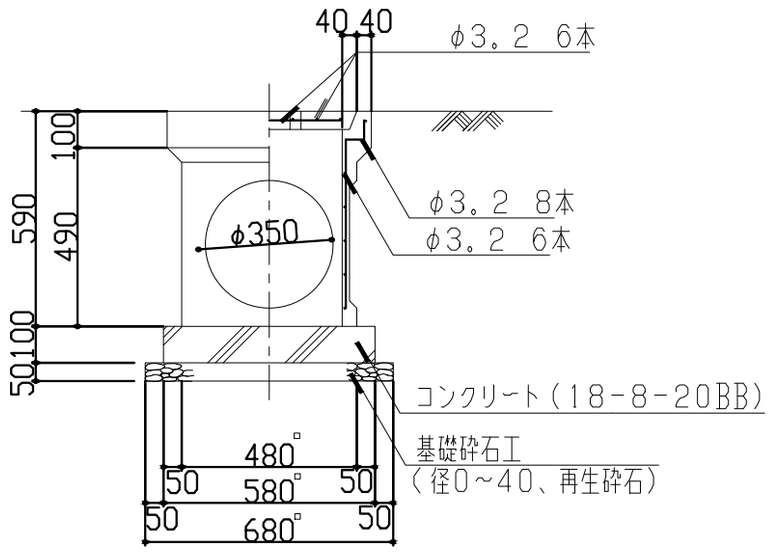
平 面 図 1:20



（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．4	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．03	
型枠損料		m^2	0．2	
会所桝		基	1．0	
蓋	400□用	枚	1．0	設計書指示
床堀		m^3	−	
埋戻		〃	−	
残土処分		〃	−	

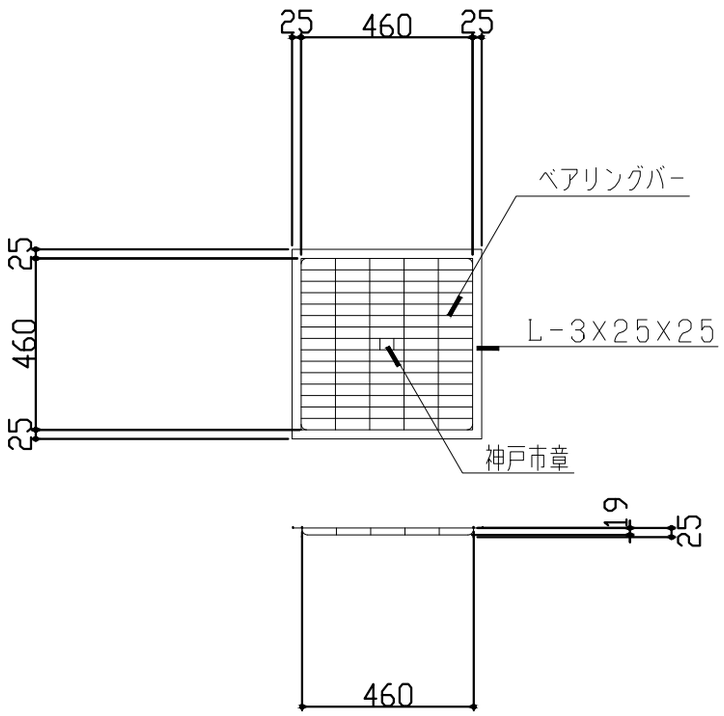
立 面 図 1:20



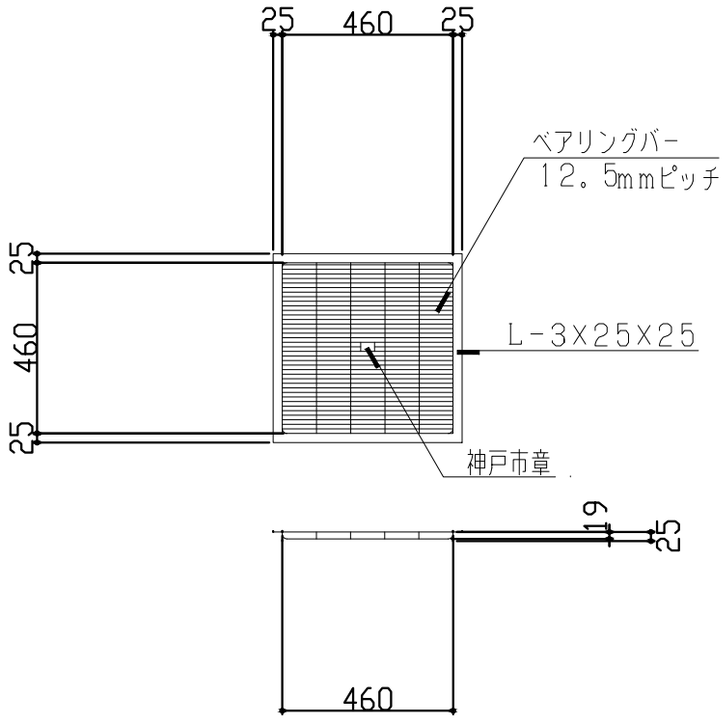
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
		集水桝工（C）	CB222800 備考 13年9月修正 14年9月修正		35-1

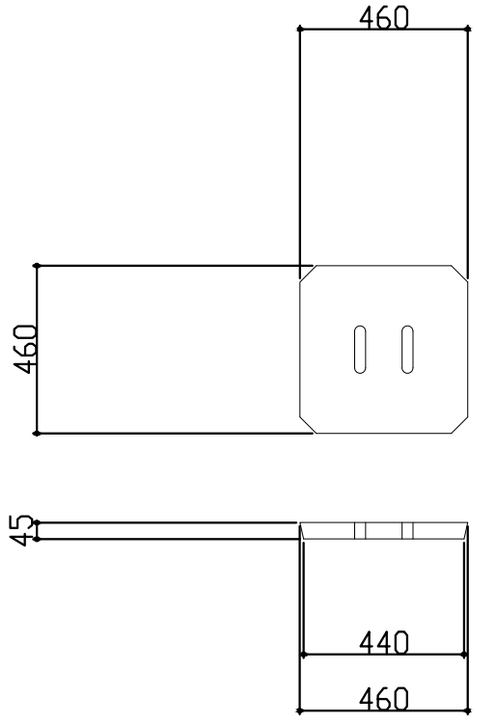
グレーチング蓋詳細図　1：20



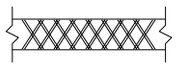
細目グレーチング蓋詳細図　1：20



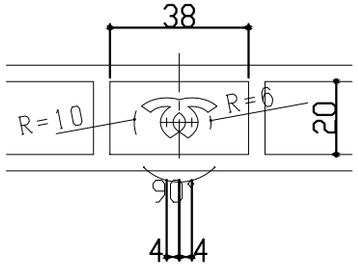
コンクリート蓋詳細図　1：20



グレーチング蓋　表面処理
溶融亜鉛メッキ



ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

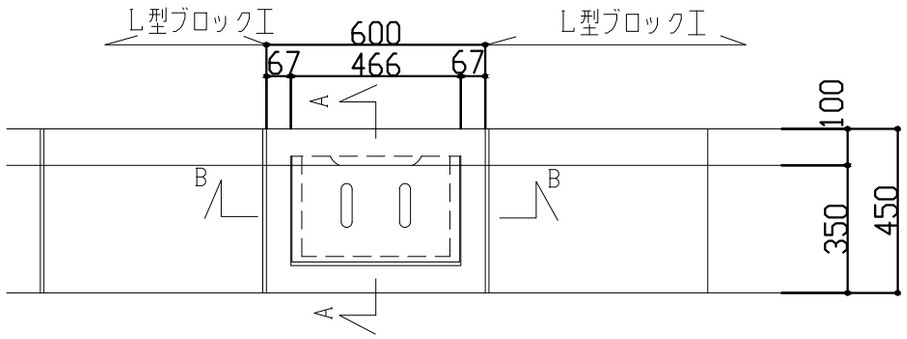


市章プレート

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。	集水桝工（C） （桝蓋）	CB222800 備　考 6年7月修正 25年10月修正 14年9月修正 27年10月修正		35-2

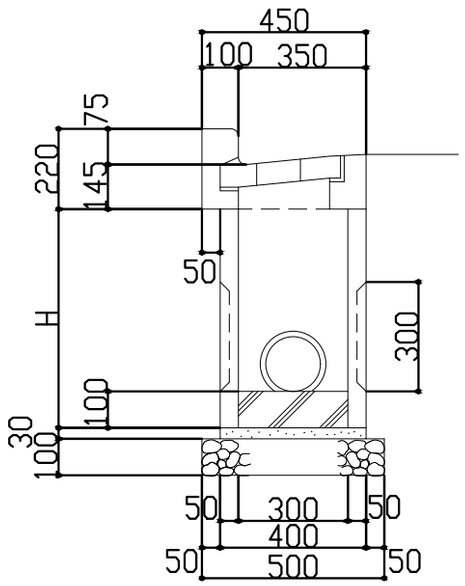
平 面 図 1:20



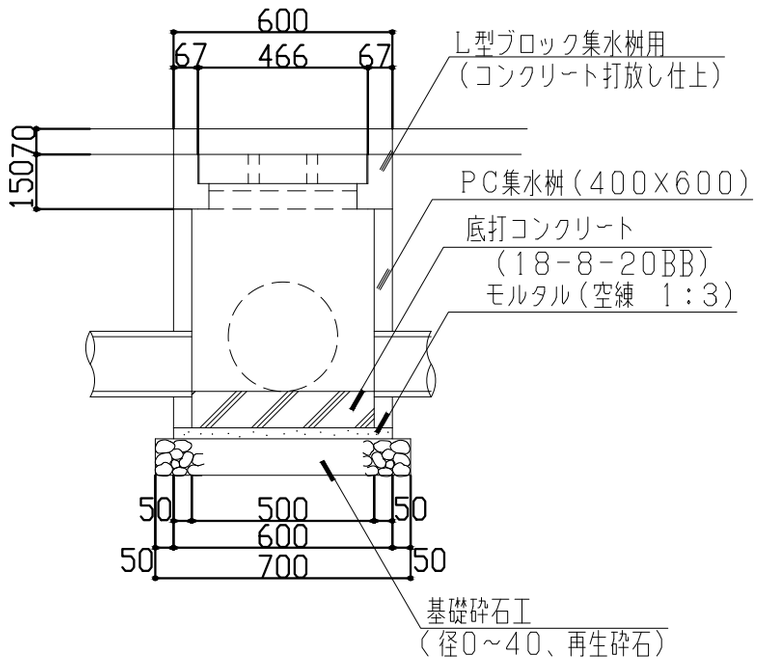
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			H=600	H=900	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．3	0．3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．01	0．01	
モルタル	空練 1:3	〃	0．007	0．007	
集水桝		基	1．0	1．0	
L型ブロック	穴付き	個	1．0	1．0	
床堀		m^3	－	－	
埋戻		〃	－	－	
残土処分		〃	－	－	

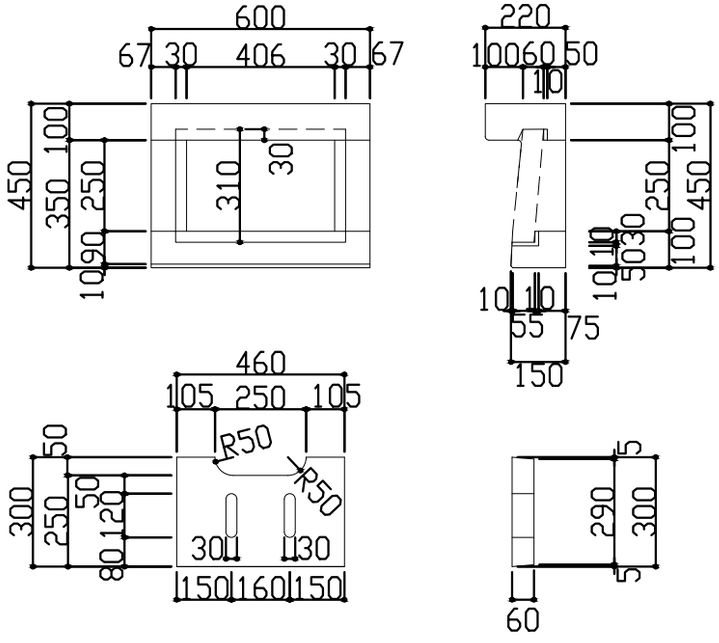
A－A断面図 1:20



B－B断面図 1:20



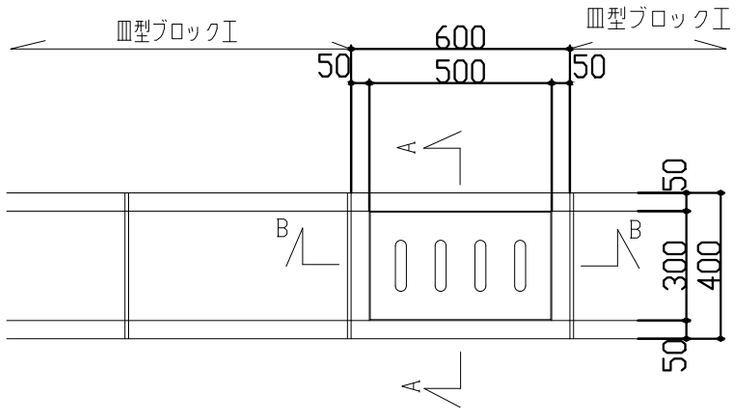
L型ブロック集水桝蓋詳細図 1:20



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	集水桝工（E）	CB222800 備考 13年9月追加 05年10月修正 14年9月修正		37-3

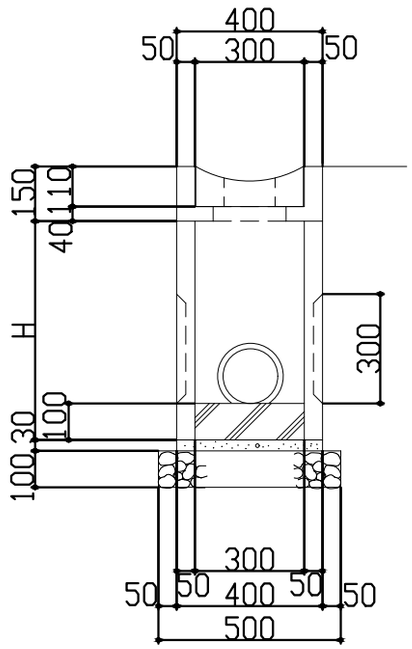
平 面 図 1:20



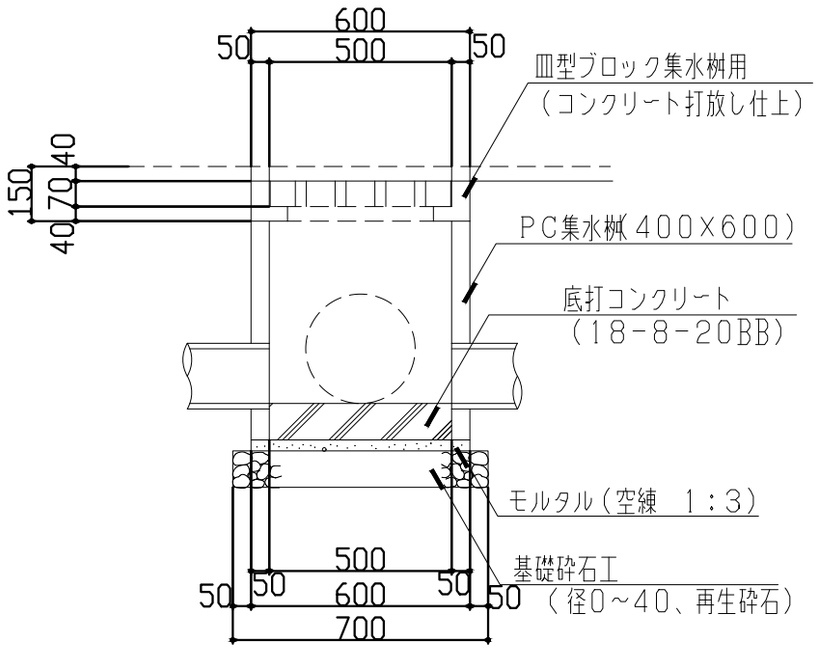
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			H=600	H=900	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．3	0．3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．01	0．01	
モルタル	空練 1:3	〃	0．007	0．007	
集水桝		基	1．0	1．0	
皿型ブロック	穴付き	個	1．0	1．0	
床堀		m^3	−	−	
埋戻		〃	−	−	
残土処分		〃	−	−	

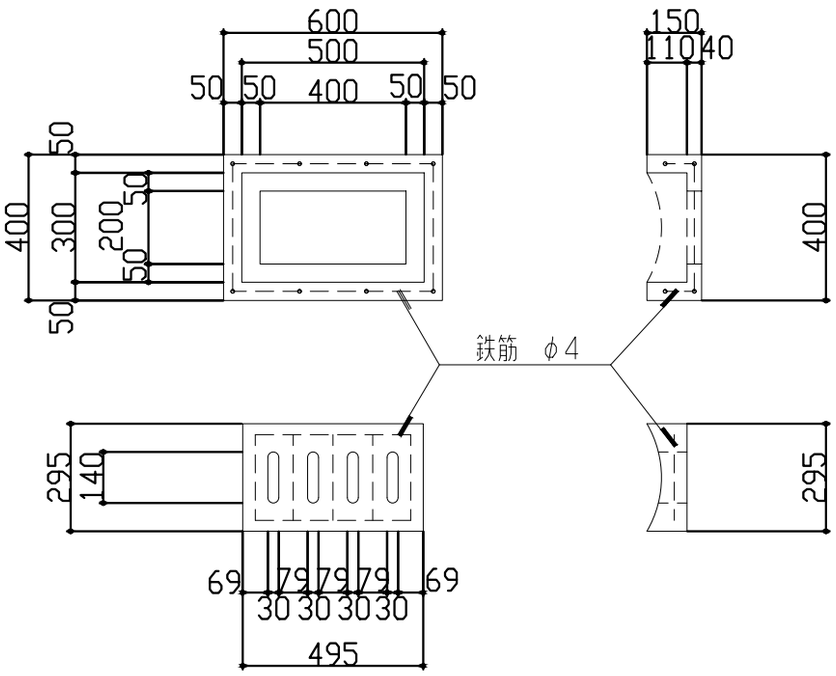
A−A断面図 1:20



B−B断面図 1:20



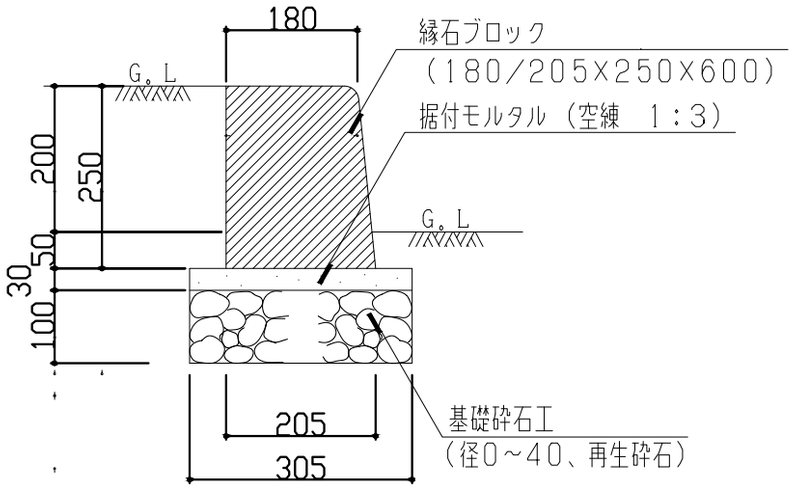
詳細図 1:20



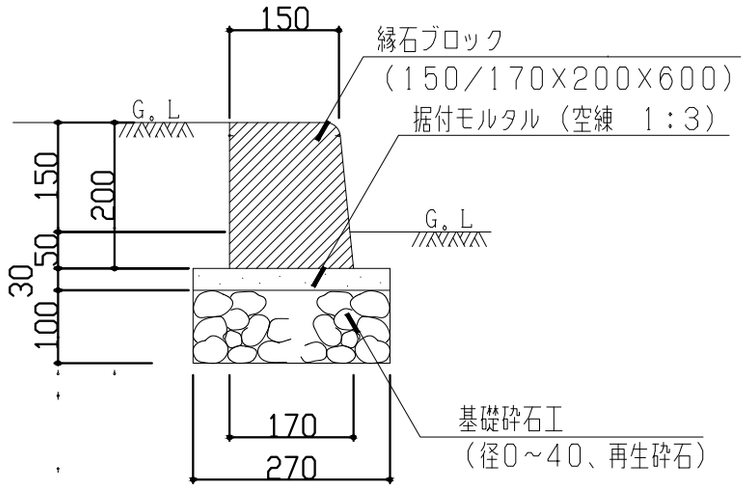
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	集水桝工（F）	CB222800 備考 13年9月修正 14年9月修正		37-4

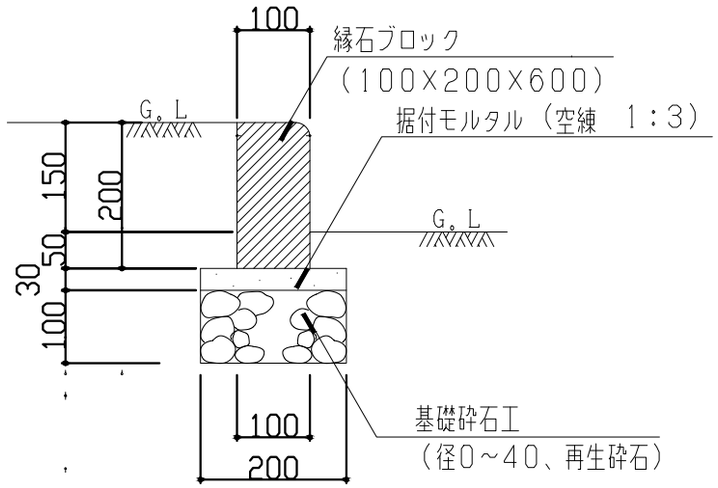
縁石ブロック工（A） 1：10



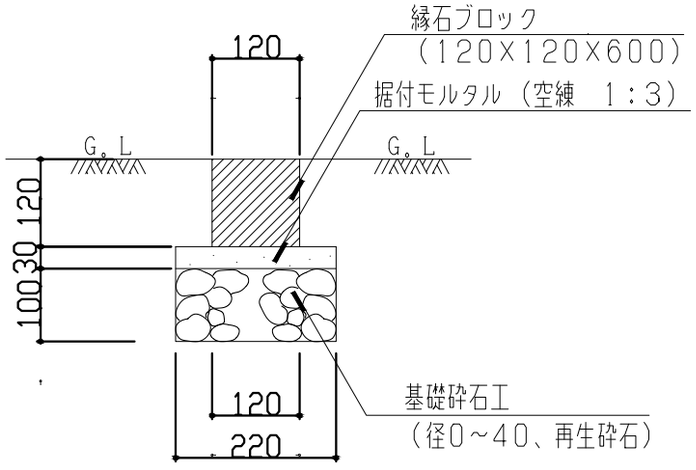
縁石ブロック工（B） 1：10



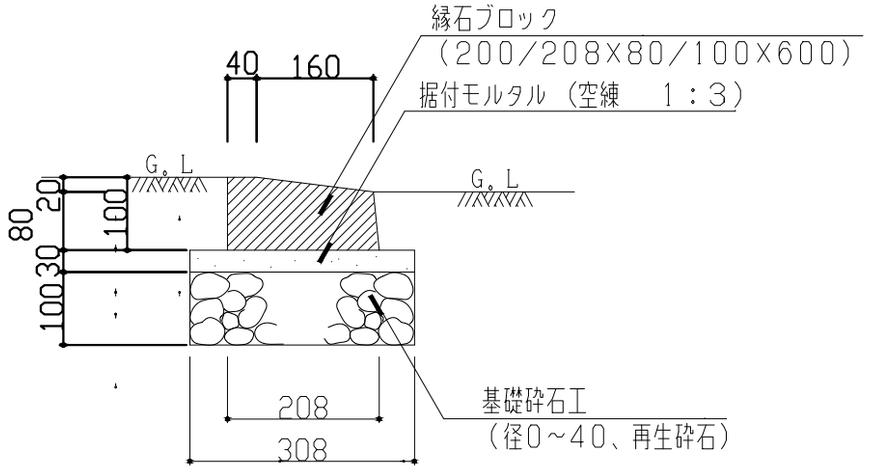
縁石ブロック工（C） 1：10



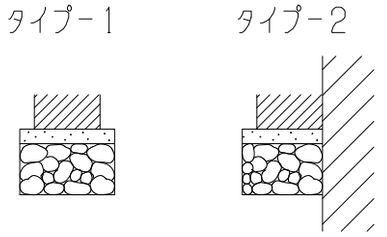
縁石ブロック工（D） 1：10



縁石ブロック工（F） 1：10



基礎工



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル（1：2）使用とする。 ・目地深さは係員指示とする。 ・輪荷重のかかる場合は別途検討すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・（A）、（B）、（C）、（D）、（F）は、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。	縁石ブロック工 （A），（B），（C），（D），（F）	CB422510 CB422520 備考 14年 9月修正 21年10月修正 15年10月修正 18年3月修正 25年10月修正		38

タイプ1　数　量　表

（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (A)	(B)	(C)	(D)	(F)	摘要
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m^2	0．305	0．270	0．200	0．220	0．308	
据付モルタル	空練り　1：3	m^3	0．009	0．008	0．006	0．006	0．009	
縁石ブロック		個	1．639	1．639	1．639	1．639	1．639	
床掘		m^3	−	−	−	−		
埋戻		〃	−	−	−	−		
残土処分		〃	−	−	−	−		

タイプ2　数　量　表

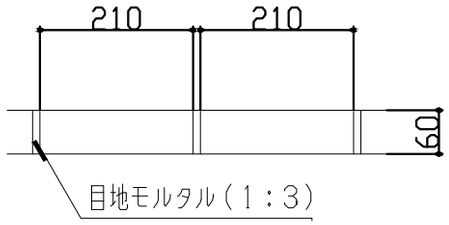
（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (A)	(B)	(C)	(D)	(F)	摘要
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m^2	0．25	0．22	0．15	0．17	0．25	
据付モルタル	空練り　1：3	m^3	0．007	0．006	0．004	0．005	0．007	
縁石ブロック		個	1．639	1．639	1．639	1．639	1．639	
床掘		m^3	−	−	−	−		
埋戻		〃	−	−	−	−		
残土処分		〃	−	−	−	−		

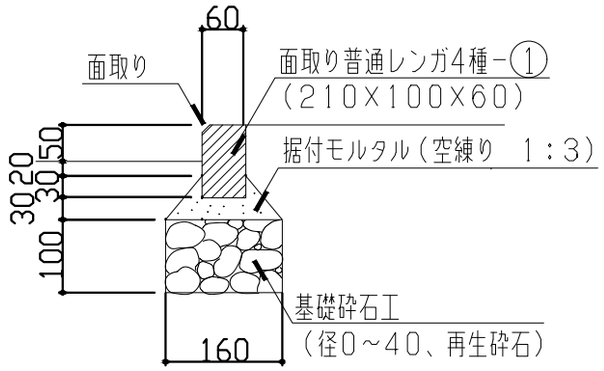
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	縁石ブロック工　数量表 (A)、(B)、(C)、(D)、(F)	CB422510 CB422520 備考 14年 9月修正 21年10月修正 15年10月修正 22年10月修正		39

レンガ縁石工（A）



平面図　1：10



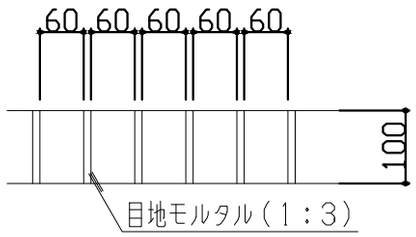
断面図　1：10

（10m当り）

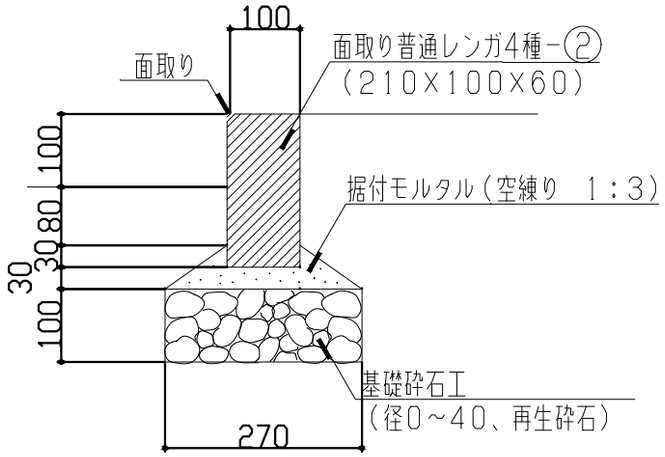
名称	形状寸法	単位	数量 (A)	数量 (B)	数量 (C)	数量 (D)	摘要
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m^2	1.6	2.7	3.1	2.3	
据付モルタル	1：3	m^3	0.048	0.081	0.093	0.069	
普通レンガ	4種 210X100X60	個				48.165	JIS R1250
面取り普通レンガ	4種 1面－①	〃	48.165			48.165	JIS R1250
面取り普通レンガ	4種 1面－②	〃		154.411	154.411		JIS R1250
目地モルタル	1：3	m^3	0.001	0.023	0.023	0.013	
床掘		m^3	－	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	－	

※レンガの個数にはロス率5％を含んでいる。

レンガ縁石工（B）

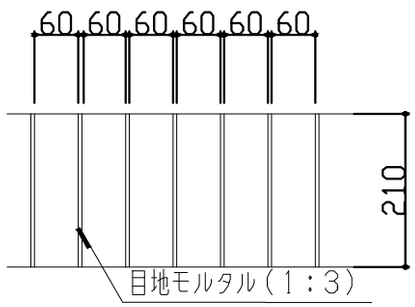


平面図　1：10

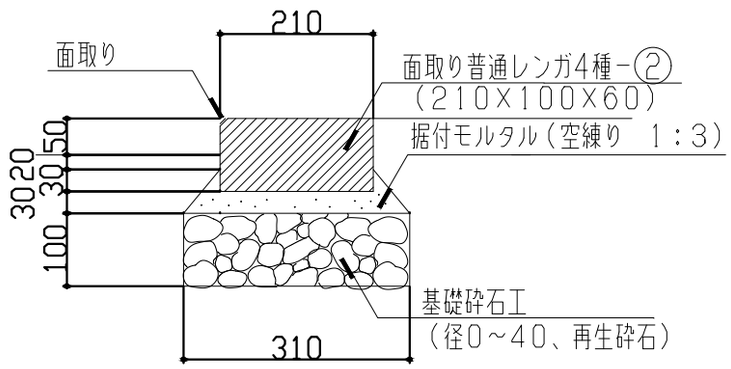


断面図　1：10

レンガ縁石工（C）

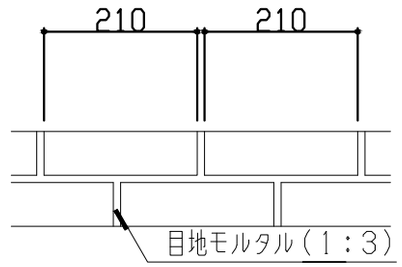


平面図　1：10

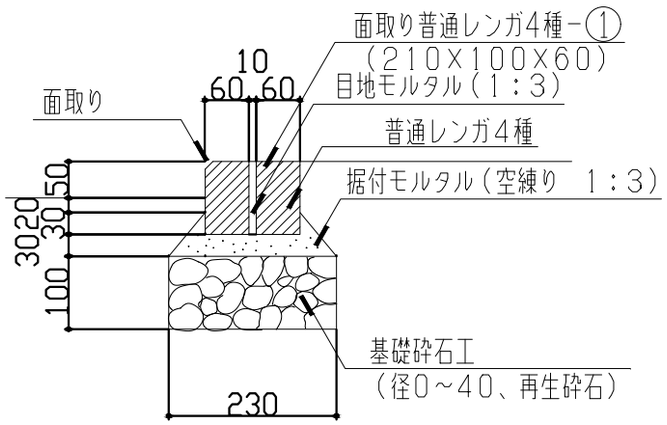


断面図　1：10

レンガ縁石工（D）



平面図　1：10

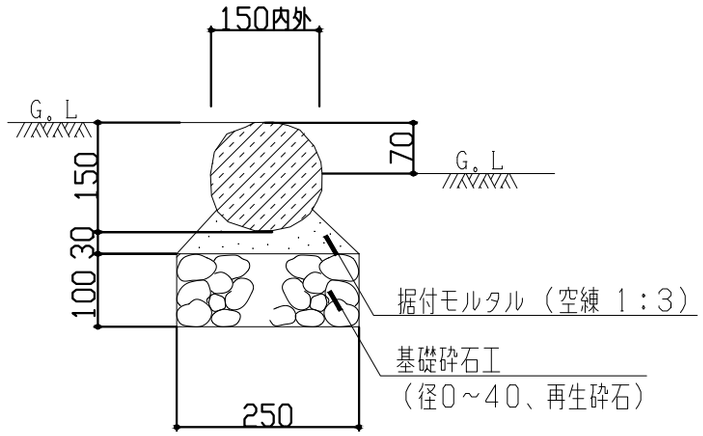


断面図　1：10

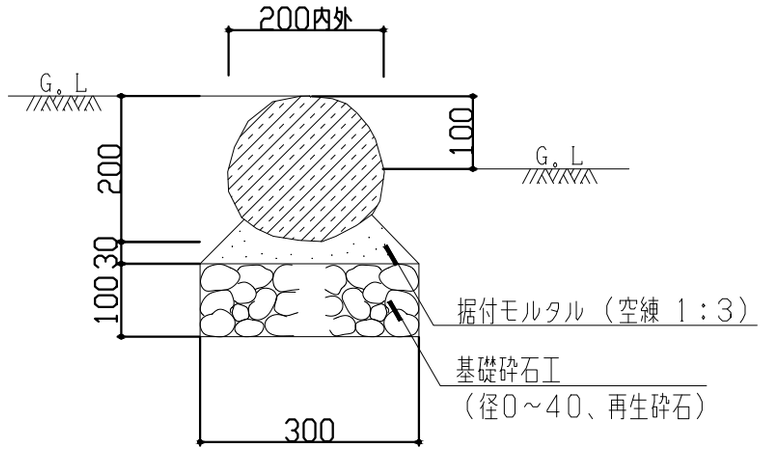
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地は巾8㎜を標準とし、モルタル（1：3）の使用とする。 ・目地深さは、係員指示とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	レンガ縁石工 （A），（B），（C），（D）	WB610360 備考 13年 9月修正　25年10月修正 14年 9月修正　05年10月修正 22年10月修正		41

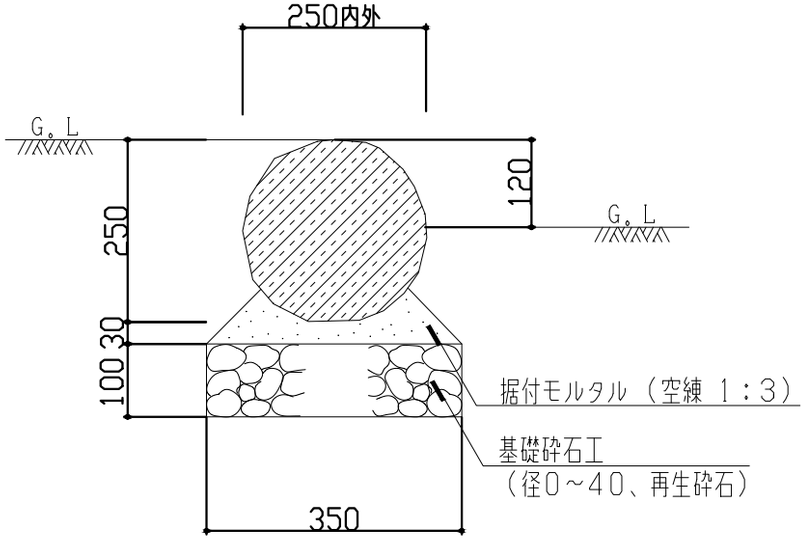
玉石縁石（径150級） 1：10



玉石縁石（径200級） 1：10



玉石縁石（径250級） 1：10



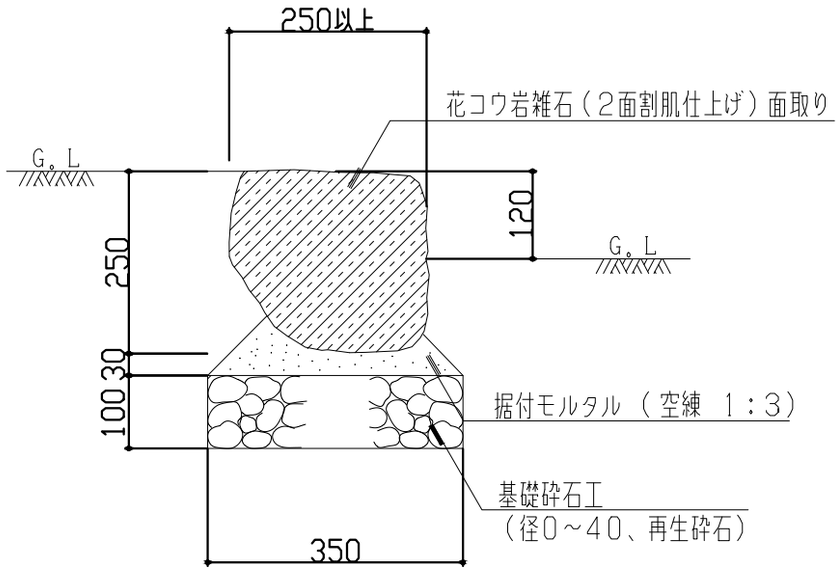
（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			花コウ岩系玉石			
			径150級	径200級	径250級	
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．25	0．30	0．35	
据付モルタル	空練 1：3	m^3	0．011	0．016	0．022	
自然石	玉石	個	6．6	5．0	4．0	
床掘		m^3	－	－	－	
埋戻		〃	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	

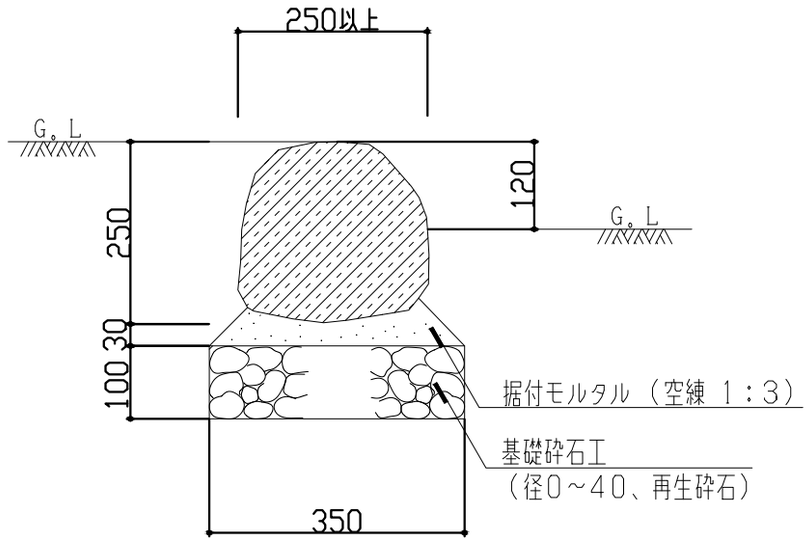
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地モルタル（1：3）を使用すること。 ・目地深さについては係員指示とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	石材縁石工	WC694300 備考 05年 7月修正 27年10月修正 14年 9月修正 05年10月修正 18年 3月修正		43－1

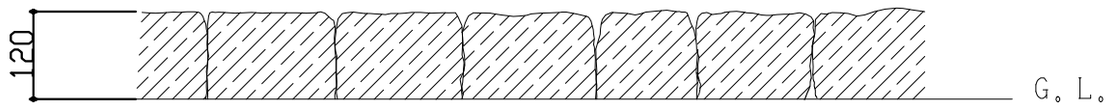
花コウ岩雑石縁石　1：10



丹波雑石縁石　1：10



正　面　図　1：10



注）メジは深メジとする。

（1。0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 雑石 控250以上	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0。35	
据付モルタル	空練　1：3	m^3	0。022	
自　然　石	雑　石	m	1。0	
床掘		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

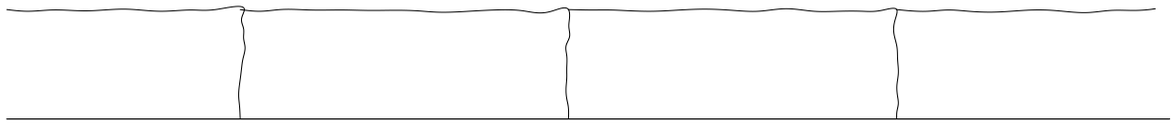
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	石材縁石工	WC694300 備考 13年9月修正　21年10月修正 14年9月修正　27年10月修正 18年3月修正		43-2

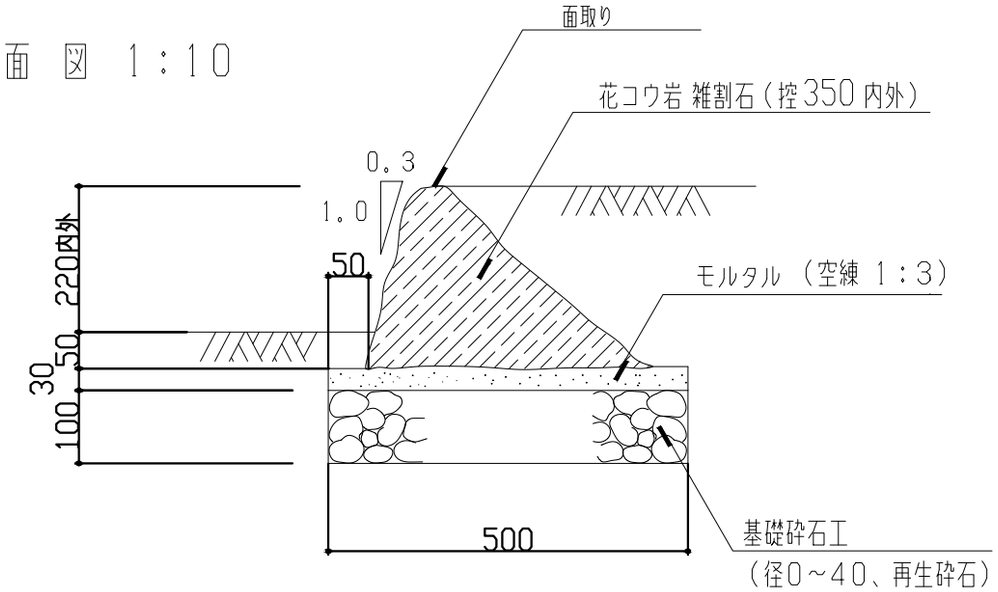
（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	再生砕石　径0~40　t100	m^2	0．5	
モルタル	空練　1：3	m^3	0．015	
雑割石	控350内外	個	3．0	
床堀		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

正　面　図　1：10



断　面　図　1：10

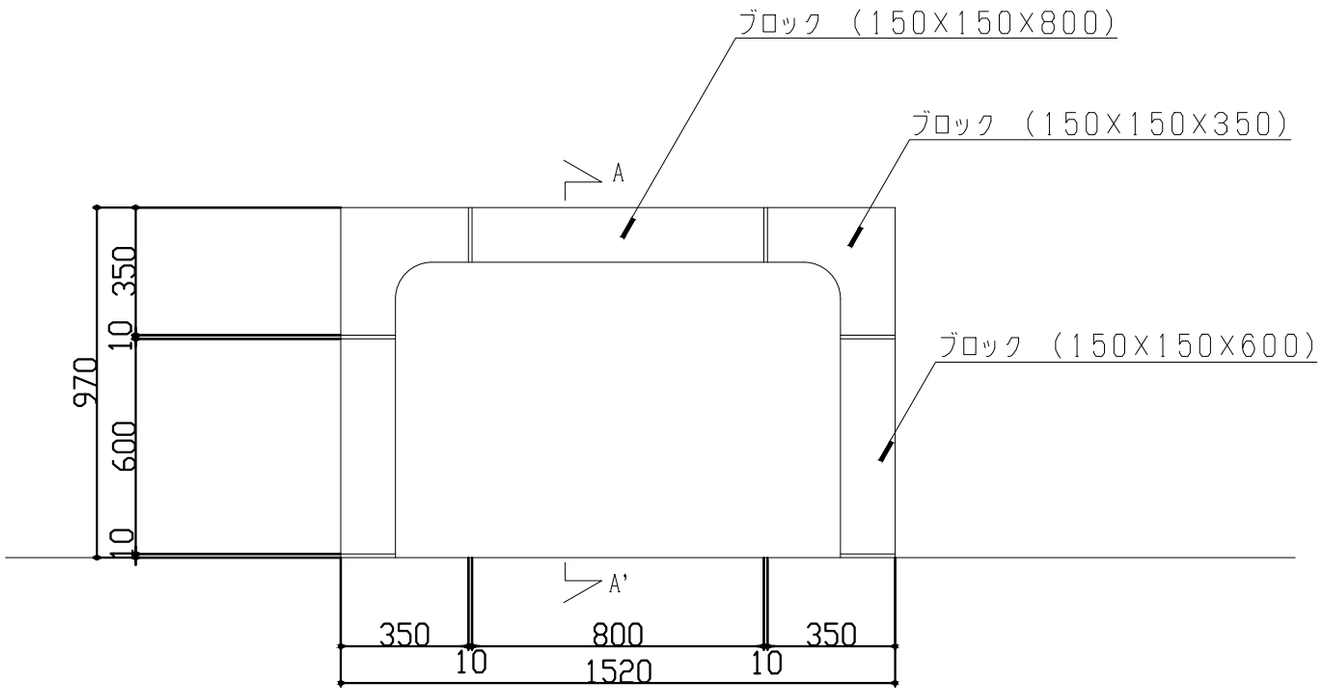


令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	石　材　縁　石　工	WC694300 備　考 13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正		43-3

平 面 図 1:20

（根囲いブロック神戸市A型）



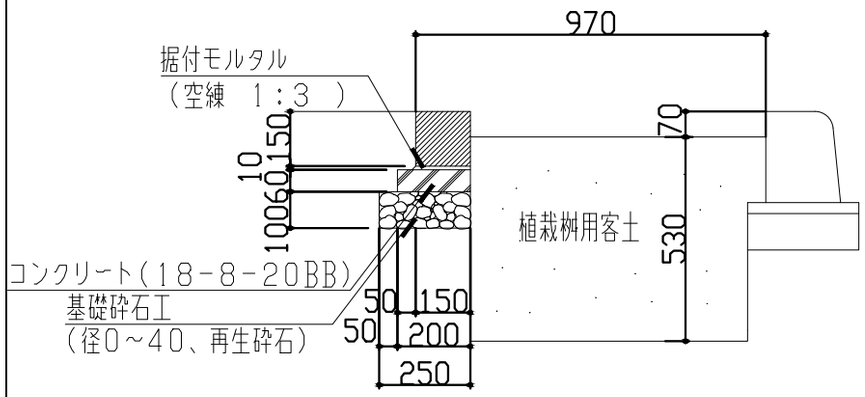
（1．0箇所当り）

名　称	形状寸法	単位	数量		摘　要
			タイプ-1	タイプ-2	
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m^2	0．79	0．63	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．037		
型枠損料		m^2	0．379	0．379	
据付モルタル	空練 1:3	m^3	0．004		
根囲いブロック	神戸市A型	箇所	1．0		
客　土		m^3	0．530	0．457	
床　堀		〃	−	−	
埋　戻		〃	−	−	
残土処分		〃	−	−	

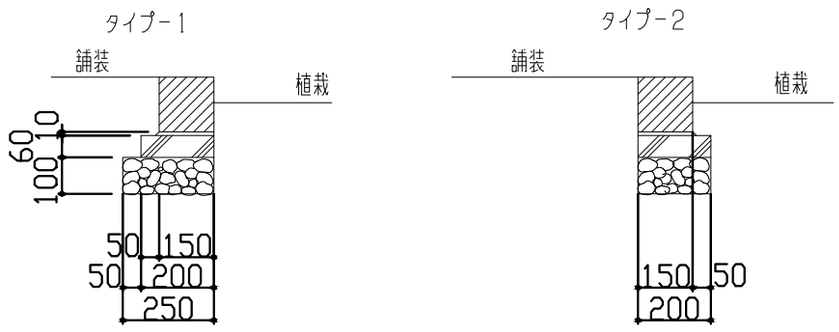
客 土 種 類

名　称	内　容
植栽桝用真砂土	（真砂土1．0m^3）/m^3
植栽桝用客土(A)	（バーク100kg、真砂土0．8m^3 ）/m^3
植栽桝用客土(B)	（真砂土0．7m^3、ピートモス100 ℓ、パーライト200 ℓ、熔成燐肥1kg）/m^3
植栽桝用客土(C)	（真砂土0．8m^3、パーライト200 ℓ）/m^3

A-A' 断面図 1:20



基礎工

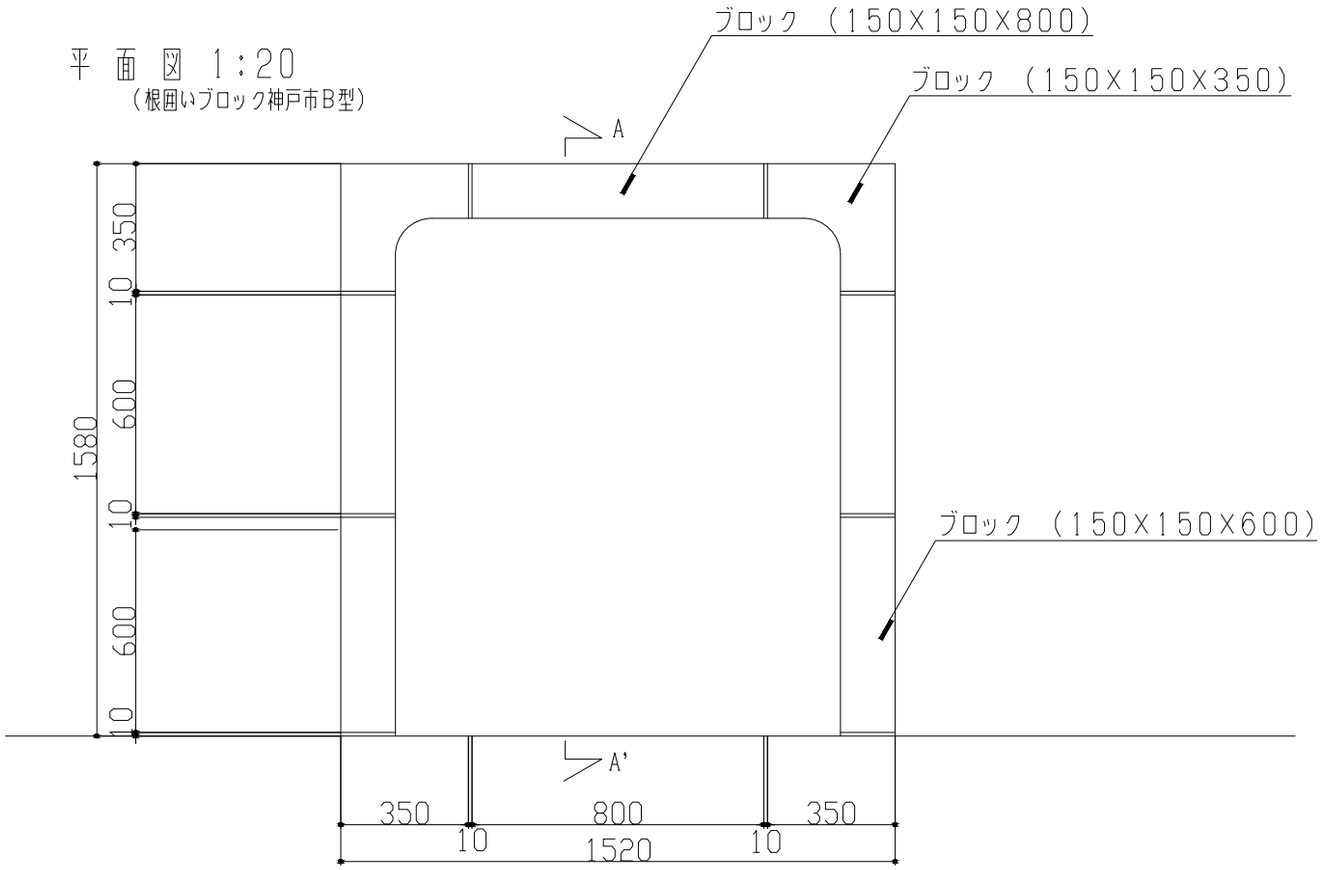


令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル（1：3）使用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・根囲いブロックは、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。	植　樹　桝　工（A）	備　考 13年 9月修正　25年10月修正 14年 9月修正　05年10月修正 18年 3月修正		44-1

平面図 1:20

（根囲いブロック神戸市B型）



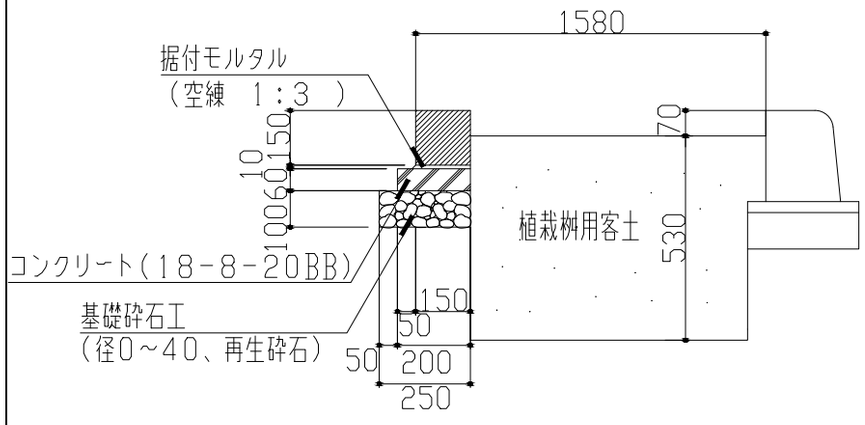
（1．0箇所当り）

名　称	形状寸法	単位	数量 タイプ-1	数量 タイプ-2	摘　要
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m^2	1．09	0．87	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．052		
型枠損料		m^2	0．525	0．525	
据付モルタル	空練　1：3	m^3	0．006		
根囲いブロック	神戸市B型	箇所	1．0		
客　土		m^3	0．924	0．819	
床　堀		〃	−	−	
埋　戻		〃	−	−	
残土処分		〃	−	−	

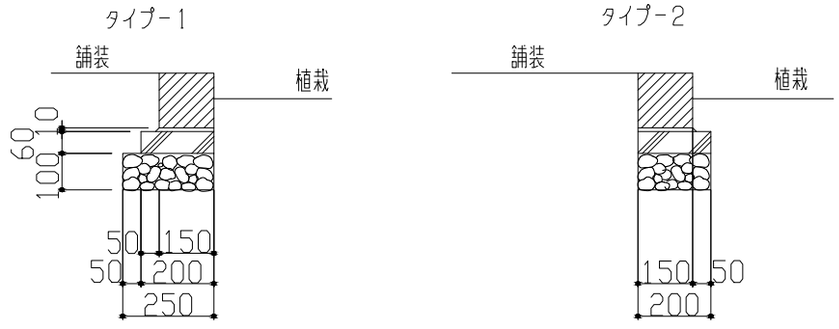
客土種類

名　称	内　容
植栽桝用真砂土	（真砂土1．0m^3）/m^3
植栽桝用客土(A)	（バーク100kg、真砂土0．8m^3 ）/m^3
植栽桝用客土(B)	（真砂土0．7m^3、ピートモス100 ℓ パーライト200 ℓ、熔成燐肥1kg）/m^3
植栽桝用客土(C)	（真砂土0．8m^3、パーライト200 ℓ）/m^3

A-A' 断面図 1:20



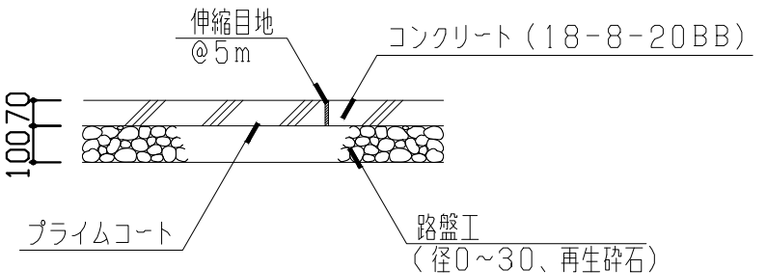
基礎工



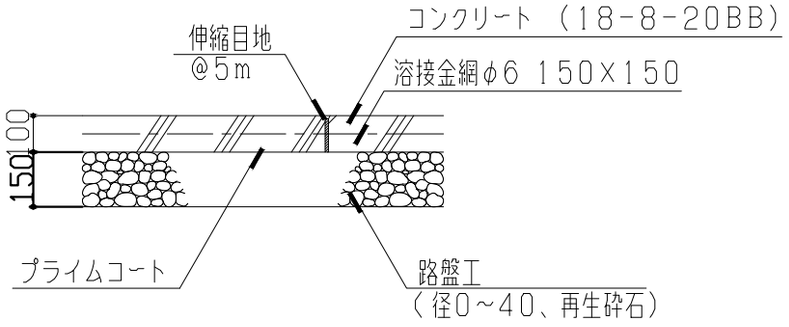
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル（1：3）使用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・根囲いブロックは、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。	植　樹　桝　工（B）	備考 14年9月作成 25年10月修正 18年3月修正 05年10月修正		44-2

コンクリート舗装工－1　1：20



コンクリート舗装工－2　1：20



（1．0m²当り）

名　称	形状寸法	単位	数量 タイプ-1	数量 タイプ-2	摘　要
路盤工	径0~30　t100	m²	1．0		
〃	径0~40　t150	〃		1．0	
溶接金網	φ6　150X150	m²		1．0	
コンクリート	18-8-20BB	m³	0．07	0．10	
表面仕上	表面仕上げ無し				
	はけ引き仕上げ	m²	1．0	1．0	
プライムコート		m²	1．0	1．0	
堀削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

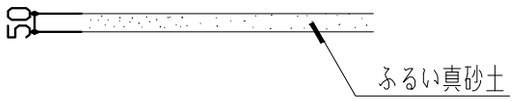
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・伸縮目地間隔は5mを標準とする。 ・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。	コンクリート舗装工－1，2	備考 16年 9月・11月修正　25年10月修正 22年10月修正　27年10月修正 24年10月修正　02年10月修正		45－1

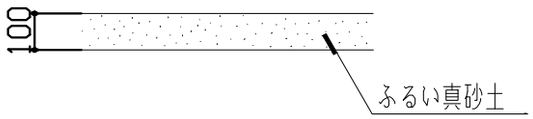
（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			（A）	（B）	
ふるい真砂土	5mm目通し	m^3	0．063	0．127	
堀削		m^3	－	－	
残土処分		〃	－	－	

真砂土敷均し工（A）　1：20



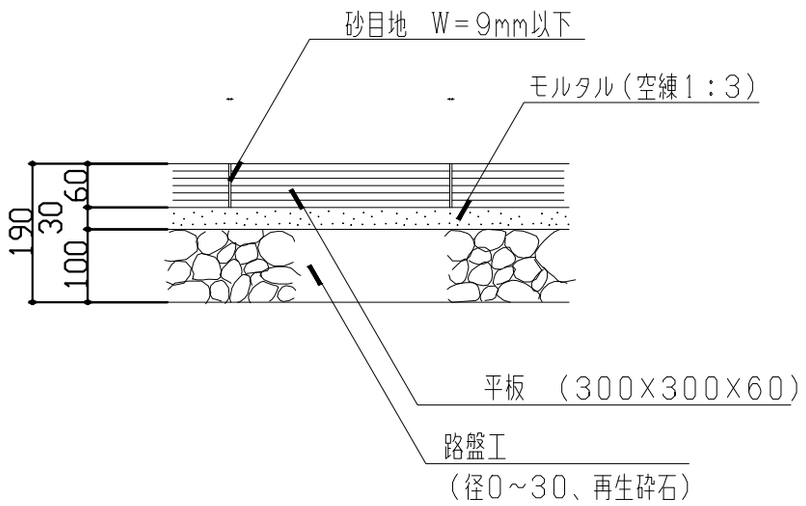
真砂土敷均し工（B）　1：20



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
		真砂土敷均し工（A）（B）	備考 5年7月修正 15年10月修正		45-2

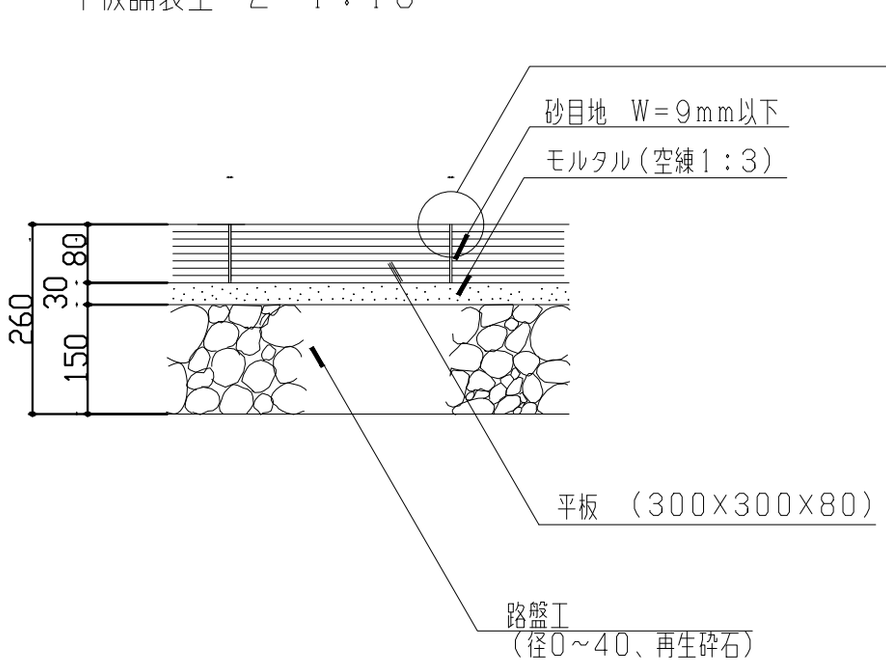
平板舗装工－1　1：10



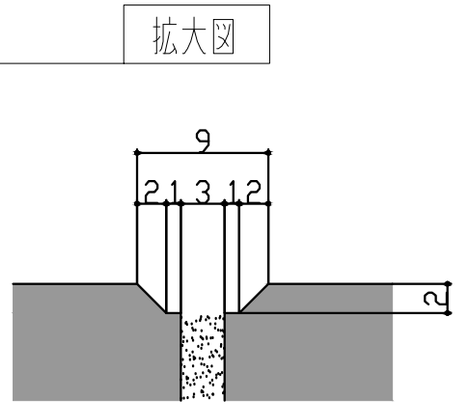
（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ－1	タイプ－2	
モルタル	空練1：3	m³	0．03	0．03	
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	m²	1．0		
〃	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
平板	300X300X60	m²	1．0		砂目地共
〃	300X300X80	m²		1．0	砂目地共
掘削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

平板舗装工－2　1：10



拡大図

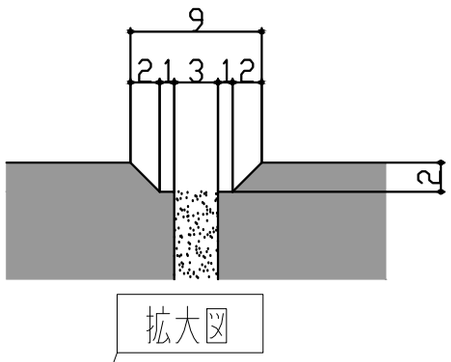


令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・擬石平面は錆、万成を除く。 ・洗い出し平板は、白ミカゲ、金華、鹿島、蛇紋とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	平板舗装工－1，2	CB422530 備考 15年10月修正 21年10月修正 16年 9月・11月修正 25年10月修正		46－1

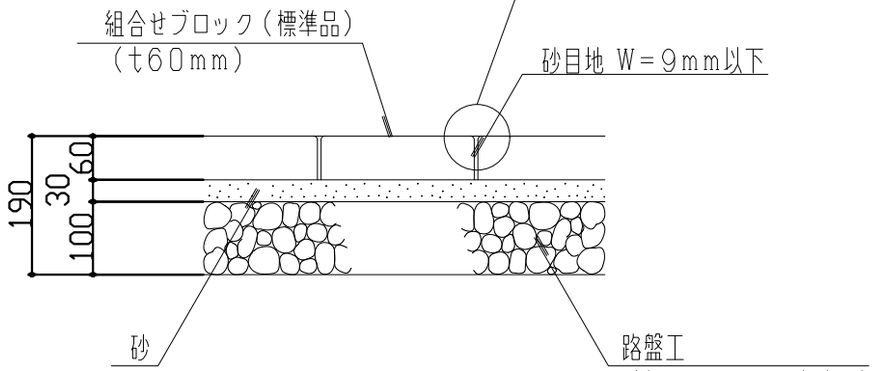
（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			標準品		透水タイプ		
			タイプ－1	タイプ－2	タイプ－1	タイプ－2	
路盤工	径0～30　t100	m²	1．0		1．0		
〃	径0～40　t150	m²		1．0		1．0	
砂		m³	0．03	0．02	0．03	0．02	
透水シート		m²			1．0	1．0	
インターロッキングブロック	t60	m²	1．0		1．0		砂目地共
	t80	m²		1．0		1．0	〃
掘削		m³	－	－	－	－	
残土処分		m³	－	－	－	－	

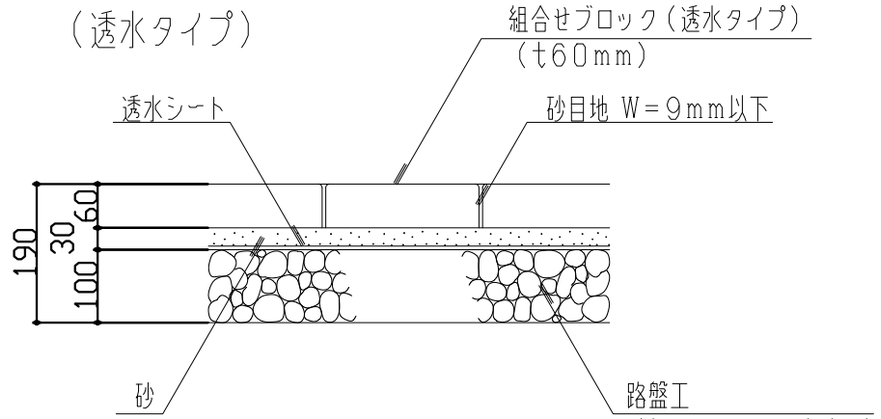


拡大図

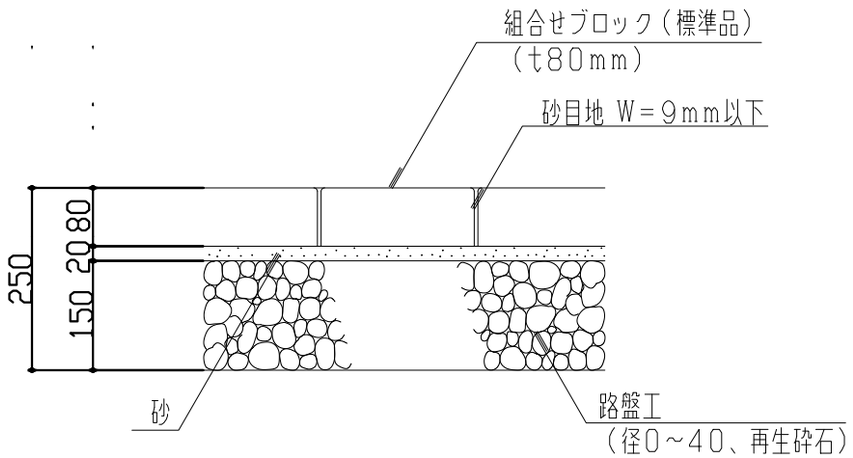
インターロッキングブロック舗装工－1　1：10



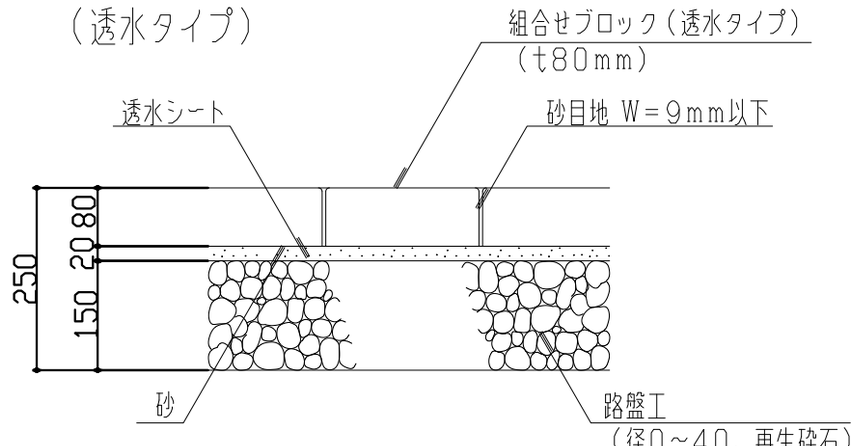
インターロッキングブロック舗装工－1　1：10
（透水タイプ）



インターロッキングブロック舗装工－2　1：10



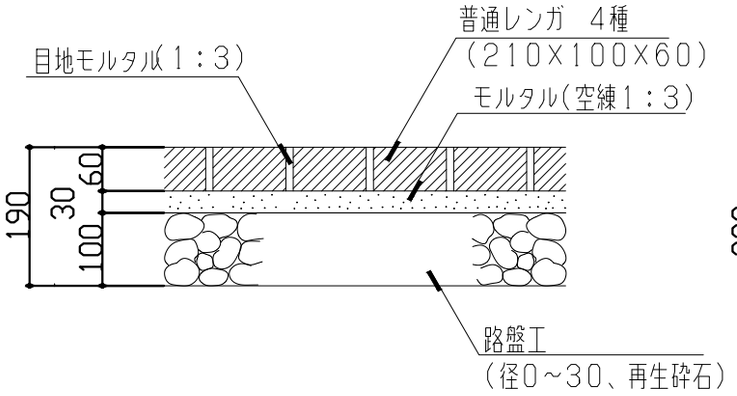
インターロッキングブロック舗装工－2　1：10
（透水タイプ）



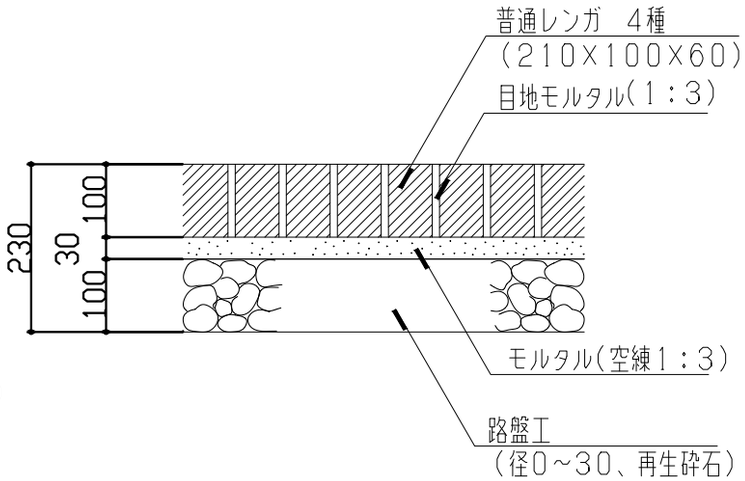
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・透水タイプのブロックは、透水係数が1×10^{-2}cm /sec以上のものとする。 ・透水タイプのブロックを使用する場合、路床条件により必要と判断される時には、路盤工下部へのフィルター層の布設を別途検討すること。 ・ブロックは福祉対応型（目地の空きが9mm以下）のものとする。 ・透水シートの材質については、透水係数が1×10^{-2}cm /sec以上、単位面積当りの質量が60g/m²以上、引張り強さが100N/5cm以上の耐久性のあるものとする。	インターロッキングブロック舗装工－1，2	WB810410 備考 15年10月修正　22年10月修正 16年 9月・11月修正 25年10月修正		46－2

レンガ舗装工（A）-1　1：10
（平　敷　き）



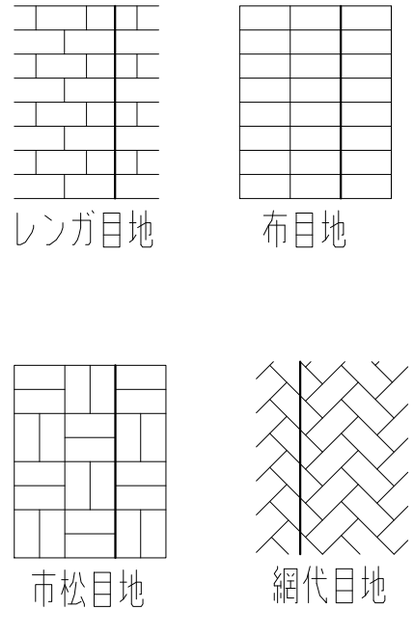
レンガ舗装工（B）-1　1：10
（小端立て敷き）



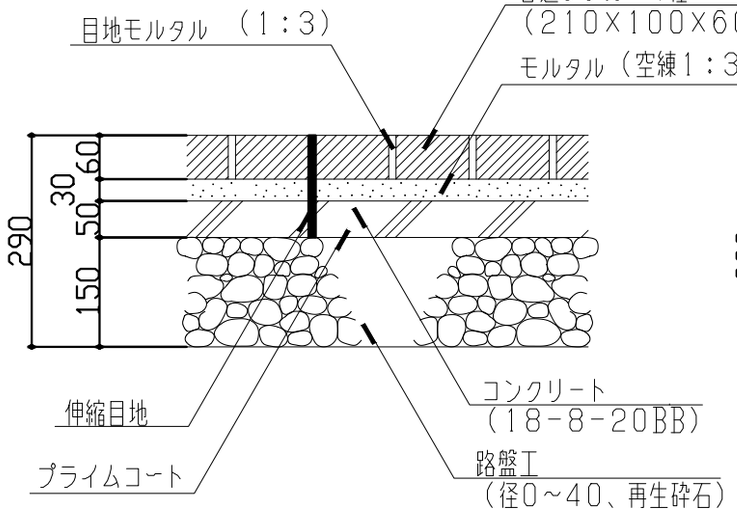
（1．0m² 当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (A)-1	(A)-2	(B)-1	(B)-2	摘要
コンクリート	18-8-20BB	m³		0．050		0．050	
モルタル	空練　1：3	〃	0．034	0．034	0．034	0．034	
普通レンガ	4種 210×100×60	m²	1．0	1．0	1．0	1．0	JIS R1250 目地モルタル共
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	〃	1．0		1．0		
〃	再生砕石 径0～40　t150	〃		1．0		1．0	
プライムコート		m²		1．0		1．0	
掘削		m	－	－	－	－	
残土処分		〃	－	－	－	－	

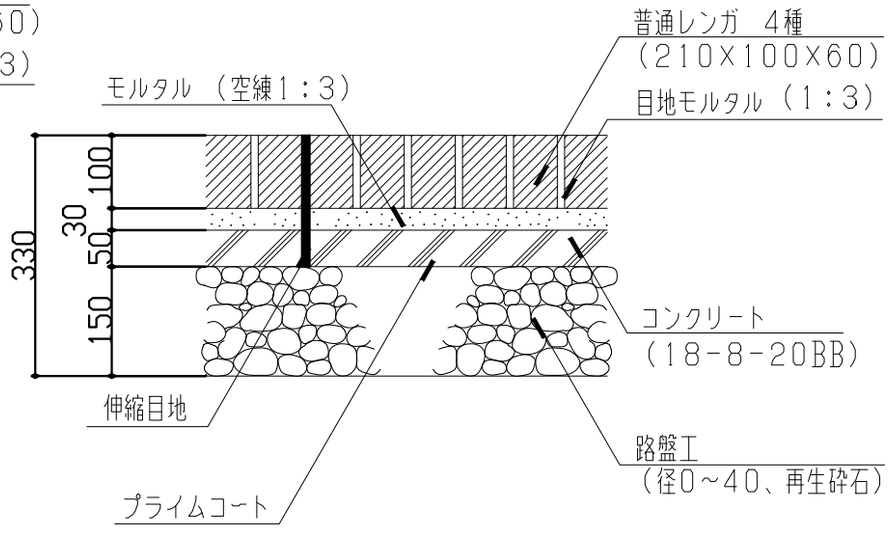
敷　方　（レンガ舗装）



レンガ舗装工（A）-2　1：10
（平　敷　き）



レンガ舗装工（B）-2　1：10
（小端立て敷き）

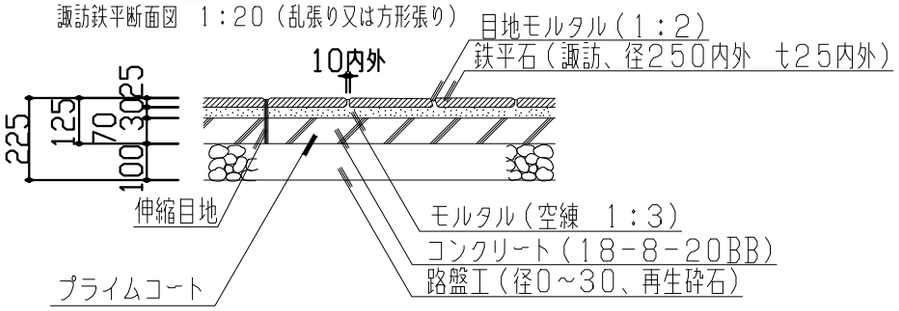


令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・伸縮目地間隔については係員指示とする。 ・目地巾は8㎜を標準とし、目地モルタル（1：3）使用とする。又、その仕上げ深さは、係員指示とする。 ・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両用とする。 ・敷き方は係員指示とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	レンガ舗装工（A）-1，2 〃　（B）-1，2	WB610350 備考 15年10月修正　22年10月修正 16年9・11月修正　05年10月修正 18年 3月修正		47-2

鉄平石舗装工（A）－1

諏訪鉄平断面図　1：20（乱張り又は方形張り）

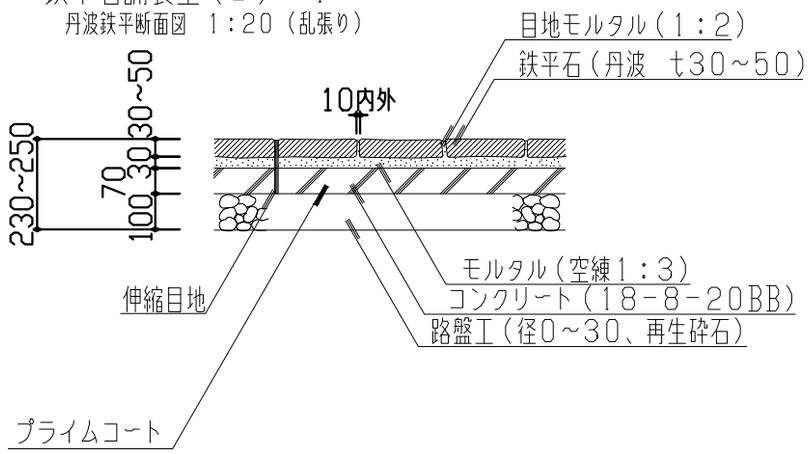


（1．0m²当り）

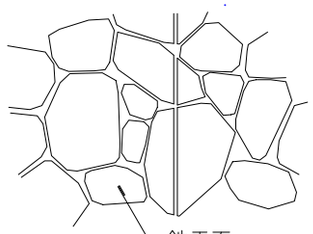
名　　称	形 状 寸 法	単位	数　　量		摘　　要
			（A）-1	（B）-1	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．07	0．07	
モ ル タ ル	空練1：3	〃	0．034	0．034	
鉄　平　石		m^2	1．0	1．0	目地モルタル共
路盤工	再生砕石径 0~30 t100	〃	1．0	1．0	
	再生砕石 径0~40 t150	〃			
プライムコート		m^2	1．0	1．0	
掘　　削		m^3	－	－	
残 土 処 分		〃	－	－	

鉄平石舗装工（B）－1

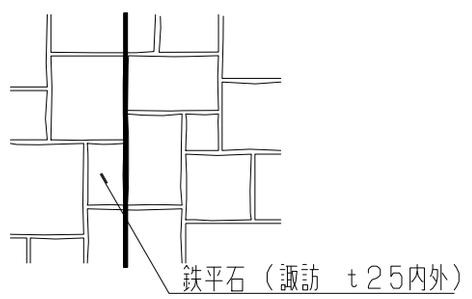
丹波鉄平断面図　1：20（乱張り）



平　面　図（乱張り）



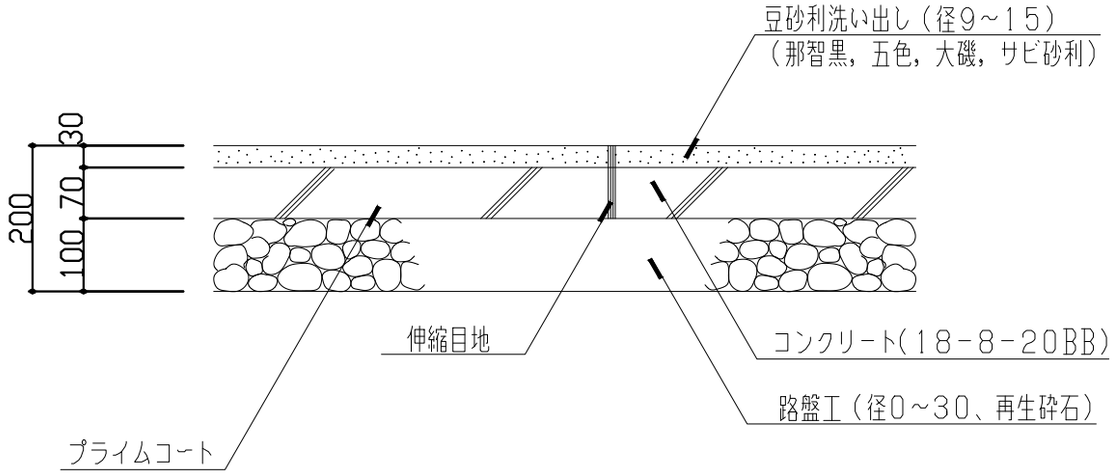
平　面　図（方形張り）



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　　様	名　　称	コード番号	記　号	ページ
	・タイプ－1は歩行者通行用とする。 ・伸縮目地間隔については係員指示とする。 ・目地モルタル（1：2）の仕上げ深さは係員指示とする。 ・石材の仕上げは、割肌仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	鉄平石舗装工	CB221910 CB221911 備　　考 15年10月修正　25年10月修正 16年　9月・11月修正		48

豆砂利洗い出舗装工－1　1：10



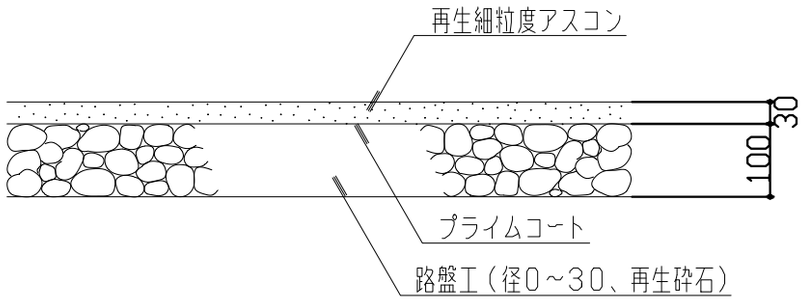
（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量 タイプ－1	摘要
路盤工	再生砕石 径0～30 t100	m²	1．0	
〃	〃 径0～40 t150	〃		
コンクリート	18－8－20BB	m³	0．07	
豆砂利	那智黒	m²	1．0	
	五　色			
	大　磯			
	サビ砂利			
プライムコート		m²	1．0	
残土処分		m³	－	
堀削		m³	－	

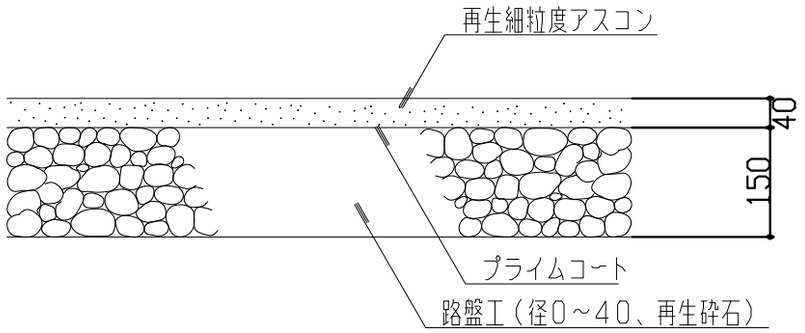
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・伸縮目地間隔については係員指示とする。 ・タイプ－1は歩行者通行用とする。 ・骨材は20kg/m²使用すること。	洗い出し舗装工－1	S5166 備　考 15年10月修正　18年3月修正 16年 9月・11月修正　25年10月修正		49

簡易アスファルト舗装工－1　　断面図　1：10



簡易アスファルト舗装工－2　　断面図　1：10



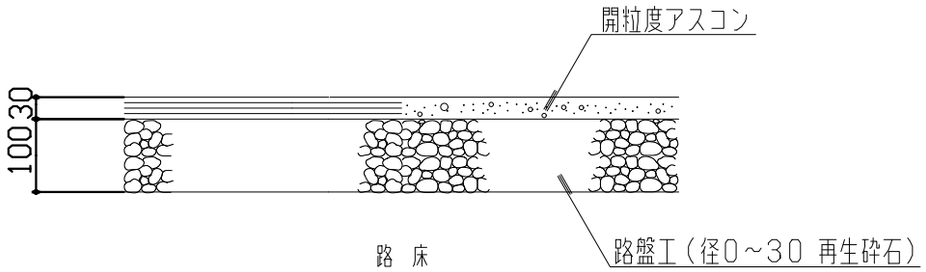
（1．0m²当り）

名　　称	形 状 寸 法	単位	数量 タイプ－1	数量 タイプ－2	摘　　要
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	m²	1．0		
〃	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
再生細粒度アスコン	t30	〃	1．0		
再生細粒度アスコン	t40	〃		1．0	
掘削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　　様	名　　称	コード番号	記　　号	ページ
	・タイプ－1は歩行者通行用、タイプ－2は管理車両通行用とする。 ・下水汚泥焼却灰入りアスファルトの使用を原則とする。	簡易アスファルト舗装工－1，2	－ 備　　考 15年10月修正　18年3月修正 16年9月・11月修正　27年10月修正		50

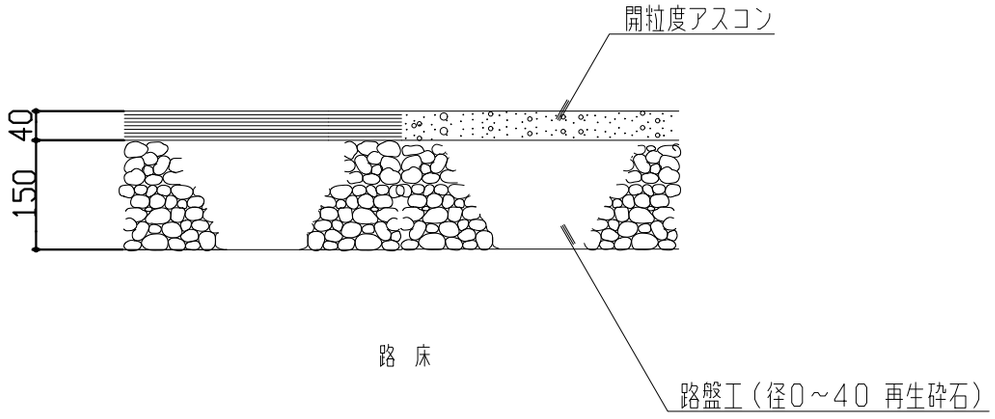
透水性アスファルト舗装工－1
断　面　図　1：10



（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量 タイプ－1	数量 タイプ－2	摘要
路　盤　工	再生砕石 径0～30　t100	m²	1．0		
	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
開粒度アスコン	t30	〃	1．0		
	t40	〃		1．0	
掘削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

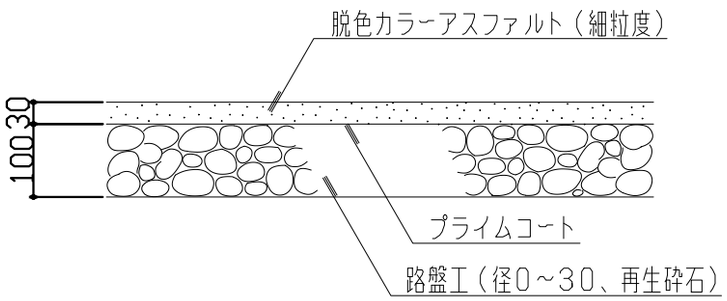
透水性アスファルト舗装工－2
断　面　図　1：10



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・タイプ－1は歩行者通行用、タイプ－2は管理車両通行用とする。 ・路床条件により必要と判断される場合、路盤工下部へのフィルター層の敷設を別途検討すること。	透水性アスファルト舗装工－1、2	－ 備　考 15年10月修正　18年3月修正 16年　9月・11月修正		51-1

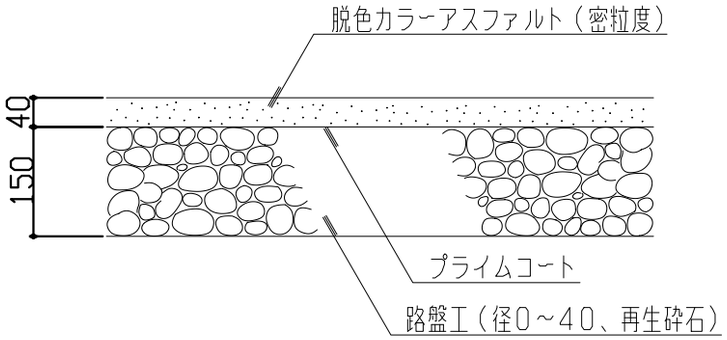
脱色カラーアスファルト舗装工－1　　断面図　1：10



（1．0m^{2}当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			標準品		
			タイプ－1	タイプ－2	
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	m^2	1．0		
〃	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
脱色カラーアスコン	細粒度　t30	〃	1．0		
〃	密粒度　t40	〃		1．0	
掘削		m^3	－	－	
残土処分		〃	－	－	

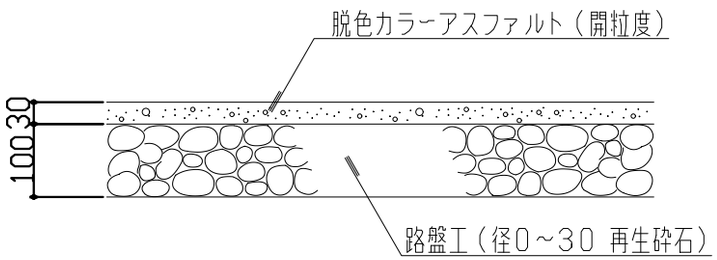
脱色カラーアスファルト舗装工－2　　断面図　1：10



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・この舗装は、脱色アスファルトの内、顔料を加え着色するものをいう。 ・タイプ－1は歩行者通行用、タイプ－2は管理車両通行用とする。 ・表層の色はアイボリー系とし、メーカーよりサンプルを取り寄せ監督員の承諾を得ること。 ・粗骨材最大寸法は13mmで、空隙率は3～6%とする。 ・細粒度、密粒度共にアスファルト混合物は舗装施工便覧に記載されている基準を満たすものであること。 ・バインダーは石油樹脂系とし、ポリマー改質アスファルトⅠ型同程度もしくはそれ以上の性能を有するものを使用すること。 ・プライムコートには脱色乳剤を使用すること。	脱色カラーアスファルト舗装工－1，2	－ 備考 24年10月追加 27年10月修正		51－2

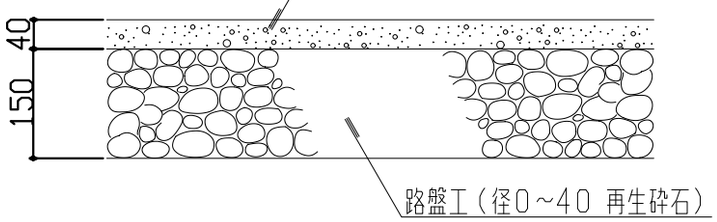
透水性脱色カラーアスファルト舗装工－1　　断面図　1：10



（1．0m^{2}当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			透水タイプ		
			タイプ－1	タイプ－2	
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	m^2	1．0		
〃	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
脱色カラーアスコン	開粒度　t30	〃	1．0		
〃	〃　t40	〃		1．0	
掘削		m^3	－	－	
残土処分		〃	－	－	

透水性脱色カラーアスファルト舗装工－2　　断面図　1：10



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・この舗装は、脱色アスファルトの内、顔料を加え着色するものをいう。 ・タイプ－1は歩行者通行用、タイプ－2は管理車両通行用とする。 ・表層の色はアイボリー系とし、メーカーよりサンプルを取り寄せ監督員の承諾を得ること。 ・粗骨材最大寸法は13mm、空隙率は12～20％とする。 ・アスファルト混合物は舗装施工便覧に記載されている基準を満たすものであること。 ・バインダーは石油樹脂系とし、性状はポリマー改質アスファルトⅠ型同程度もしくはそれ以上の性能を有するものを使用すること。 ・路床条件により必要と判断される場合、路盤工下部へのフィルター層の敷設を別途検討すること。	透水性脱色カラーアスファルト舗装工－1，2	－ 備考 24年10月追加 27年10月修正		51－3

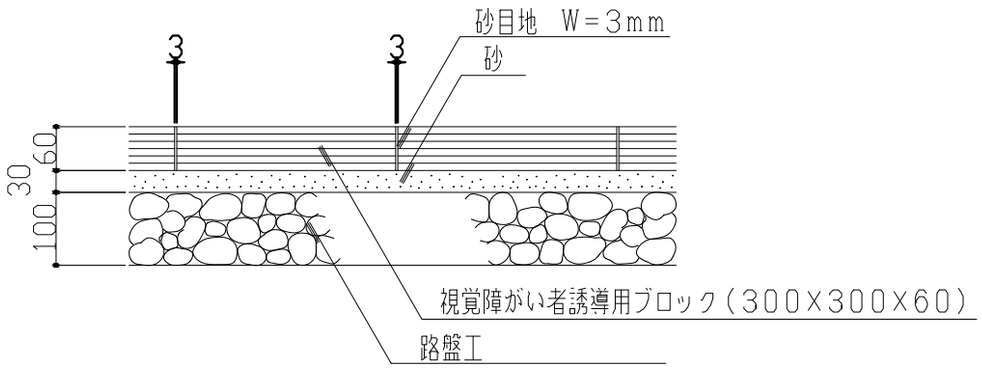
（インターロッキングブロック舗装の場合）

（1．0m²当り）

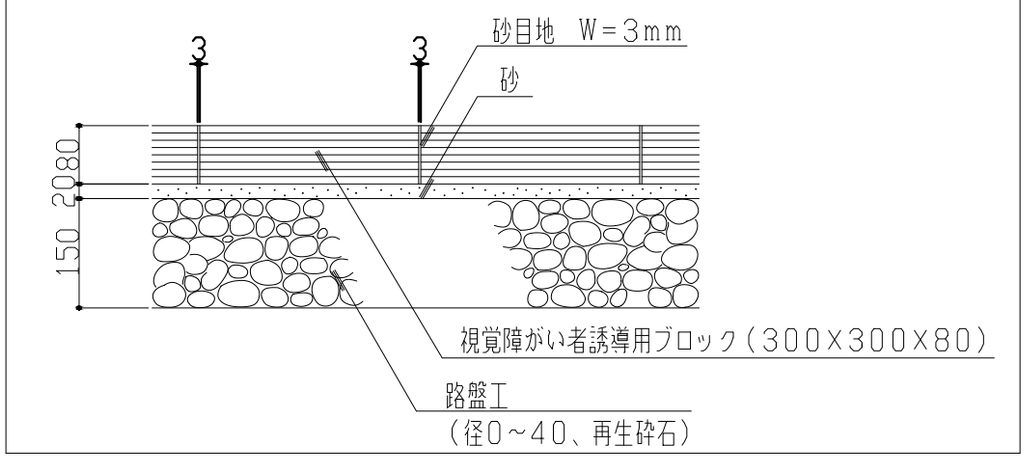
名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			非透水		透水		
			タイプ-1	タイプ-2	タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生砕石 径0~30 t100	m²	1．0		1．0		
〃	〃 径0~40 t150	〃		1．0		1．0	
砂		m³	0．03	0．02	0．03	0．02	
透水シート		m²			1．0	1．0	
視覚障がい者誘導用ブロック	300X300X60 t60	〃	1．0		1．0		砂目地共、透水・非透水共通
	300X300X80 t80	〃		1．0		1．0	砂目地共、透水・非透水共通
掘削		m³	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	

周辺舗装が非透水性の場合

視覚障がい者誘導用ブロック工-1　1：10

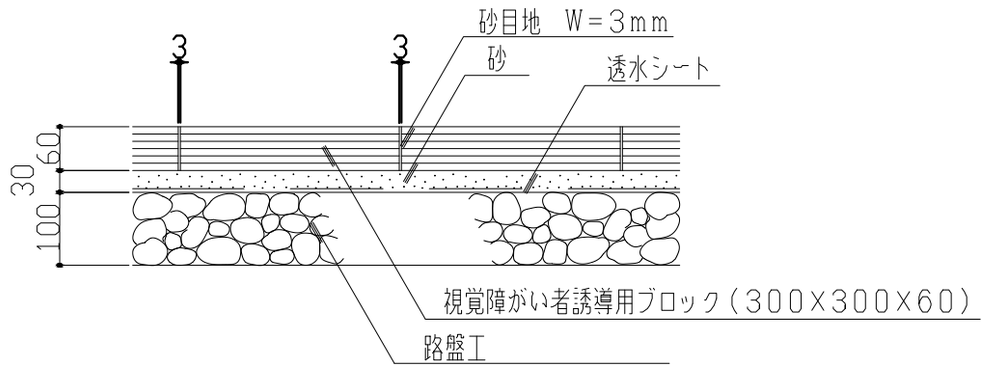


視覚障がい者誘導用ブロック工-2　1：10

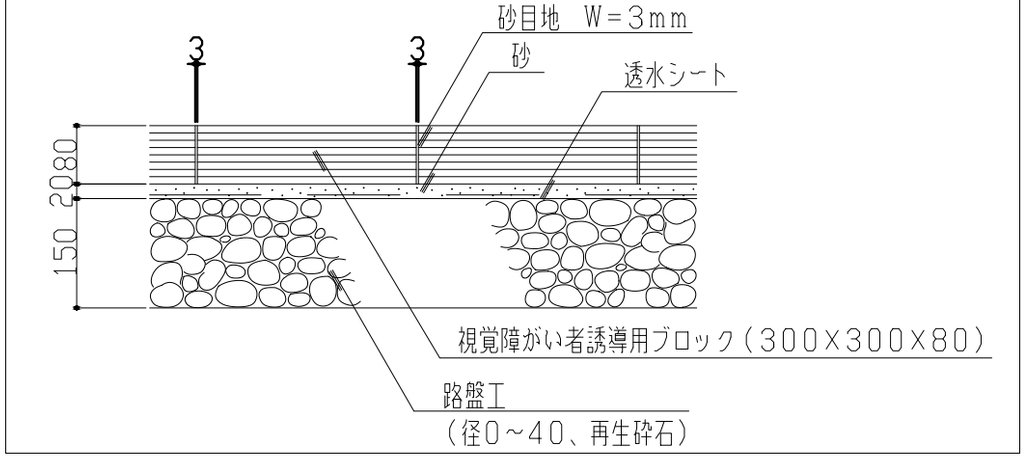


周辺舗装が透水性の場合

視覚障がい者誘導用ブロック工-1（透水タイプ）　1：10



視覚障がい者誘導用ブロック工-2（透水タイプ）　1：10

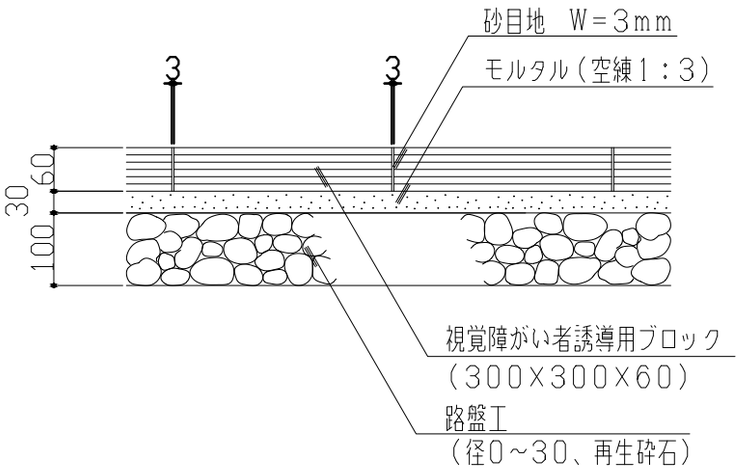


令和8年10月改定

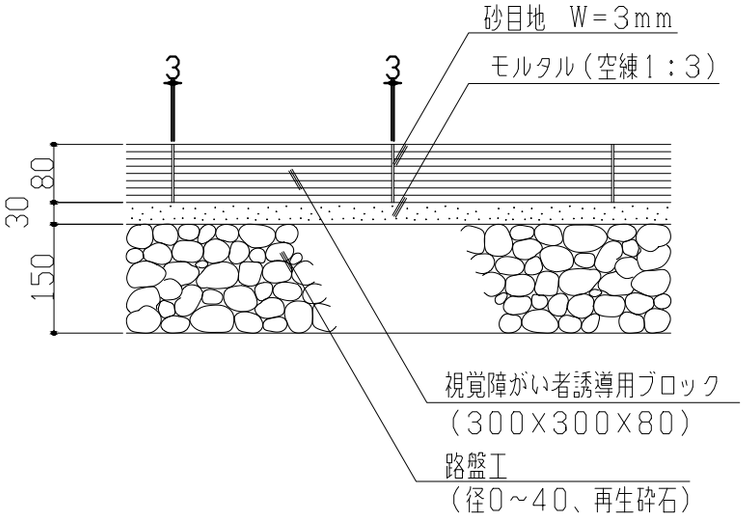
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・形状については、ＪＩＳ Ｔ 9251（視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列）に示された仕様に従うこと。 ・設置の際には、周囲の路面との輝度比2．0以上を確保すること。 ・透水シートの材質については、透水係数が1X10⁻²cm /sec以上、単位面積当たりの質量が60g/m²以上、引張り強さが100N/5cm以上の耐久性のあるものとする。 ・透水タイプのブロックを使用する場合、路床条件により必要と判断される時には、路盤工下部へのフィルター層の布設を別途検討すること。	視覚障がい者誘導用ブロック工-1，2	CB422530 備考 24年10月追加 29年10月修正		52-2

（平板ブロック舗装の場合）

視覚障がい者誘導用ブロック工－1　1：10



視覚障がい者誘導用ブロック工－2　1：10



（1．0m²当り）

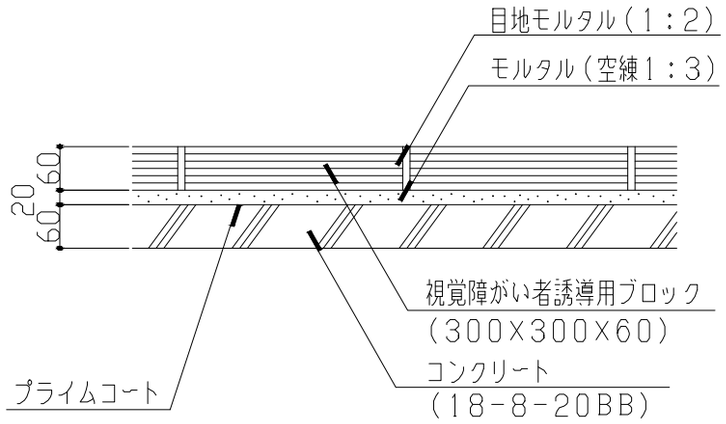
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ－1	タイプ－2	
モルタル	空練1：3	m³	0．03	0．03	
路盤工	再生砕石 径0～30　t100	m²	1．0		
〃	〃　径0～40　t150	〃		1．0	
視覚障がい者	300×300×60　t60	〃	1．0		砂目地共
誘導用ブロック	300×300×80　t80	〃		1．0	砂目地共
掘削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

令和8年10月改定

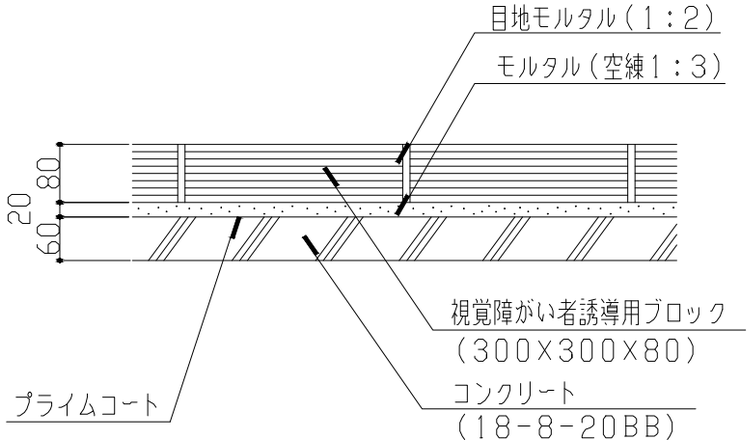
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・形状については、ＪＩＳ　Ｔ　9251（視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列）に示された仕様に従うこと。 ・設置の際には、周囲の路面との輝度比2．0以上を確保すること。	視覚障がい者誘導用ブロック工－1，2	CB422530 備考 24年10月追加		52－3

（アスファルト舗装、コンクリート舗装の場合）

視覚障がい者誘導用ブロック工－1　1：10



視覚障がい者誘導用ブロック工－2　1：10



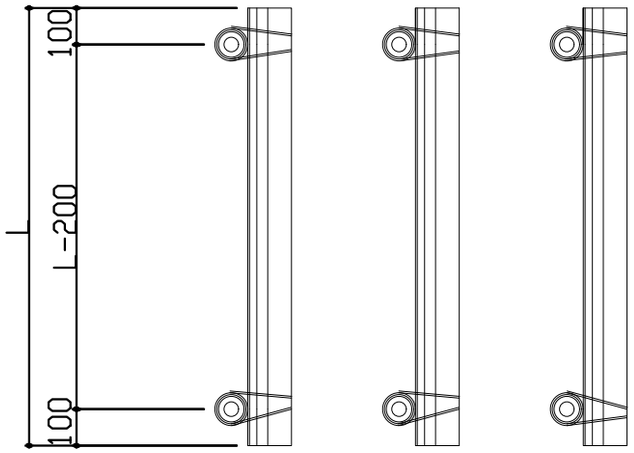
（1．0m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ－1	タイプ－2	
モルタル	空練1：3	m³	0．02	0．02	
コンクリート	18-8-20BB	〃	0．06	0．06	
視覚障がい者	300X300X60 t60	m²	1．0		
誘導用ブロック	300X300X80 t80	〃		1．0	
プライムコート		m²	1．0	1．0	
掘削		m³	－	－	
残土処分		〃	－	－	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・形状については、ＪＩＳ Ｔ 9251（視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列）に示された仕様に従うこと。 ・設置の際には、周囲の路面との輝度比2．0以上を確保すること。	視覚障がい者誘導用ブロック工－1，2	CB422530 備考 24年10月追加		52－4

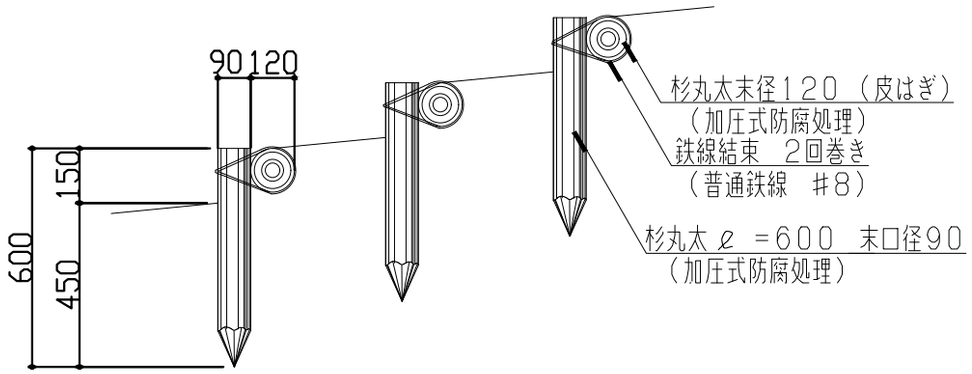
平 面 図 1:20



（1．0基当り）

名　　称	形 状 寸 法	単位	数量 (A)	(B)	(C)	(D)	適　　用
杉 丸 太	末口径12cm L=1.0m	m	1．0				加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 l=1.2m	〃		1．2			
〃	〃 l=1.5m	〃			1．5		
〃	〃 l=1.8m	〃				1．8	
〃	末口径9cm =0.6m	〃	1．2	1．2	1．2	1．2	
鉄　　線	#8	kg	0．426	0．426	0．426	0．426	

側 面 図 1:20



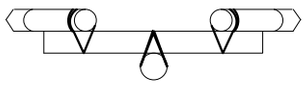
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　　様	名　　称	コード番号	記　号	ページ
	・木材寸法は、仕上げ寸法とする。 ・切り口は面取りを行うこと。 ・番線は、支柱側でクロスさせ、横丸太の後ろ側で結束すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ　Ｋ　1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ　Ａ　9002」に適合するものとする。	丸太階段工（Ａ）～（Ｄ）	備　考 15年10月修正 16年　9月修正		53-1

（1．0組当り）

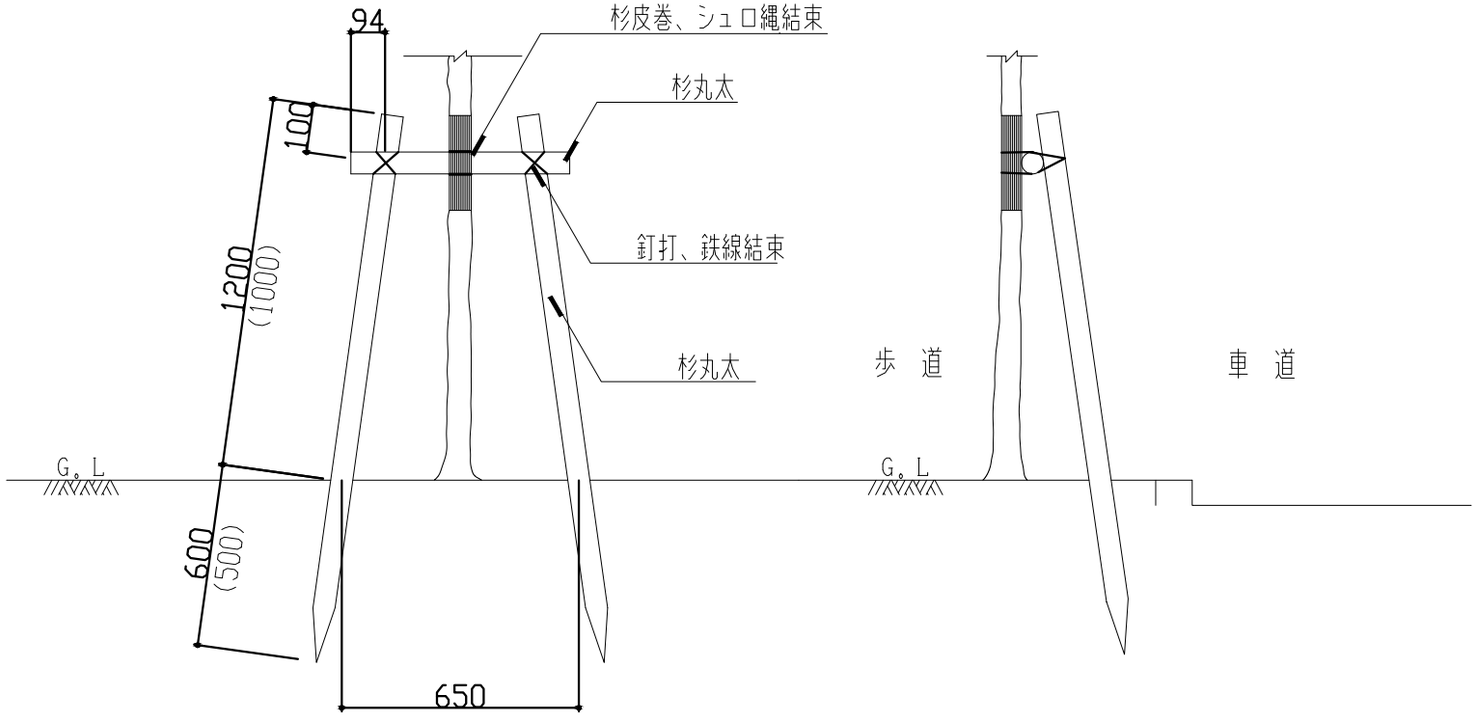
名称	形状寸法	単位	数量 2T-15	数量 2T-18	摘要
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．5m	本	2．0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．8m	〃		2．0	
〃	〃 ℓ=0．6m	〃	1．0	1．0	
結束材料		式	1．0	1．0	

平 面 図 1：20



正 面 図 1：20

側 面 図 1：20



・（ ）内寸法は2T-15

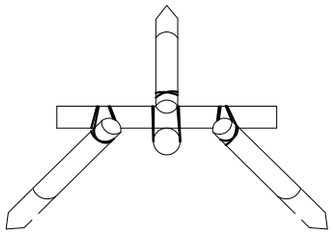
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは亜鉛引鉄線（＃18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮（杉皮テープでも可）等を示す。 ・結束は綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植 栽 工 2脚鳥居型支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	2T-15，18	54

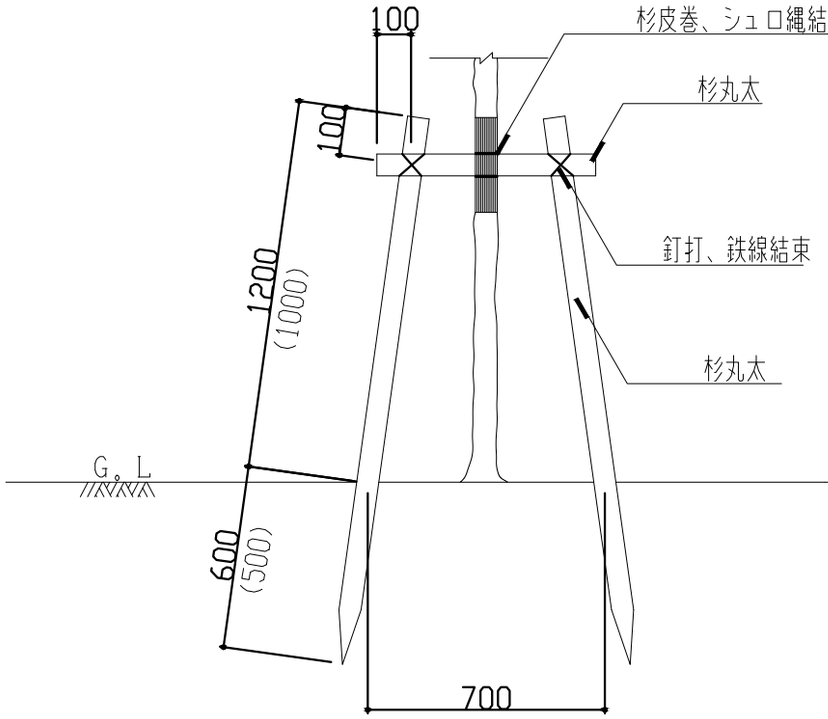
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			3T-15	3T-18	
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．5m	本	3．0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．8m	〃		3．0	
〃	〃 ℓ=0．6m	〃	1．0	1．0	
結束材料		式	1．0	1．0	

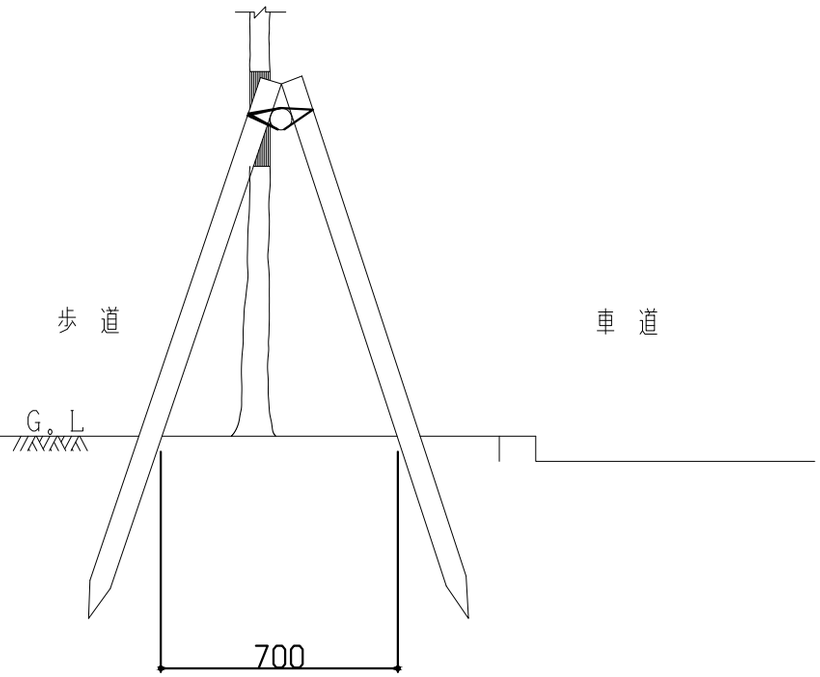
平 面 図 1：20



正 面 図 1：20



側 面 図 1：20



・（ ）内は3T-15

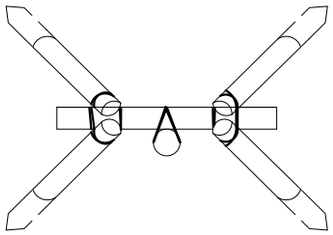
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは亜鉛引鉄線（＃18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮（杉皮テープでも可）等を示す。 ・結束は綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植 栽 工 3脚鳥居型支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	3T-15，18	55

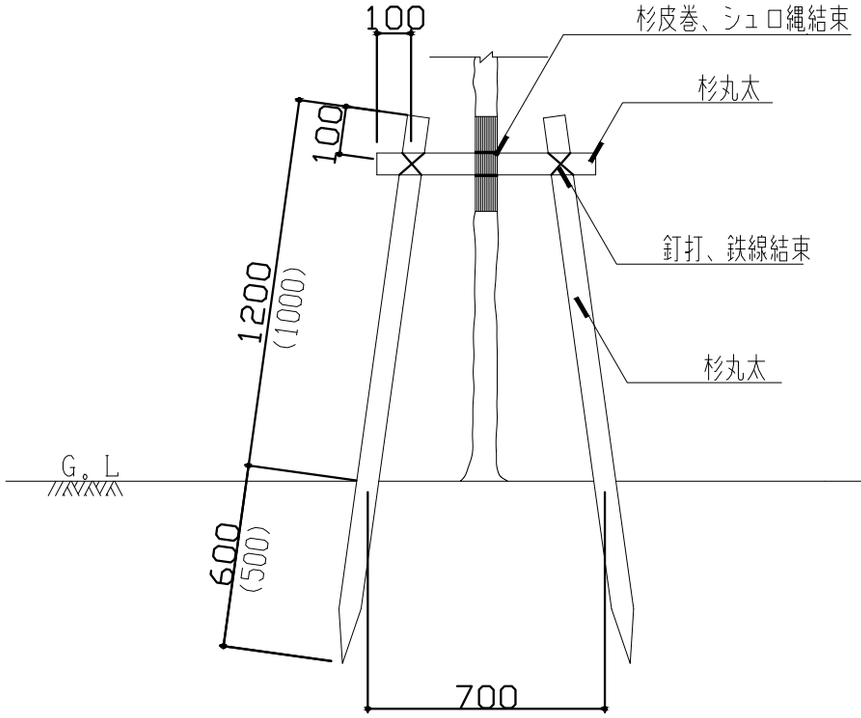
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量 4T-15	数量 4T-18	摘要
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．5m	本	4．0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．8m	〃		4．0	
〃	〃 ℓ=0．6m	〃	1．0	1．0	
結束材料		式	1．0	1．0	

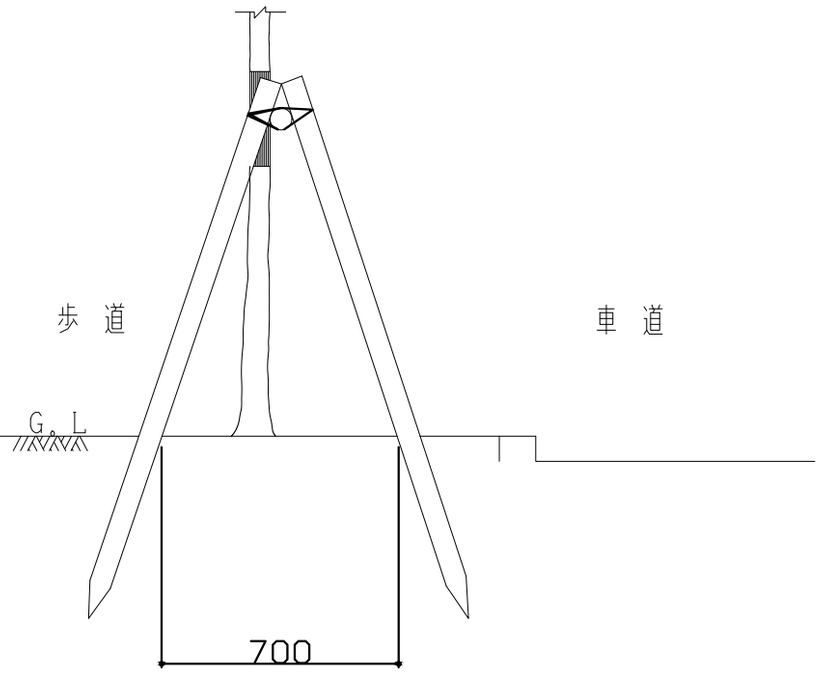
平 面 図 1：20



正 面 図 1：20



側 面 図 1：20



・（ ）内は4T-15

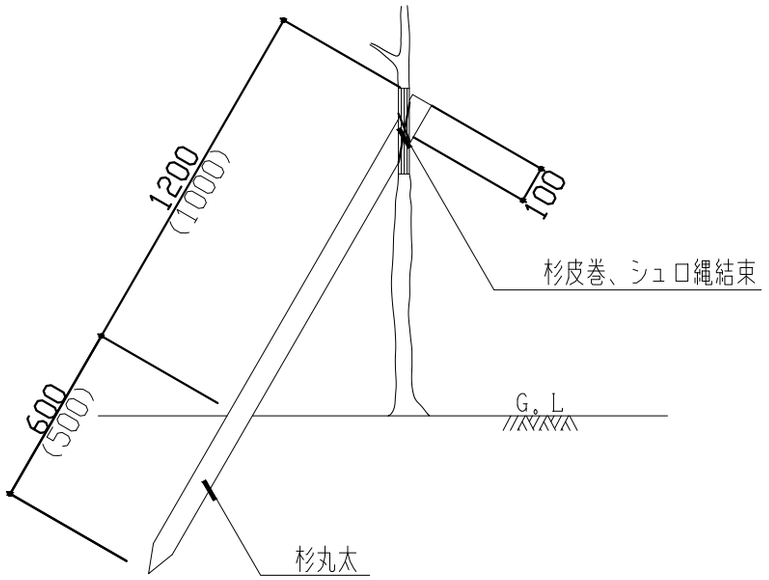
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは亜鉛引鉄線（#18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮（杉皮テープでも可）等を示す。 ・結束は綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植 栽 工 4脚鳥居型支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	4T-15，18	56

（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			1S-15	1S-18	
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．8m	本		1．0	加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．5m	〃	1．0		
結束材料		式	1．0	1．0	

正 面 図 1：20



・（ ）内は1S-15

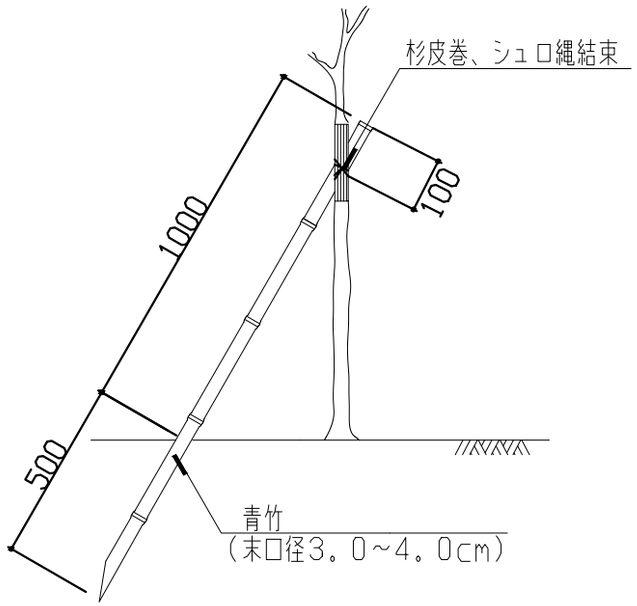
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とはシュロ縄（3㎜）、杉皮（杉皮テープでも可）等を示す。 ・結束材料は綾掛（裏二文字型）とし、綾掛、割掛とも1回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植栽工 1本支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	1S-15，18	57-1

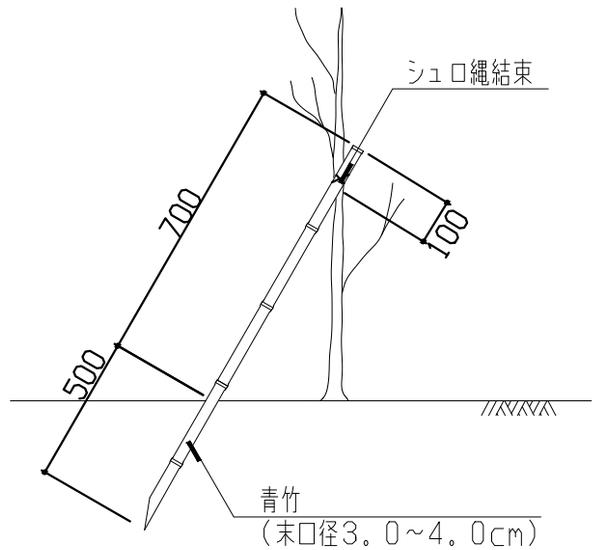
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			1B-05	1B-12	1B-15	
青竹	末口径3．0~4．0cm ℓ=0．5m	本	1．0			
〃	〃 ℓ=1．2m	〃		1．0		
〃	〃 ℓ=1．5m	〃			1．0	
結束材料		式	1．0	1．0	1．0	

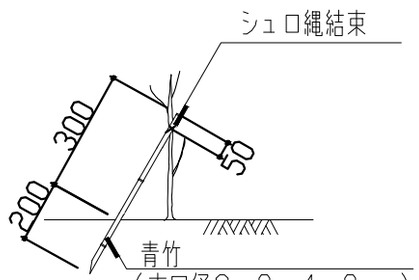
正面図　1：20（1B-15）



正面図　1：20（1B-12）



正面図　1：20（1B-05）



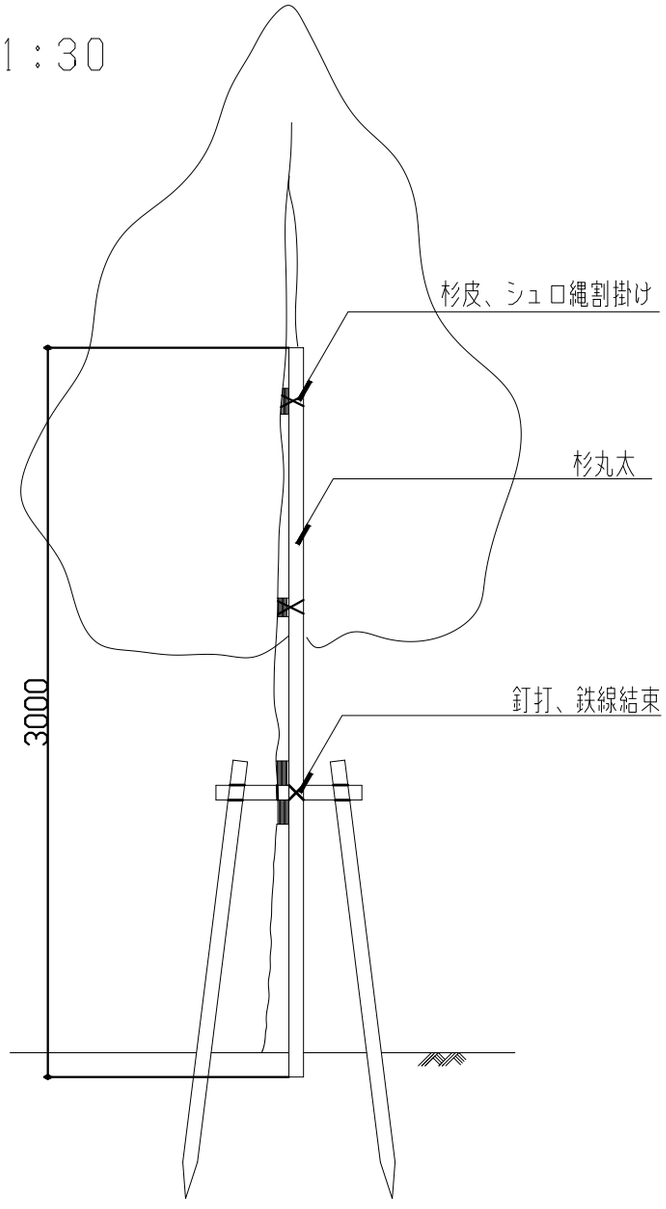
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・1B-15の結束材料とは、シュロ縄（3mm）、杉皮（杉皮テープでも可）を示す。 ・1B-05、12の結束材料とは、杉皮等を示す。 ・樹木結束は綾掛（裏二文字型）とし、綾掛、割掛とも1回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。又見え掛り切り口は面取り仕上げとする。 ・青竹は節止めとする。 ・シュロ縄は2本寄せにして使用すること。	植栽工 1本支柱（青竹）	備考 5年7月追加　24年10月修正 18年3月修正	1B-05，12 15	57-2

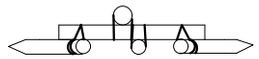
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
杉丸太	末口径4．5~6．0cm ℓ=3．0m	本	1．0	加圧式防腐処理 JIS A 9002
結束材料		式	1．0	

正 面 図 1：30



平 面 図 1：30



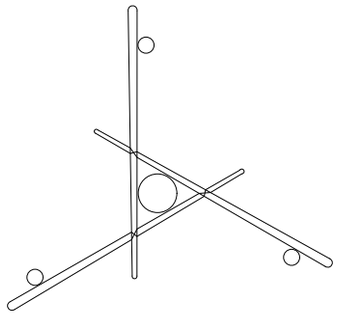
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは亜鉛引鉄線（＃18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮等（杉皮テープでも可）を示す。 ・結束は綾掛とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・添柱への結束箇所は、監督員指示とする。　・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植栽工 添柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正		58

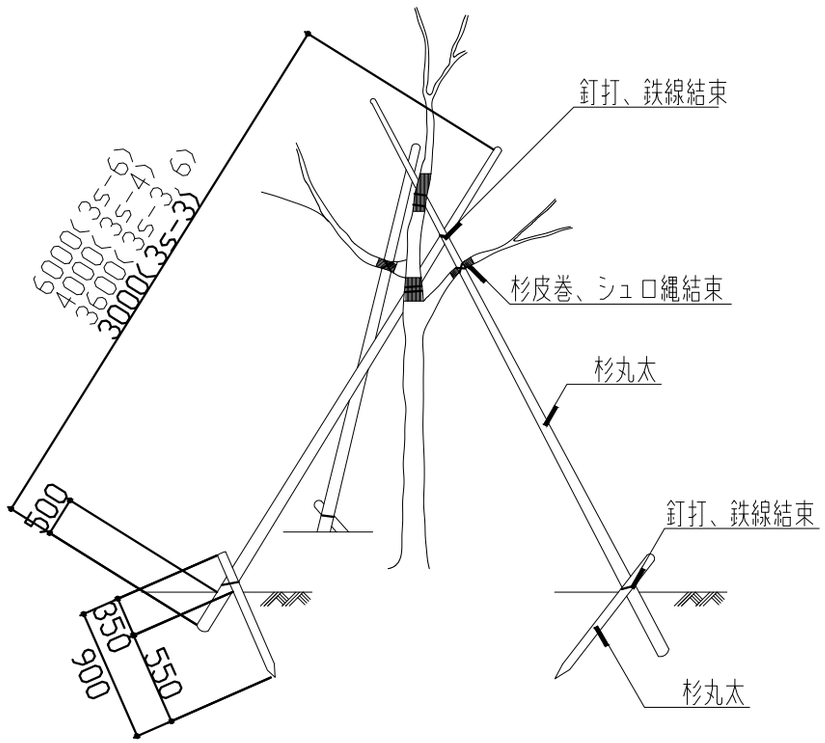
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量 3S-3	3S-3．6	3S-4	3S-6	摘要
杉丸太	末口径4．5~6．0cm ℓ=3．0m	本	3．0				加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=3．6m	〃		3．0			
〃	〃 ℓ=4．0m	〃			3．0		
〃	〃 ℓ=6．0m	〃				3．0	
〃	〃 ℓ=0．9m	〃	3．0	3．0	3．0	3．0	
結束材料		式	1．0	1．0	1．0	1．0	

平　面　図



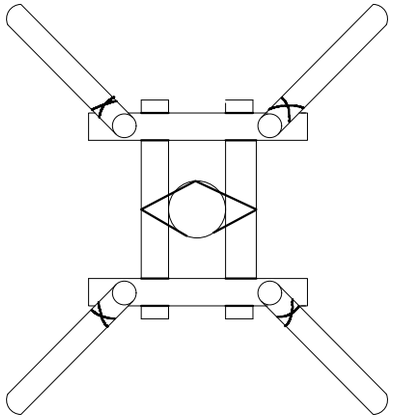
正　面　図



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは亜鉛引鉄線（#18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮等（杉皮テープも可）を示す。 ・結束は、綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割り掛共に3回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ　Ｋ　1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ　Ａ　9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。　・原則として支柱1本ごとに幹と結束すること。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植　栽　工 3本支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	3S-3，3．6 4，6	59

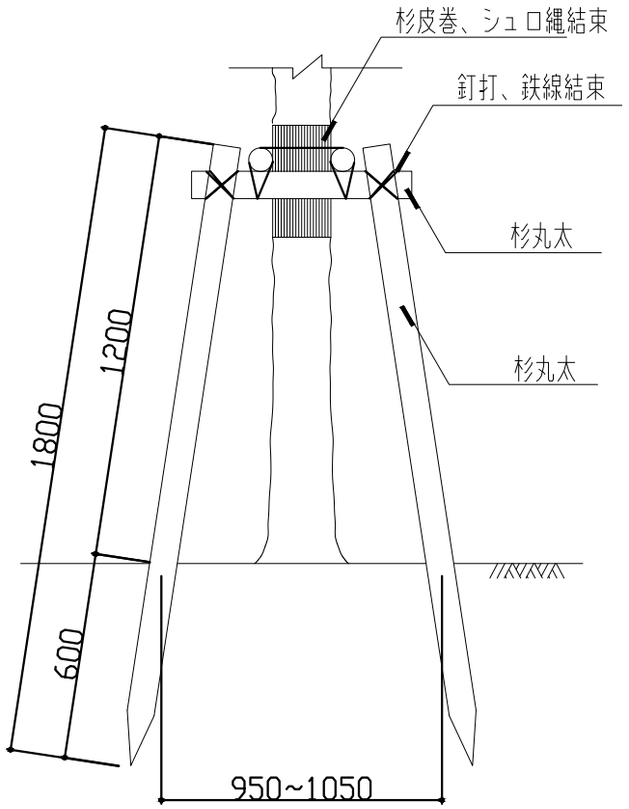
平 面 図 1:20



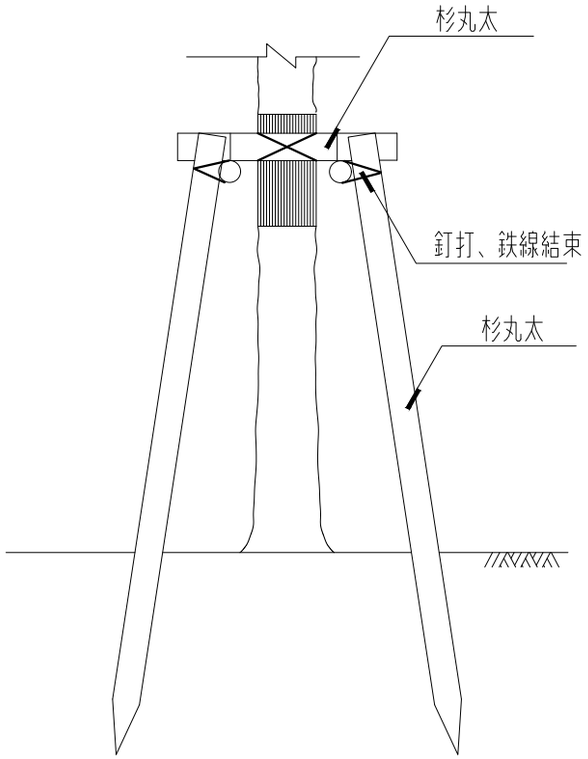
（1．0組当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
杉丸太	末口径4．5~7．5cmℓ=1．8m	本	4．0	加圧式防腐処理
〃	〃 ℓ=0．6m	〃	4．0	JIS A 9002
結束材料		式	1．0	

正 面 図 1:20



側 面 図 1:20



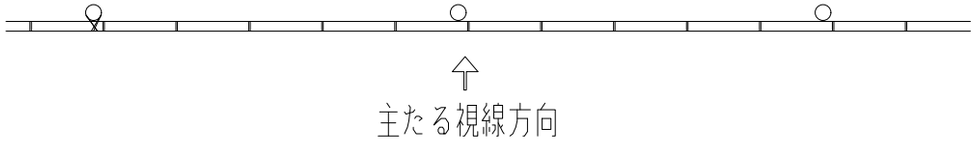
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは、亜鉛引鉄線（＃18）、洋釘（10cm）、シュロ縄（6mm）、杉皮等（杉皮テープでも可）を示す。 ・結束は綾掛とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植栽工 4脚合掌型支柱	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	4G-18	60

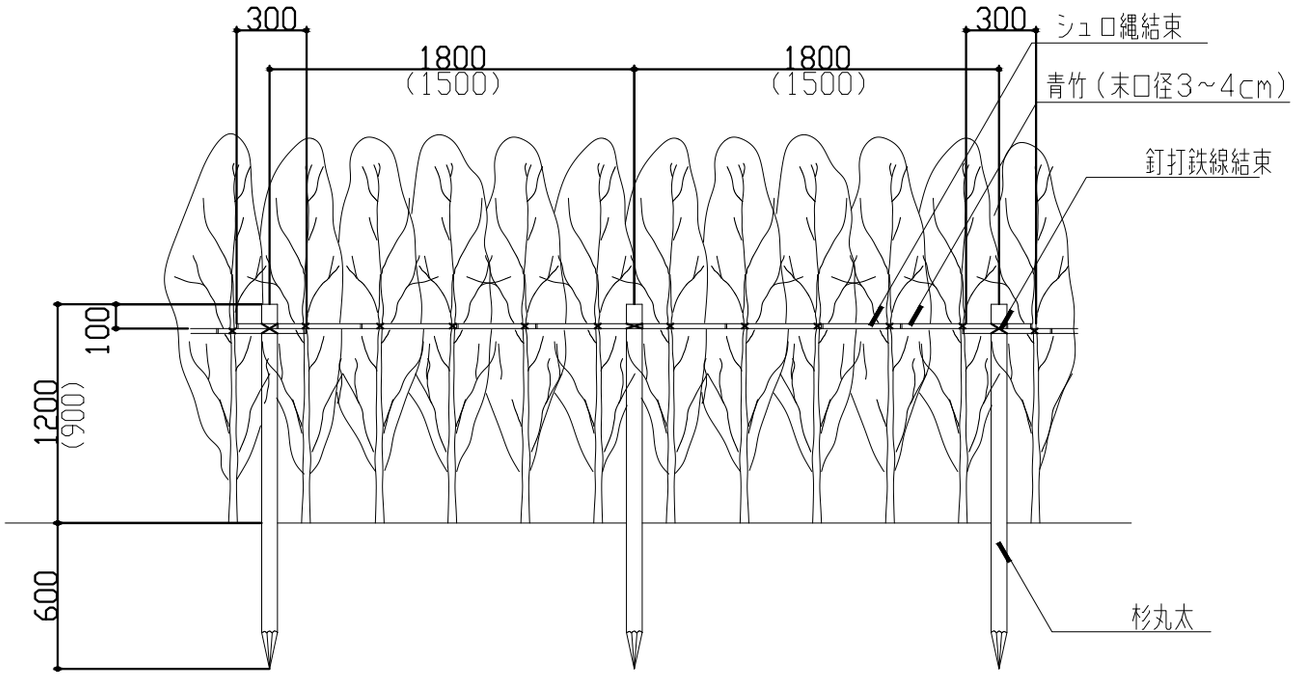
（１スパン当り）

名称	形状寸法	単位	数量 ①	②	③	④	摘要
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．5m	本	1．0	1．0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．8m	〃			1．0	1．0	
青竹	末口径3．0~4．0cm	m	1．5	1．8	1．5	1．8	
結束材料		式	1．0	1．0	1．0	1．0	

平 面 図 1：30



正 面 図 1：30



	①	②	③	④
高さ	0．9m	0．9m	1．2m	1．2m
支柱間隔	1．5m	1．8m	1．5m	1．8m

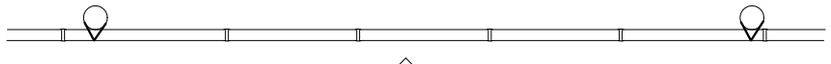
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは、亜鉛引鉄線（＃18）、洋釘（6~10cm）、シュロ縄（3mm）等を示す。 ・結束は綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割り掛とも1回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取仕上とする。　・青竹は両端節止めとする ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。　・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植栽工 生垣工（A）	備考 14年 9月修正 18年3月修正 15年10月修正		61

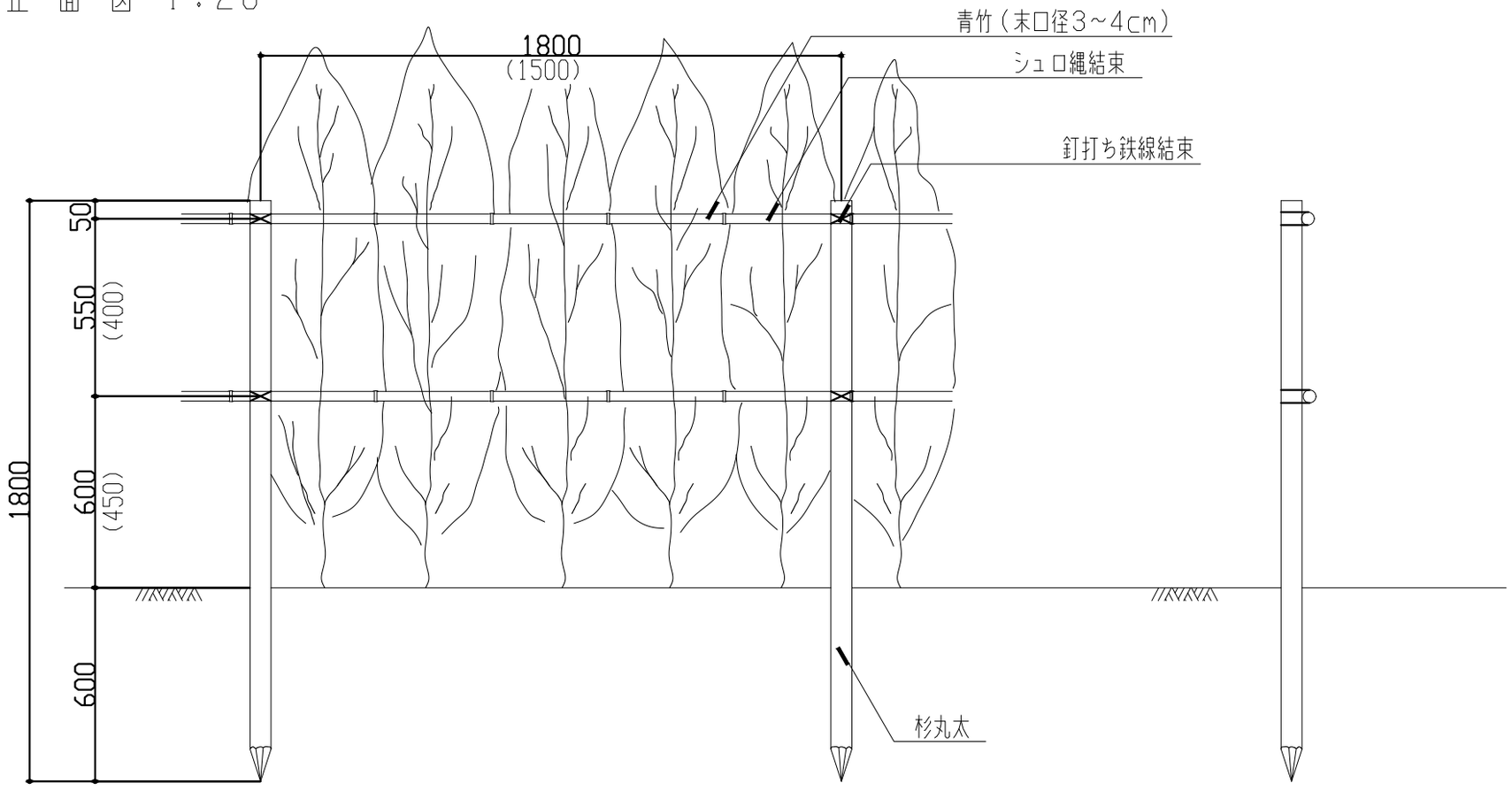
（1スパン当り）

名称	形状寸法	単位	数量 ①	②	③	④	摘要
杉丸太	末口径4．5~7．5cm ℓ=1．5m	本	1．0	1．0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1．8m	〃			1．0	1．0	
青竹	末口径3．0~4．0cm	m	3．0	3．6	3．0	3．6	
結束材料		式	1．0	1．0	1．0	1．0	

平 面 図 1：20



正 面 図 1：20

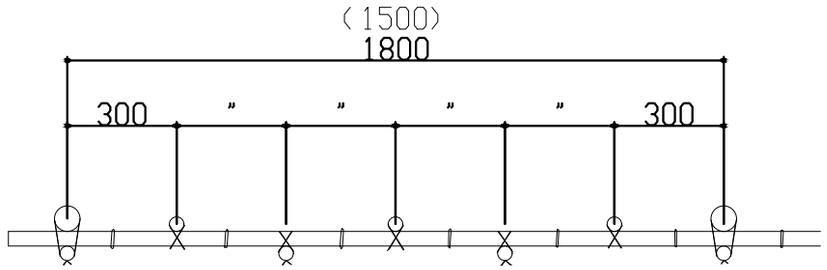


生垣高	①	②	③	④
高さ	0．9m	0．9m	1．2m	1．2m
支柱間隔	1．5m	1．8m	1．5m	1．8m

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・結束材料とは、亜鉛引鉄線（#18）、洋釘（6~10cm）、シュロ縄（3mm）等を示す。 ・結束は綾掛（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛、割り掛とも1回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取仕上とする。　・青竹は両端節止めとする ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。　・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植栽工 生垣工（B）	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正		62

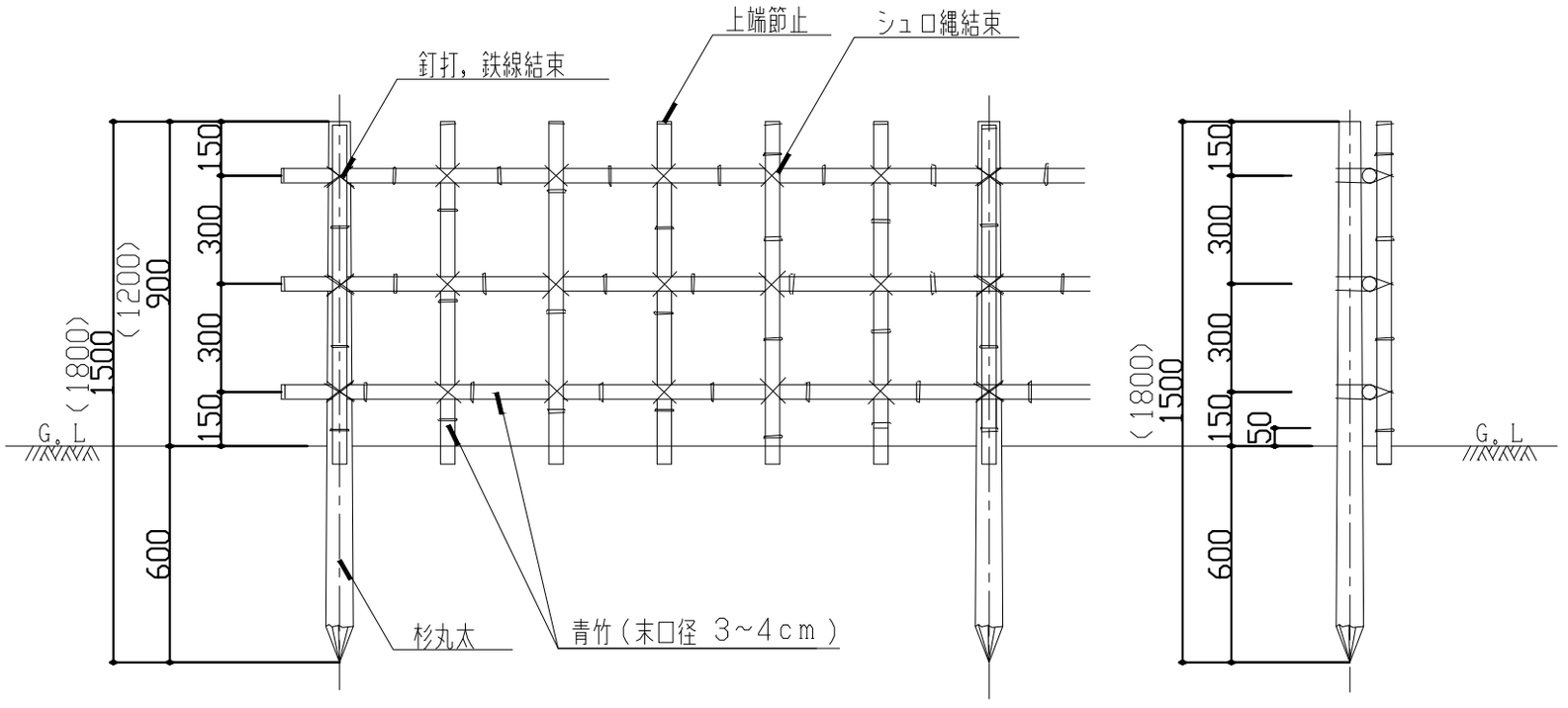
平 面 図 1:20



(1スパン当り)

名称	形状寸法	単位	数量 ①	②	③	④	摘要
杉 丸 太	末口径4.5~7.5cm ℓ=1.5m	本	1.0	1.0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 ℓ=1.8m	〃			1.0	1.0	
青竹	末口径3.0~4.0cm	m	9.0	10.8	12.0	14.4	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	1.0	

正 面 図 1:20



側 面 図 1:20

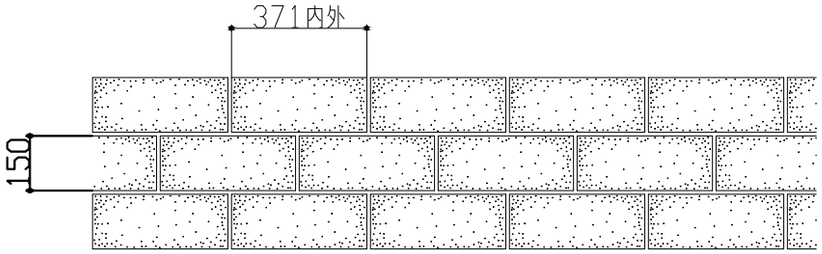
生垣工	①	②	③	④
高 さ	0.9m	0.9m	1.2m	1.2m
支柱間隔	1.5m	1.8m	1.5m	1.8m
胴縁本数	3本	3本	4本	4本
中間の立子本数	4本	5本	4本	5本

令和8年10月改定

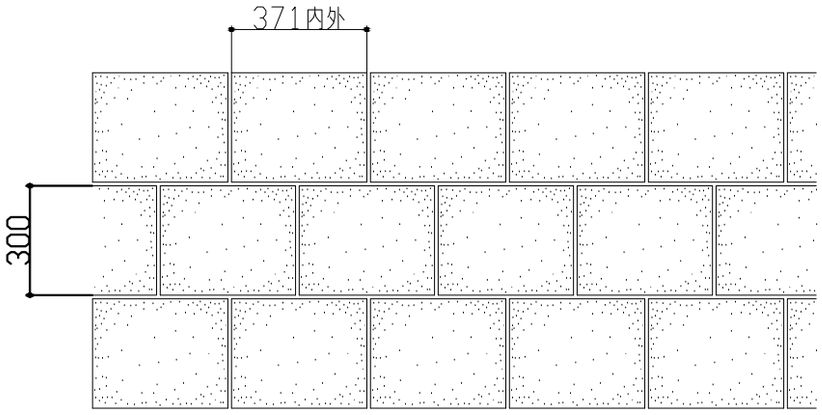
神戸市公園施設標準図集

仕様	名称	コード番号	記号	ページ
・結束材料とは、亜鉛引鉄線（#18），洋釘（6~10cm），シュロ縄（3㎜）等を示す。 ・結束は綾掛け（裏二文字型）とし、樹木結束は綾掛け，割掛けとも1回、支柱結束は綾掛け3回，割掛け2回とする。 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとのし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上げとする。 ・青竹は両端節止とする。 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	植 栽 工 生 垣 工 (C)	備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 21年10月修正		63

高 麗 芝　平面図 1：20



野　　芝　平面図 1：20



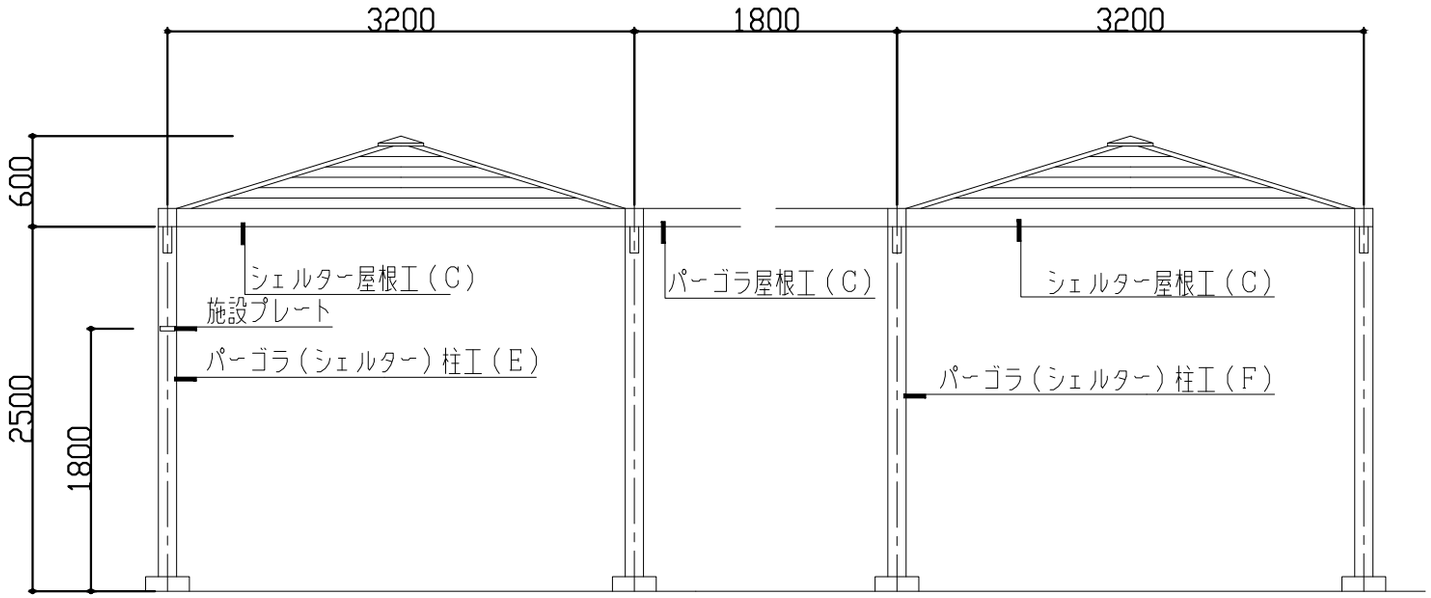
（100．0m² 当り）

名称	形状寸法	単位	大判（野芝）			小版（高麗芝）		
			50%張	80%張	100%張	50%張	80%張	100%張
芝		m²	50．0	80．0	100．0	50．0	80．0	100．0
山 砂		m³	2．7	2．7	2．7	2．7	2．7	2．7

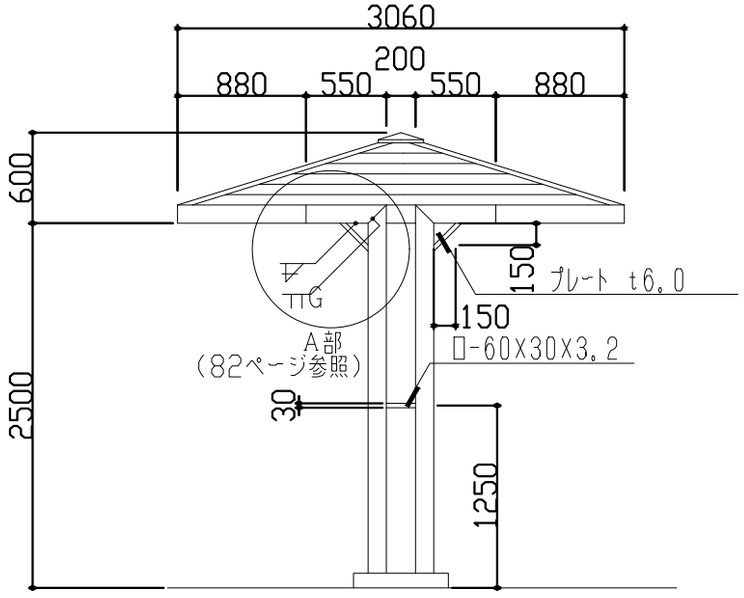
令和8年10月改定

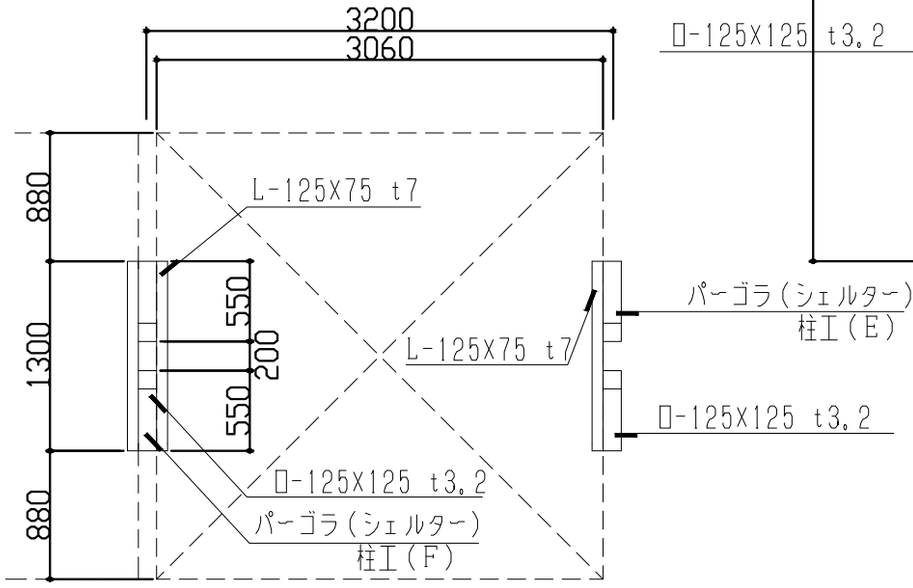
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・芝串の使用は必要に応じて設計書で指示する。 ・80%張の場合、目地幅は高麗芝で25mm、野芝で40mm程度を標準とする。 ・50%張の場合は、市松張を標準とする。	植栽工 張芝工	WB610050 備考 13年9月修正 24年10月修正 14年9月修正		66

組み合わせ正面図　1：50

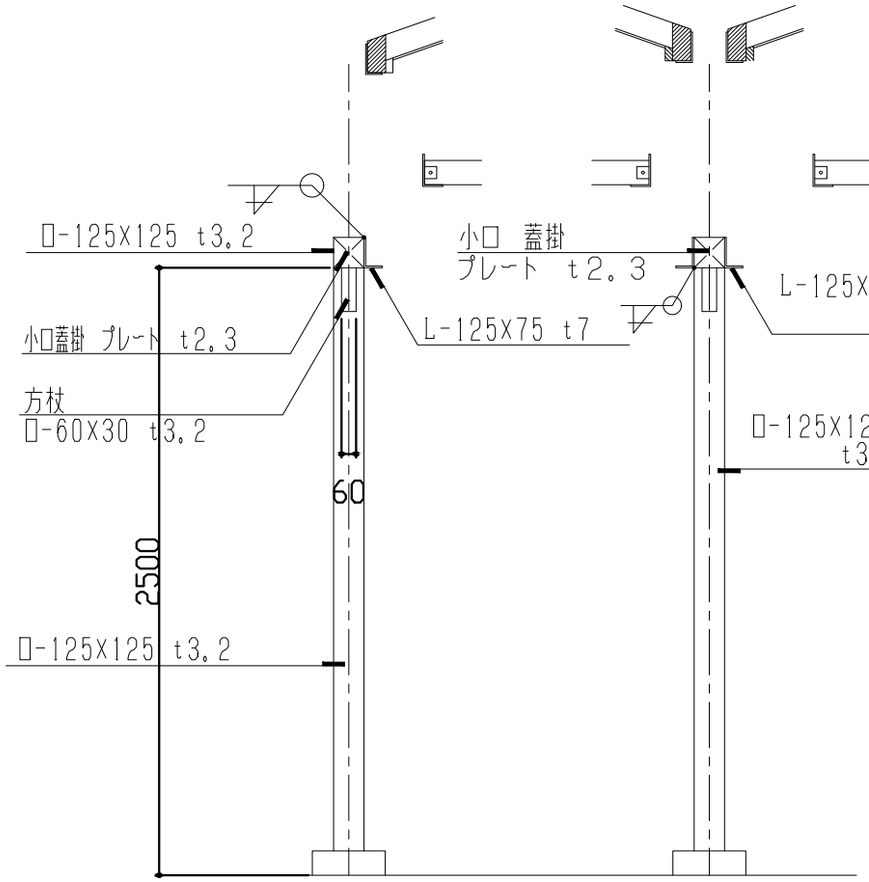


側　面　図　1：50





パーゴラ（シェルター）柱工（E）
1：30

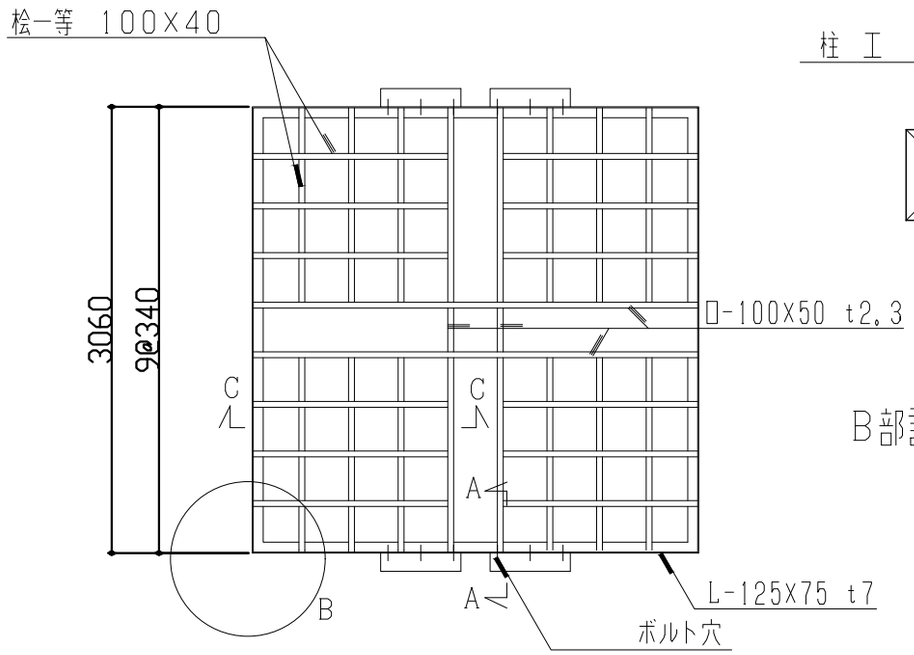


パーゴラ（シェルター）柱工（F）
1：30

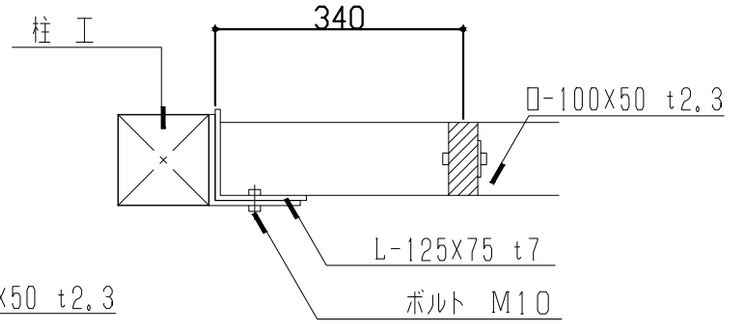
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・鋼材接合部は溶接止めとし、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	パーゴラ（シェルター）柱工（E）（F） パーゴラ屋根工（C） シェルター屋根工（C）	S5220，S5225 備　考 62年7月修正 18年3月修正		80

平 面 図 1:50



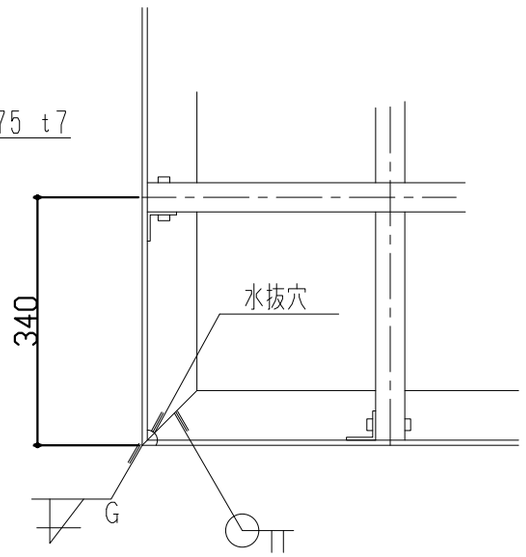
A－A部詳細図 1:10



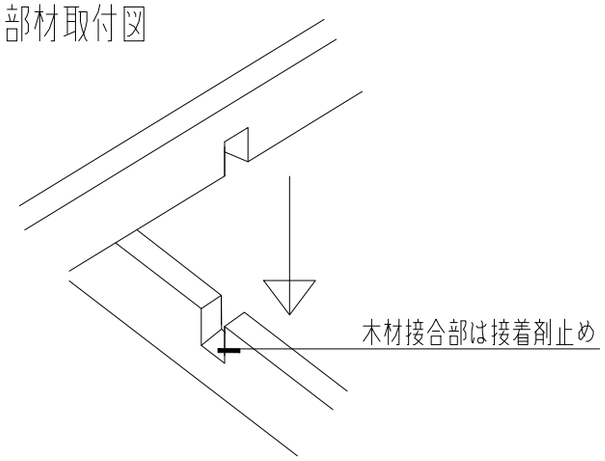
（1.0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
本 体	不等辺山形鋼	125X75 t7	kg	130.968	
	角パイプ	100X50t2.3	〃	62.913	
	桁止め金具	L-50X50X50t4	〃	7.344	
	桧一等	100X40X1,330	m^2	3.192	加圧式防腐処理 JIS A 9002
	雑材料		式	1.0	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回	m^2	8.928	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	8.928	
木部塗装		O.S.2回	〃	8.937	

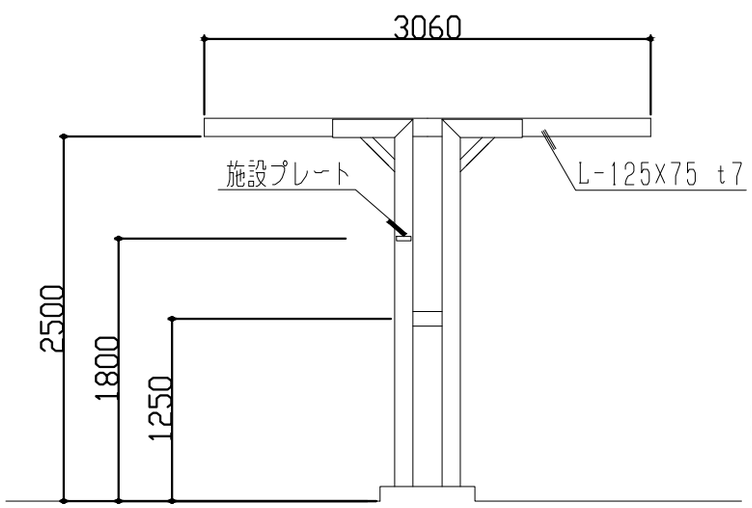
B部詳細図 1:10



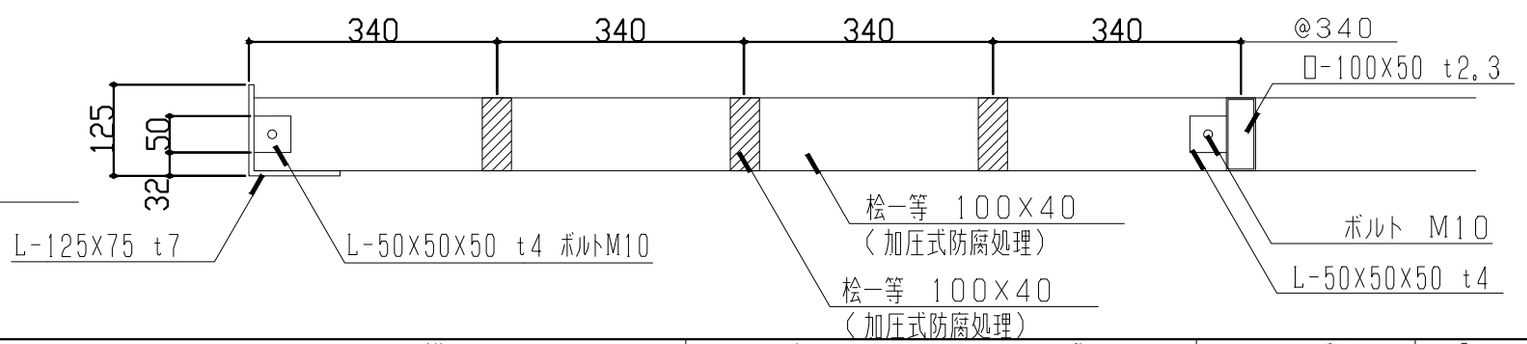
部材取付図



立 面 図 1:50



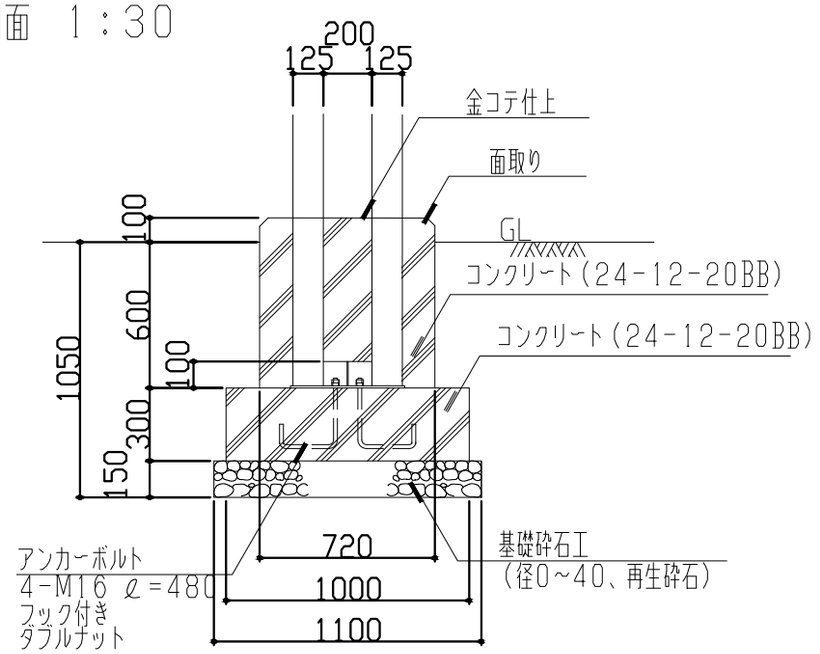
C－C断面図 1:10



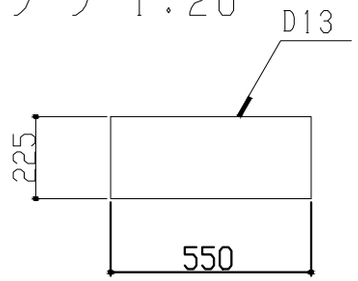
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法は全てカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・加圧式防腐処理は、JIS木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	パーゴラ屋根工（C）	S5220 備考 4年7月修正 18年3月修正 15年10月修正		81

側面　1：30



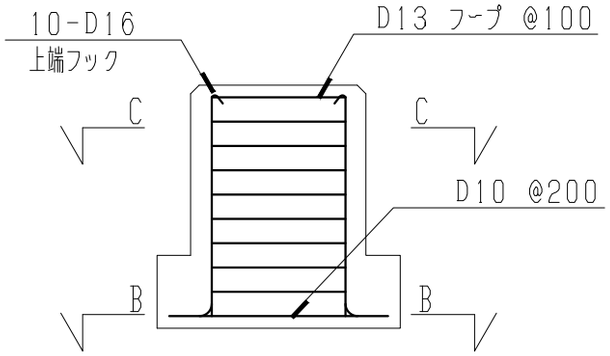
フープ　1：20



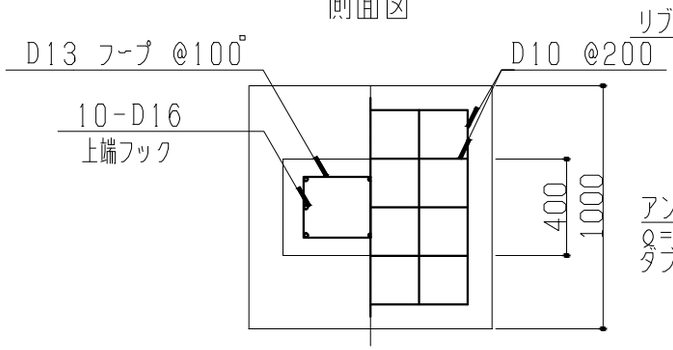
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量 (E)	数量 (F)	摘要
基礎砕石工		径0~40　t150	m^2	1．2	1．2	再生砕石
コンクリート		24-12-20BB	m^3	0．5	0．5	
型枠損料			m^2	2．7	2．7	
鉄筋工		D10	kg	4	4	
〃		D13	〃	13	13	
〃		D16	〃	16	16	
本体	アンカーボルト	M16　ℓ=480	本	4．0	4．0	
	プレート	t 9	kg	4．810	4．810	
	〃	t 6	〃	1．060	1．060	
	〃	t 4．5	〃	1．060	1．060	
	〃	t 2．3	〃	0．282	0．282	
	不等辺山形鋼	L-125X75X7	〃	13．910	27．820	
	角パイプ	125X125X3．2	〃	87．600	87．600	
		60X30X2．3	〃	1．263	1．263	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回	m^2	4．220	4．577	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	3．383	3．740	
床堀			m^3	－	－	
埋戻			〃	－	－	
残土処分			〃	－	－	

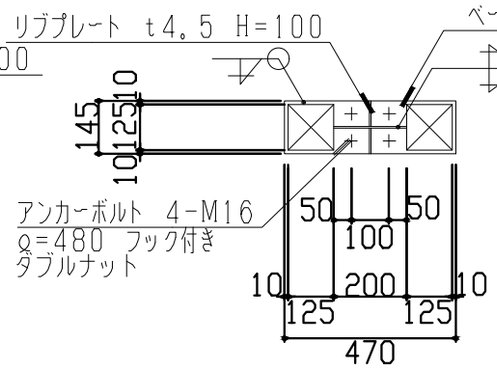
配筋図　1：30



側面図



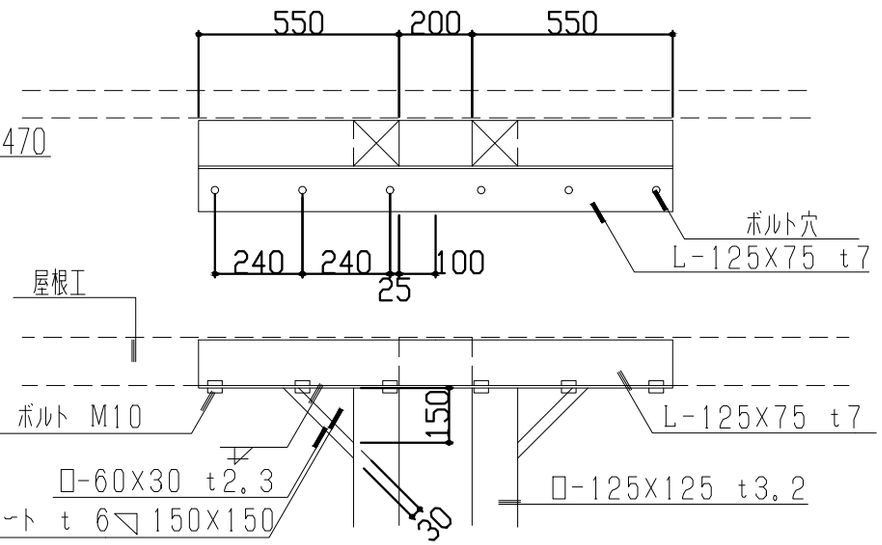
C－C 断面図



B－B 断面図

ベースプレート　1：20

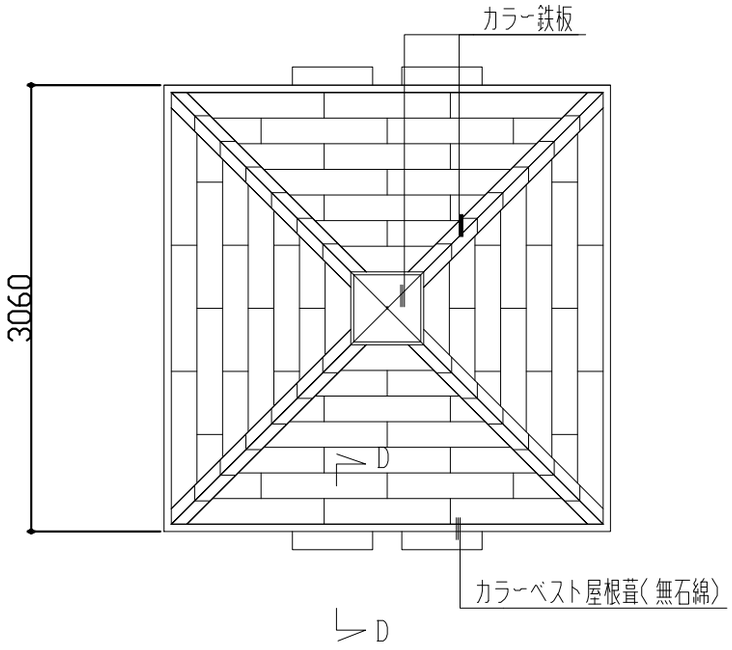
A部詳細図　1：20



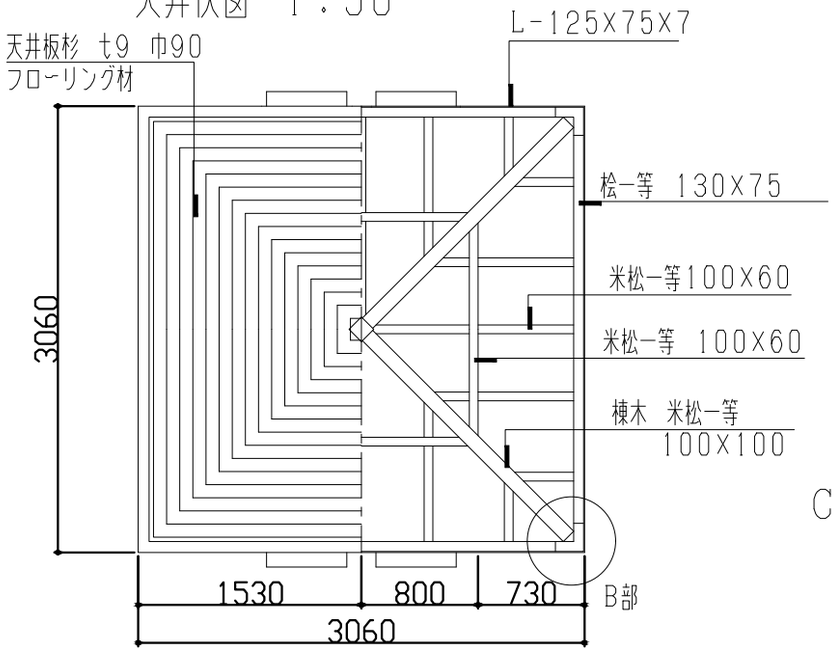
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・鉄筋規格は、D10の場合SD295A、D13・D16の場合SD345を標準とする。	パーゴラ（シェルター）柱工 （E）、（F） （基礎工）	S5225 備考 13年9月修正　22年10月修正 14年9月修正　28年10月修正 21年10月修正　05年10月修正		82

屋根伏図　1：50



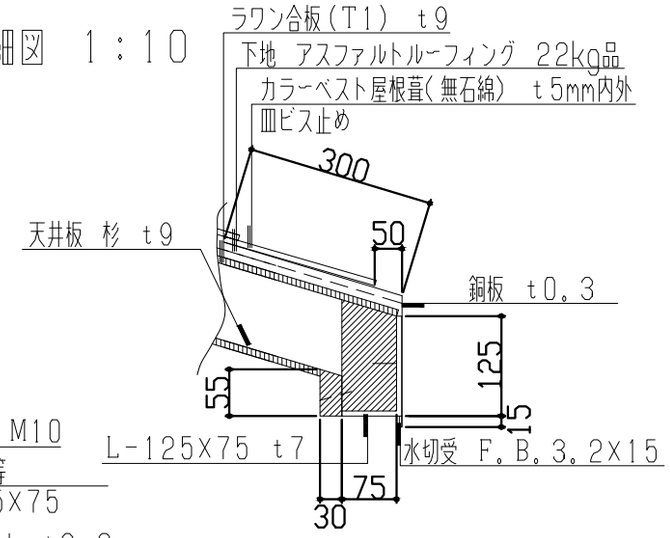
天井伏図　1：50



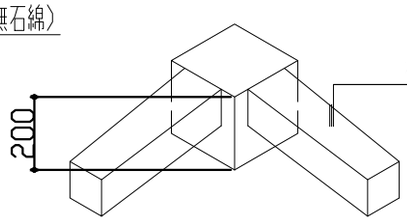
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
本体	不等辺山形鋼	125X75X7	kg	130．968	
	プレート	t 3．2	〃	11．645	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回	m^2	5．823	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	2．815	
	木材	桧一等	m^3	0．139	加圧式防腐処理 JIS A 9002
		杉一等	〃	0．073	
		米松一等	〃	0．171	
	カラーベスト屋根葺	t5mm内外(無石綿)	m^2	8．761	
木材塗装		O．S．2回	〃	8．122	

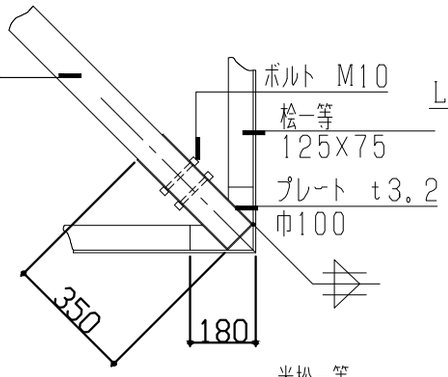
C部詳細図　1：10



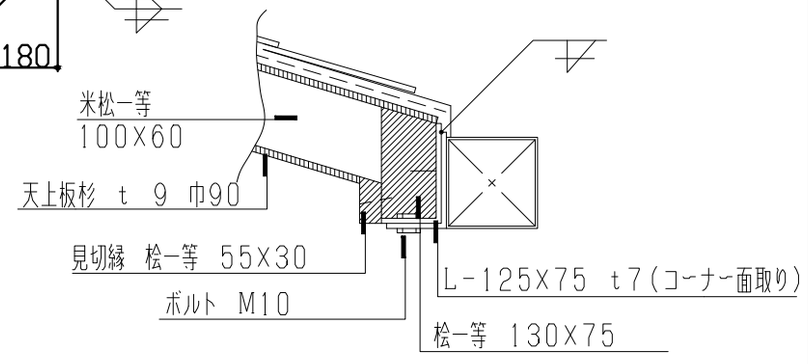
A部詳細図　1：20

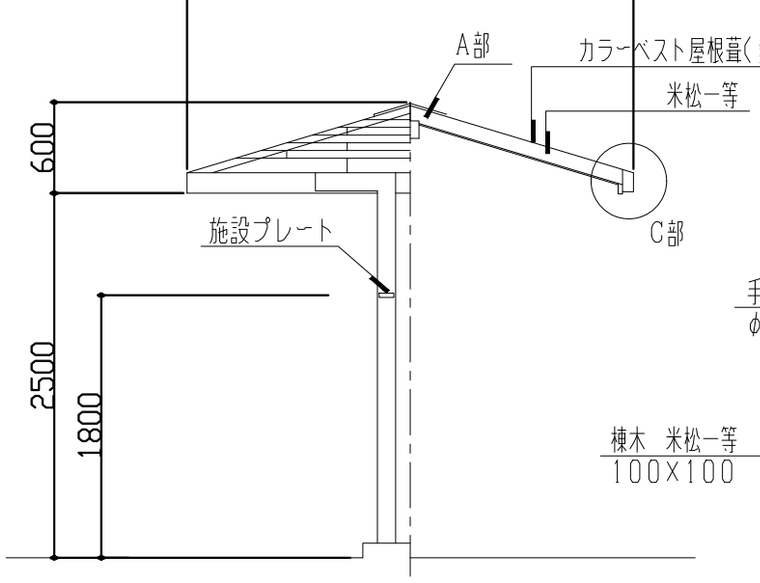


B部詳細図　1：20

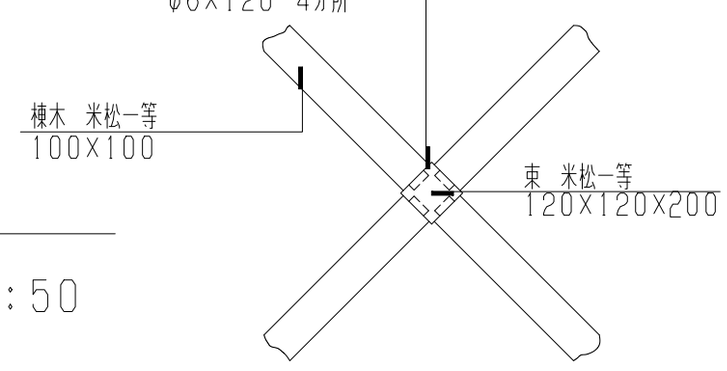


D－D断面詳細図　1：10





立面図　1：50　断面図　1：50



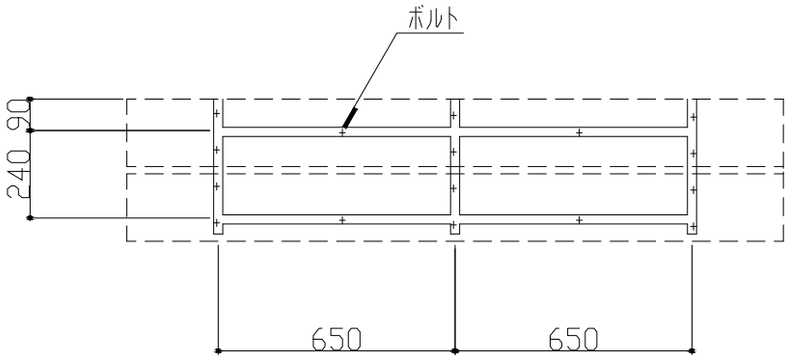
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ　Ｋ　1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ　Ａ　9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	シェルター屋根工（C）	S5220 備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 8年10月修正		83

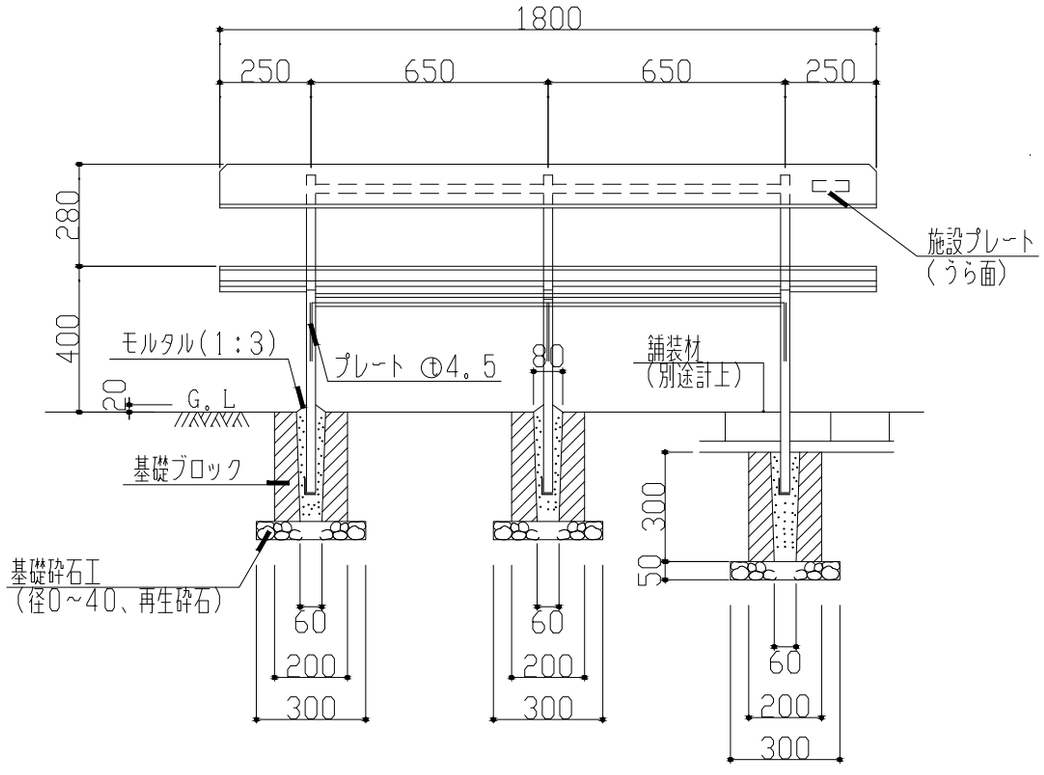
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 厚50	m^2	0．4	再生砕石
基礎ブロック		400X200X300	個	3．0	モルタル含む
本体	米松一等 桧 一 等 兵庫県産杉 兵庫県産桧	1800X150X27	枚	1．0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	米松一等 桧 一 等 兵庫県産杉 兵庫県産桧	1800X205X50	〃	2．0	〃
	角 鋼	25X25	kg	9．478	
	プレート	t4．5	〃	1．916	
	等辺山形鋼	L-3X40X40	〃	1．098	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	0．885	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0．598	
	雑 材 料	サラボルト、ボルト	式	1．0	
	木材塗装	S．O．P．3回	m^2	2．522	設計書指示
		O．S．2回	〃	2．522	
床掘			m^3	－	
埋戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

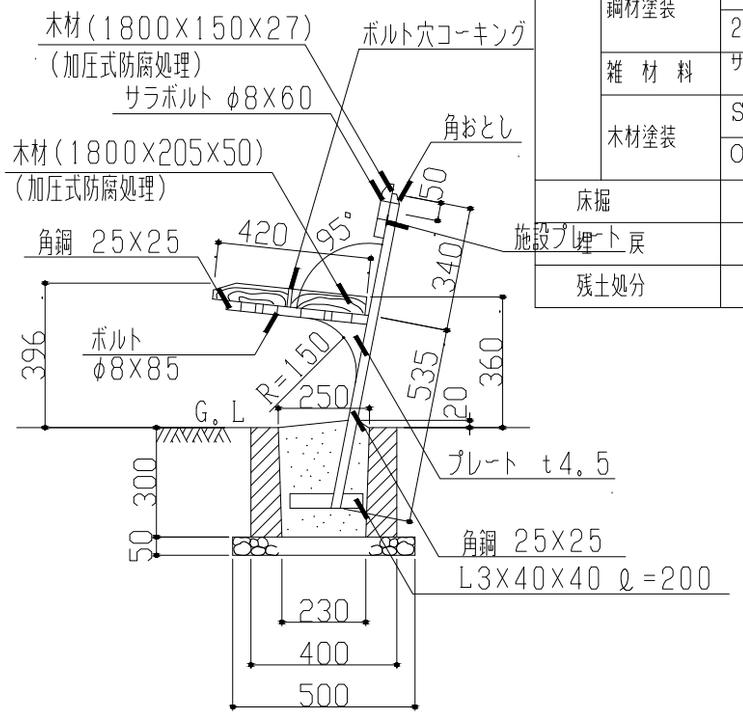
平 面 図 1：20



正 面 図 1：20



側 面 図 1：20

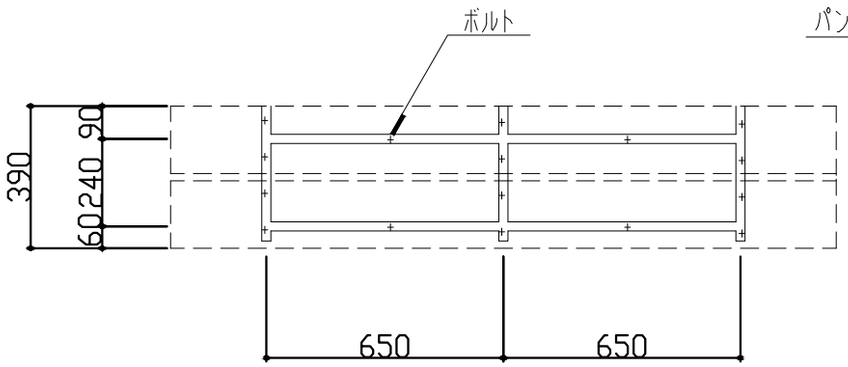


舗装材使用の場合

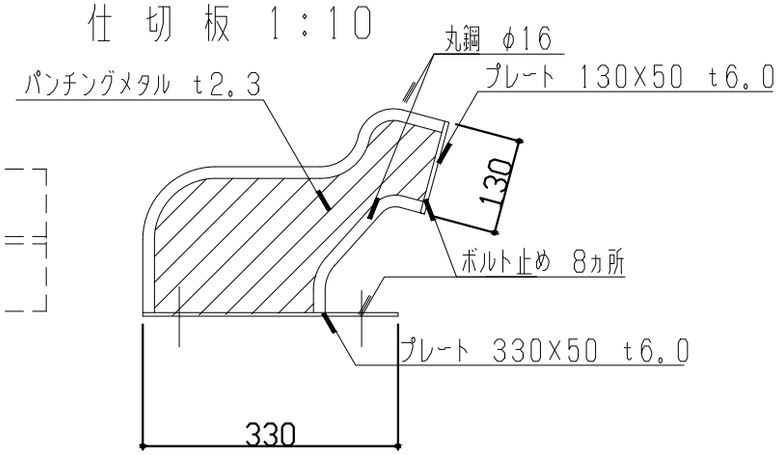
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は、溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベ ン チ 工 (A)-1	S5245 備考 14年9月修正 25年10月修正 15年10月修正 28年10月修正 18年3月修正 05年4月修正		84-1

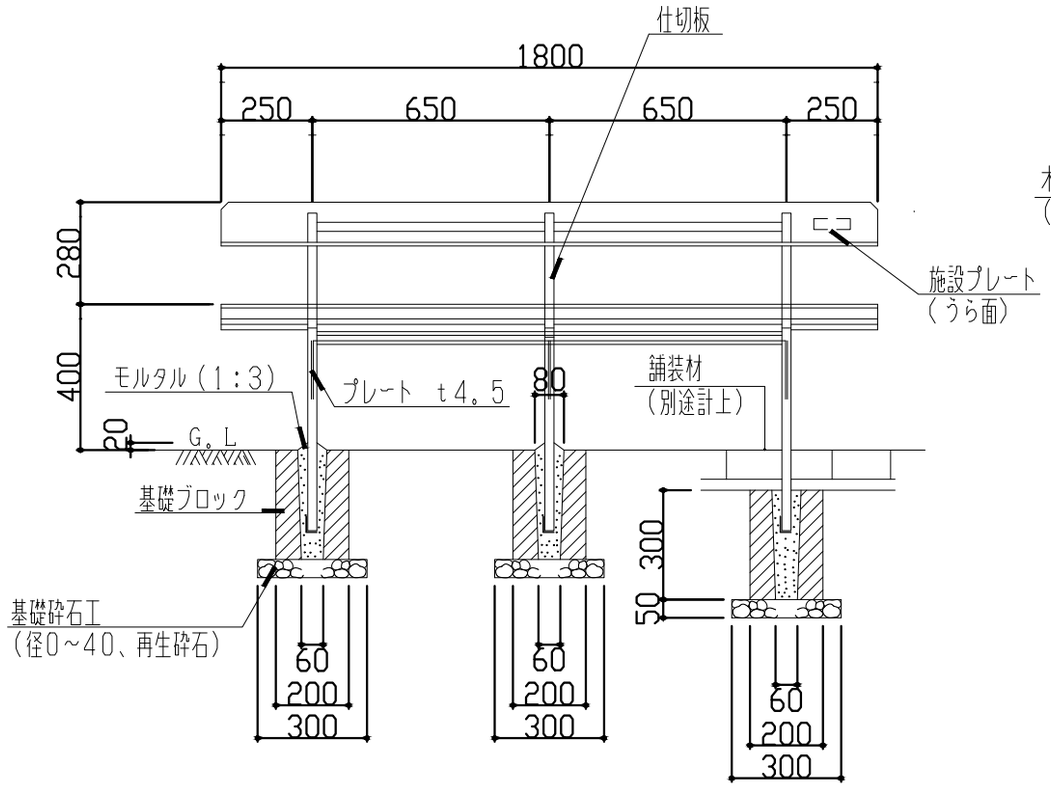
平面図 1:20



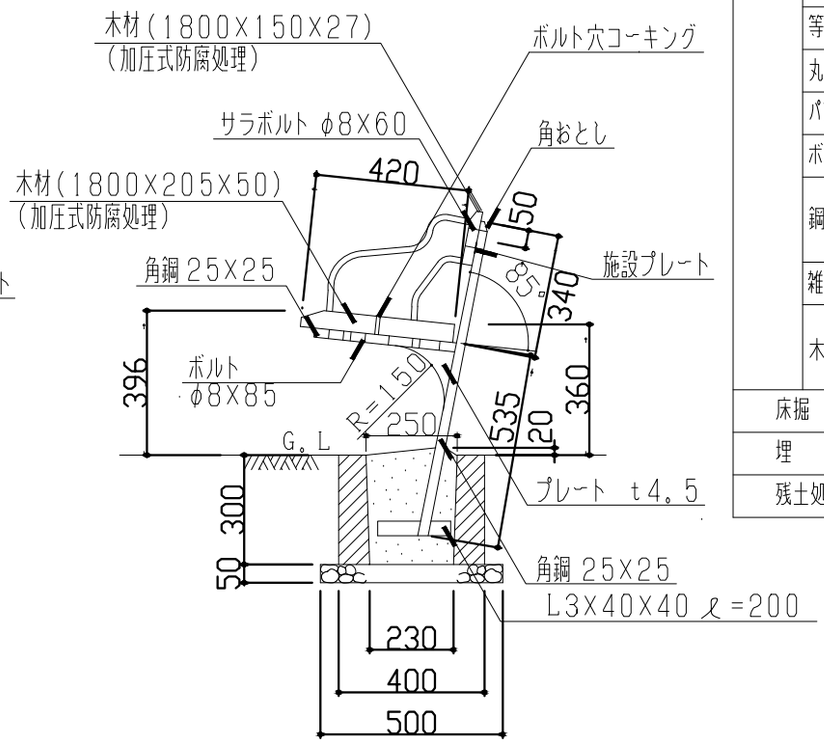
仕切板 1:10



正面図 1:20



側面図 1:20



舗装材使用の場合

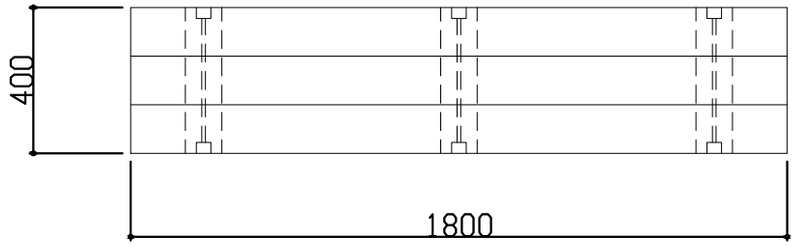
(1.0基当り)

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t50	m^2	0.4	再生砕石
基礎ブロック		400X200X300	個	3.0	モルタル含む
本体	米松一等 桧 一 等 兵庫県産杉 兵庫県産桧	1800X150X27	枚	1.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	米松一等 桧 一 等 兵庫県産杉 兵庫県産桧	1800X205X50	〃	2.0	〃
	角鋼	25X25	kg	9.305	
	プレート	t4.5	〃	1.916	
	〃	t6.0	〃	1.130	
	等辺山形鋼	L-3X40X40	〃	1.098	
	丸鋼	φ16	kg	1.358	
	パンチングメタル	t 2.3	m^2	0.057	
	ボルト		本	8.0	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回	m^2	0.963	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0.676	
	雑材料	サラボルト、ボルト	式	1.0	
	木材塗装	S.O.P.3回	m^2	2.505	設計書指示
		O.S.2回	〃	2.505	
床掘			m^3	-	
埋戻			〃	-	
残土処分			〃	-	

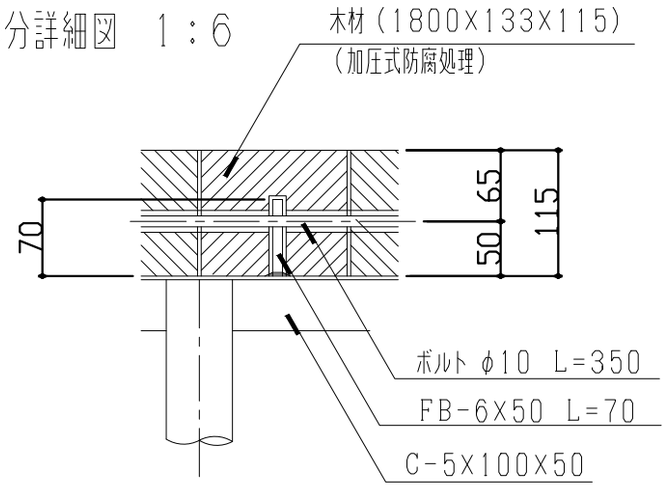
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベンチ工(A)-2	S5245 備考 14年9月修正 25年10月修正 15年10月修正 28年10月修正 18年3月修正 05年4月修正		84-2

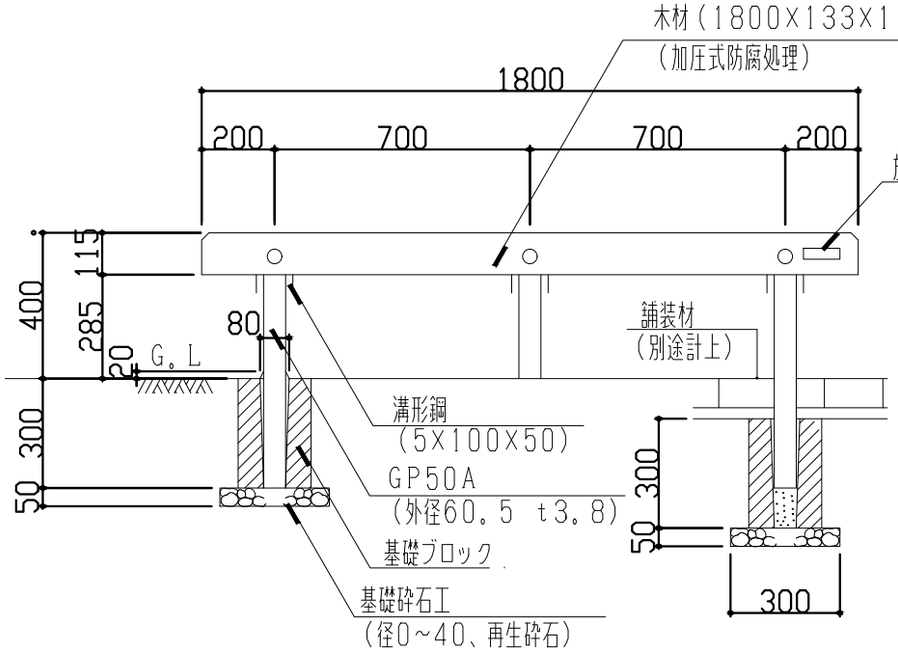
平　面　図　1：20



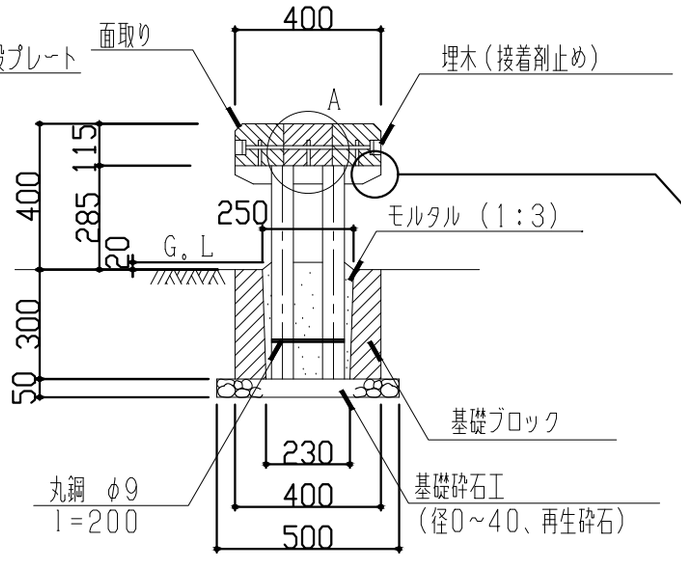
A部分詳細図　1：6



立　面　図　1：20

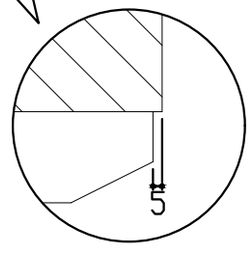


断　面　図　1：20



舗装材使用の場合

拡　大　図



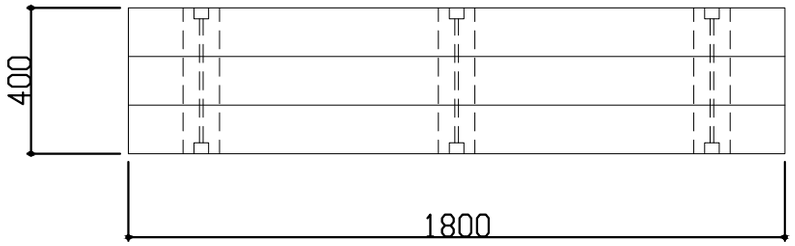
（1。0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		t50	m^2	0。45	再生砕石
基礎ブロック		400X200X300	個	3。0	モルタル含む
本体	米松一等	1800X133X115	枚	3。0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	桧一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産桧				
	GP50A	外径60。5t3。8	kg	18。638	
	溝型鋼	5X100X50	〃	11。232	
	丸鋼	φ9	〃	0。299	
	FB-6X50	L=70	〃	0。743	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1。146	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0。684	
	ボルト	φ10　L=350	本	3。0	
	雑材料	埋木　パテ	式	1。0	
木材塗装		S。O。P。3回	m^2	1。946	設計書指示
		O。S。2回	〃	1。946	
床掘			m^3	－	
埋　戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

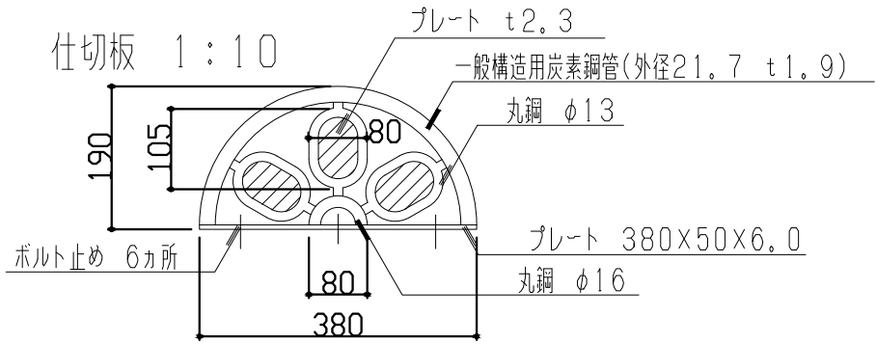
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳＫ１５７０」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧防腐処理ＪＩＳＡ９００２」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 Ⓑ	ベンチ工（B）-1	S5245 備考 14年9月修正　28年10月修正 15年10月修正　05年4月修正 18年3月修正		85

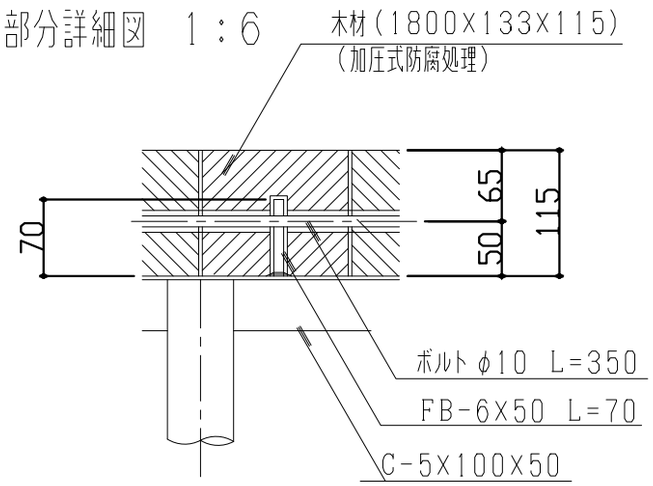
平 面 図 1:20



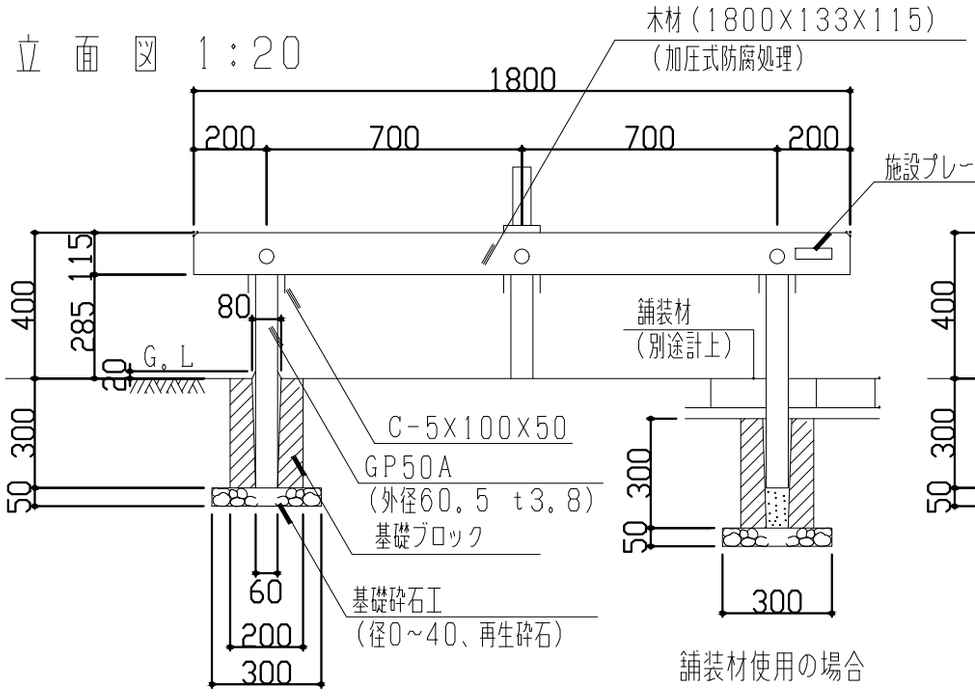
仕切板 1:10



A部分詳細図 1:6

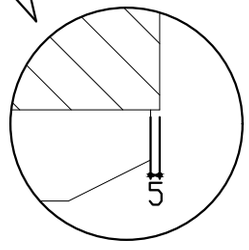


立 面 図 1:20



断 面 図 1:20

拡大図



(1.0基当り)

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		t50	m^2	0.45	再生砕石
基礎ブロック		400X200X300	個	3.0	モルタル含む
本体	米松一等	1800X133X115	枚	3.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	桧一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産桧				
	GP15A	外径21.7t1.9	kg	0.583	
	GP50A	外径60.5t3.8	〃	17.682	
	溝型鋼	5X100X50	〃	11.232	
	丸鋼	φ9	〃	0.449	
	〃	φ13	〃	0.809	
	〃	φ16	〃	0.980	
	FB-6X50	L=70	〃	1.486	
	プレート	t2.3	〃	0.197	
	〃	t6.0	〃	2.828	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1.287	
		2液性ウレタン塗装2回		0.807	
	ボルト	φ10 L=350	本	3.0	
	〃	仕切り板用	〃	6.0	
	雑材料	埋木 パテ	式	1.0	
木材塗装		S.O.P.3回	m^2	1.927	設計書指示
		O.S.2回			
床掘			m^3	-	
埋戻			〃	-	
残土処分			〃	-	

令和8年10月改定

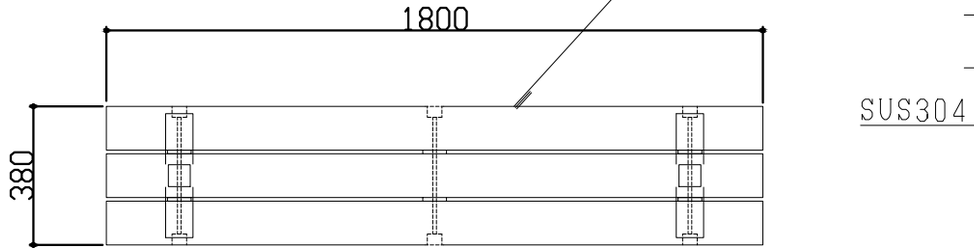
神戸市公園施設標準図集

仕様	名称	コード番号	記号	ページ
・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベンチ工(B)-2	S5245 備考 14年9月修正 28年10月修正 15年10月修正 05年4月修正 18年3月修正		86-1

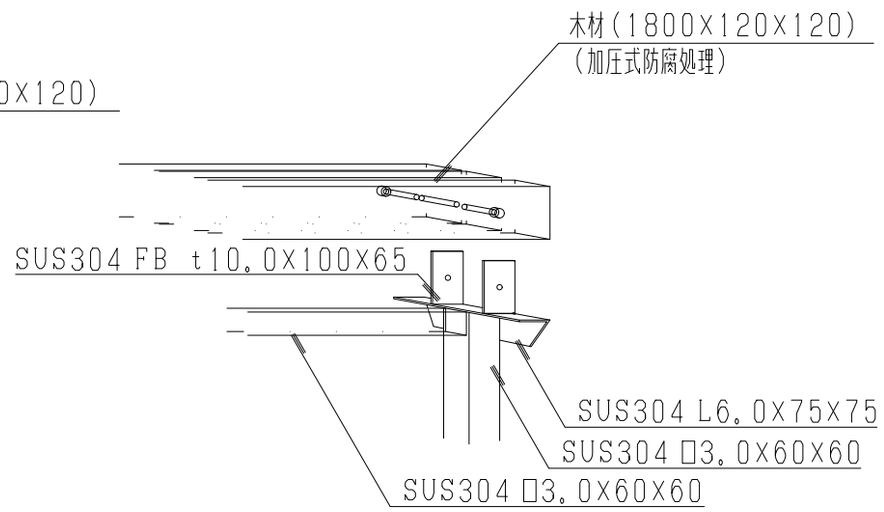
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		t50	m^2	0．32	再生砕石
基礎ブロック		300X300X300	個	2．0	モルタル含む
本体	米松一等	1800X120X120	枚	3．0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
	等辺山形鋼	L6．0X75X75	kg	0．686	
	角鋼	□3．0X60X60	〃	14．295	
	FB-10X65	L=100	〃	2．062	
	丸鋼	φ9	〃	0．242	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1．287	
		2液性ウレタン塗装2回		0．807	
	ボルト	φ10 L=330	本	2．0	
	〃	仕切り板用	〃	4．0	
	雑材料	埋木 パテ	式	1．0	
木材塗装		0．S．2回	m^2	1．927	設計書指示
床掘			m^3	－	
埋戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

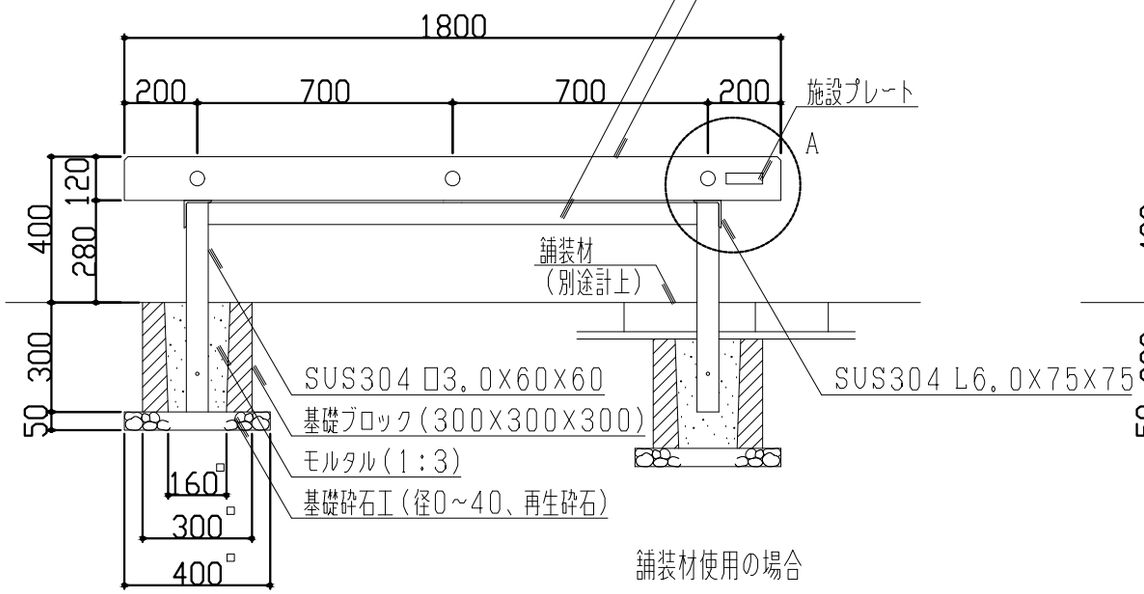
平面図 1:20



A部拡大図

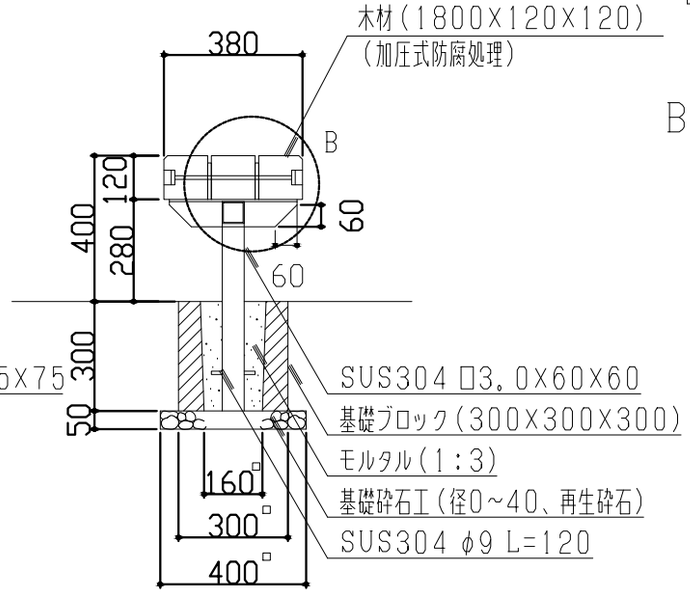


立面図 1:20

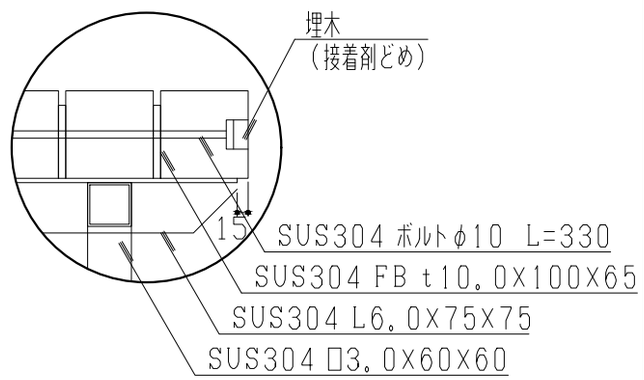


舗装材使用の場合

断面図 1:20



B部拡大図 1:10



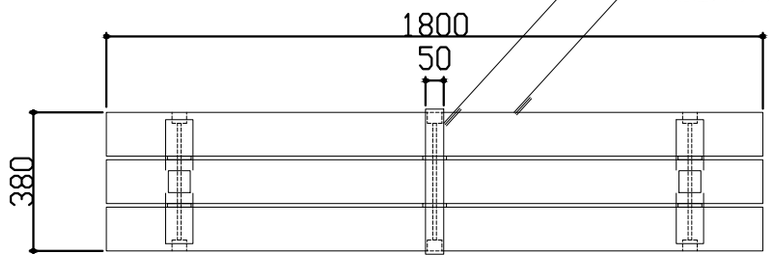
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。 ・芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鋼材はSUS304、ヘアライン仕上げとする。 ・SUS接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・施設プレートを取付けること。ただし、複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベンチ工（B）-3	S5245 備考 15年10月修正 21年10月修正 16年9月・11月修正 24年10月修正 29年10月修正 05年4月・10月修正		86-2

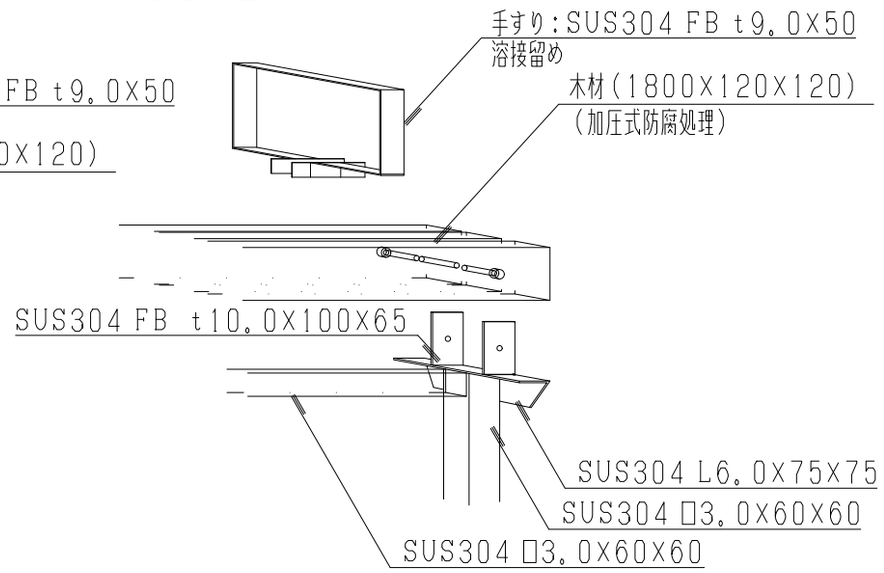
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		t50	m^2	0．32	再生砕石
基礎ブロック		300X300X300	個	2．0	モルタル含む
本体	米松一等	1800X120X120	枚	3．0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
	等辺山形鋼	L6．0X75X75	kg	0．686	
	角鋼	□3．0X60X60	〃	14．295	
	FB-9X50		〃	7．433	
	FB-10X65	L=100	〃	2．062	
	丸鋼	φ9	〃	0．242	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1．287	
		2液性ウレタン塗装2回		0．807	
	ボルト	φ10 L=330	本	2．0	
	〃	仕切り板用	〃	4．0	
	雑材料	埋木 パテ	式	1．0	
木材塗装		0．S．2回	m^2	1．927	設計書指示
床掘			m^3	－	
埋戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

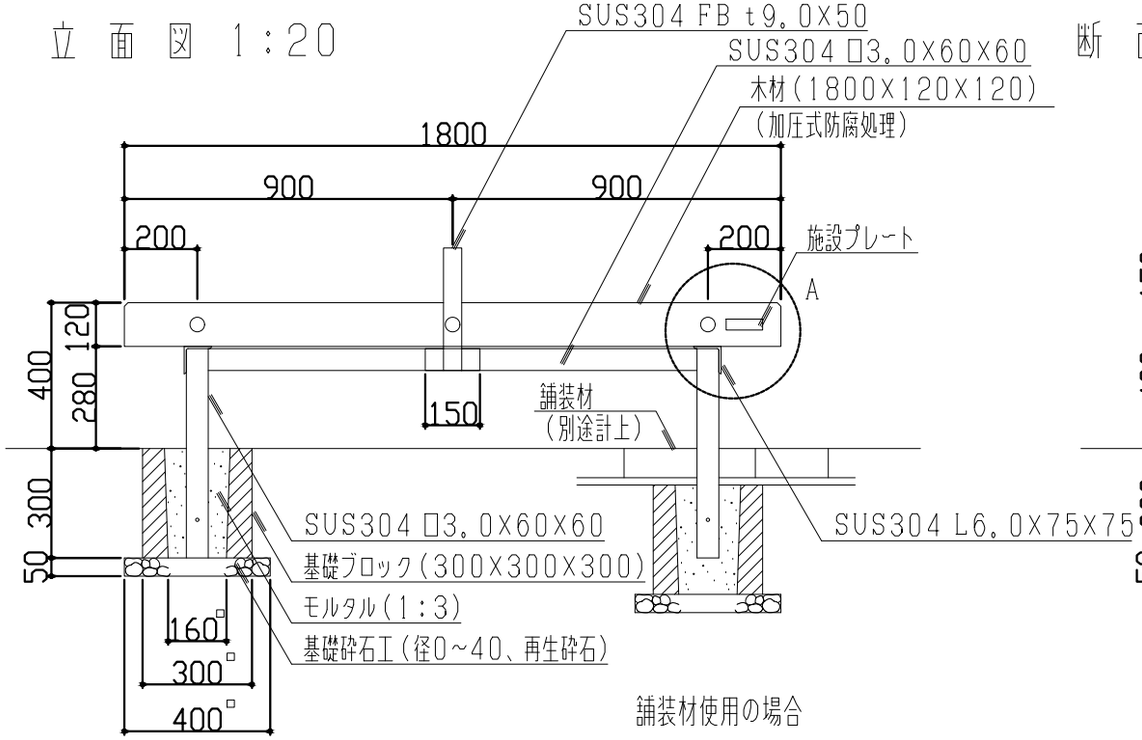
平面図 1:20



A部拡大図

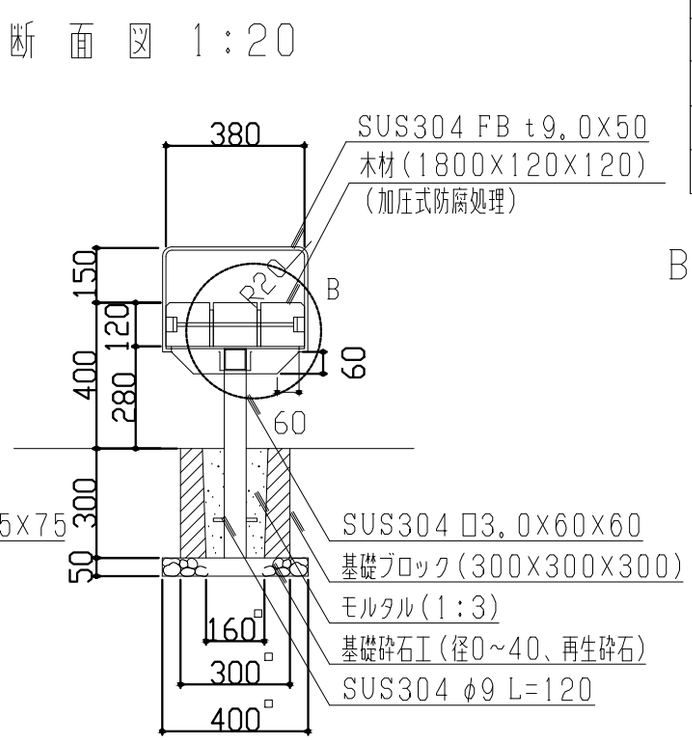


立面図 1:20

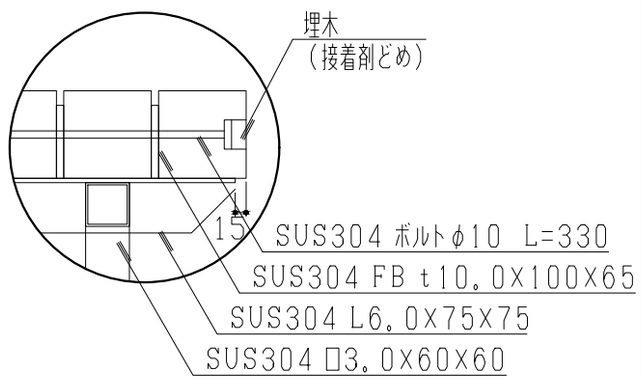


舗装材使用の場合

断面図 1:20



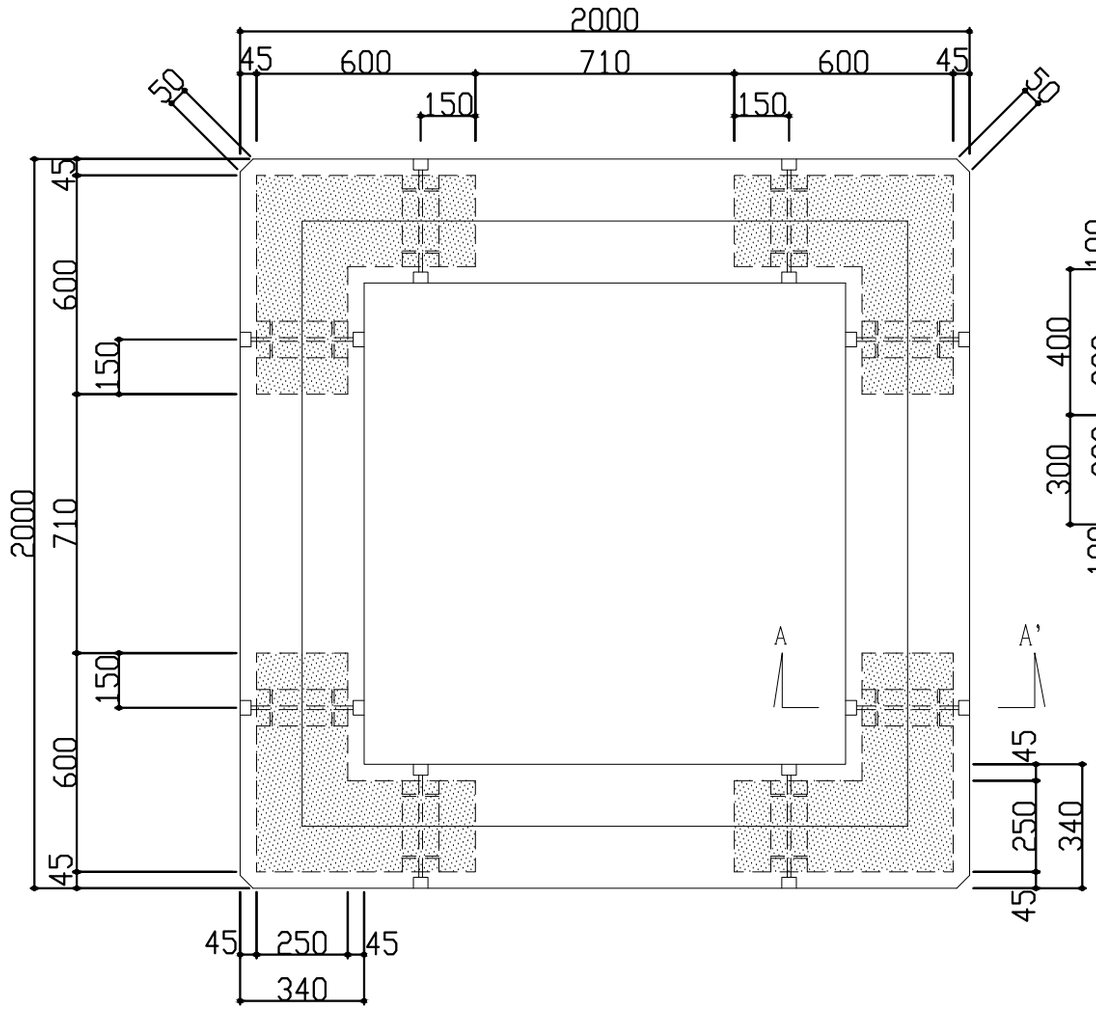
B部拡大図 1:10



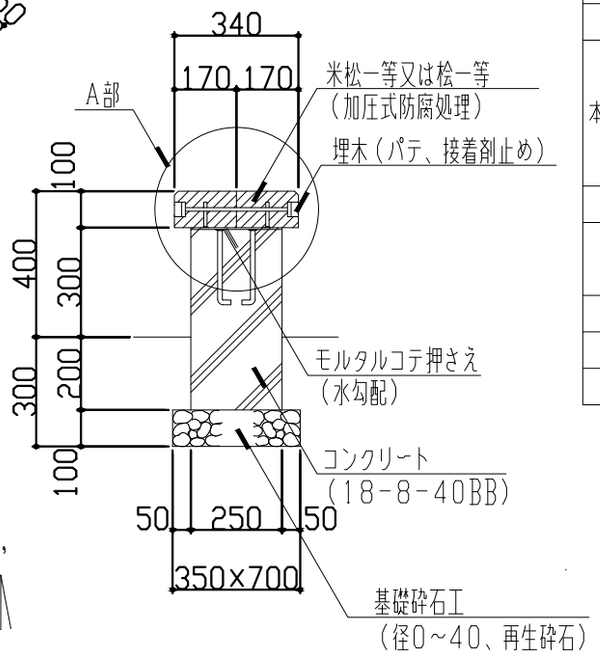
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。 ・芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・鋼材はSUS304、ヘアライン仕上げとする。 ・SUS接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・施設プレートを取付けること。ただし、複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベンチ工（B）-4	S5245 備考 15年10月修正 21年10月修正 16年9月・11月修正 24年10月修正 29年10月修正 05年4月・10月修正		86-3

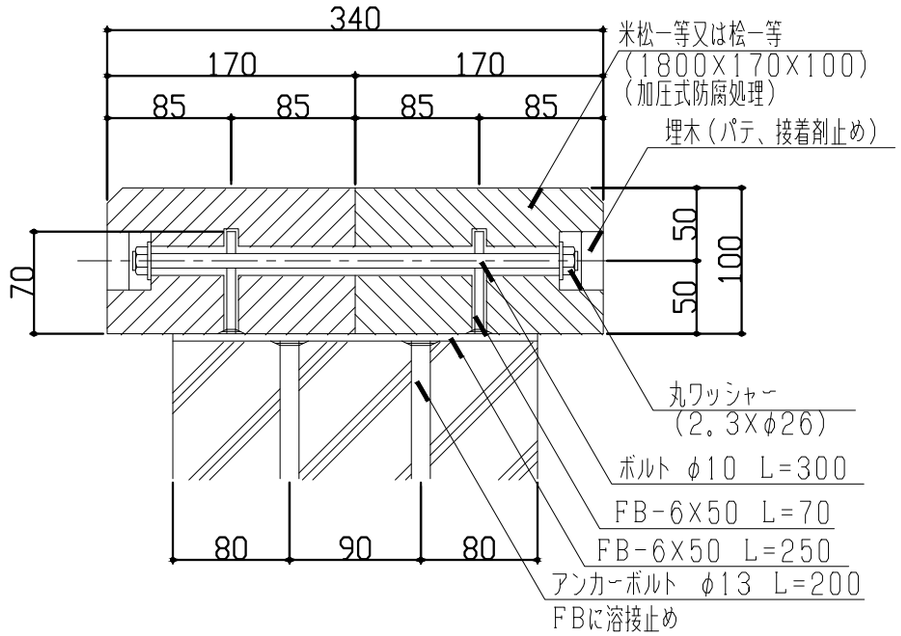
平 面 図 1:20



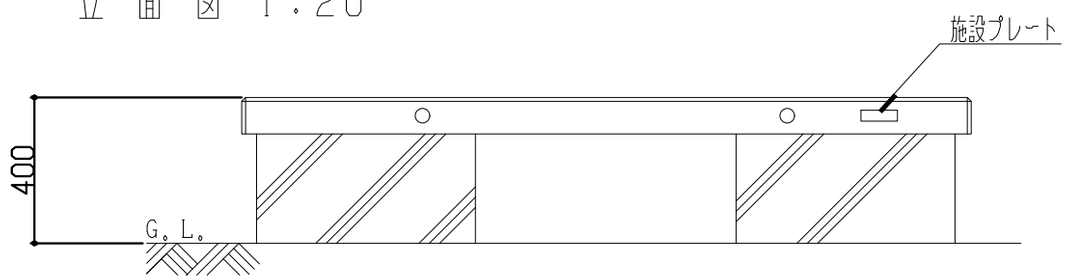
A－A’ 断面図 1:20



A部詳細図 1:5



立 面 図 1:20



（1.0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	1.4	再生砕石
コンクリート		18-8-40BB	〃	0.475	
型枠損料			m^2	4.800	
本体	米松一等	100X170	m	13.200	加圧式防腐処理 JIS A9002
	桧一等				
	アンカーボルト	φ13 L=200	本	16.0	
	雑材料		式	1.0	
鋼材塗装		2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	0.312	
木材塗装		S.O.P.3回	〃	5.605	設計書指示
		O.S.2回	〃	5.605	
床堀			m^3	－	
埋戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

令和8年10月改定

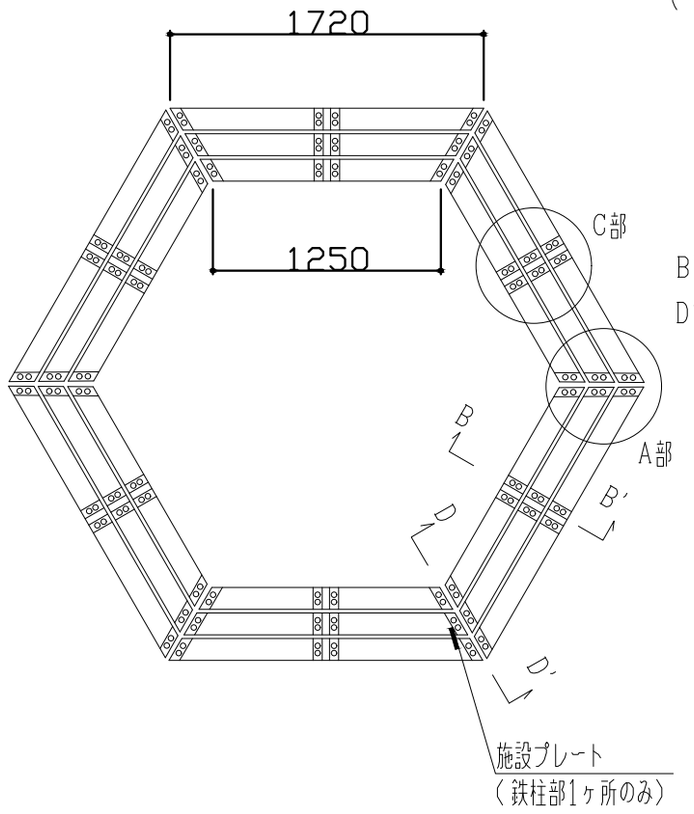
神戸市公園施設標準図集

仕様

- 木材寸法はカンナ仕上寸法とする。
- 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ 9002」に適合するものとする。
- 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。

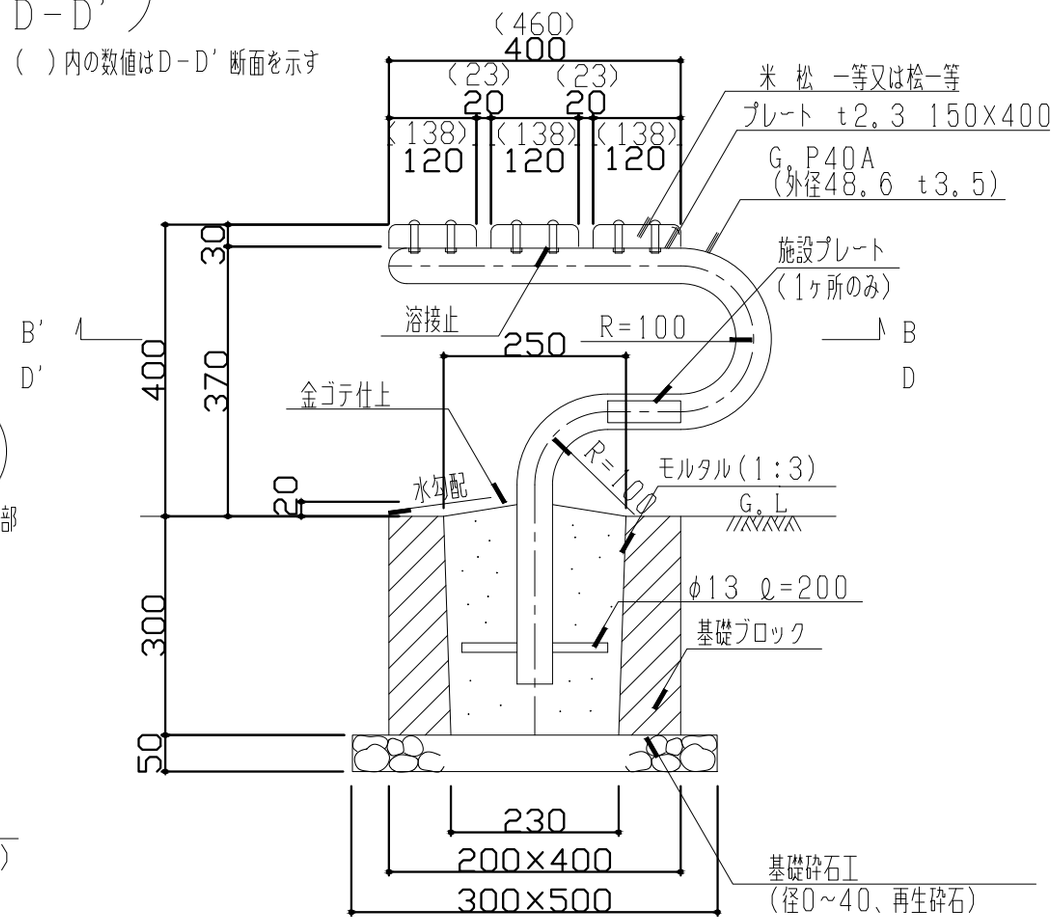
名称	コード番号	記号	ページ
ベンチ工（D）	S5245		87
	備考		
	14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 28年10月修正		

平 面 図 1:40



B－B'
D－D' 断面図 1:10

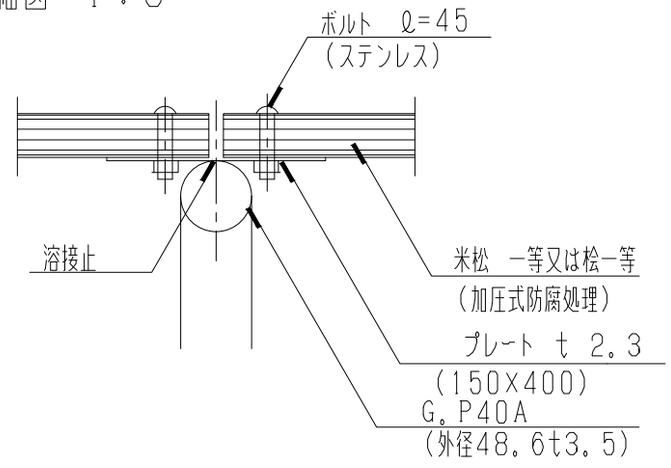
（ ）内の数値はD－D'断面を示す



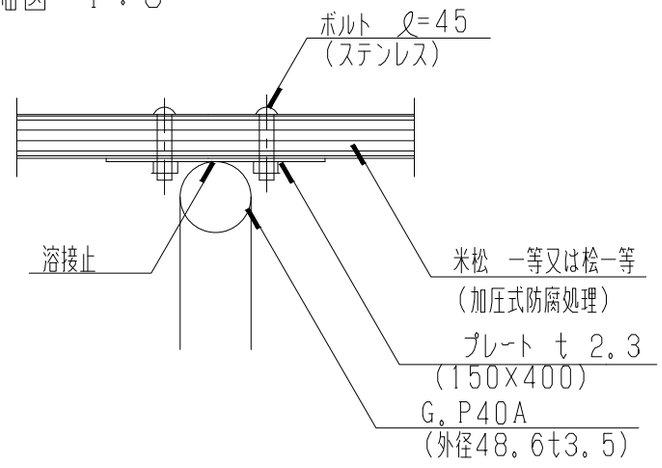
（1.0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t50	m^2	1.8	再生砕石
基礎ブロック		400X200X300	個	12.0	モルタル含む
本体	米松一等 桧一等		m	26.730	加圧式防腐処理 JIS A9002
本体	GP40A	外径48.6t3.2	kg	56.774	
本体	プレート	t2.3	〃	13.007	
本体	丸鋼	φ13	〃	2.388	
本体	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	3.740	
本体	鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	2.452	
本体	ボルト	L=45 ステンレス	本	144.0	
木材塗装		S.O.P.3回	m^2	7.299	設計書指示
木材塗装		O.S.2回	〃	7.299	
床掘			m^3	－	
埋 戻			〃	－	
残土処分			〃	－	

A部詳細図 1:5



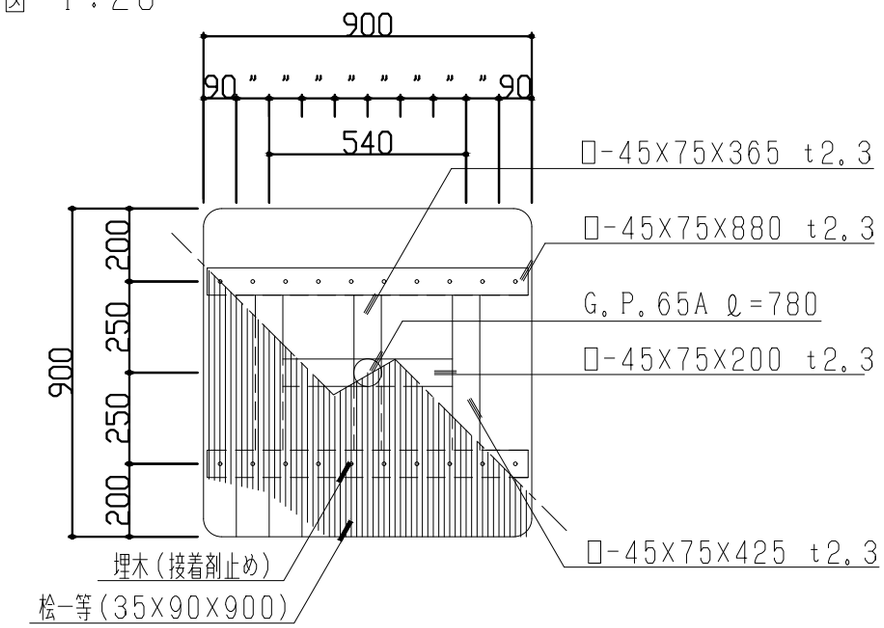
C部詳細図 1:5



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ Ｋ １５７０」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ Ａ ９００２」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	ベンチ工（E）	S5245 備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 28年10月修正		88

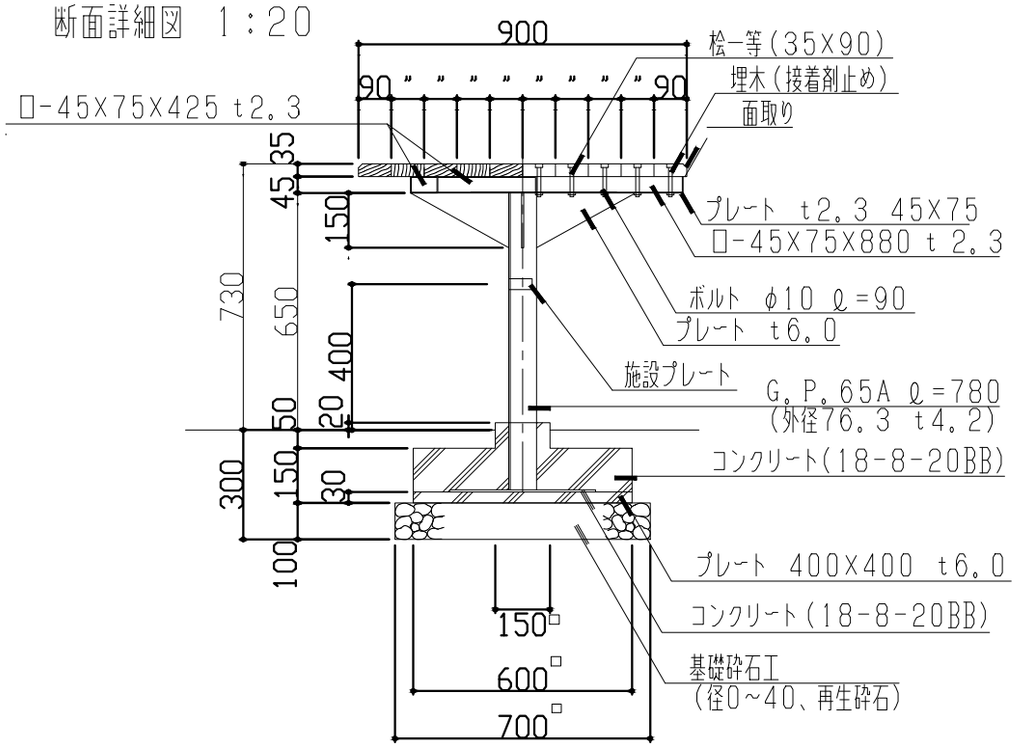
平 面 図 1:20



(1.0基当り)

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	0.4	再生砕石
コンクリート		18-8-20BB	m^3	0.05	
本体	桧一等	35X90	m	9.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	GP 65A	外径76.3 t4.2	kg	5.8	
	ボルト	φ10 ℓ=90	本	20.0	
	角パイプ	45X75 t2.3	kg	15.1	
	プレート	t6.0	〃	11.8	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	〃	1.5	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	1.0	
木材塗装		O.S.2回	m^2	2.3	
型枠損料			m^2	0.402	
床堀			m^3	-	
埋戻			〃	-	
残土処分			〃	-	

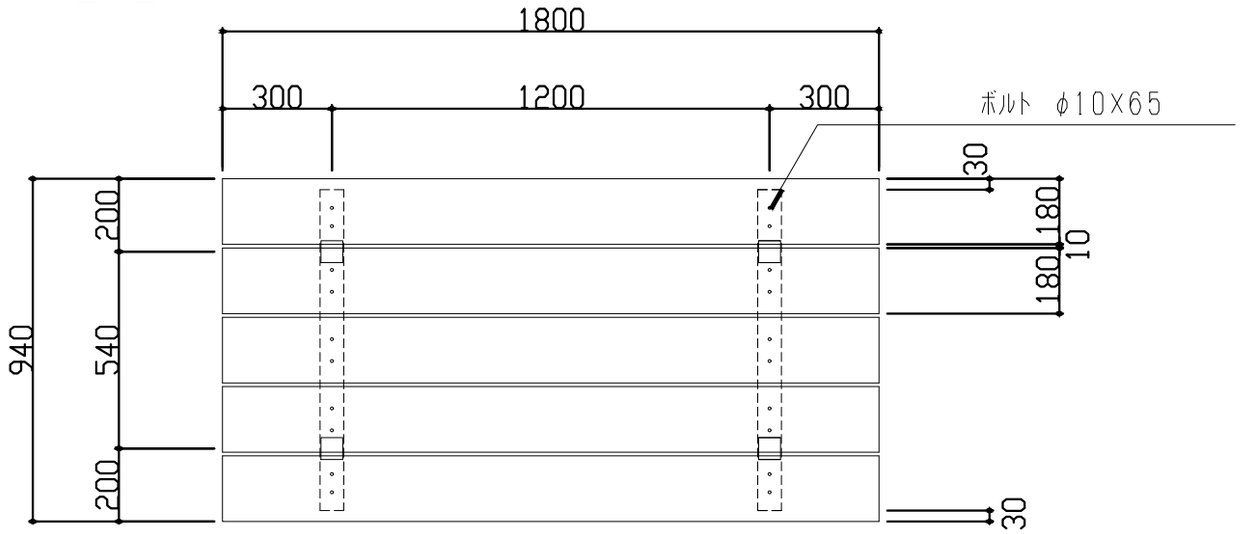
断面詳細図 1:20



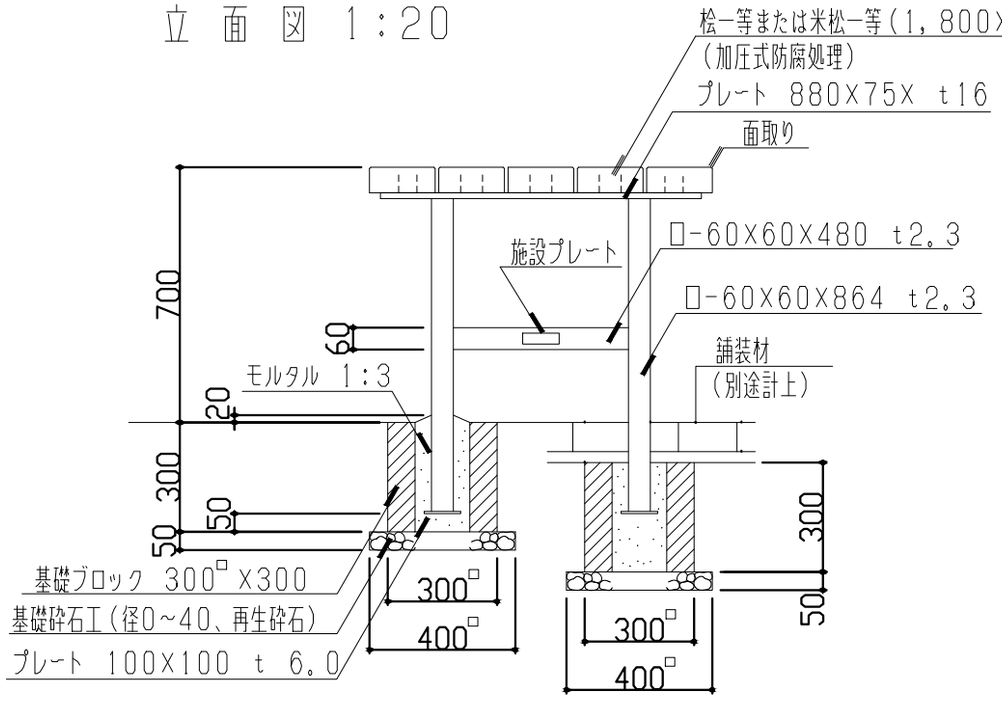
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法は、カンナ仕上げ寸法とする。 ・鋼材接合部は熔接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	野外卓工(B)	S5250 備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 05年10月修正 18年3月修正		92

平 面 図 1:20



立 面 図 1:20



舗装材使用の場合

(1.0基当り)

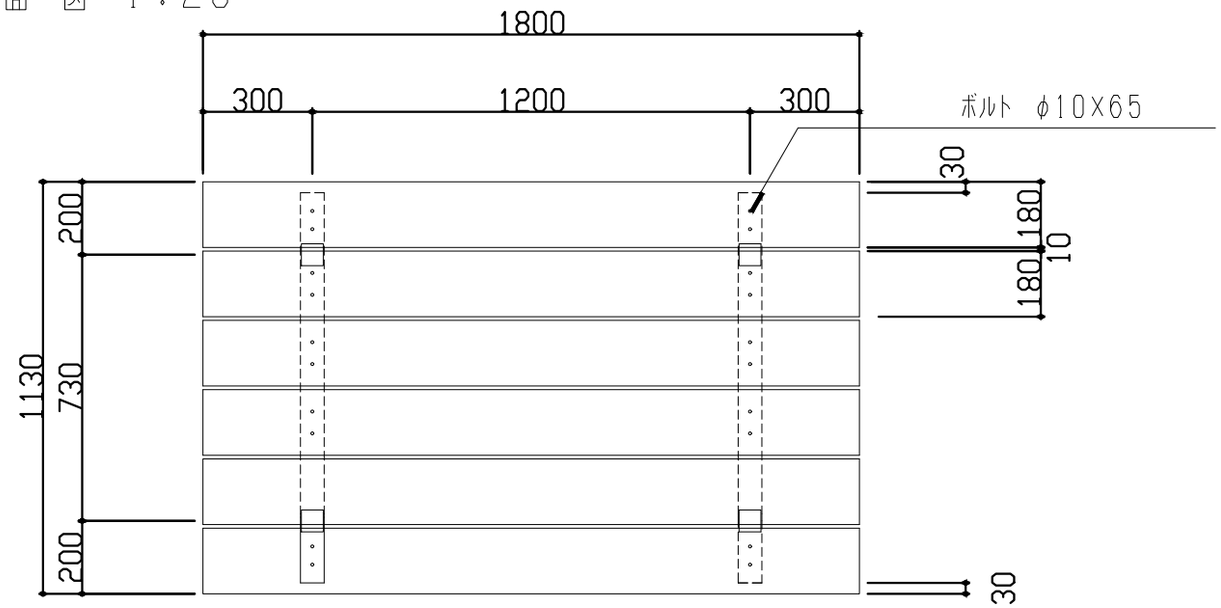
名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t50	m^2	0.6	再生砕石
基礎ブロック		300 X300□	個	4.0	モルタル含む
本体	桧一等 米松一等	1800X180X70	枚	5.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	角パイプ	60X60 t2.3	kg	17.701	
	プレート	t16	〃	16.579	
	〃	t6.0	〃	1.884	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1.449	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	1.007	
木材塗装		S.O.P.3回	〃	4.6	設計書指示
		O.S.2回	〃	4.6	
床掘			m^3	-	
埋戻			〃	-	
残土処分			〃	-	

令和8年10月改定

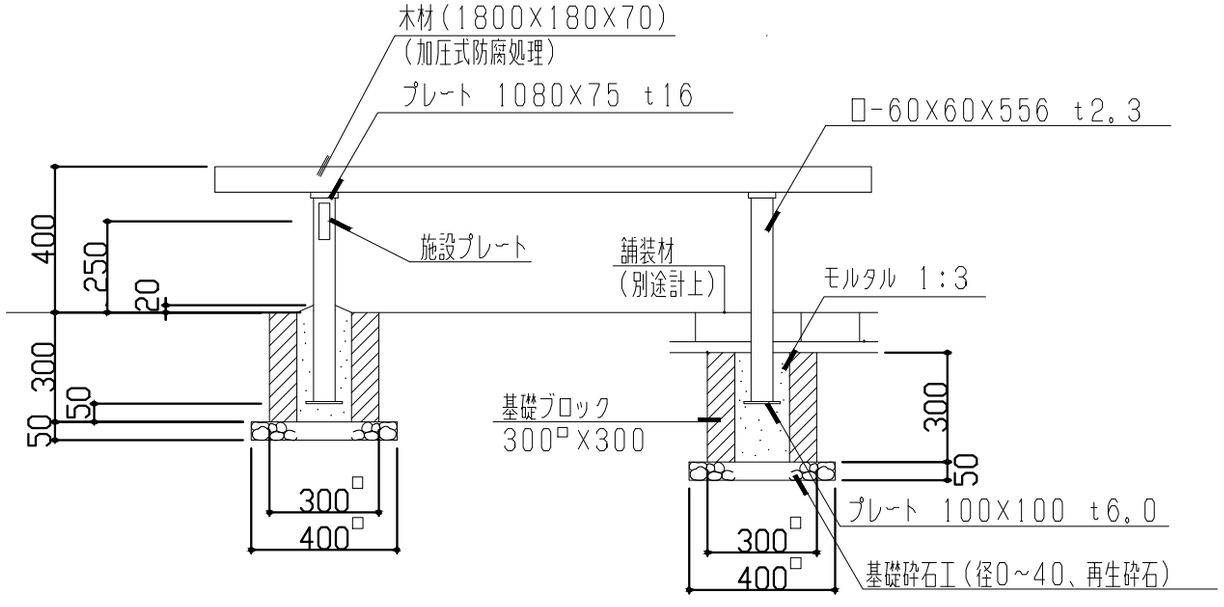
神戸市公園施設標準図集

仕様	名称	コード番号	記号	ページ
・木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。 ・鋼材接合部は熔接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	野外卓工(C)	S5250 備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 28年10月修正		93-1

平 面 図 1:20



立 面 図 1:20



舗装材使用の場合

(1.0基当り)

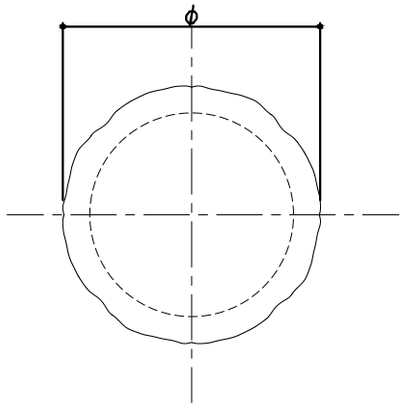
名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 厚50	m^2	0.6	再生砕石
基礎ブロック		300□X300	個	4.0	モルタル含む
本体	桧一等 米松一等 兵庫県産杉 兵庫県産桧	1800X180X70	枚	6.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
本体	角パイプ	60X60 t2.3	kg	9.029	
本体	プレート	t16	〃	20.347	
本体	〃	t6.0	〃	1.886	
本体	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	0.982	
本体	鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	0.663	
木材塗装		S.O.P.3回	〃	5.5	設計書指示
木材塗装		O.S.2回	〃	5.5	設計書指示
床掘			m^3	-	
埋戻			〃	-	
残土処分			〃	-	

令和8年10月改定

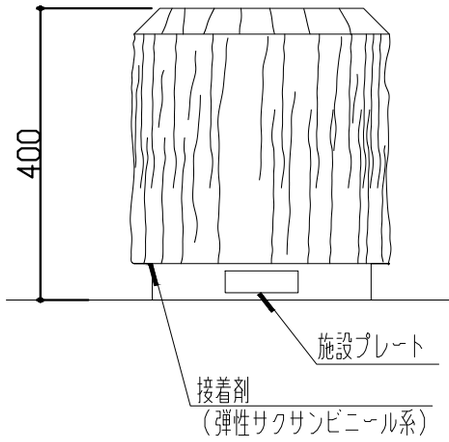
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。 ・鋼材接合部は熔接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	縁台工	S5250 備考 14年9月修正 28年10月修正 15年10月修正 05年4月修正 18年3月修正		93-2

（1．0基当り）

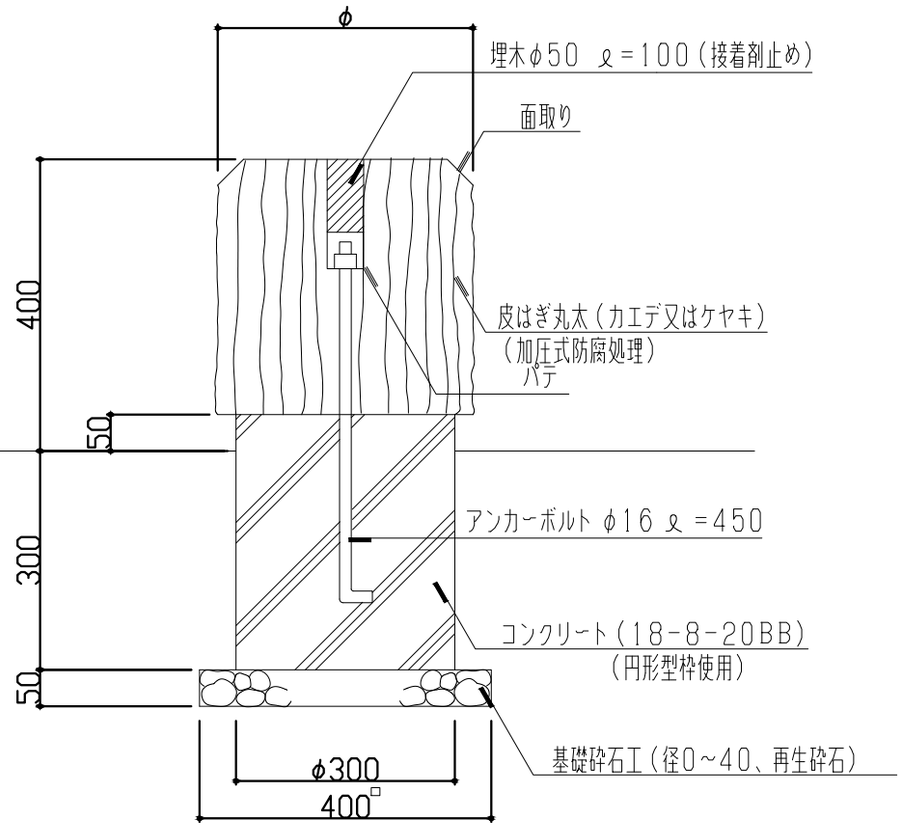
名称		形状寸法	単位	数量 (A)φ350	数量 (B)φ450	摘要
基礎砕石工		径0～40　t50	m^2	0．1	0．1	再生砕石
コンクリート		18-8-20BB	m^3	0．02	0．02	
円形型枠		φ300ボイド	m	0．3	0．3	
本　体	皮はぎ丸太	カエデ又はケヤキ	基	1．0	1．0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	アンカーボルト	φ16　L=450	本	1．0	1．0	
	雑材料		式	1．0	1．0	
木材塗装		0．S．2回	m^2	0．5	0．7	設計書指示
床堀			m^3	－	－	
埋戻			〃	－	－	
残土処分			〃	－	－	



平　面　図　1：10



正　面　図　1：10



断面詳細図　1：10

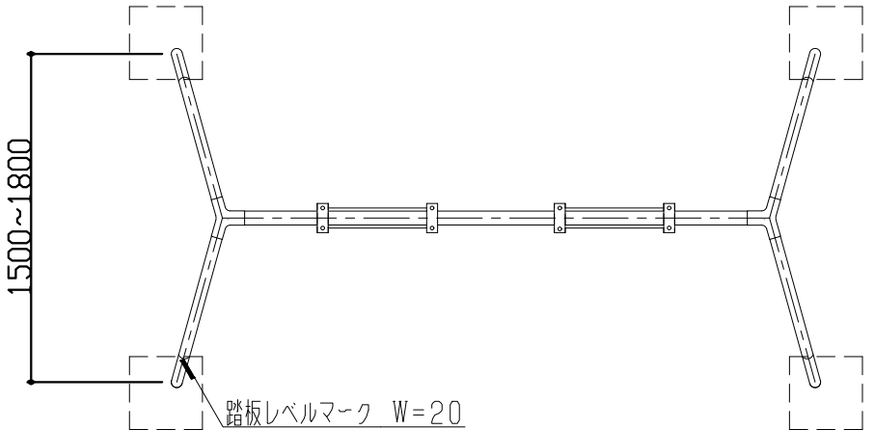
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・ボルト締めは堅固に行ない、埋木を完全に行うこと。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「ＪＩＳ　Ｋ　1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理ＪＩＳ　Ａ　9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。	スツール工（A）、（B）	S5255 備考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正		94

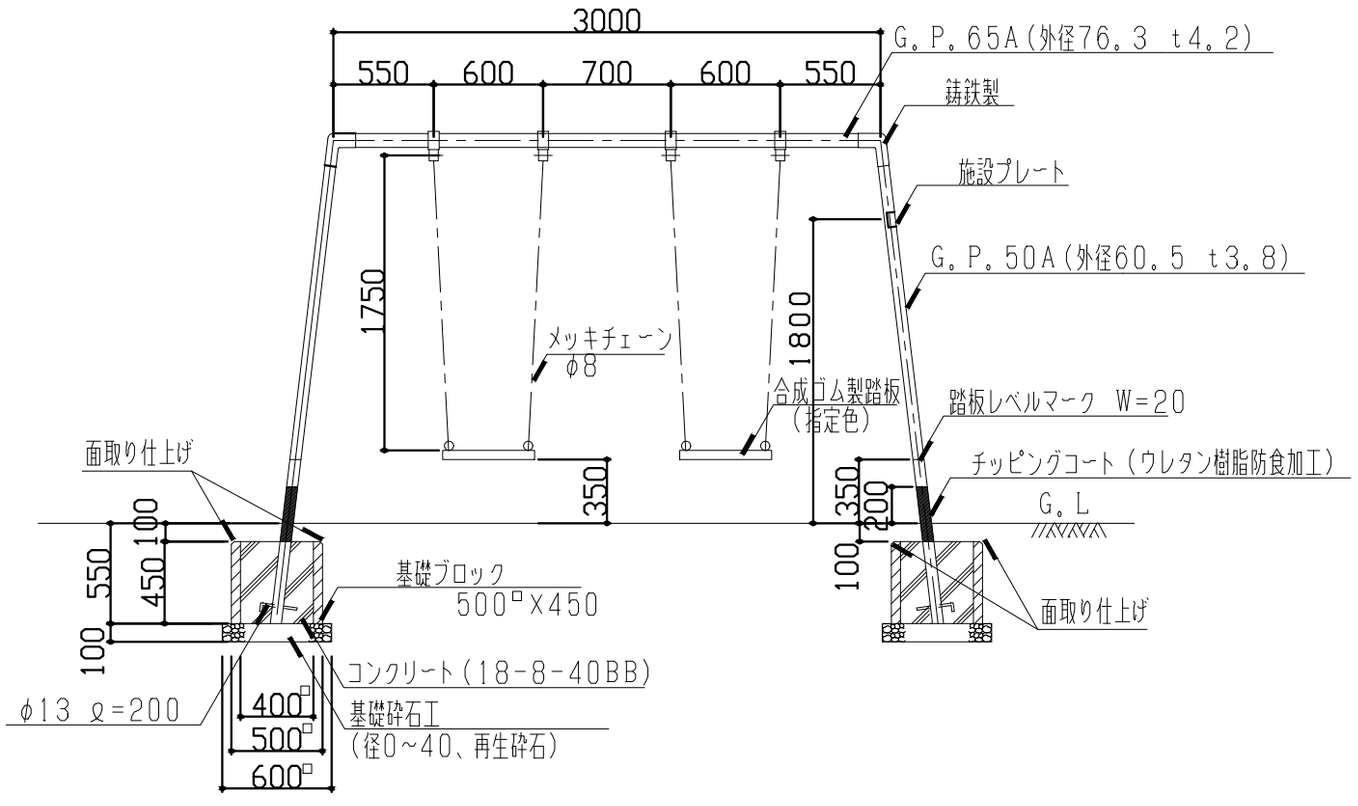
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	1．44	再生砕石
基礎ブロック		500□X450	個	4．00	
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0．28	中詰め用
本体	φ13		kg	0．83	
	GP65A	外径76．3 t4．2	〃	22．41	
	GP50A	外径60．5 t3．8	〃	59．59	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	3．01	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	2．64	
		チッピングコート	〃	0．22	
	φ8メッキチェーン		m	7．00	
	踏板		枚	2．00	
	カップリング		基	4．00	
床堀			m^3	0．93	
埋戻			〃	0．34	
残土処分			〃	−	

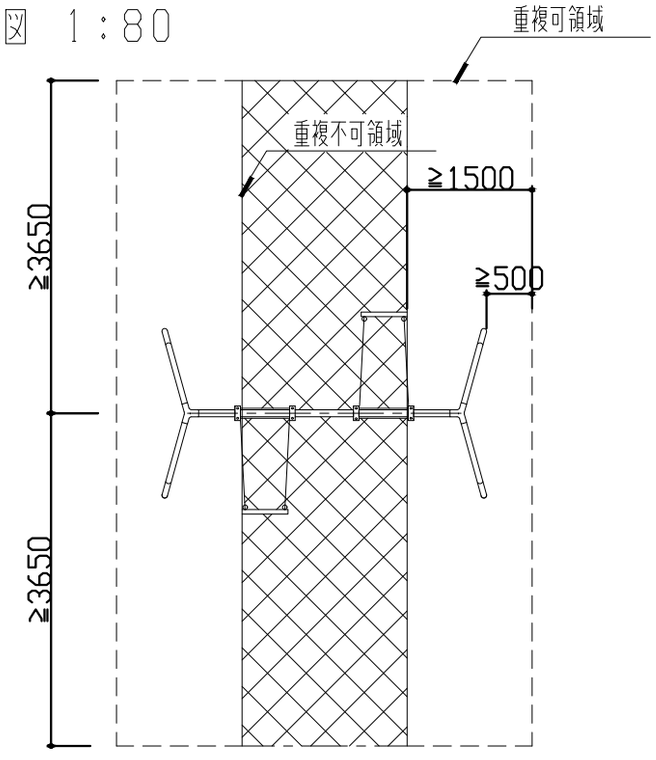
平 面 図 1：40



立 面 図 1：40



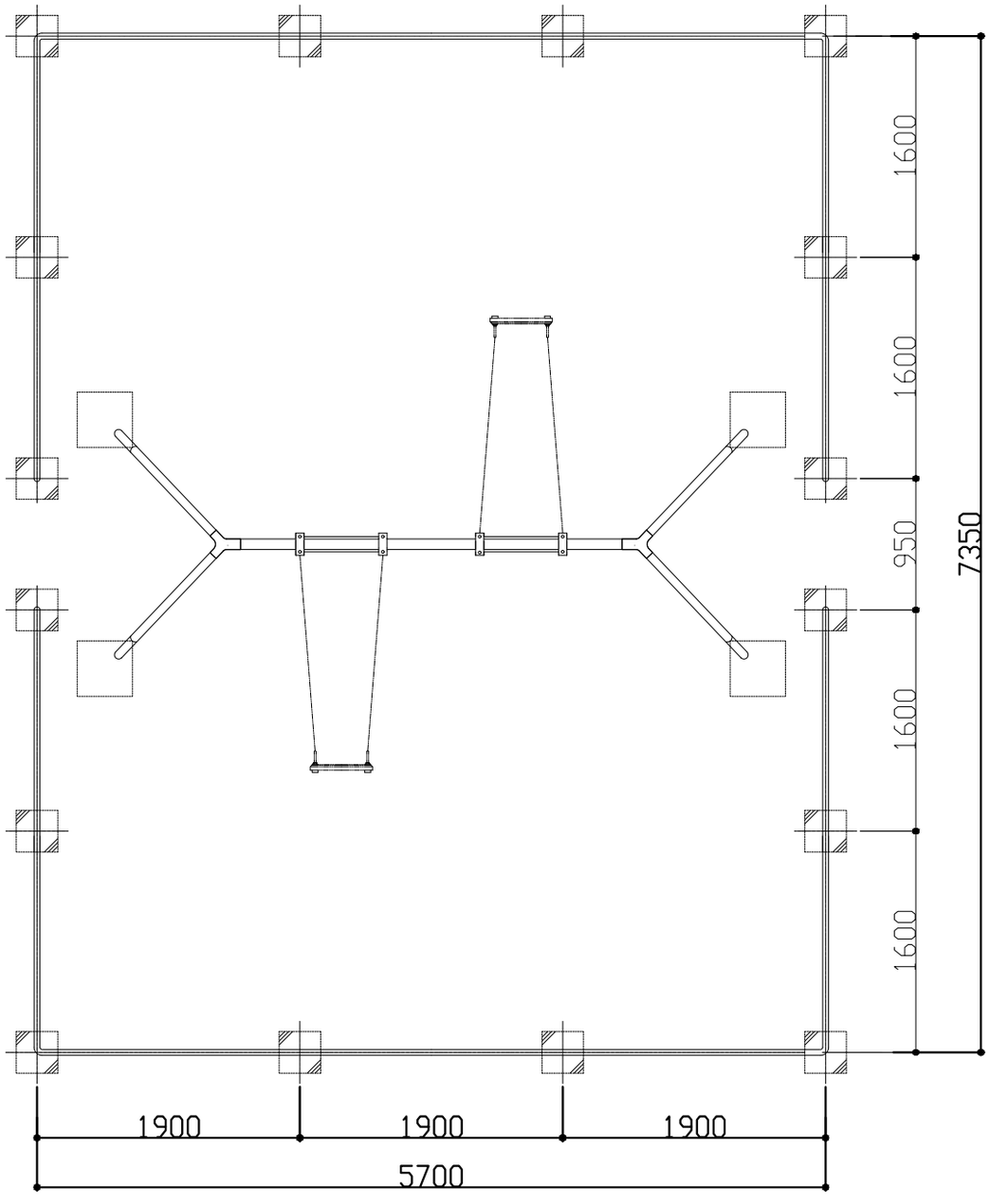
安全領域図 1：80



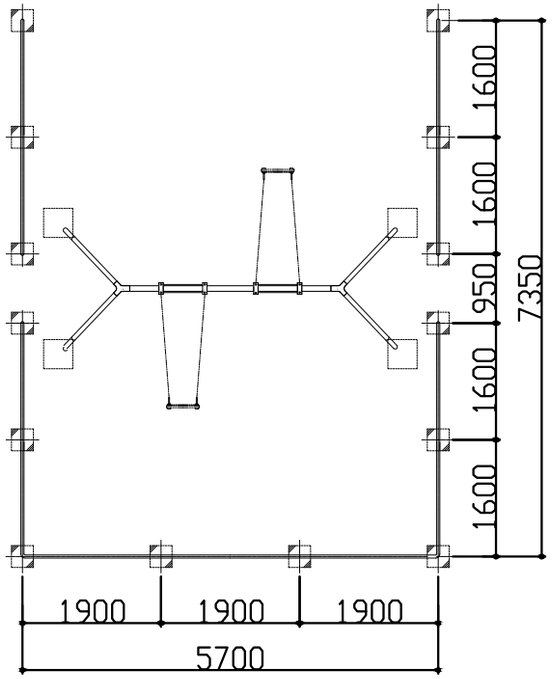
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は熔接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・レベルマークは、2液性ウレタン樹脂塗装（指定色）2回塗りとする（2ヵ所）。 ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。	二連ブランコ工	備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 02年10月修正 18年3月修正 07年10月修正		98

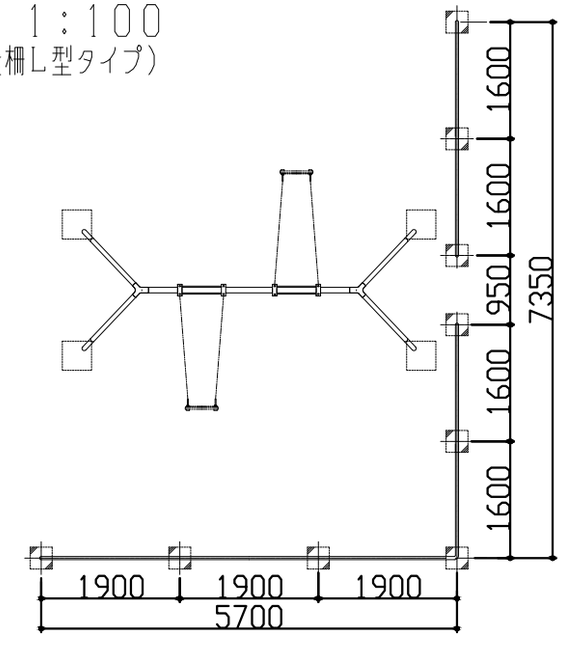
平 面 図 1:50
（安全柵両側タイプ）



平 面 図 1:100
（安全柵片側タイプ）



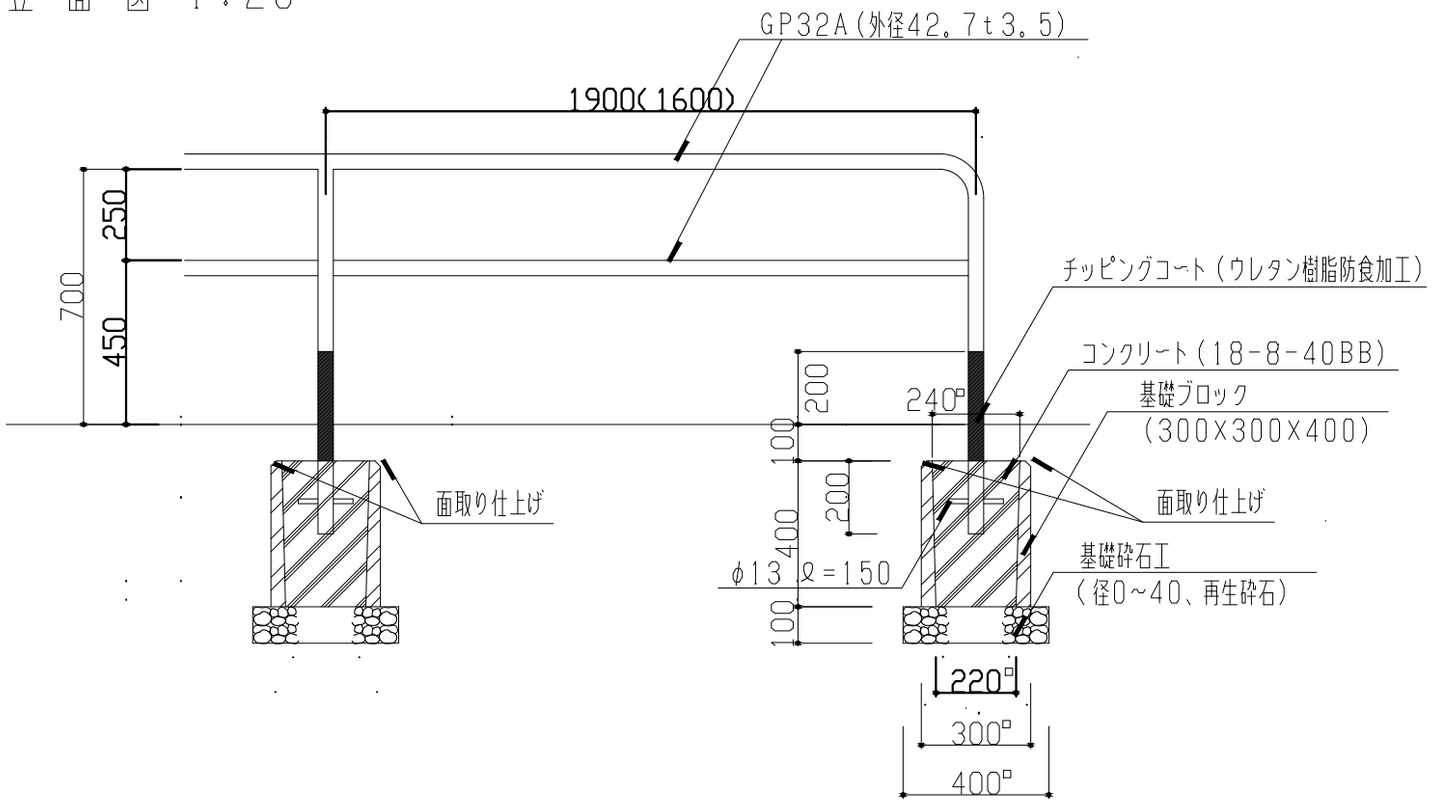
平 面 図 1:100
（安全柵L型タイプ）



令和8年10月改定

仕様	名称	コード番号	記号	ページ
神戸市公園施設標準図集	二連ブランコ工（安全柵）	備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 24年10月修正		99

立 面 図 1:20



(1.0基当り)

名称		形状寸法	単位	数量 両側	数量 片側	数量 L型	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	2.56	2.24	1.44	再生砕石
基礎ブロック		300□X400	個	16.00	14.00	9.00	
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0.33	0.29	0.19	中詰め用
本体	φ13		kg	2.49	2.18	1.40	
本体	GP32A	外径42.7 t 3.2	〃	217.67	172.38	112.21	
本体	鋼材加工組立		式	1.0	1.0	1.0	
本体	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	8.64	6.84	4.45	
本体	鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	8.21	6.46	4.21	設計書指示
本体	鋼材塗装	チッピングコート	〃	0.64	0.56	0.36	
床掘			m^3	1.53	1.34	0.86	
埋戻			〃	0.70	0.62	0.40	
残土処分			〃	−	−	−	

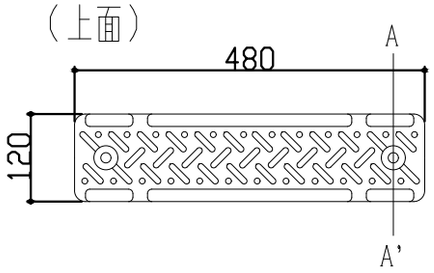
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。	二連ブランコ工(安全柵)	備考 13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 02年10月修正 07年10月修正		100

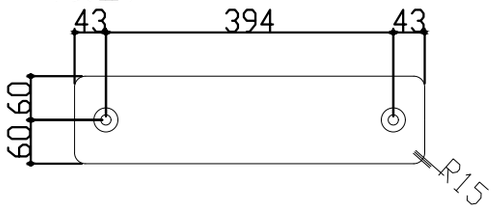
踏板詳細図（参考図）

平面図　1：10

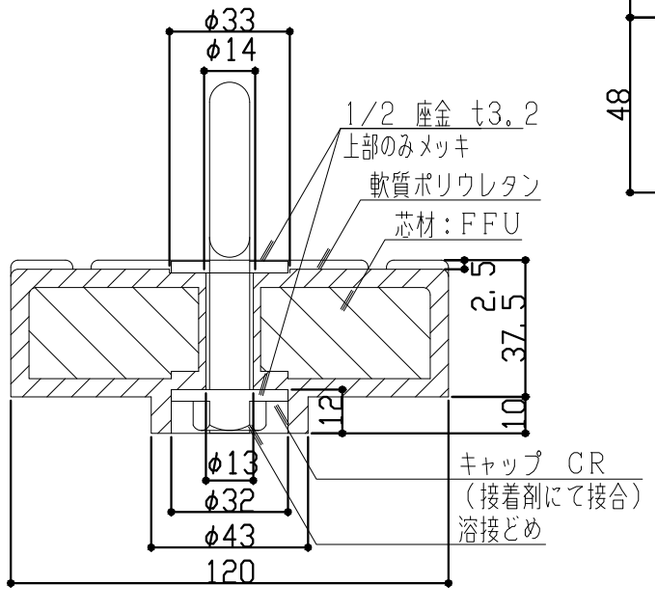
（上面）



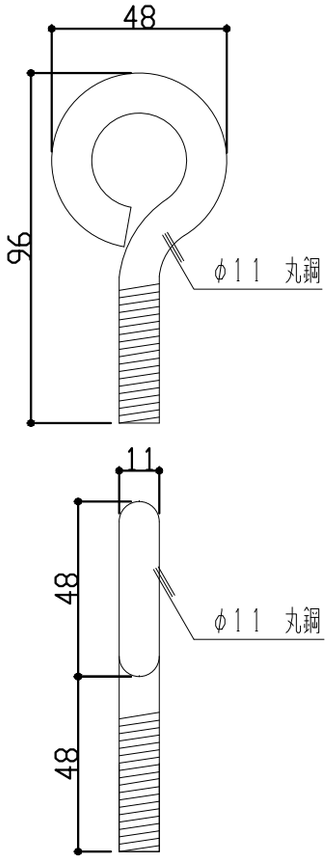
（裏面）



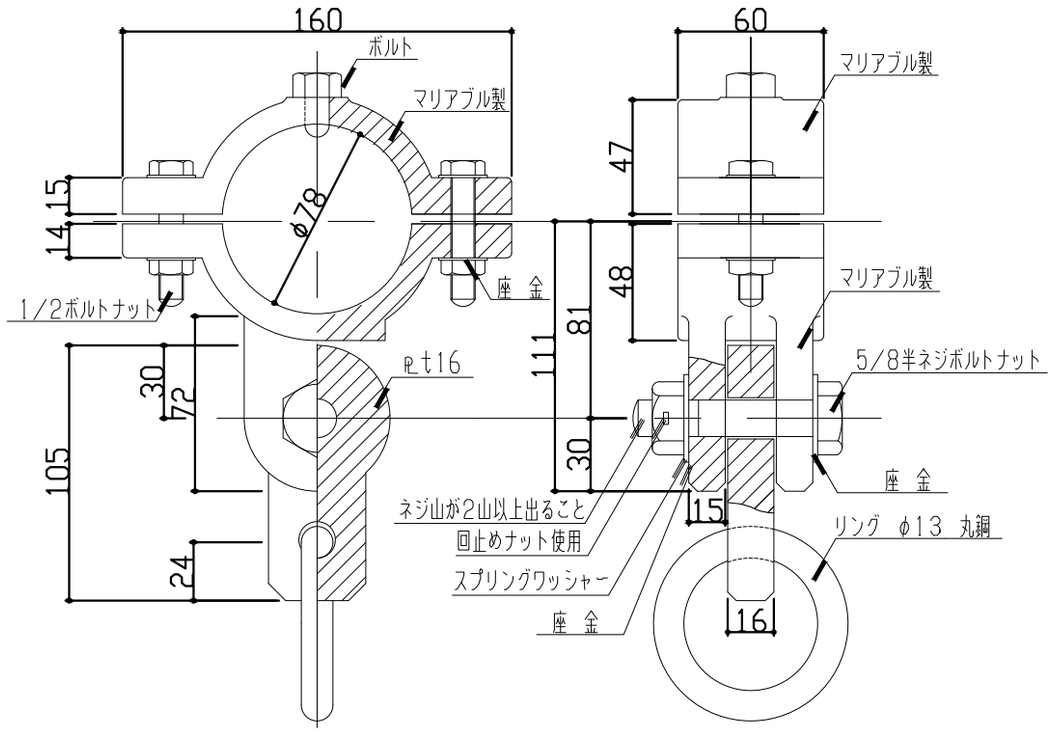
A－A’ 断面図　1：2



吊金具詳細図 1：2



カップリング詳細図



側面図　1：3　　正面図　1：3

仕様

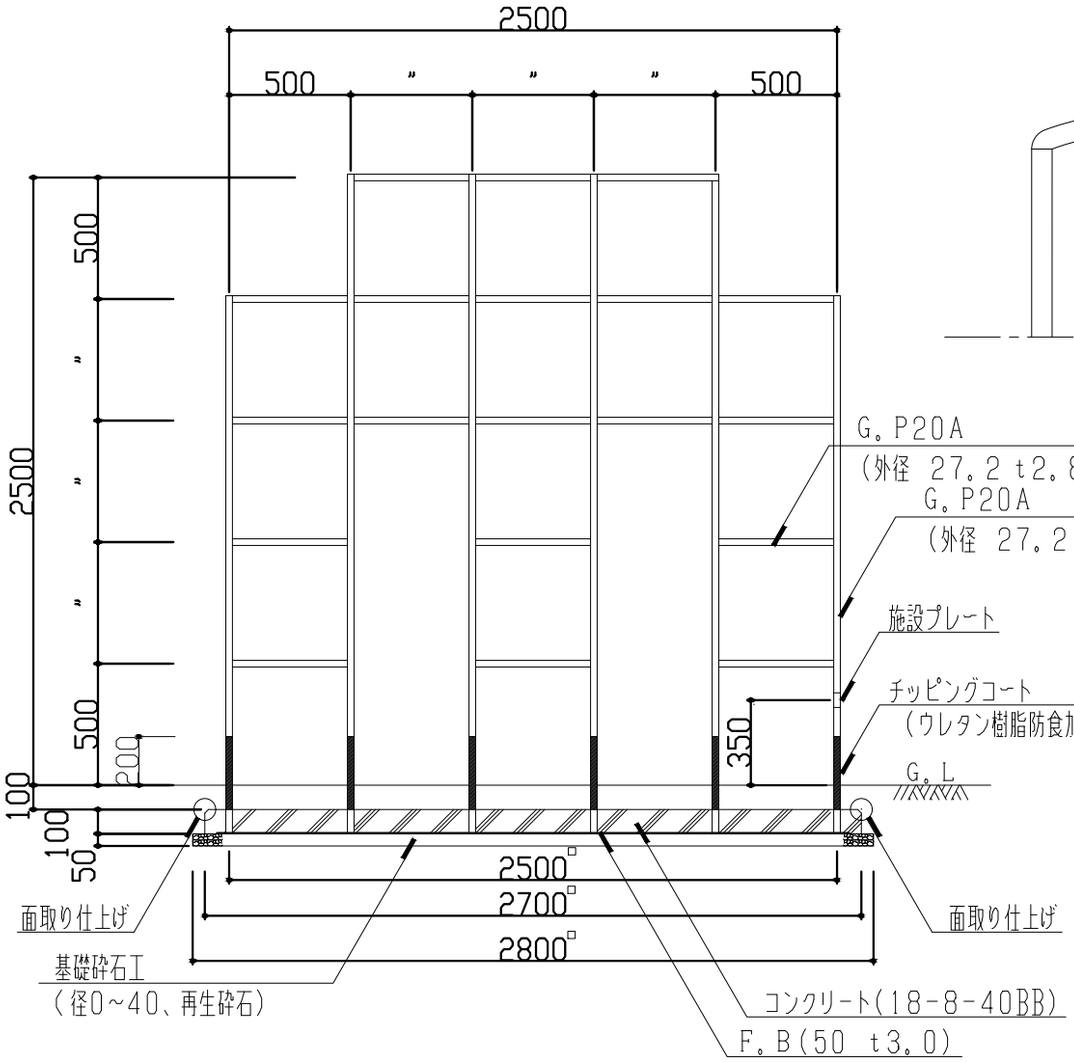
（踏板）
- JPFA-SP-S：2014の基準を満たす製品とする。
- 着座部は1人乗りとし、安全性を十分考慮した材質や形状・構造とする。
- 着座部は表面を柔らかい材質で覆うか、着座部そのものが柔らかい材質で構成されていること。
- 着座部底面は、硬い突起物（ボルト・ナットの一部など）が露出しない構造とする。
- 座板着座部の有効幅は、吊り部材の内々寸法とし、児童用は350～500mmで、奥行きは有効幅の中で1番狭い部分で120mm以上とする。
- スイングクリアランスは児童用で350～450mmを許容範囲とする。
- 吊り部材は着座した状態で鉛直方向に対して2°以上の角度をもって吊り上げる。上記の角度が得られない場合は吊り部材の回転軸固定位置を調整すること。
- 座板の耐荷重は、集中荷重2010N以上とする。

（カップリング）
- 鋼材は、2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回、2液性ウレタン塗装2回塗りとする。
- 鋼材接合部は熔接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。

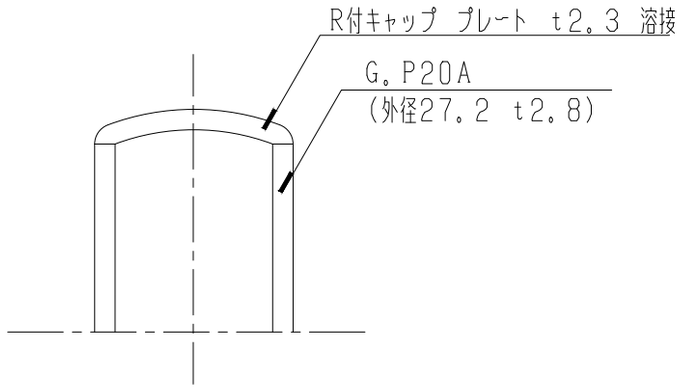
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	※仕様については図中に記載のとおり	二連ブランコ工（踏板、カップリング）	備考 14年 9月修正 24年10月修正 07年10月修正 16年 9月修正 25年10月修正 21年10月修正 27年10月修正		101

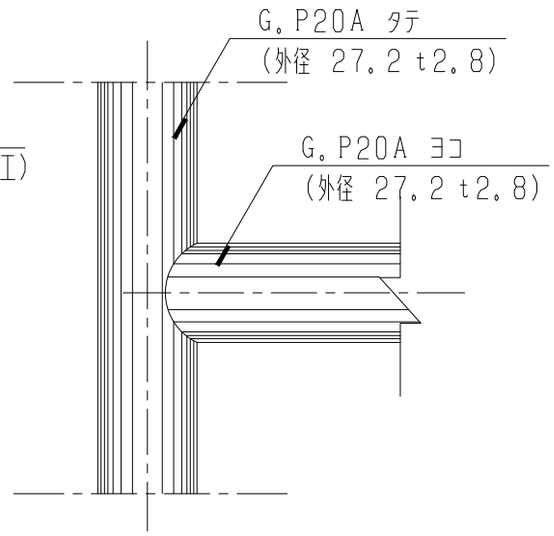
立 面 図 1:30



キャップ詳細図 1:1



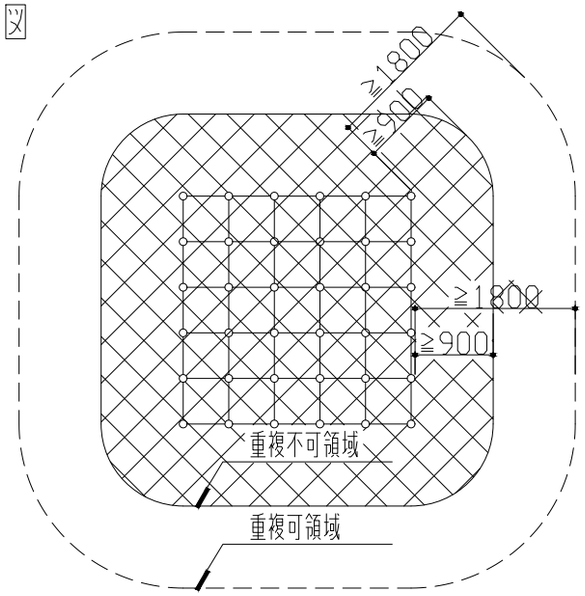
接合部詳細図 1:2



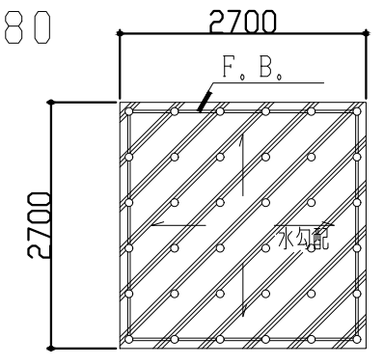
(1。0基当り)

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t50	m^2	7。84	再生砕石
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0。72	
型枠損料			m^2	1。08	
本体	GP20A	外径27。2 t2。8	kg	296。01	
本体	F。B。	50 t 3	kg	11。68	
本体	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	16。04	
本体	鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	14。75	
本体	鋼材塗装	チッピングコート	〃	0。92	
床掘			m^3	1。96	
埋戻			〃	0。84	
残土処分			〃	-	

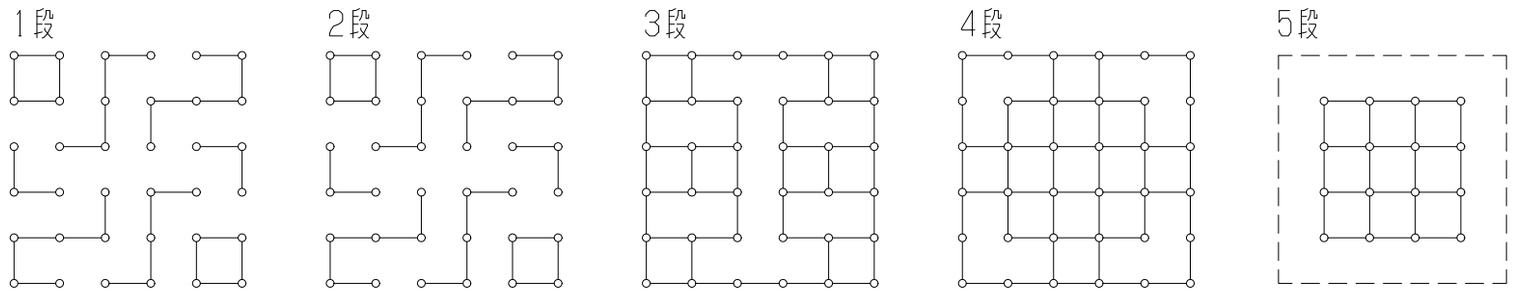
安全領域図 1:80



基礎平面図 1:80



各段平面図 1:80



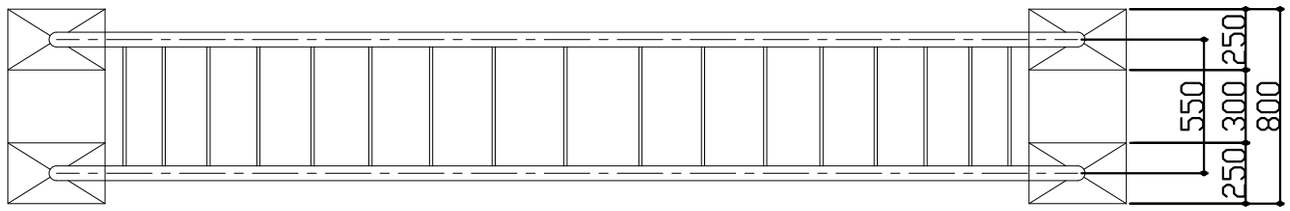
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。 ・全ての脚部に地際半球状盛上げ仕上げをする。 ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。	ジャングルジム工	備考 14年 9月修正 21年10月修正 15年10月修正 07年10月修正 18年 3月修正		102

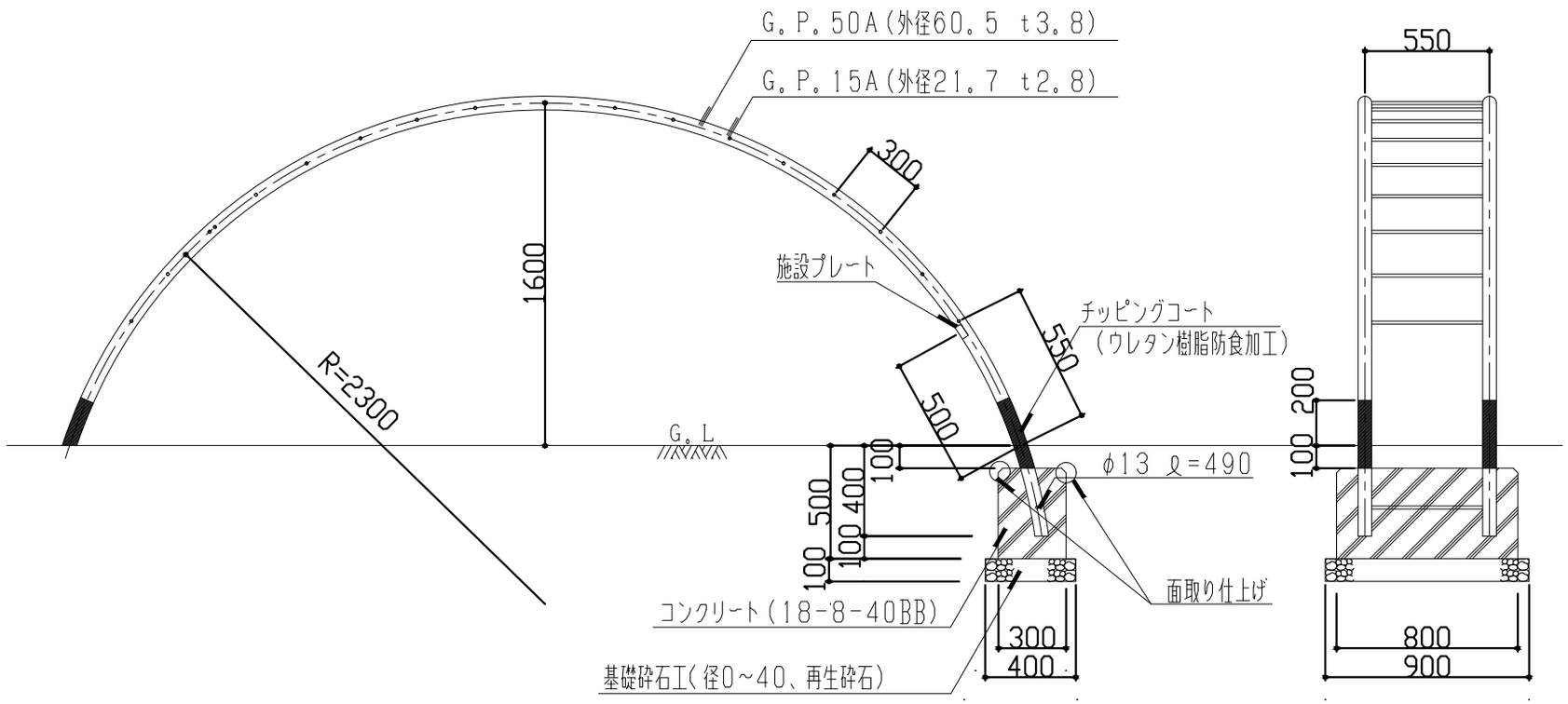
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	0．72	再生砕石
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0．19	
型枠損料			m^2	1．76	
本体	φ13		kg	1．01	
	GP50A	外径60．5 t3．8	〃	70．09	
	GP15A	外径21．7 t2．8	〃	10．90	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	3．07	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	2．83	
		チッピングコート	〃	0．22	
床堀			m^3	0．43	
埋戻			〃	0．17	
残土処分			〃	-	

平面図　1：30

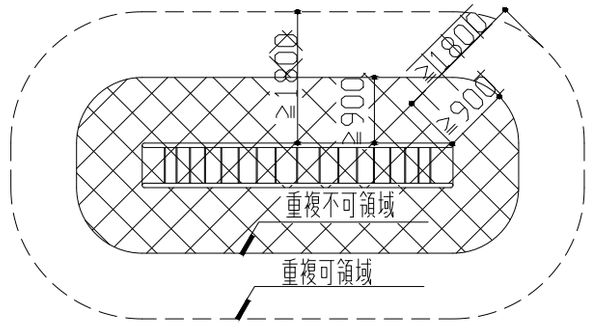


側面図　1：30



立面図　1：30

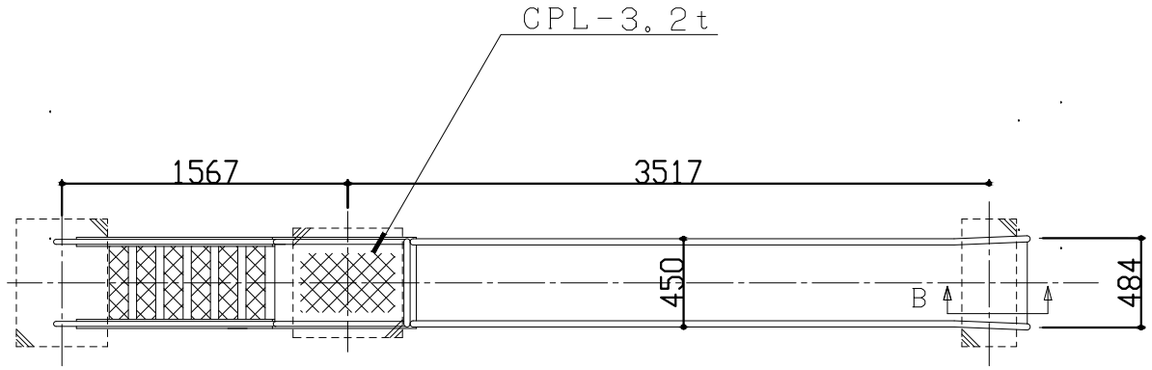
安全領域図　1：100



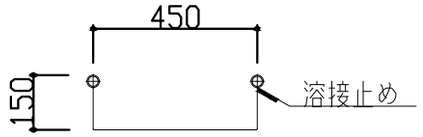
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は熔接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。	ラダー工	備考 14年 9月修正　21年10月修正 15年10月修正　07年10月修正 18年 3月修正		103

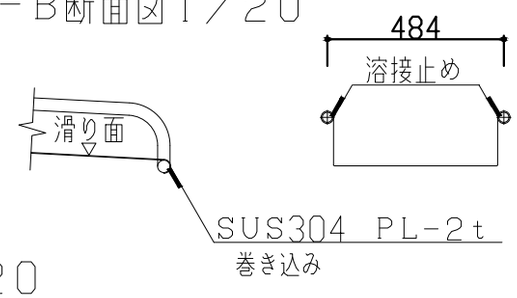
平　面　図　1／40



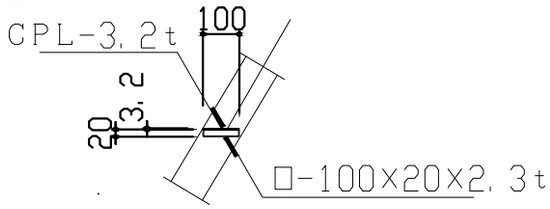
A－A断面図1／20



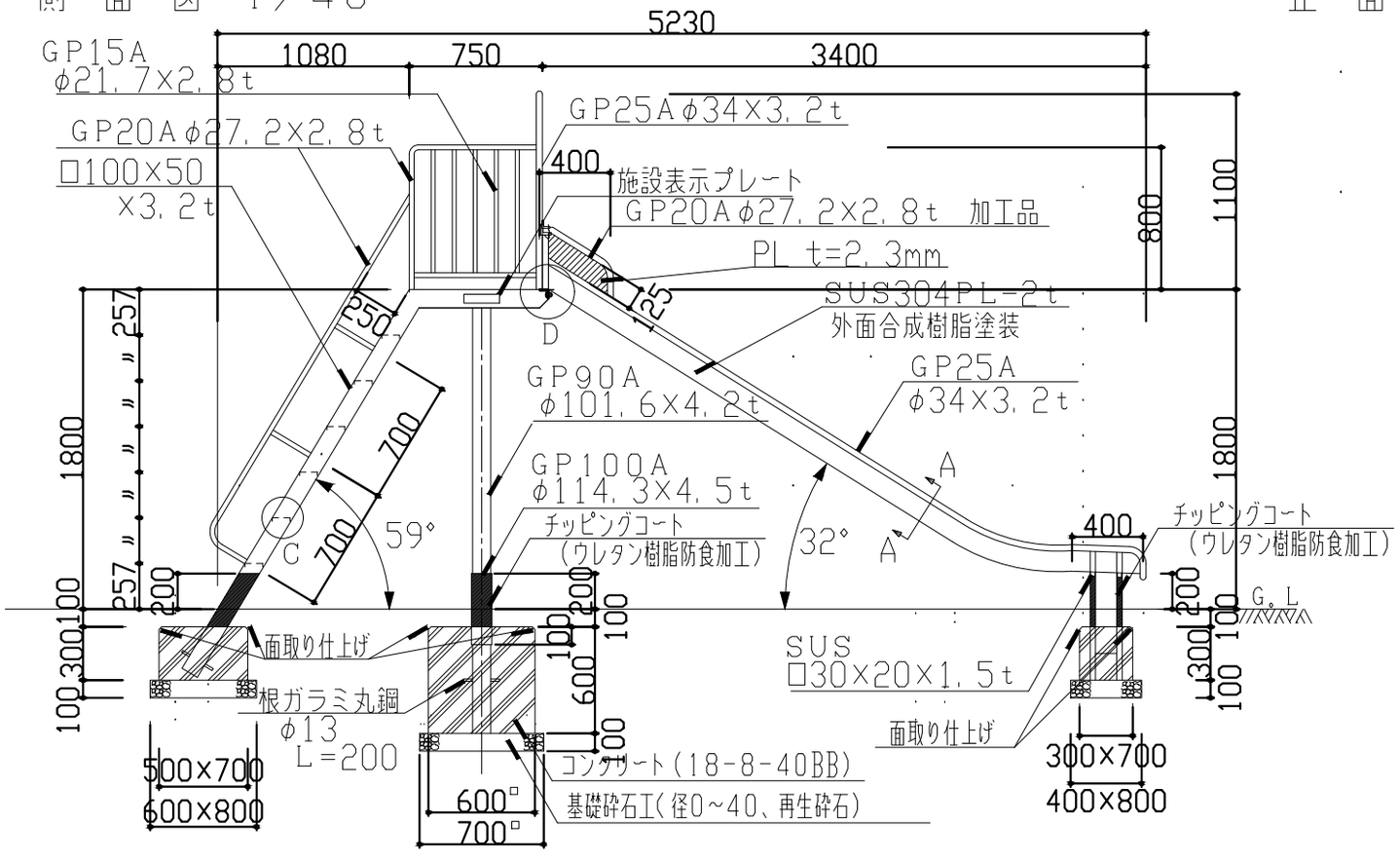
B－B断面図1／20



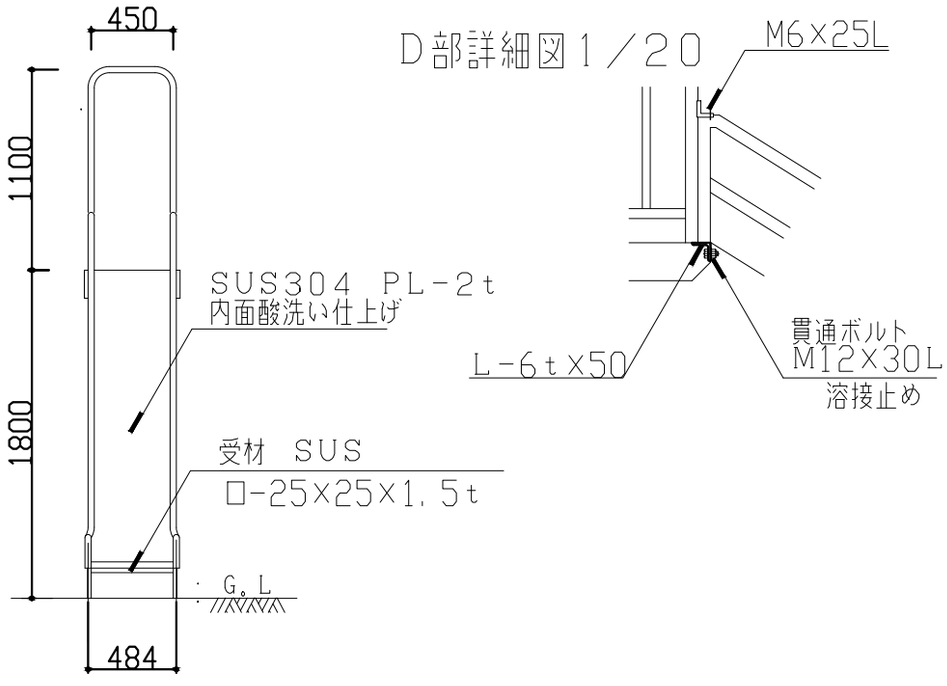
C部詳細図1／20



側　面　図　1／40



正　面　図　1／40

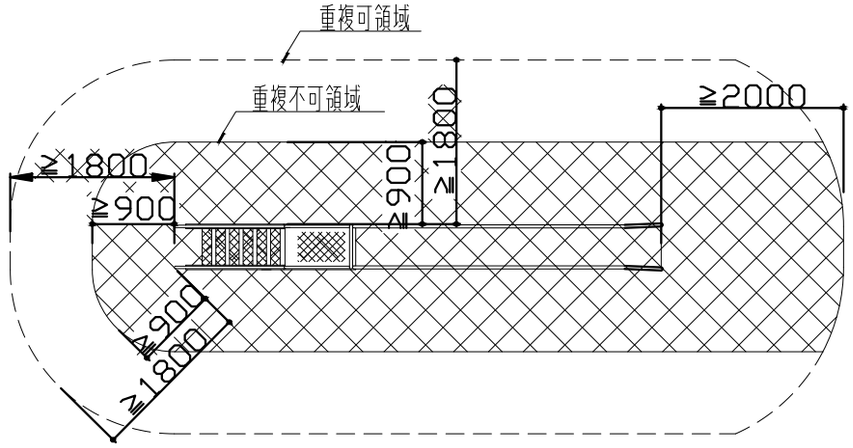


D部詳細図1／20

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。	スベリ台工	備考 14年 9月修正　21年10月修正 15年10月修正　24年10月修正 18年 3月修正　02年10月修正		105-1

安全領域図　1／80



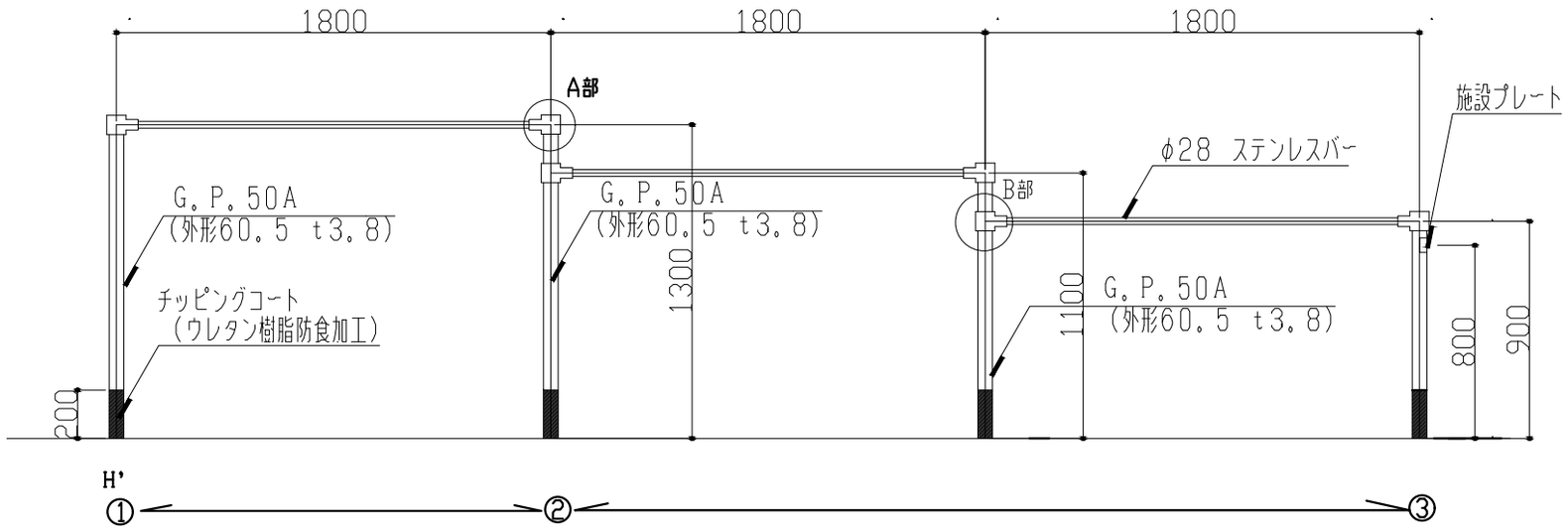
（1．0基当り）

名称		形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	1．29	再生砕石
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0．38	
型枠損料			m^2	2．76	
本体	丸鋼	φ13	kg	0．41	
	GP90A	外径101．6 t4．2	〃	24．24	
	GP100A	外径114．3 t4．5	〃	4．88	
	□100×50		〃	46．26	
	□100×20		〃	12．18	
	GP32A	外径42．7 t3．5	〃	6．08	
	GP25A	外径34．0 t3．2	〃	26．85	
	GP20A	外径27．2 t2．8	〃	15．12	
	GP15A	外径21．7 t2．8	〃	9．17	
	L-50×6		〃	3．98	
	縞鋼板	t4．5	m^2	0．66	
	ステンレス	PL-2．0	kg	39．57	SUS304
	ステンレス	□30×20	〃	4．50	〃
	ステンレス	□25×25	〃	1．30	〃
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	7．65	ステンレス部を除く
		2液性ウレタン塗装2回	〃	7．27	〃
		チッピングコート	〃	0．40	
床掘			m^3	0．79	
埋戻			〃	0．28	
残土処分			〃	－	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
		スベリ台工（数量表）	備考 14年 9月修正　29年10月修正 15年10月修正　07年10月修正 21年10月修正		105-2

正面図 1:30

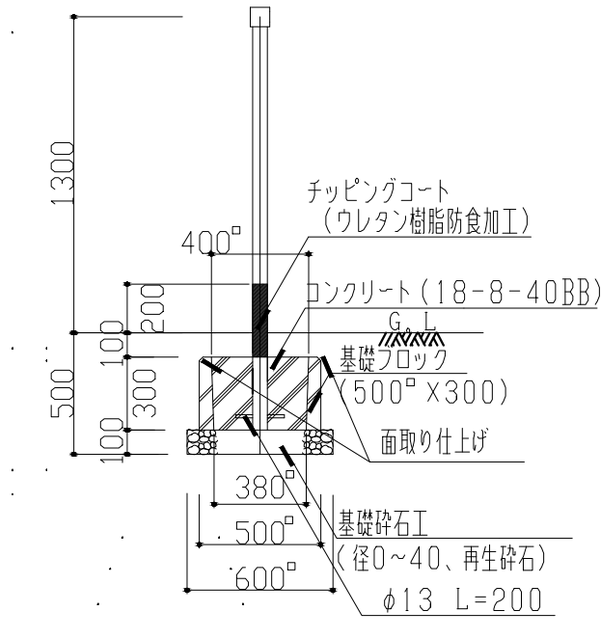


(1.0基当り)

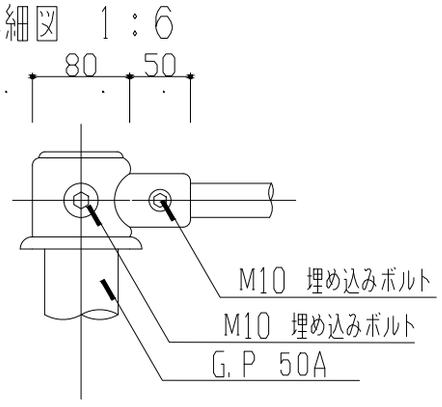
名称		形状寸法	単位	数量 三連	数量 二連	摘要
基礎ブロック		500□×300	個	4.0	3.0	
基礎砕石工		径0~40 t100	m^2	1.44	1.08	再生砕石
コンクリート		18-8-40BB	m^3	0.18	0.13	中詰め用
本体	GP50A	外径60.5 t3.8	kg	32.92	22.83	
本体	接手		個	6.0	4.0	
本体	ステンレスバー	φ28	m	5.16	3.44	
本体	丸鋼	φ13	kg	0.83	0.62	
本体	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	1.17	0.81	
本体	鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	0.95	0.64	
本体	鋼材塗装	チッピングコート	〃	0.22	0.17	
床堀			m^3	0.72	0.54	
埋戻			〃	0.28	0.21	
残土処分			〃	-	-	

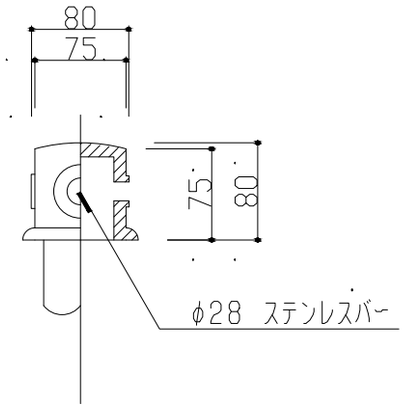
注) 三連鉄棒 ①-③
二連鉄棒 ②-③

断面図 1:30

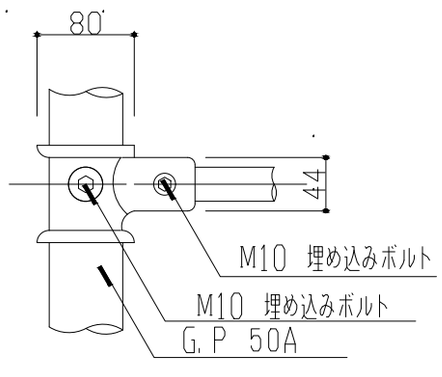


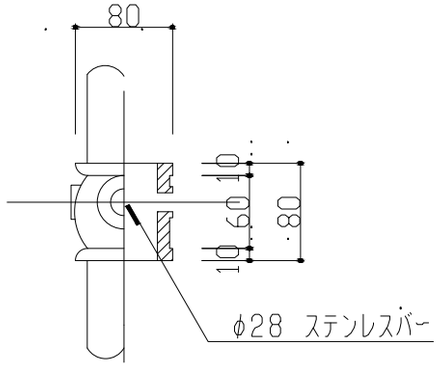
A部詳細図 1:6



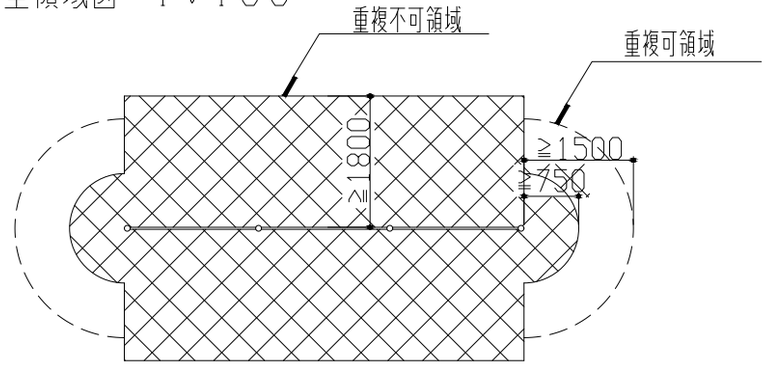


B部詳細図 1:6



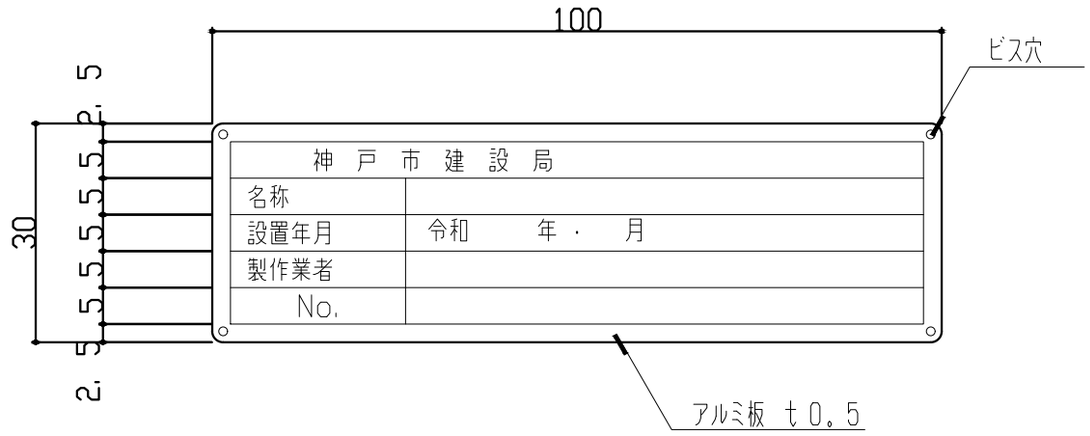


安全領域図 1:100



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・接手は、鋳鉄製とする。 ・据り棒(φ28 ステンレスバー)端部には、回転防止として深さ10mmのボルト受穴を設けるものとする。 ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。	三連、二連鉄棒工	備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 02年10月修正 18年3月修正 07年10月修正		106

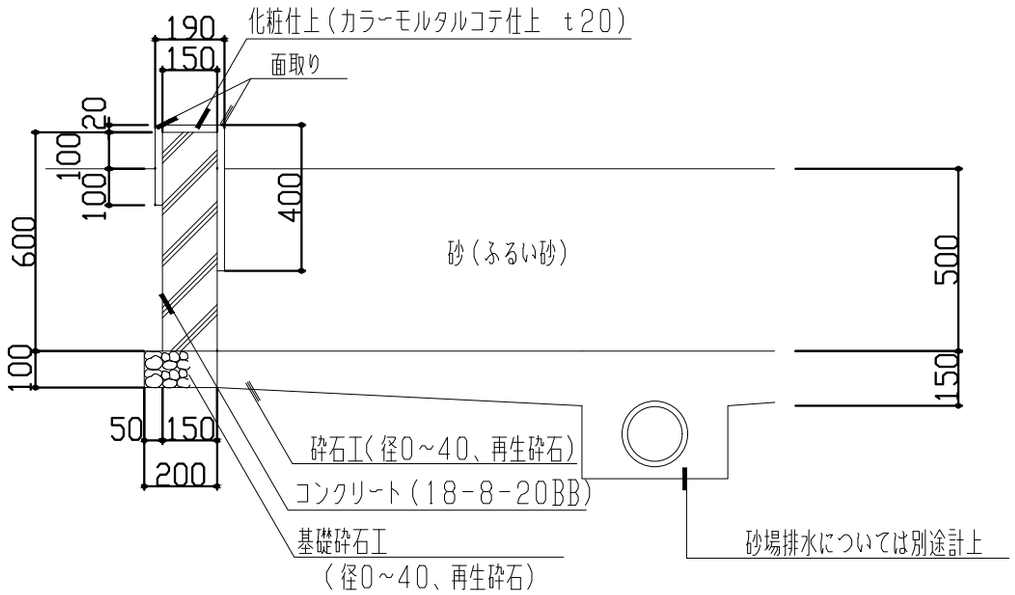


平 面 図 1:1

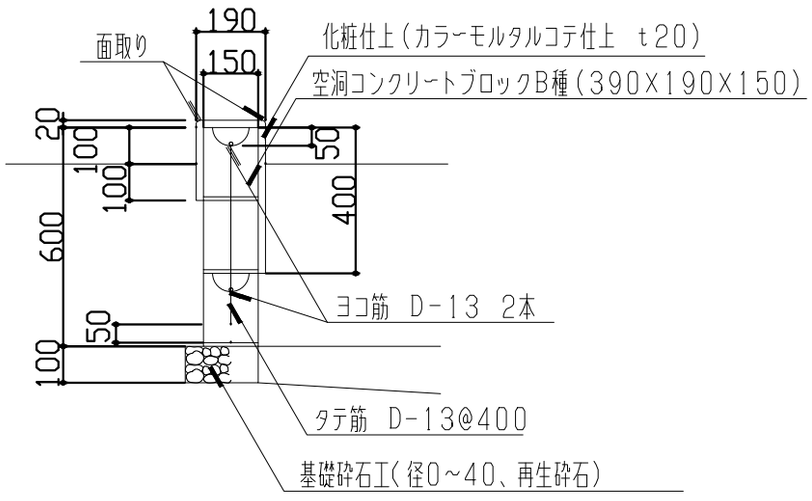
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・遊器具および休養施設全てに、必ず1ヵ所以上取付けること。 ・取付位置については図面又は係員指示とする。 ・接着剤で貼り付けの上、ビス止めすること。(係員指示) ・字体は丸ゴシック体とする。	施設プレート工	備考 13年9月修正		107

断面図（A－1）　1：20



断面図（A－2）　1：20



砂場縁取工　（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (A－1)	数量 (A－2)	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．2	0．2	再生砕石
コンクリート	18－8－20BB	m^3	0．090	―――	
型枠損料		m^2	1．200	―――	
空洞ブロック	390X190X150	〃	―――	0．600	
鉄筋工	D－13	kg	―――	3．234	
化粧仕上	カラーモルタルコテ仕上 t 20	m^2	0．7	0．7	設計書指示
床堀		m^3	―	―	
埋戻		〃	―	―	
残土処分		〃	―	―	

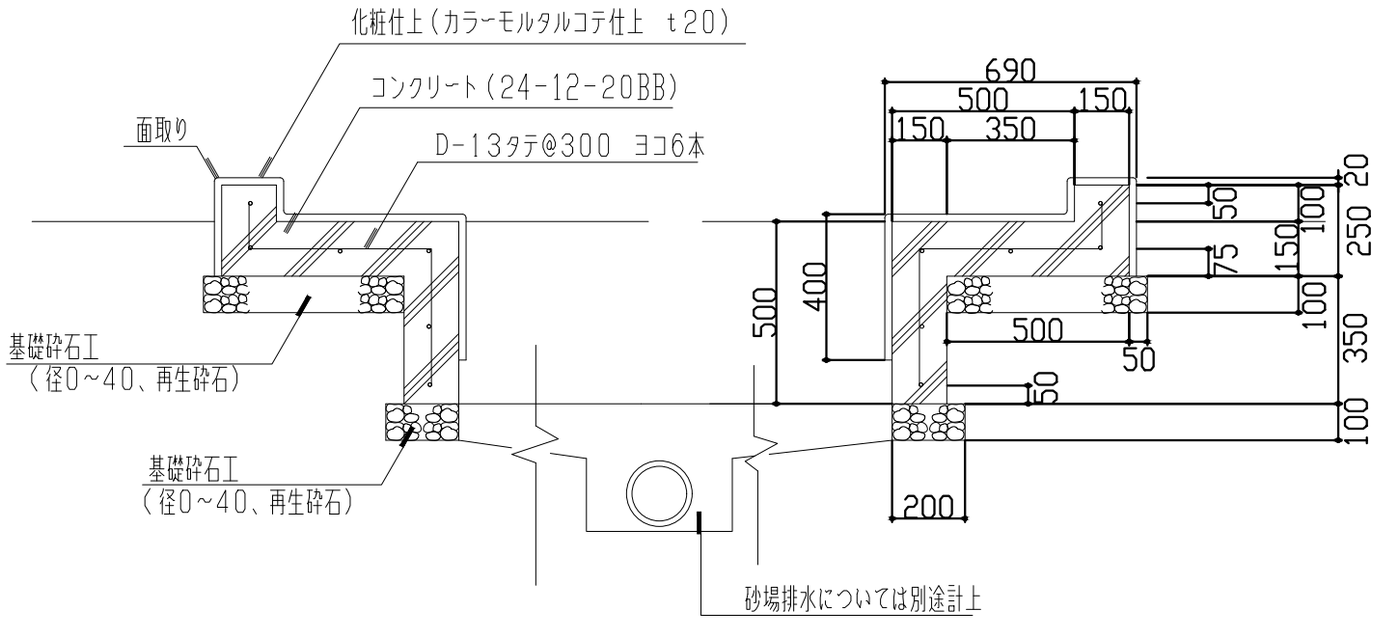
砂場工　（1．0m^2当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
砕石工	径0～40mm	m^3	0．1	転圧なし
砂	除塩ふるい	〃	0．5	
床堀		〃	―	
残土処分		〃	―	

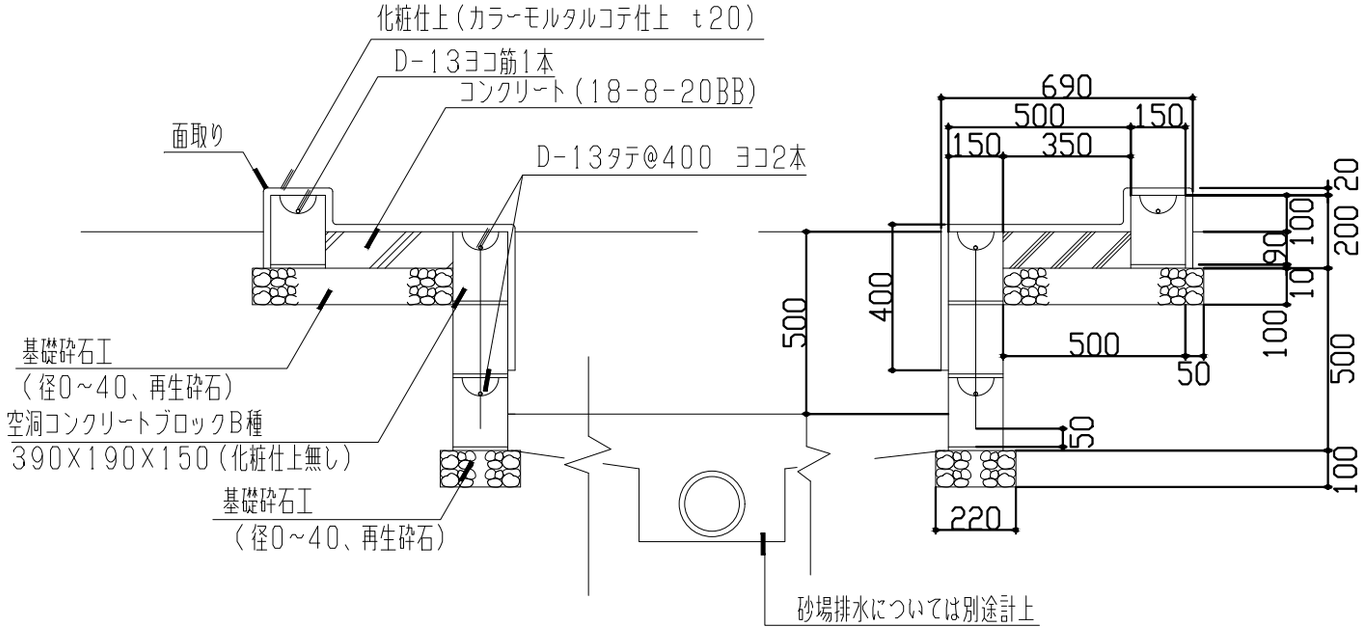
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・砂場内の暗渠排水については別途計上とする。 ・空洞ブロック間の空隙は、モルタル1：3で充填すること。 ・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。 ・A－1使用の場合には、15～20mごとに1カ所伸縮目地を入れること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	砂場縁取工（A）、砂場工	S5285 備考 13年9月修正　30年10月修正 14年9月修正　07年10月修正 21年10月修正		108

断面図（C－1）　1：20



断面図（C－2）　1：20



砂場縁取工（C）　（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (C-1)	数量 (C-2)	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．7	0．7	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	———	0．03	
〃	24-12-20BB	〃	0．1	———	
型枠損料		m^2	1．2	———	
鉄筋工	D-13	kg	9．287	4．229	
空洞コンクリートブロック	B種 390X190X150	m^2	———	0．800	JIS A5406
化粧仕上	カラーモルタル	〃	1．4	1．3	設計書指示
床堀		m^3	—	—	
埋戻		〃	—	—	
残土処分		〃	—	—	

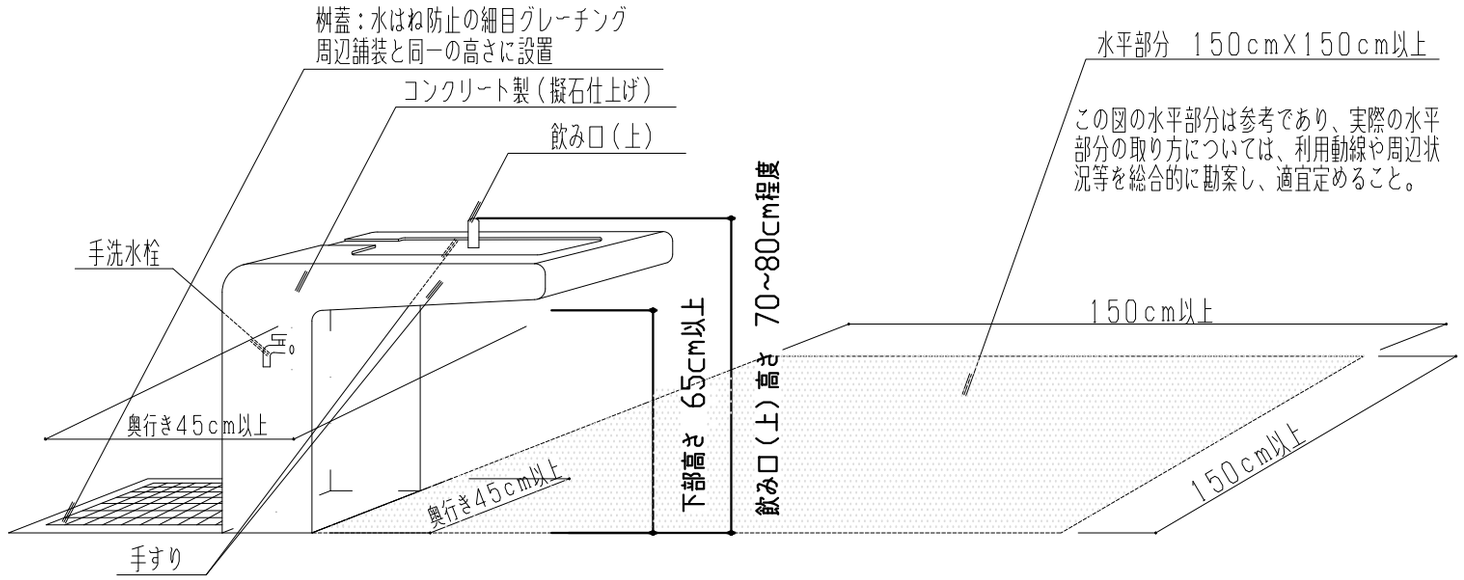
砂場工　（1．0m^2当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
砕石工	径0~40mm	m^3	0．125	転圧なし
砂	除塩ふるい	〃	0．500	
床堀		〃	—	
残土処分		〃	—	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・化粧仕上は設計書指示とする。 ・空洞コンクリートブロック間の空隙は、モルタル（1：3）で充填すること。 ・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。 ・タイプ－1を使用する場合は、15~20mごとに1ヵ所、伸縮目地を入れること。 ・鉄筋規格はSD345を標準とする。	砂場縁取工（C）、砂場工	S5285 備考 13年9月修正　05年4月修正 14年9月修正　07年10月修正 21年10月修正		110

仕　様　図



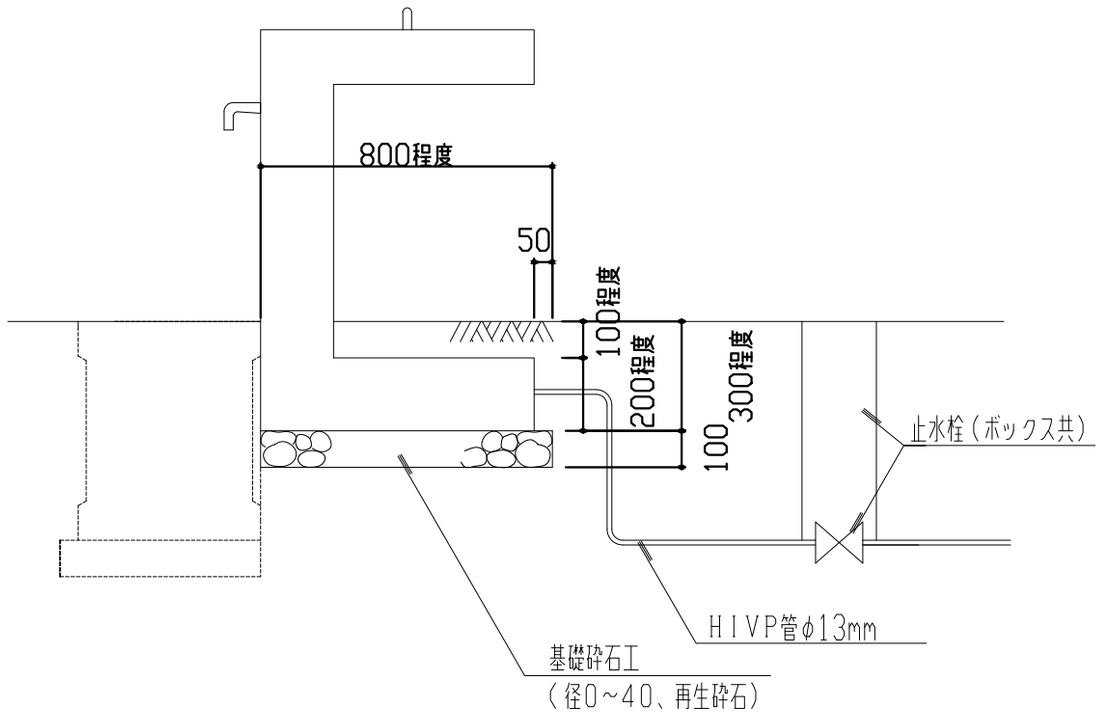
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1．0	
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0．36	再生砕石
給水工		ヵ所	1．0	
床掘		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

給水工　（1．0ヵ所当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2．0	
止水栓	HIVPφ13	〃	1．0	ボックス共
給水管	HIVPφ13	m	1．4	
継手雑材料		式	1．0	
保温筒		m	1．0	設計書指示

本体のみ施工の場合
断面詳細図　1：20

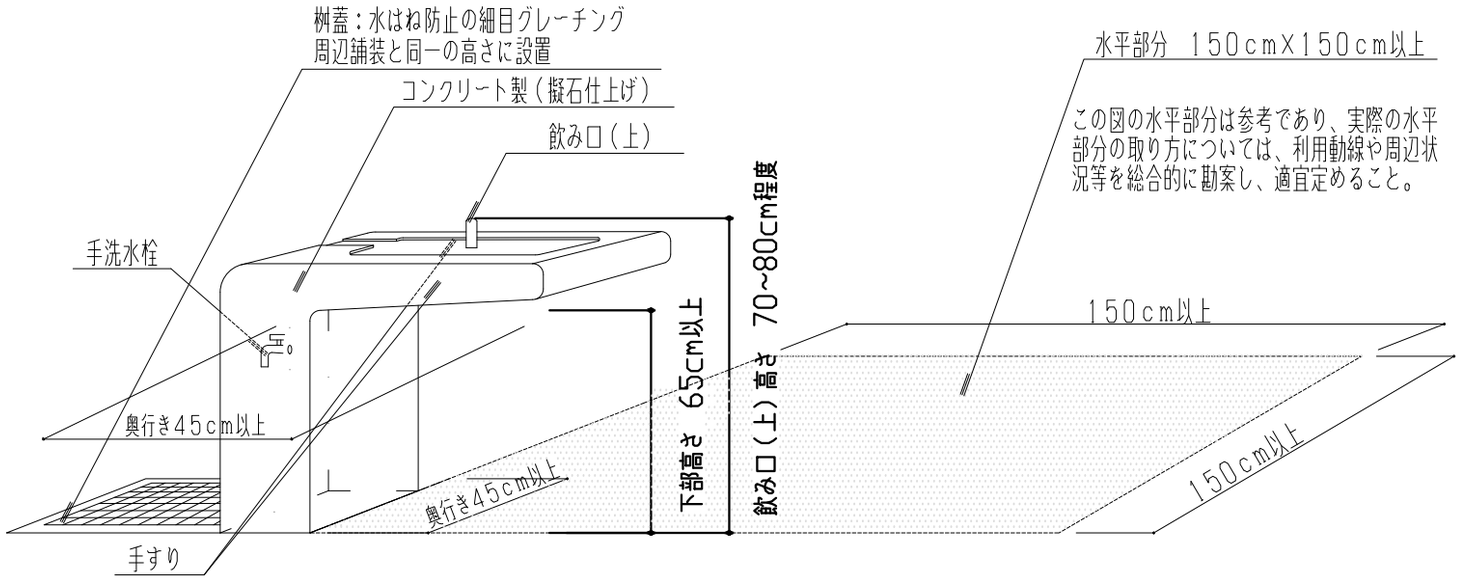


仕様
- 水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- 水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとすること。
- プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- 使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- 設置時に飲み口（上）の水量調節を行うこと。
- 飲み口（上）の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- 寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- 水飲み受け皿部の耐荷重は5．0KN/m2以上とする。
- 水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	※仕様については図中に記載のとおり	水飲み台工（桝なし）	S5290 備考 14年 9月修正　24年10月修正 15年10月修正　25年10月修正 21年10月修正		111-1

仕　様　図



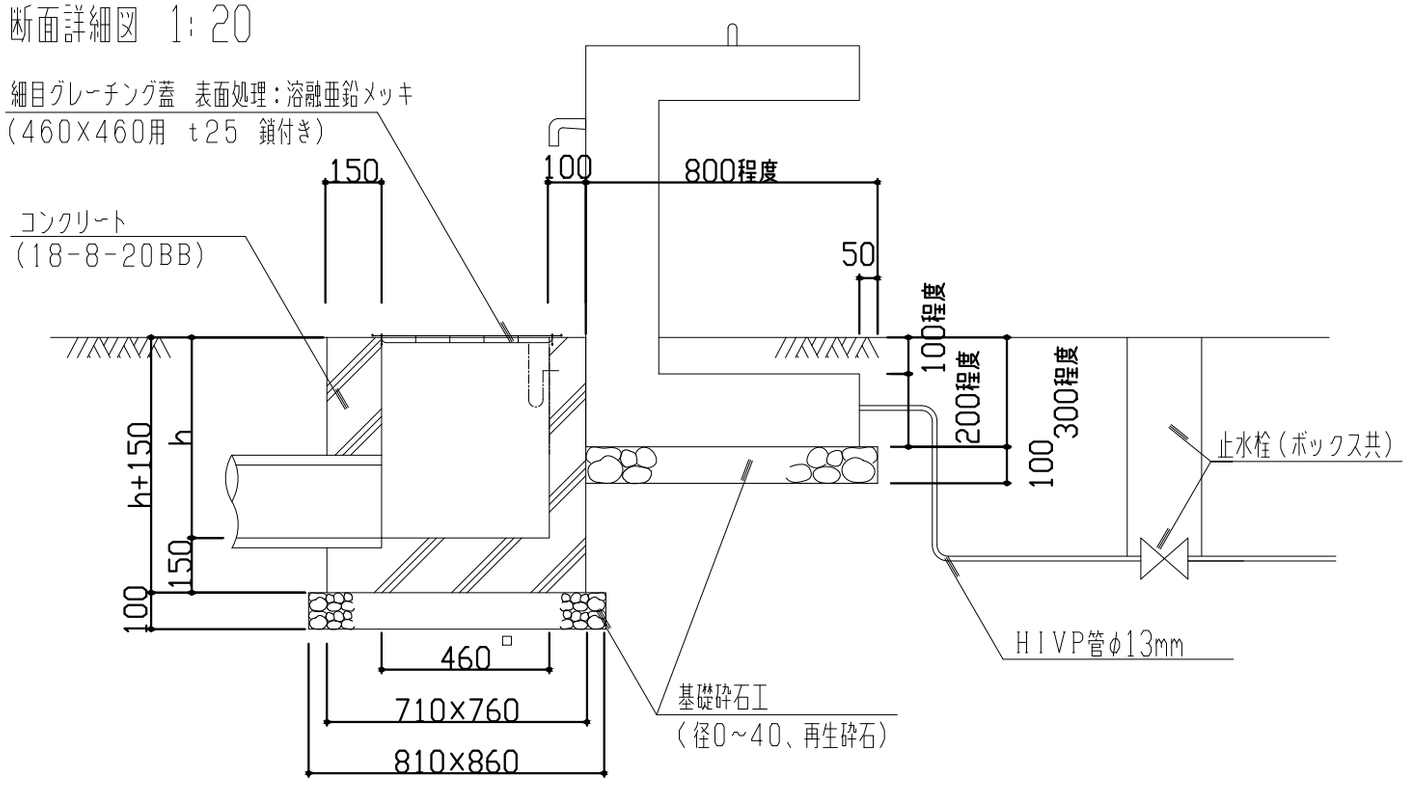
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1．0	
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	1．05	再生砕石
型枠損料		m^2	4．780h+0．441	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．328h+0．080	
細目グレーチング	460×460用 t25　鎖付き	枚	1．0	
給水工		ヵ所	1．0	
床掘		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

給水工　（1．0ヵ所当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2．0	
止水栓	HIVPφ13	〃	1．0	ボックス共
給水管	HIVPφ13	m	1．4	
継手雑材料		式	1．0	
保温筒		m	1．0	設計書指示

本体・桝（現打）同時施工の場合
断面詳細図　1：20



仕様

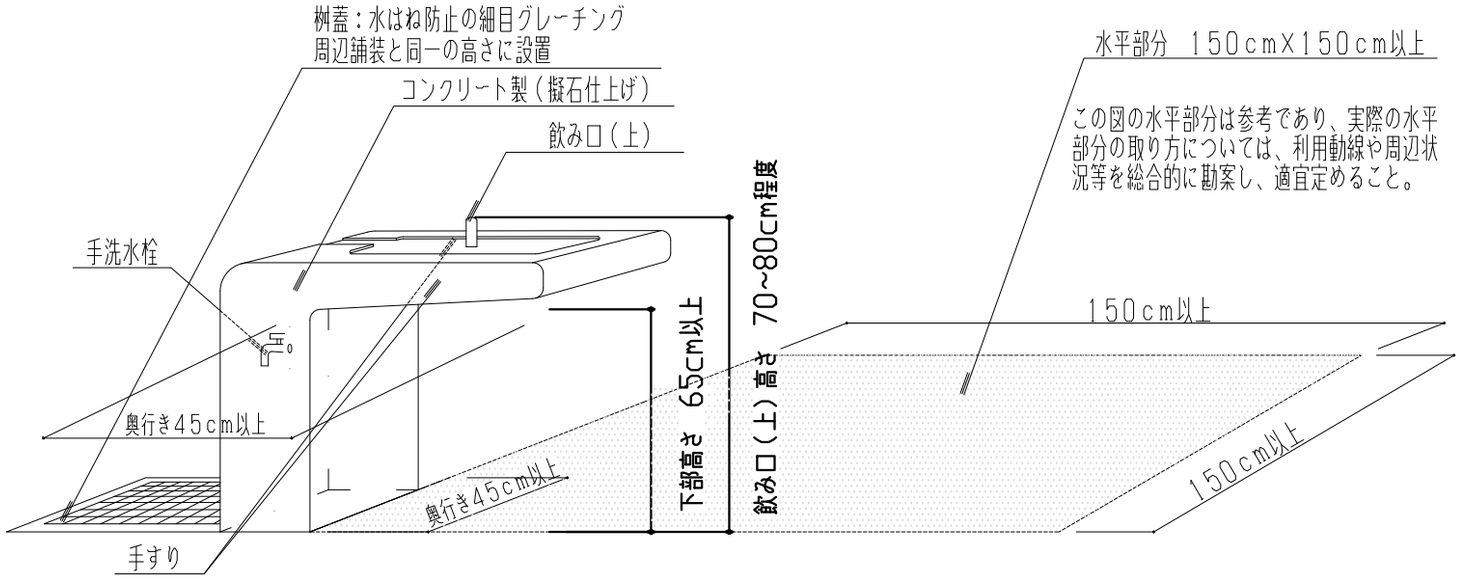
（本体）
- 水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- 水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとすること。
- プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- 使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- 設置時に飲み口（上）の水量調節を行うこと。
- 飲み口（上）の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- 寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- 水飲み受け皿部の耐荷重は5．0KN/m2以上とする。
- 水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

（桝）
- グレーチング蓋は、周辺舗装と同一の高さに設置すること。
- 水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。
- 表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。
- 桝の排水の受け口部分は切り込みを入れる等、排水に支障のない構造とすること。

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	※仕様については図中に記載のとおり	水飲み台工（現場打桝）	S5290 備考 14年 9月修正　24年10月修正 15年10月修正　25年10月修正 21年10月修正　27年10月修正		111-2

仕　様　図



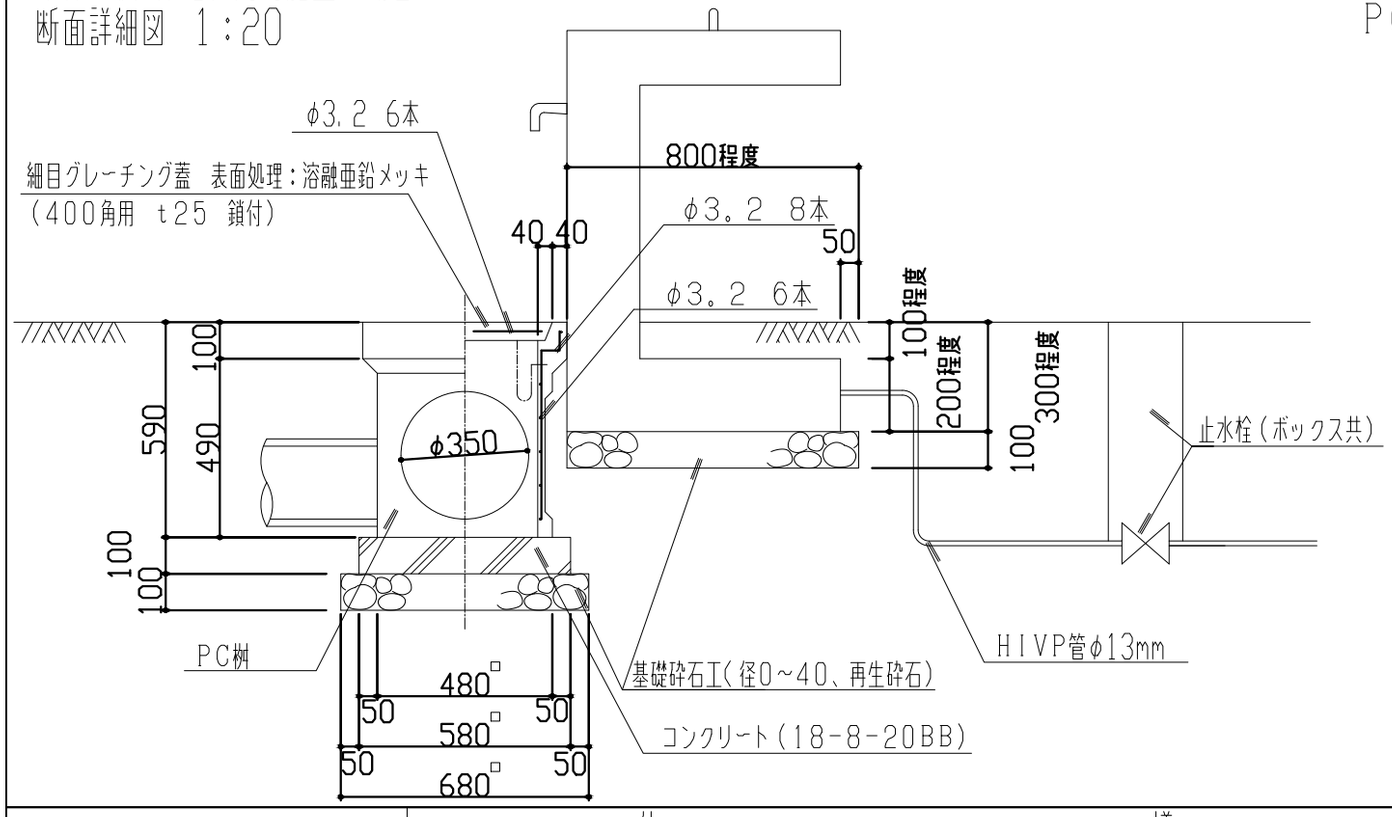
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1．0	
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0．82	再生砕石
型枠損料		m^2	0．2	
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．03	
PC桝	400□X590	基	1．0	材工共
細目グレーチング	400角用 t25 鎖付き	枚	1．0	
給水工		ヵ所	1．0	
床掘		m^3	－	
埋戻		〃	－	
残土処分		〃	－	

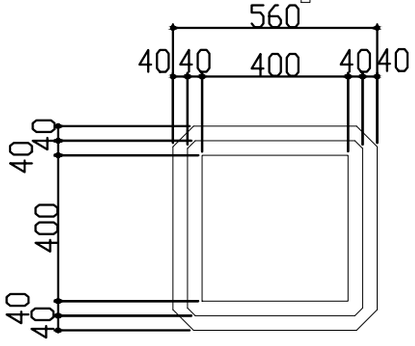
給水工　（1．0ヵ所当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2．0	
止水栓	HIVPφ13	〃	1．0	ボックス共
給水管	HIVPφ13	m	1．4	
継手雑材料		式	1．0	
保温筒		m	1．0	設計書指示

本体・桝（PC）同時施工の場合
断面詳細図　1：20



PC桝平面図　1：20



仕様

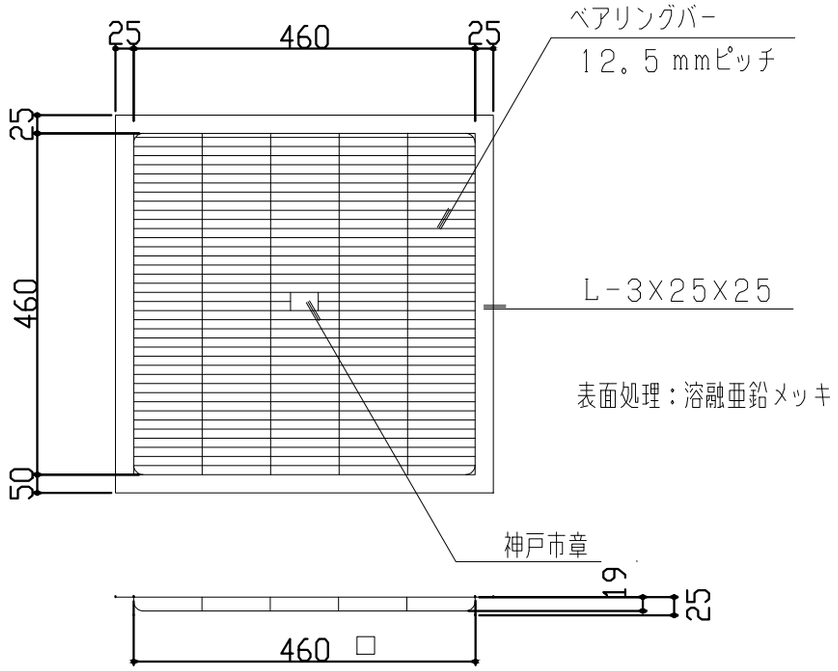
（本体）
- 水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- 水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとすること。
- プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- 使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- 設置時に飲み口（上）の水量調節を行うこと。
- 飲み口（上）の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- 寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- 水飲み受け皿部の耐荷重は5．0KN/m2以上とする。
- 水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

（桝）
- グレーチング蓋は、周辺舗装と同一の高さに設置すること。
- 水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。
- 表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。
- 桝の排水の受け口部分は切り込みを入れる等、排水に支障のない構造とすること。

令和8年10月改定

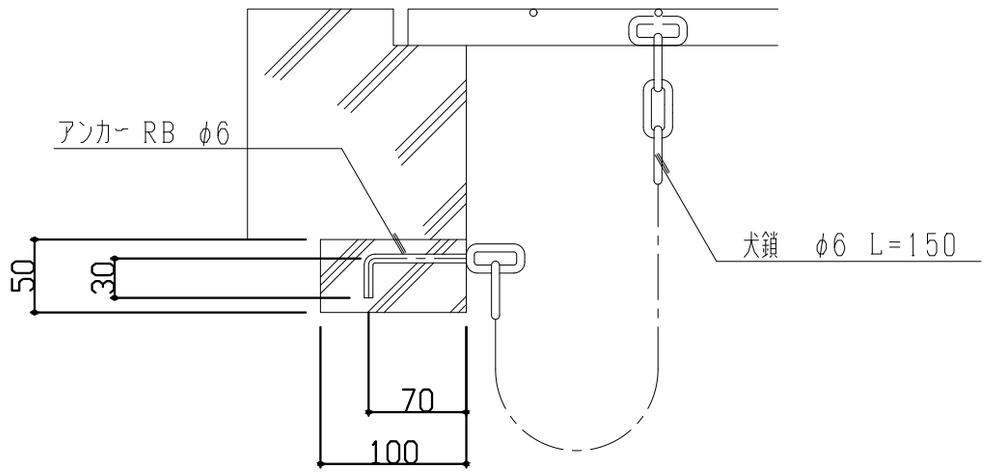
神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	※仕様については図中に記載のとおり	水飲み台工（PC桝）	S5290		111-3
			備　考		
			14年 9月修正　24年10月修正 15年10月修正　25年10月修正 21年10月修正　27年10月修正		

細目グレーチング蓋詳細図　1:10

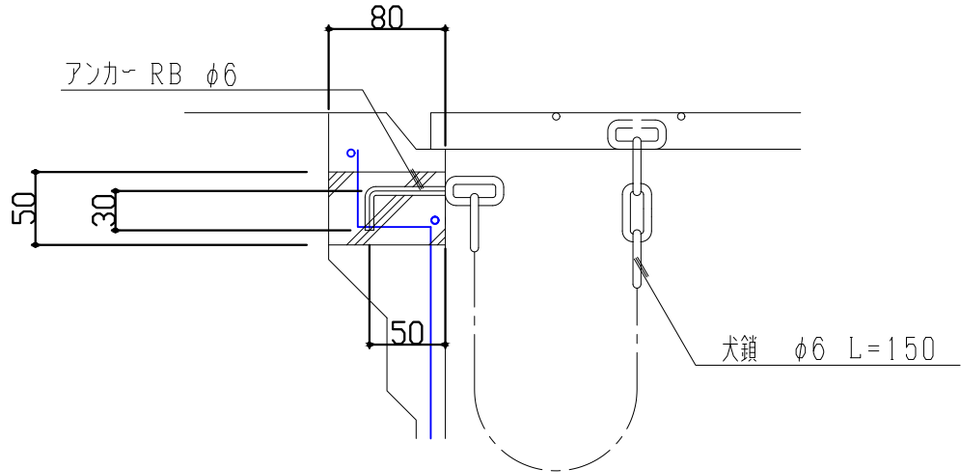


クサリ詳細図　1：5

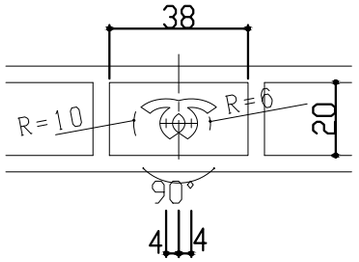
現場打桝

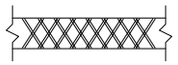


PC桝



市章プレート　1:2





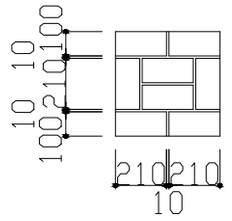
ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

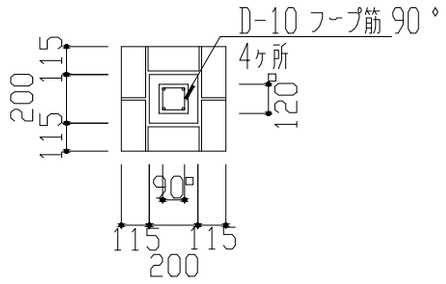
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。 ・表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。	水飲み台工　グレーチング蓋	S5290 備考 13年9月修正　25年10月修正 24年10月修正　27年10月修正		113

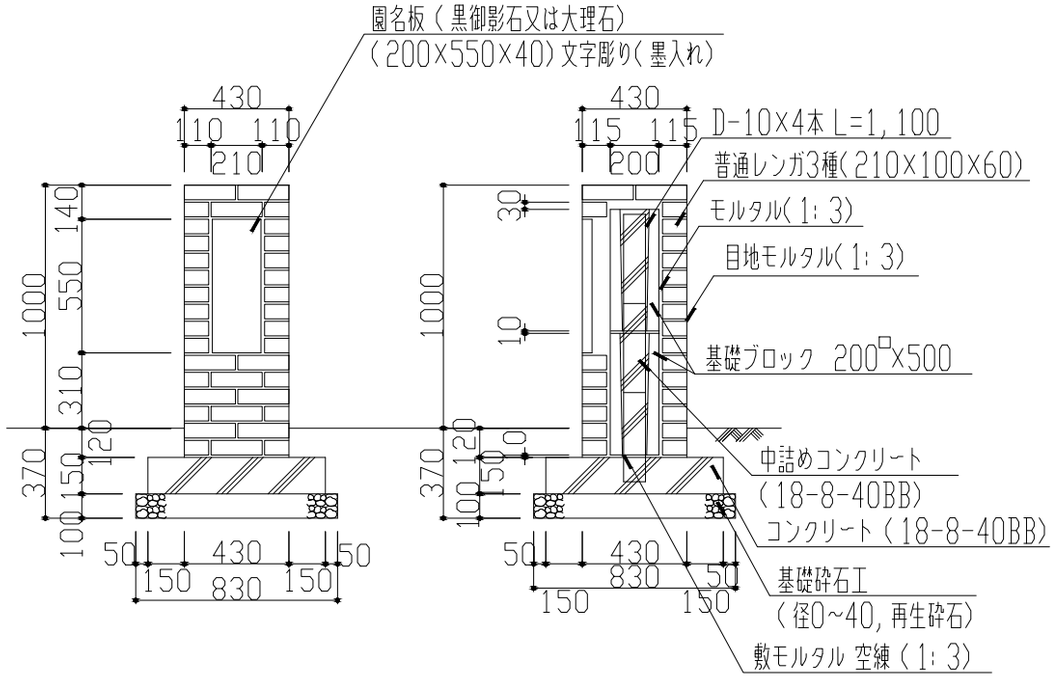
園名柱工

平面図 1:30



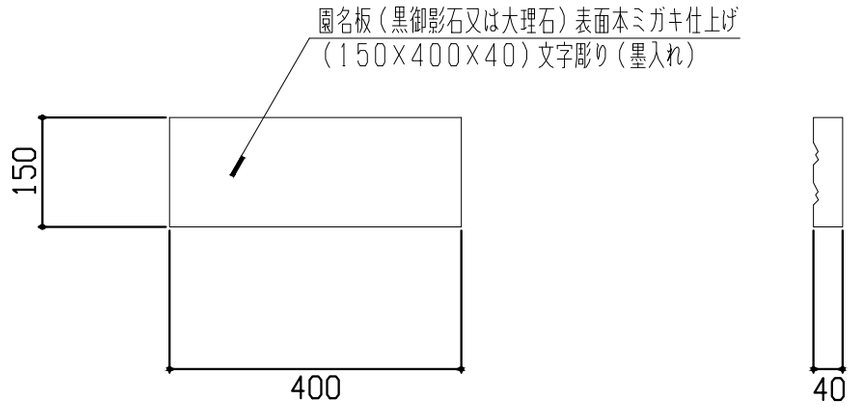


正面図 1:30



園名板工（園名柱なしで使用する場合）

正面図 1:20　　側面図 1:20



園名板工　　（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量 (A)	摘要
園名板	150×400×40	枚	1．0	設計書指示

※6文字程度の場合の例
※タテでの使用も可

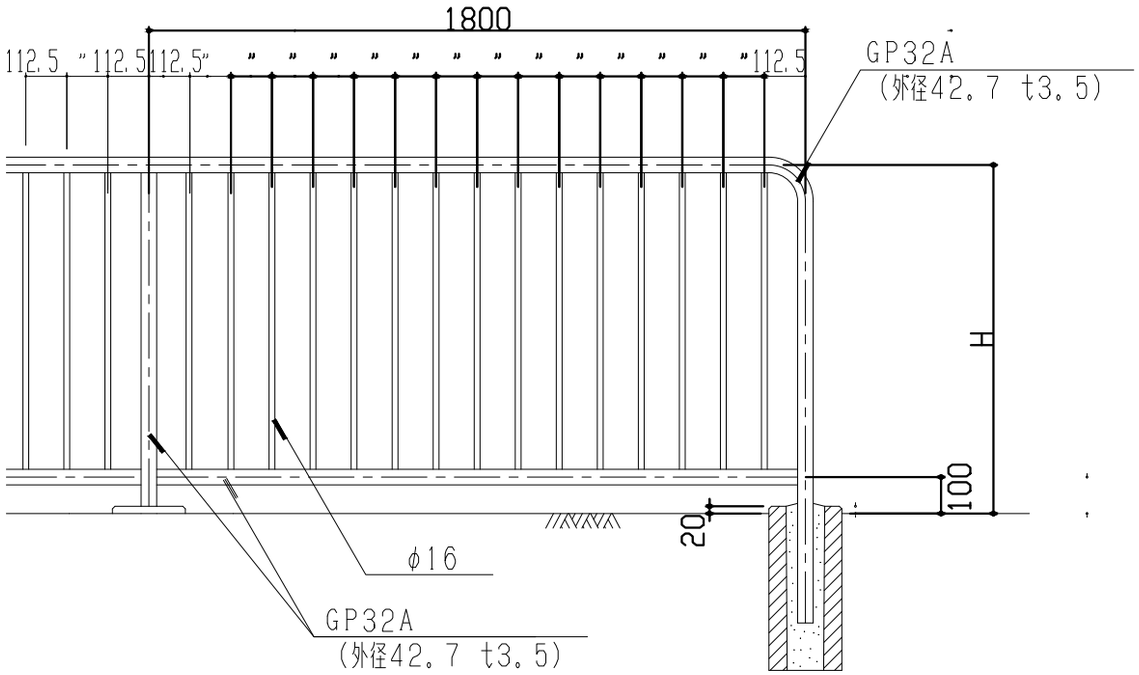
園名柱工　　（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎ブロック	200□×500	個	2．0	
基礎砕石工	径0~40	m^3	0．068	しめ固め共
コンクリート	18-8-40BB	〃	0．063	中詰めコンクリート共
型枠損料		m^2	0．498	
鉄筋工	D10	kg	3．270	材工共
モルタル	1：3	m^3	0．019	
モルタル	1：3 空練	〃	0．001	
普通レンガ	3種 210×100×60	個	90．0	材工共
園名板	200×550×40	枚	1．0	設計書指示
床堀		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・園名板の字体等は係員指示とする。	園名柱工・園名板工	備考 18年3月修正 05年10月修正		114

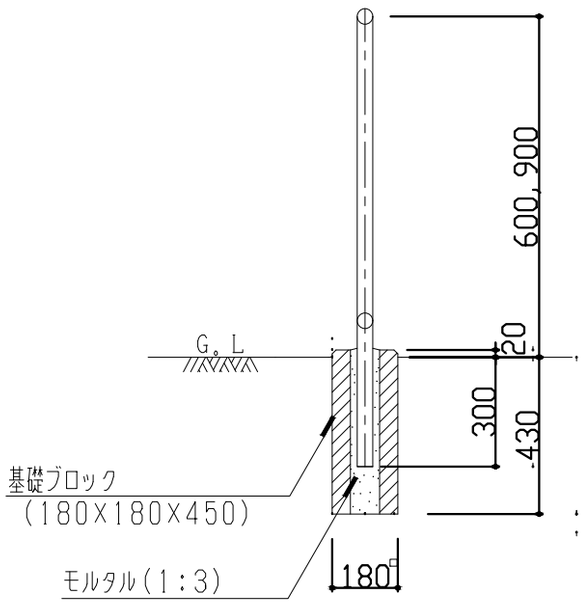
立 面 図 1:20



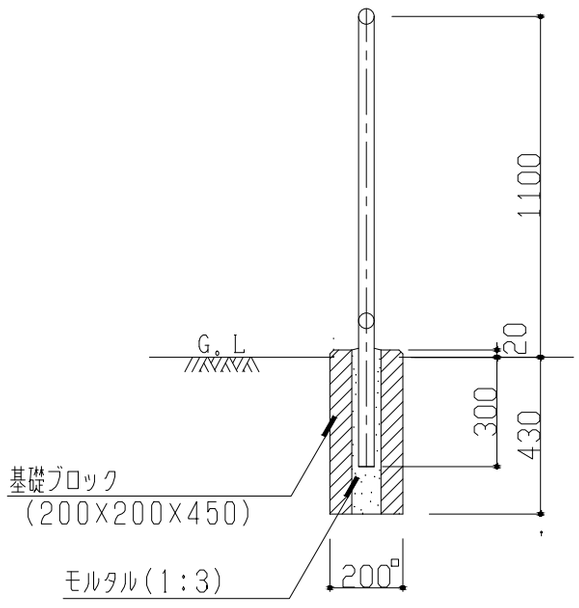
（1スパン（1.8m）当り）

名称		形状寸法	単位	数量 H=600	数量 H=900	数量 H=1,100	摘要
本体	GP32A	外径42.7 t3.5	kg	15.065	16.079	16.755	
本体	丸鋼	φ16	〃	10.838	17.948	22.688	
本体	鋼材加工組立		式	1.0	1.0	1.0	
本体	塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	0.942	1.208	1.386	
本体	塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	0.899	1.165	1.343	指定色
基礎ブロック		180X180X450	基	1.0	1.0		モルタル含む
基礎ブロック		200X200X450	〃			1.0	モルタル含む
床堀			m^3	—	—	—	
埋戻			〃	—	—	—	
残土処分			〃	—	—	—	

断面図（H=600、900） 1:20



断面図（H=1100） 1:20



令和8年10月改定

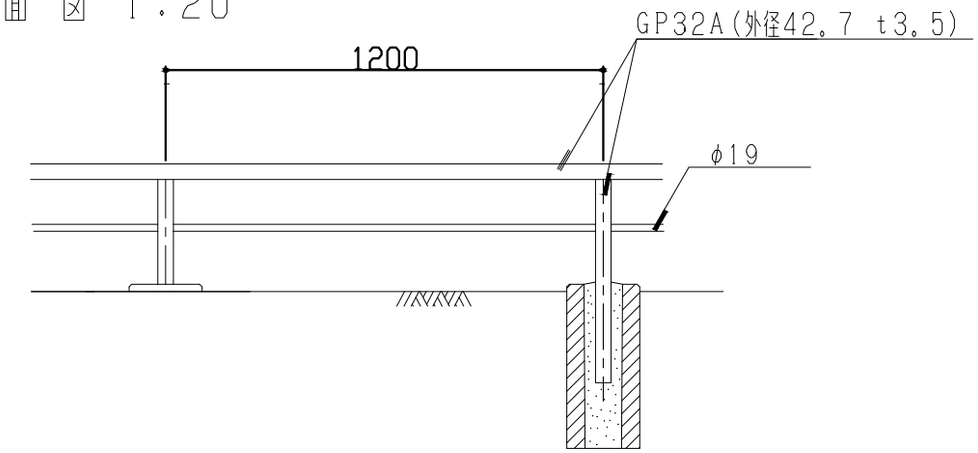
神戸市公園施設標準図集

仕様	名称	コード番号	記号	ページ
・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・地形勾配に応じて加工する。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・集団による荷重が想定される場合には、転落防止柵として使用しないこと。	鉄柵工（A）	S5300 備考 15年10月修正 25年10月修正 18年 3月修正 26年10月修正 21年10月修正 27年10月修正 24年10月修正 27年10月修正		116

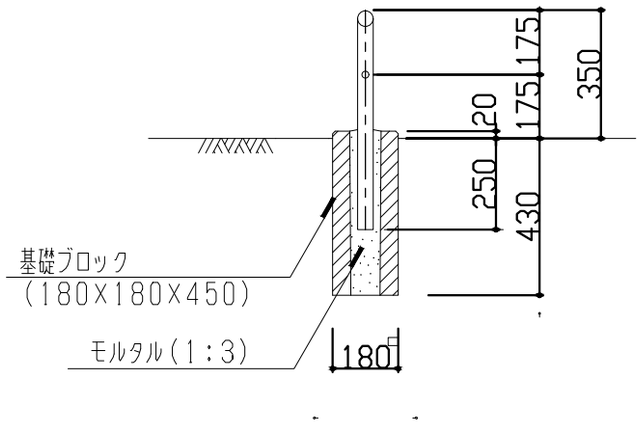
（1スパン（1，2m）当り）

名称		形状寸法	単位	数　量	摘要
本　体	GP32A	外径42．7t3．5	kg	4．640	
	丸鋼	φ19	〃	2．603	
	鋼材加工組立		式	1．0	
	塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m^2	0．304	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0．267	指定色
基礎ブロック		180X180X450	個	1．0	モルタルを含む
床堀			m^3	—	
埋戻			〃	—	
残土処分			〃	—	

立　面　図　1：20



断　面　図　1：20



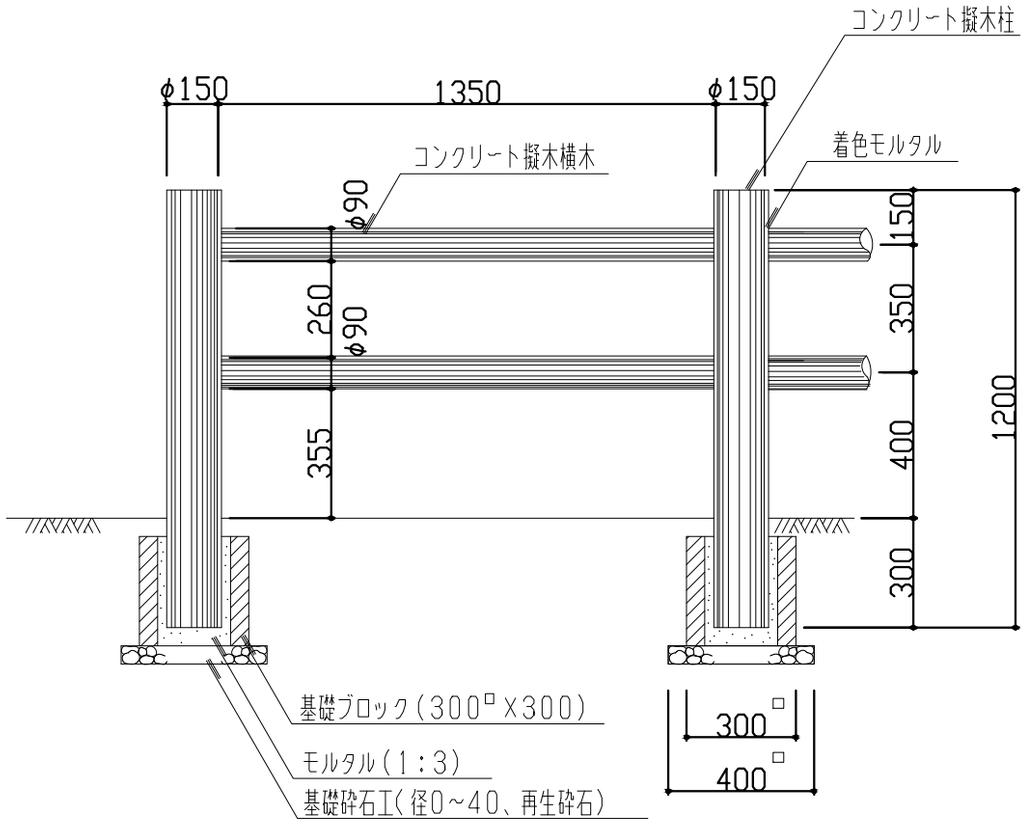
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・地形勾配に応じて加工する。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	鉄柵工（B）	S5300 備　考 13年9月修正　24年10月修正 14年9月修正　27年10月修正 18年3月修正		117

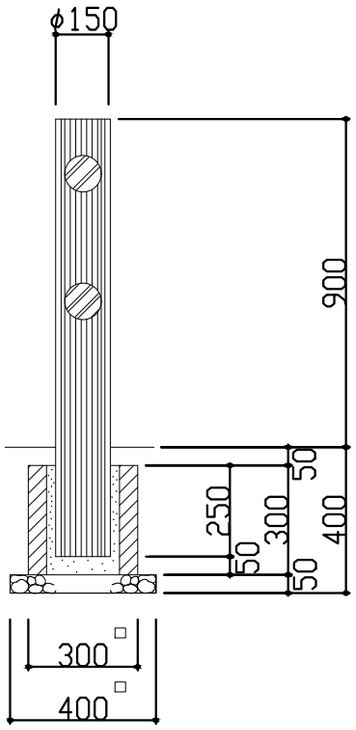
（1スパン（1。5m）当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
擬木柵	H＝900	m	1。5	焼杉仕上
基礎ブロック	300□X300	基	1。0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m^2	0。1	再生砕石
床堀		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

正 面 図 1：20



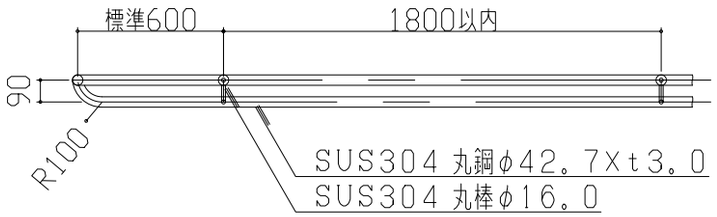
断 面 図 1：20



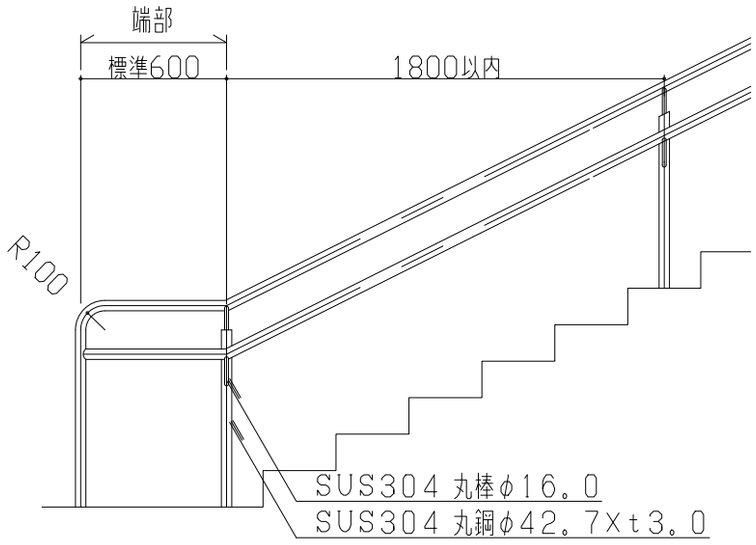
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・横木と支柱の接続部分は着色モルタルにて仕上げること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	擬木柵工	備考 13年9月修正 18年3月修正		120-2

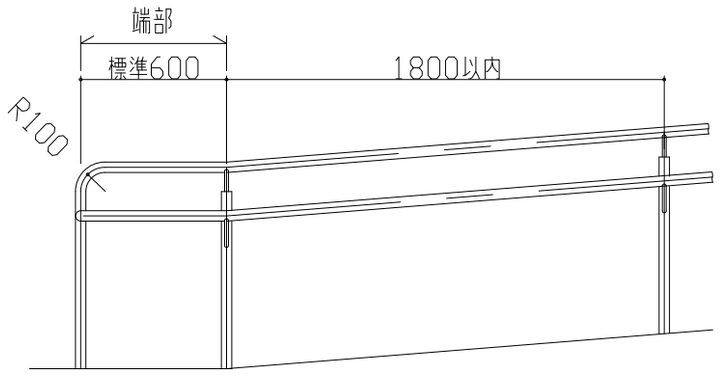
平面図　1：30



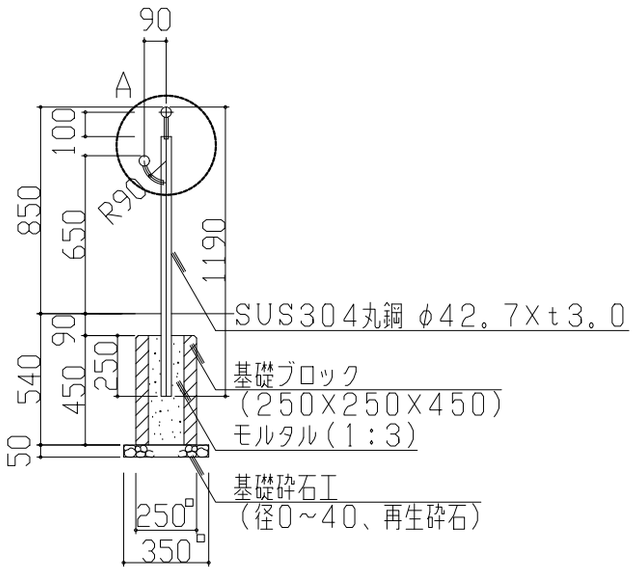
階段用立面図　1：30



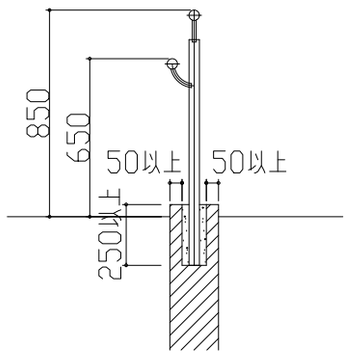
傾斜路。通路用立面図　1：30



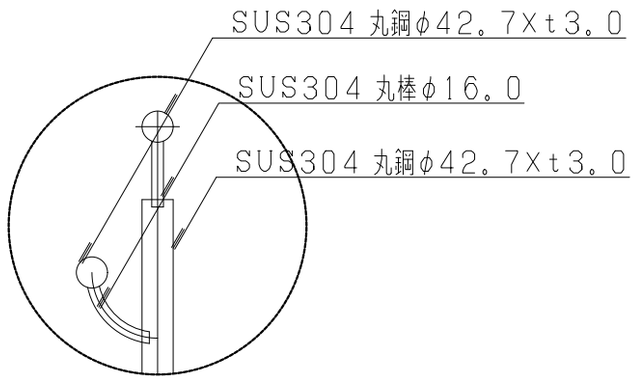
（独立基礎）
断面図　1：30



（削孔。円形型枠（ボイド））
断面図　1：30



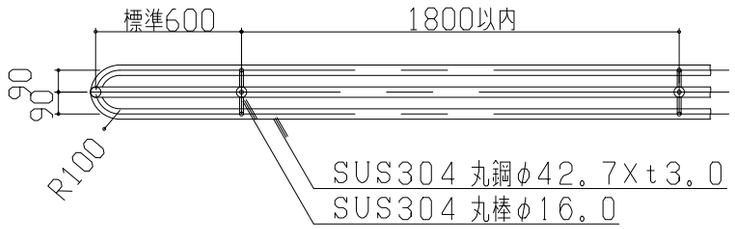
A部詳細図　1：10



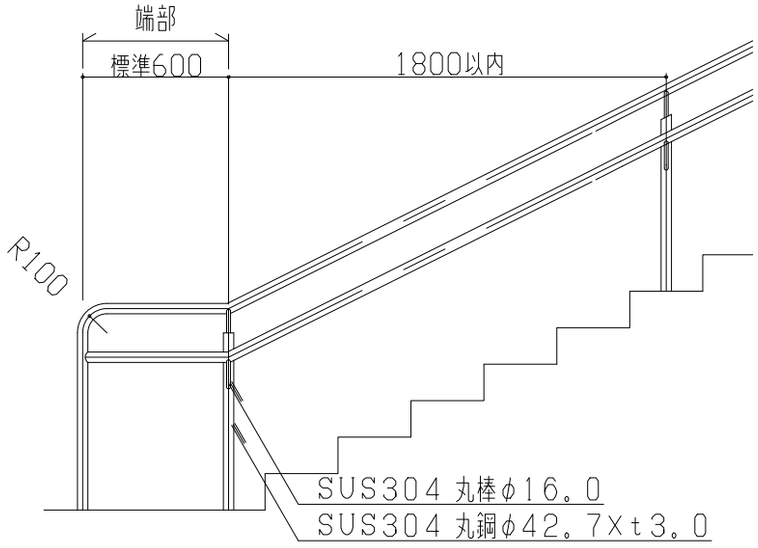
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・手すりの高さは上段で85cm程度、下段で65cm程度とする。 ・鋼材はステンレス（SUS304）とし、接合部は全周溶接とする。 ・ステンレスの仕上げはヘアライン仕上げとする。 ・手すりの端部は水平区間を標準60cm程度設け、端部が突出しない構造とする。 ・傾斜路・通路は勾配8%までとする。 ・モルタルは高炉セメントを使用すること。 ・点字シールを設置すること。 ・円形型枠（ボイド）により施工する場合は、基礎コンクリートが打設できる程度（50以上）の余裕寸法を確認すること。	手すり工（A）	S5306 備考 24年10月追加		120-3

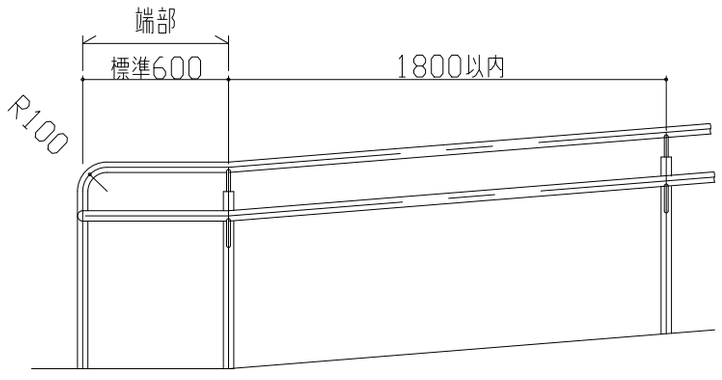
平面図　1：30



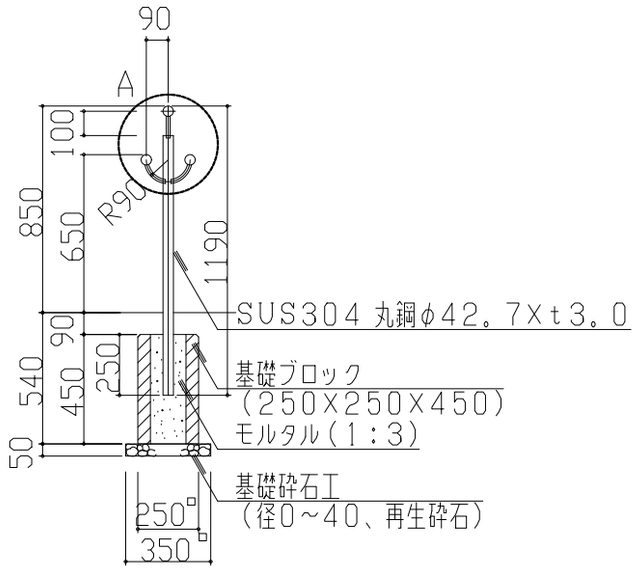
階段用立面図　1：30



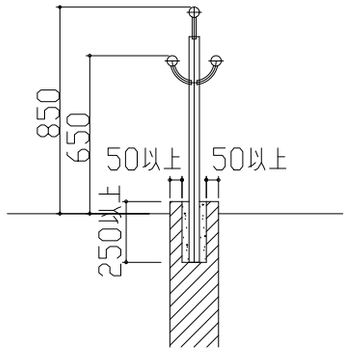
傾斜路・通路用立面図　1：30



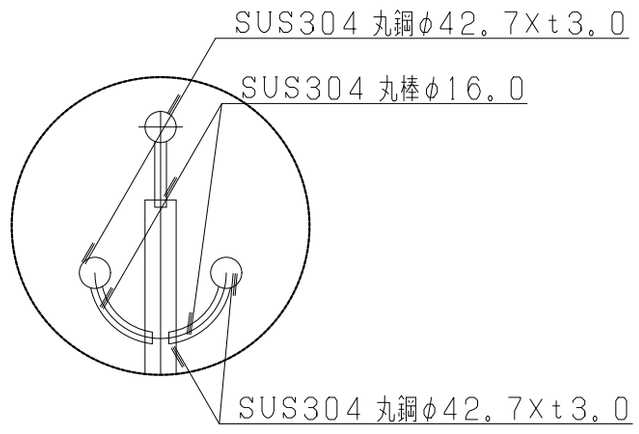
（独立基礎）
断面図　1：30



（削孔・円形型枠（ボイド））
断面図　1：30



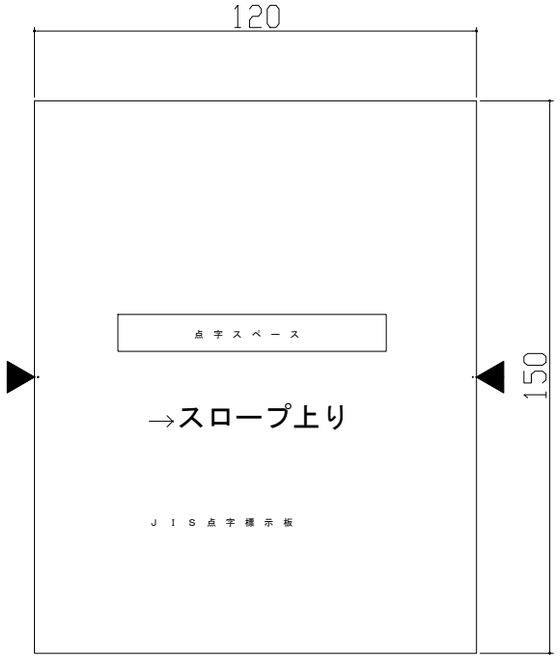
A部詳細図　1：10



令和8年10月改定

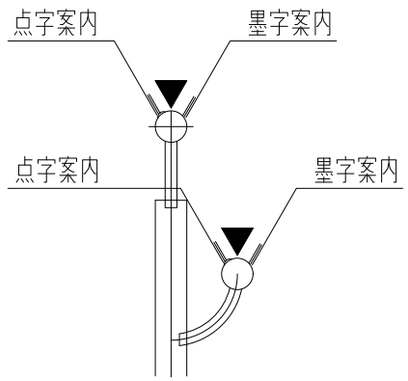
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・手すりの高さは上段で85cm程度、下段で65cm程度とする。 ・鋼材はステンレス（SUS304）とし、接合部は全周溶接とする。 ・ステンレスの仕上げはヘアライン仕上げとする。 ・手すりの端部は水平区間を標準60cm程度設け、端部が突出しない構造とする。 ・傾斜路・通路は勾配8%までとする。 ・モルタルは高炉セメントを使用すること。 ・点字シールを設置すること。 ・円形型枠（ボイド）により施工する場合は、基礎コンクリートが打設できる程度（50以上）の余裕寸法を確認すること。	手すり工（B）	S5306 備考 24年10月追加		120-4

点字シール　1：2



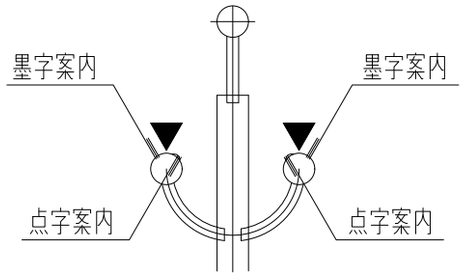
※▼部を手すり頂点に合わせて施工すること

手すり工（Ａ）の場合

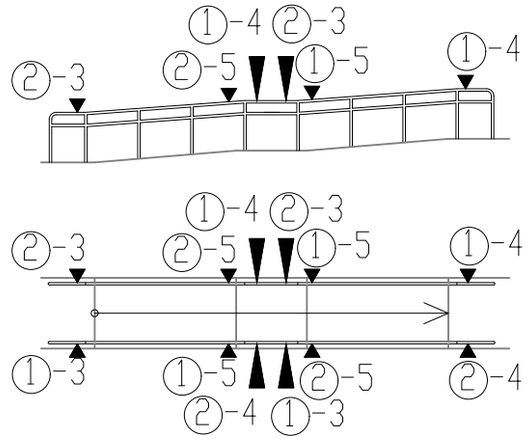


手すり工（Ｂ）の場合

（※両側から触る可能性のある部分には点字シールは設置しない。）



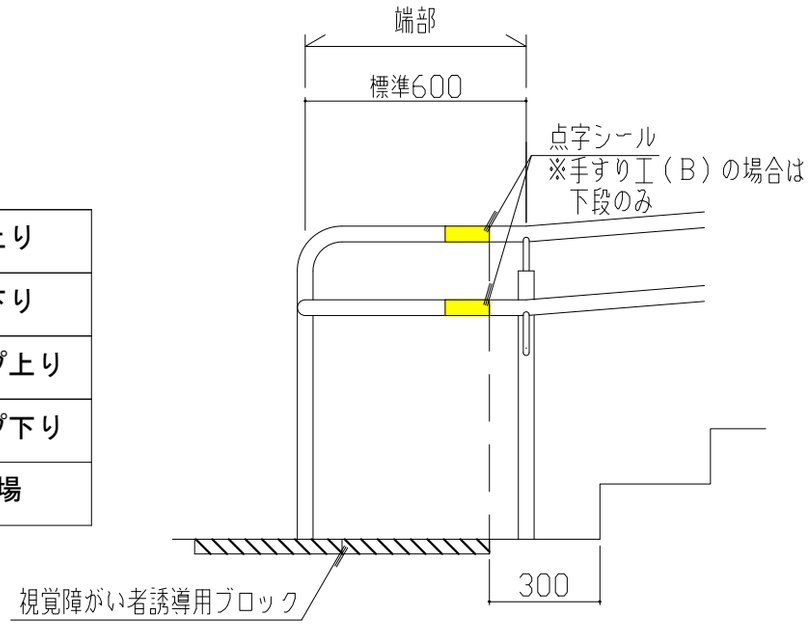
手すり工（Ａ）の場合 傾斜路・通路　点字シール設置位置



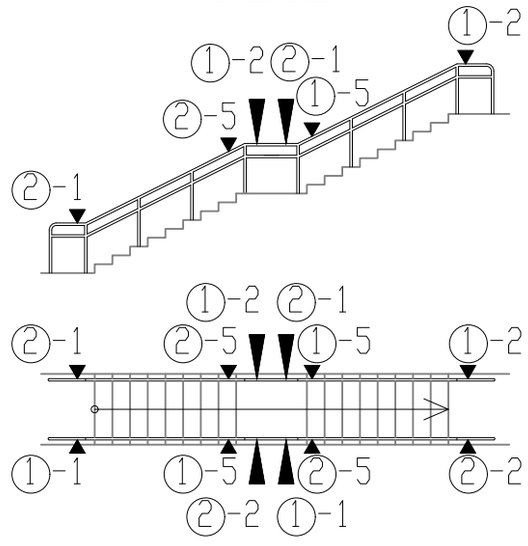
文字表記一覧

①-1	←階段上り	②-1	→階段上り
①-2	←階段下り	②-2	→階段下り
①-3	←スロープ上り	②-3	→スロープ上り
①-4	←スロープ下り	②-4	→スロープ下り
①-5	←踊り場	②-5	→踊り場

点字シール設置位置



手すり工（Ａ）の場合 階段　点字シール設置位置

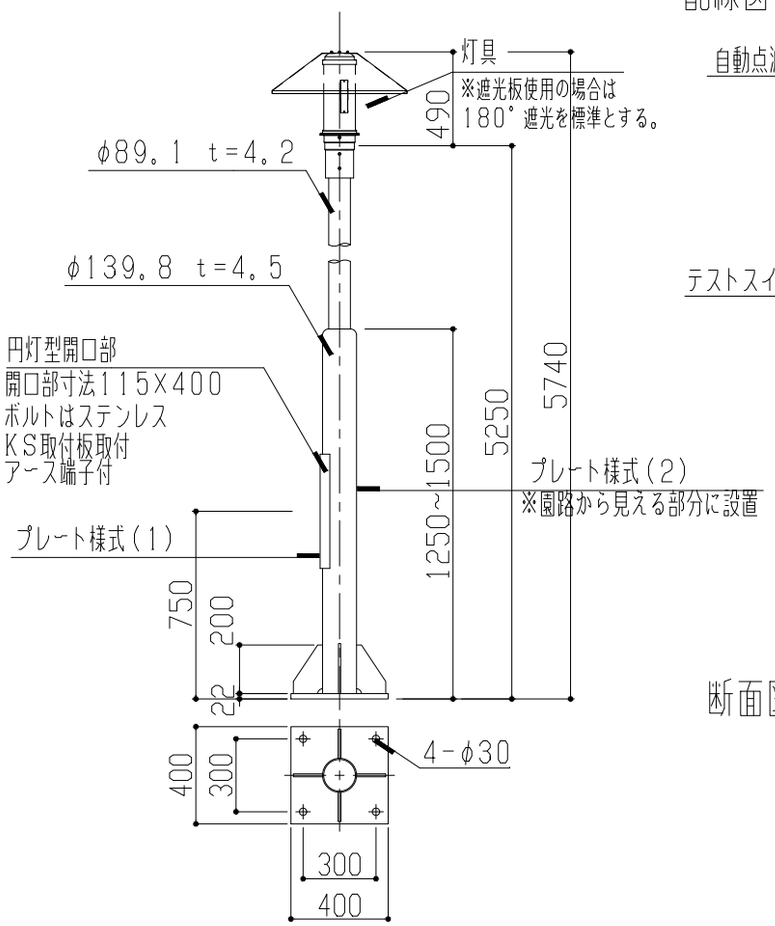


※手すり工（Ｂ）の場合は上記に準ずる。

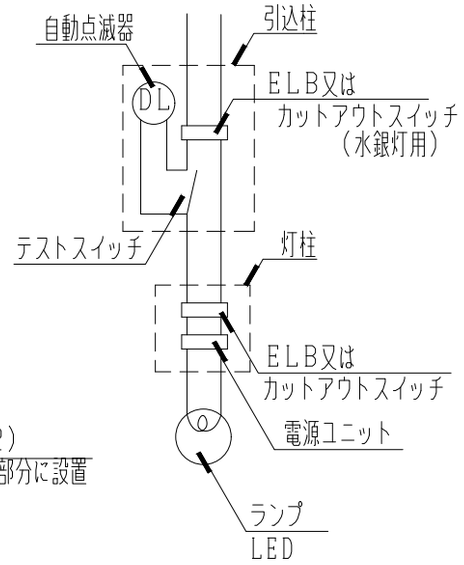
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・材質はポリカーボネート製 t＝0．1mm、文字はシルクスクリーン印刷とする。 ・施工の際は、手すり表面に適切な下処理を行い平滑でない場合はヤスリなどで調整を行うこと。 ・設置位置は、階段又は傾斜路側の視覚障がい者誘導用ブロックの延長線上とする。 ・文字表記一覧にない表示については、別途検討を行うこと。 ・ＪＩＳＴ0921に基づく表示とすること。 ・色については、監督員の承諾を得ること。 ・手すり工（Ａ）の場合は上下段手すりに、手すり工（Ｂ）の場合は下段手すりのみに設置する。 ・標準品以外の手すりに設置する場合は、上記内容に準拠すること。	手すり用点字シール	S5306 備考 24年10月追加 28年10月修正 25年10月修正		120-5

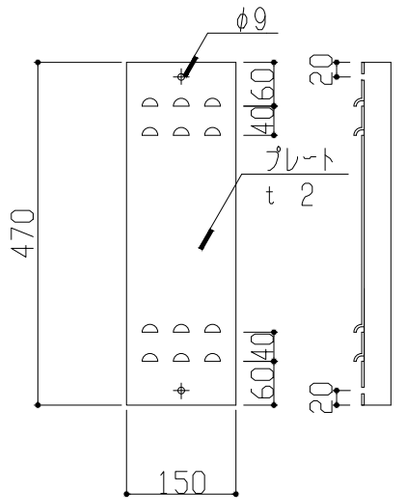
灯柱立面図　1：30



配線図



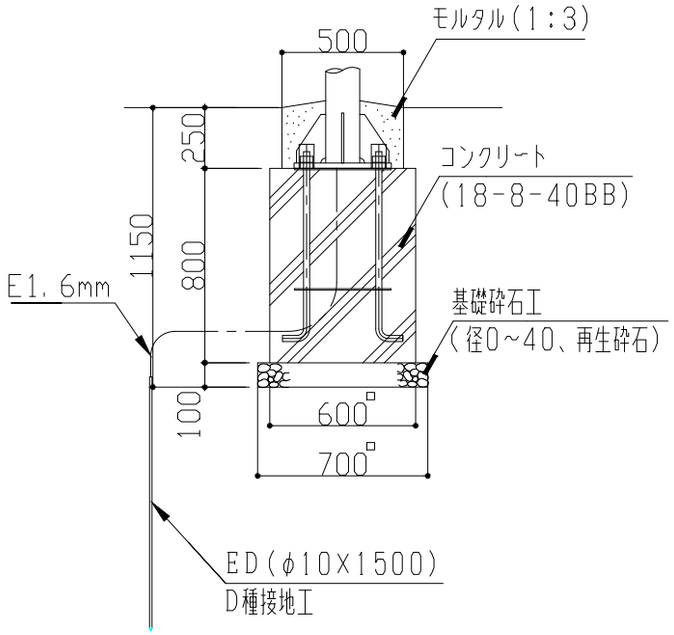
灯柱開口部蓋詳細図　1：10



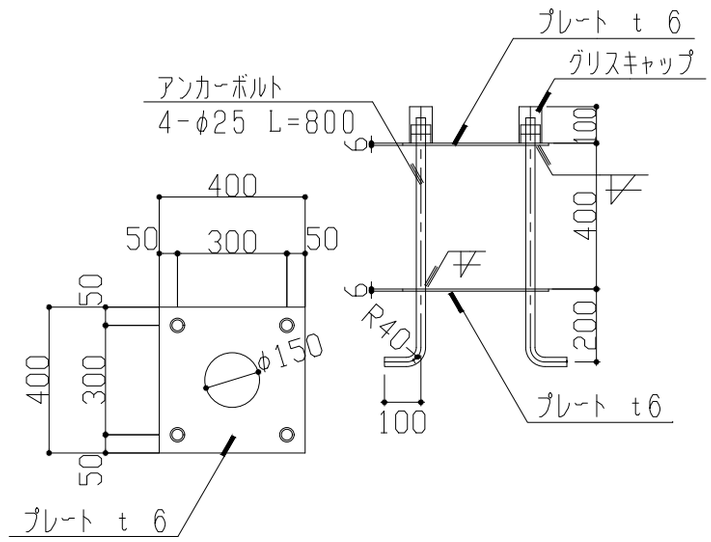
1.0基当り

名称	形状寸法	単位	基礎タイプ-1	摘要
灯柱		基	1.0	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回 2液性ウレタン塗装2回塗	〃	1.577	設計書指示
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0.4	再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m^3	0.2	
モルタル	1:3	〃	0.05	
型枠損料		m^2	2.1	
D種接地工	打込式	ヶ所	1.0	銅覆鋼棒 φ10X1500
アンカーベース		基	1.0	
床堀		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

断面図　1：30



アンカーベース詳細図　1：20



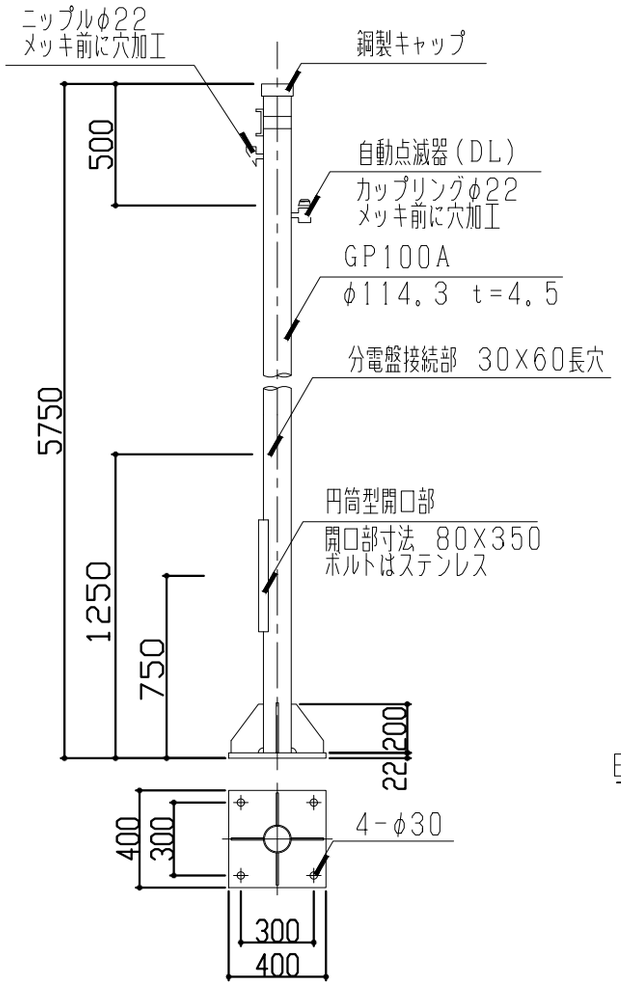
令和8年10月改定

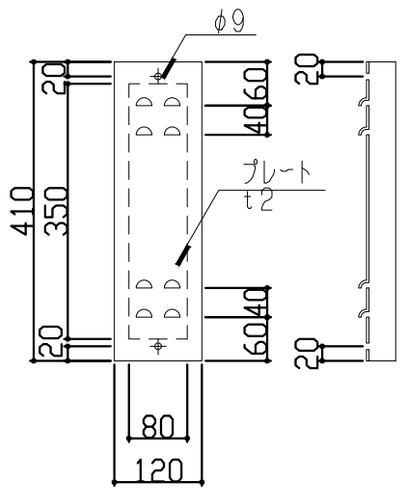
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材は、溶融亜鉛メッキ(HDZT63)、2液性変性エポキシ樹脂錆止1回の上、2液性ウレタン塗装2回塗とする。 ・LEDランプは、水銀灯200W相当の規格とする。 ・電線、電線管の立ち上がり部を含む。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。　・プレート様式(1)(2)を取り付けること。 ・設計風速は、風速40m/sとする。	照明工LED(灯柱)	S5310 備考 15年10月修正　25年10月修正 18年 3月修正　30年10月修正 24年10月修正　05年10月修正		121-1

1．0基当り

名称	形状寸法	単位	基礎タイプ－1	摘要
引 込 柱		基	1．0	
鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	1．973	設計書指示
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0．4	再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m^3	0．3	
モルタル	1：3	〃	0．05	
型枠損料		m^2	3．1	
D種接地工	打込式	ヶ所	1．0	銅覆鋼棒 φ10X1500
アンカーベース		基	1．0	
床堀		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

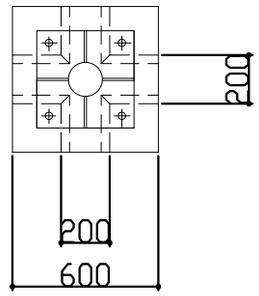
引込柱立面図　1：30

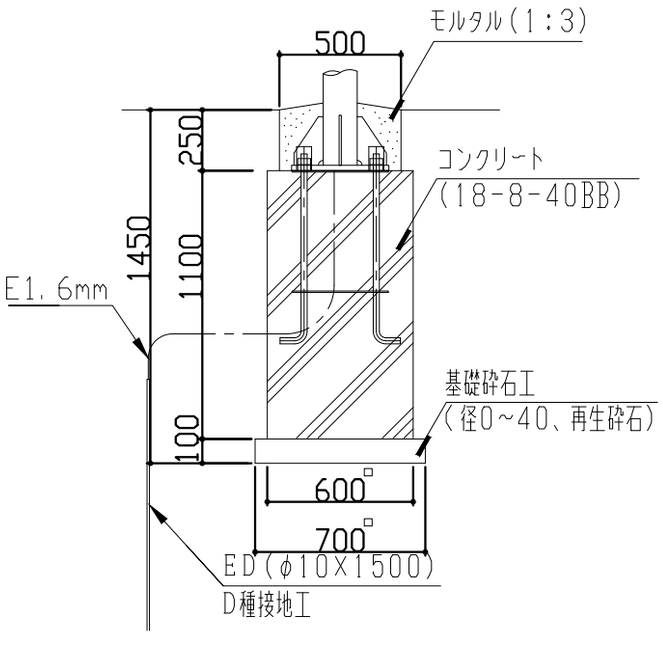




引込柱開口部蓋詳細図　1：10

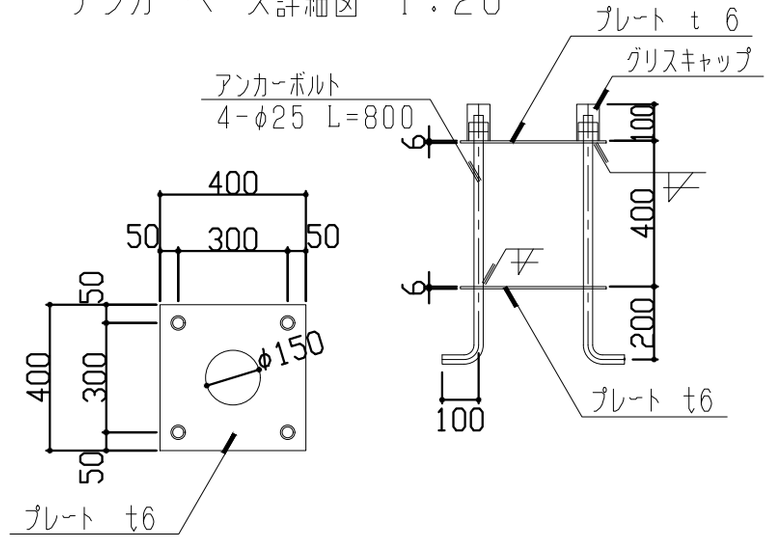
基礎タイプ－2
平面図　1：30





基礎タイプ－1断面図　1：30

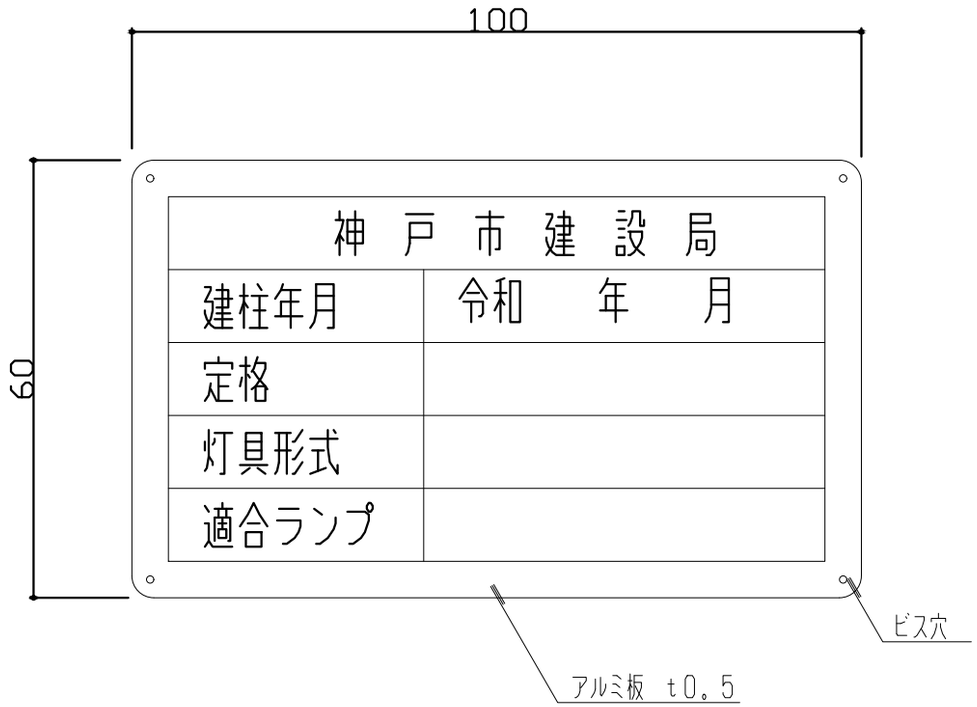
アンカーベース詳細図　1：20



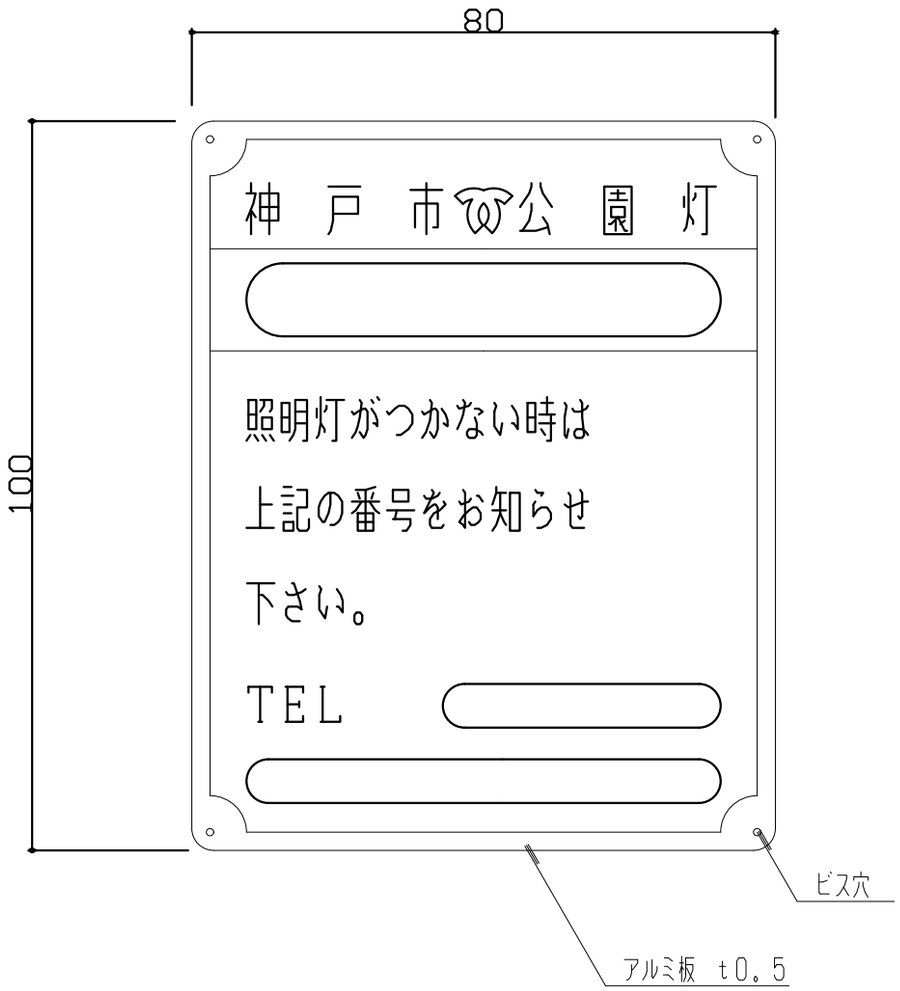
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・鋼材は、熔融亜鉛メッキ（HDZT63）、2液性変性エポキシ樹脂塗装1回の上、2液性ウレタン塗装2回塗とする。 ・電線、電線管の立ち上がり部を含む。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・引込距離は、14m以内（分電盤なし）、8m（分電盤A・B）、9m（分電盤C）までとする。	照明工（引込柱）	S5310 備考 14年 9月修正 05年10月修正 15年10月修正 06年10月修正 24年10月修正		121-3

プレート様式（１）　１：１
（建柱工事）



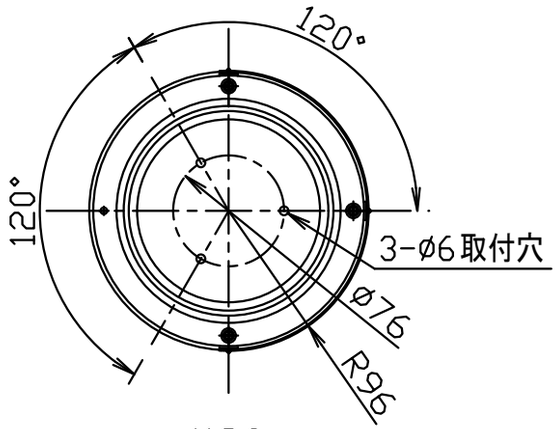
プレート様式（２）　１：１　※園路から見える部分に設置
（故障時の連絡）

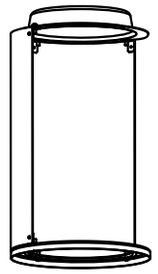


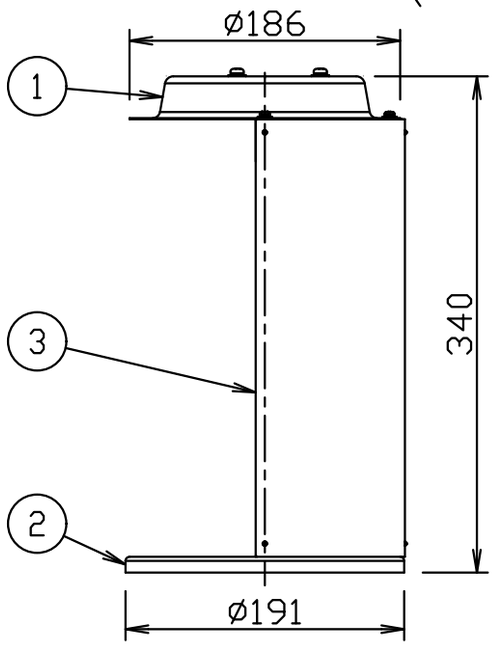
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・NO、TEL及び（　　）内は、係員の指示により記入する。 ・プレートは接着剤止めの上、シンチュウビス止めとする。 ・取付箇所については、本市係員の指示によるものとする。 ・字体は、丸ゴシックとする。	施設プレート（照明用）	備　考 13年9月修正 05年4月修正 05年10月修正		122-1

平 面 図 1:4







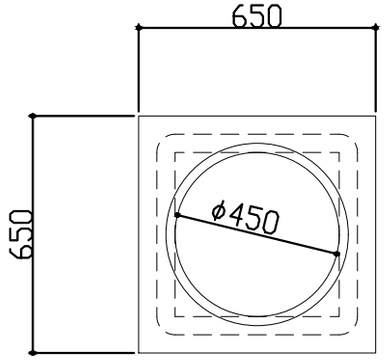
1: 上部取付板
2: 下部取付板
3: 遮光板

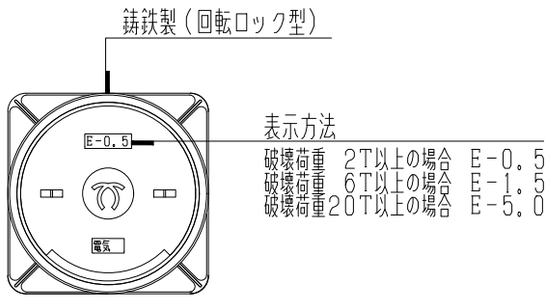
仕上色	黒色（半艶）

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・遮光板は180°を標準とする。 ・材質はステンレス、t=0.8mmとする。 ・塗装色は合成樹脂焼付塗装、仕上色は黒色（半艶）とする。 ・照明工LEDタイプに使用する。	照明工遮光板	S5310 備考 3年7月追加 29年10月修正 14年9月追加 04年04月修正		122-2

平 面 図 1:20





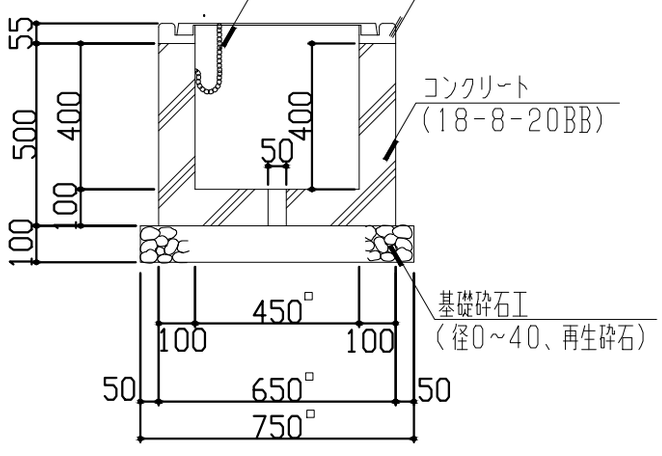
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m^2	0.5	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0.1	
型枠損料		m^2	2.2	
モルタル	1:3	m^3	0.001	
鋳鉄製蓋	内径450 チェーン付 φ6	枚	1.0	
床堀		m	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

鋳鉄製蓋

名称	形状寸法
歩行者用(E-0.5)	内径 450、チェーン付 φ6
軽荷重用(E-1.5)	内径 450、チェーン付 φ6
中荷重用(E-5.0)	内径 450、チェーン付 φ6

断 面 図 1:20



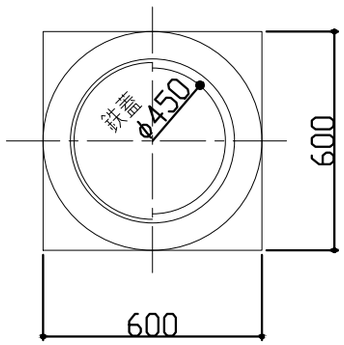
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	ハンドホール工	S5325 備考 13年9月修正 14年9月修正		123-1

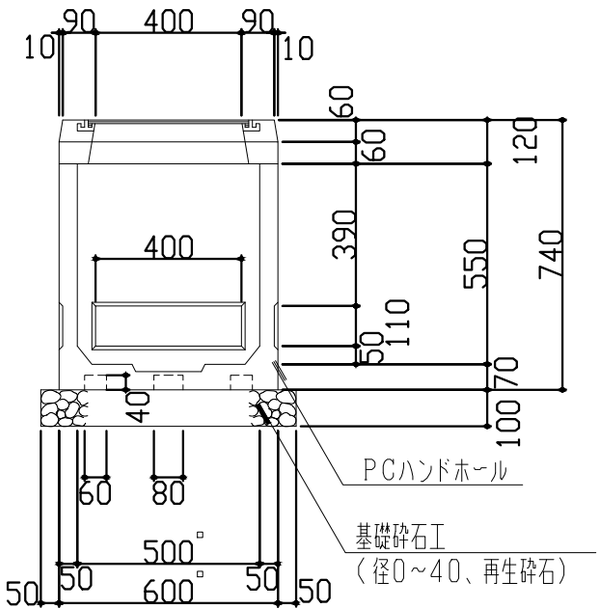
（1．0基当り）

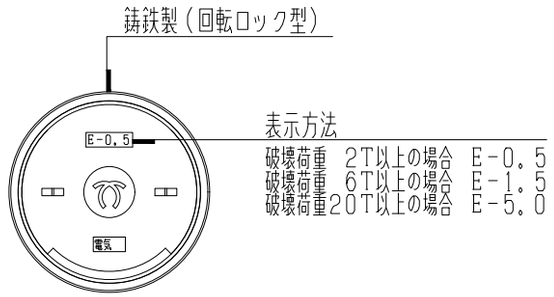
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0～40　t100	m^2	0．4	再生砕石
PCﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ本体	歩行者用蓋（E－0．5）	基	1．0	蓋共
	軽荷重用蓋（E－1．5）			
	中荷重用蓋（E－5．0）			
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

平　面　図　1：20



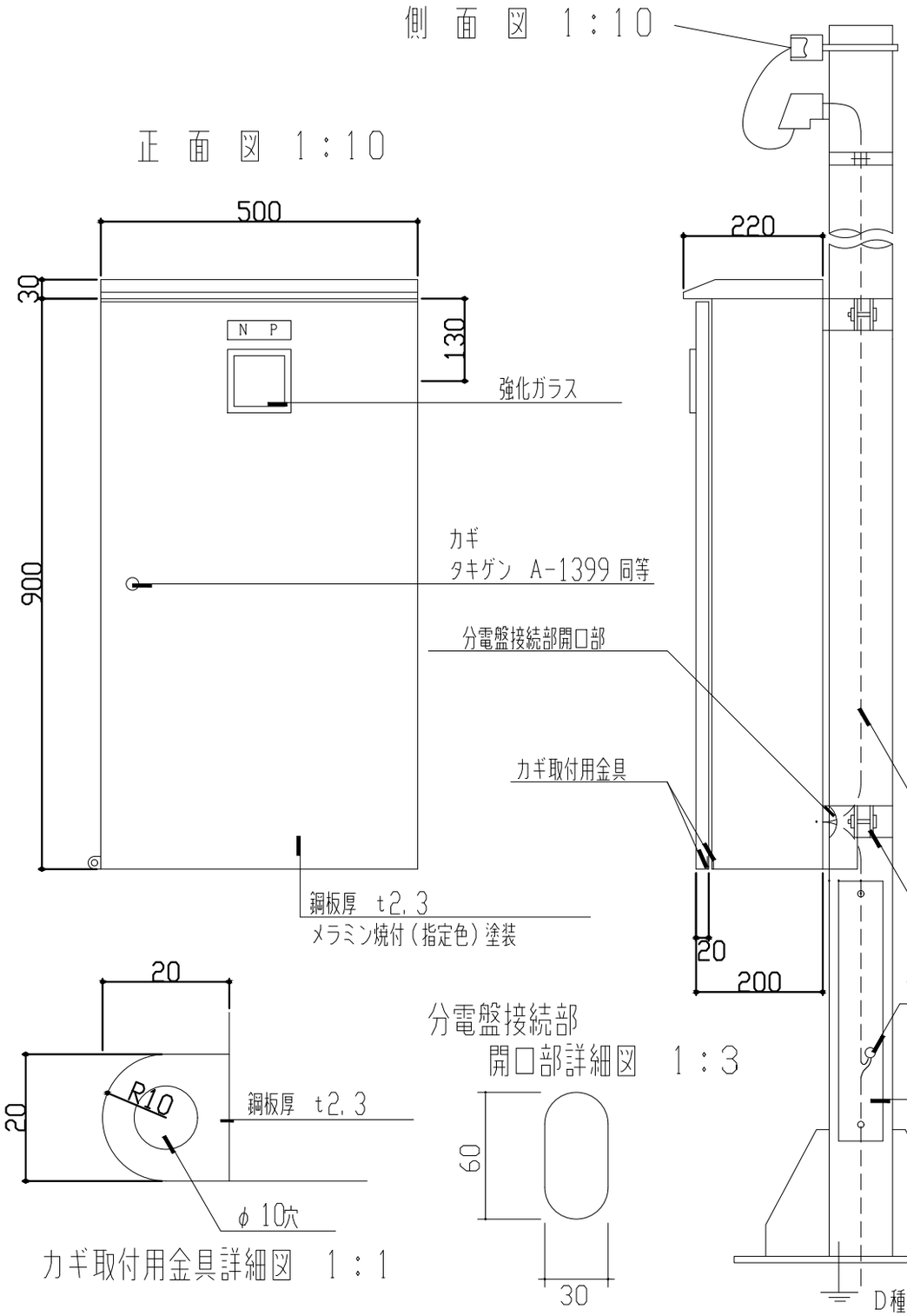
断　面　図　1：20





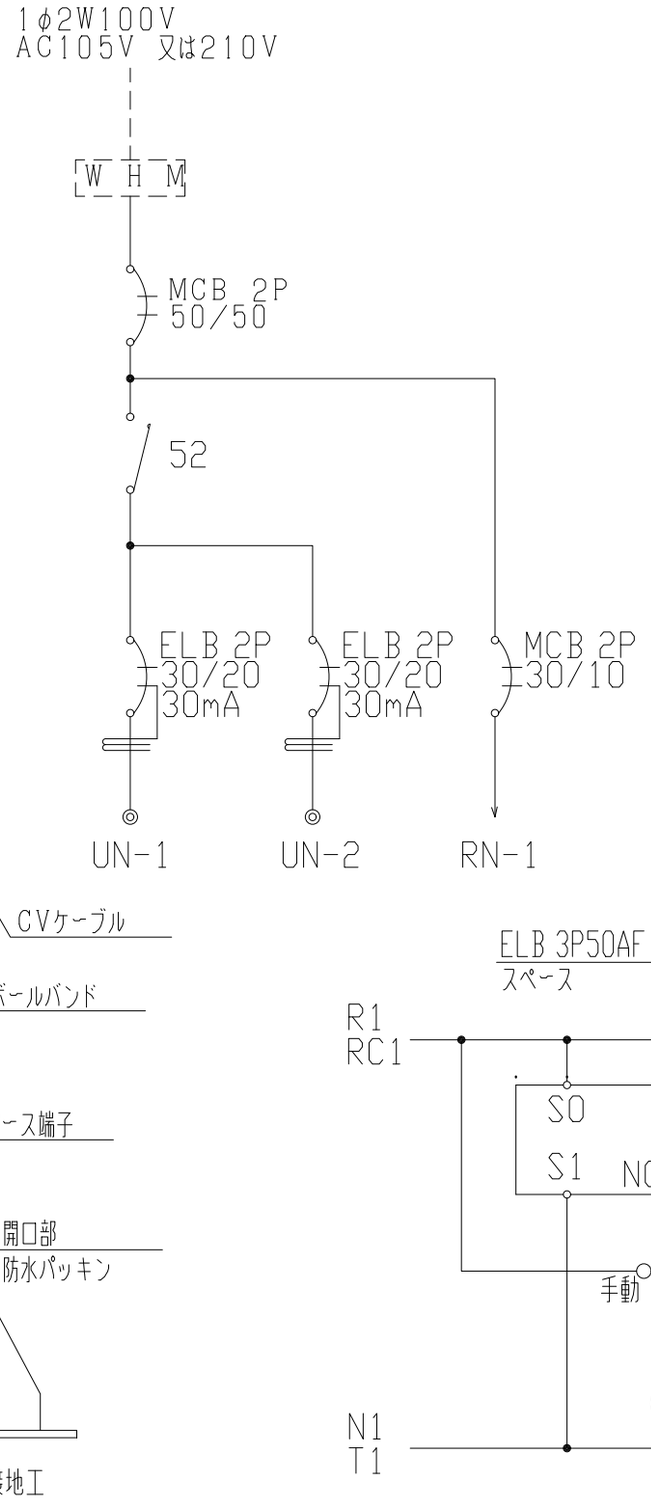
令和8年10月改定

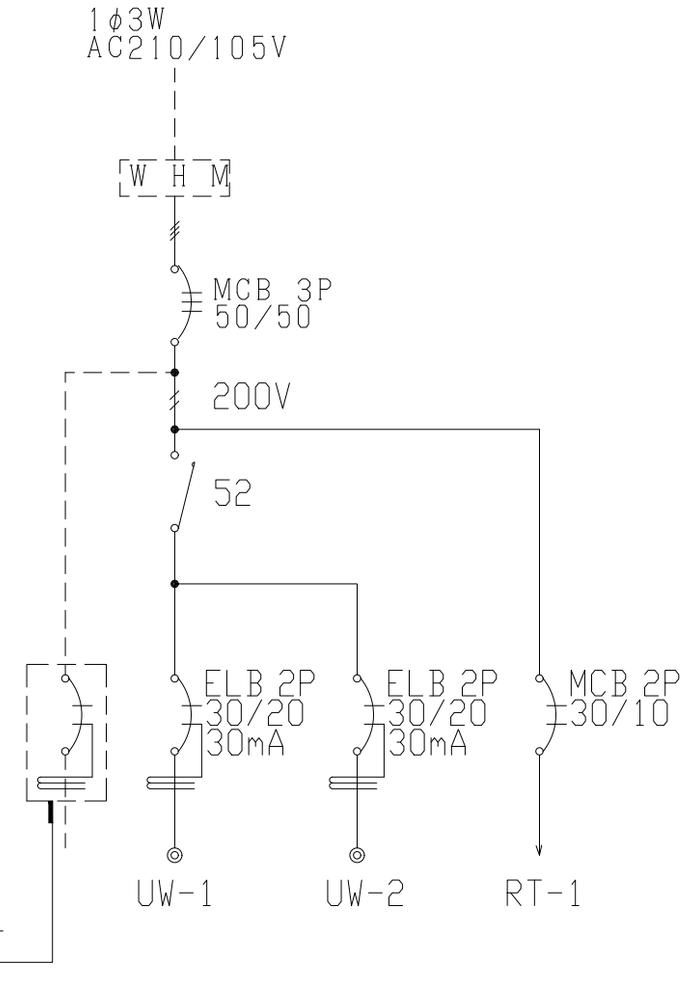
神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・水抜きの有無は、係員指示とする。	ハンドホール工	CB222840 備　考 13年9月修正		123-2

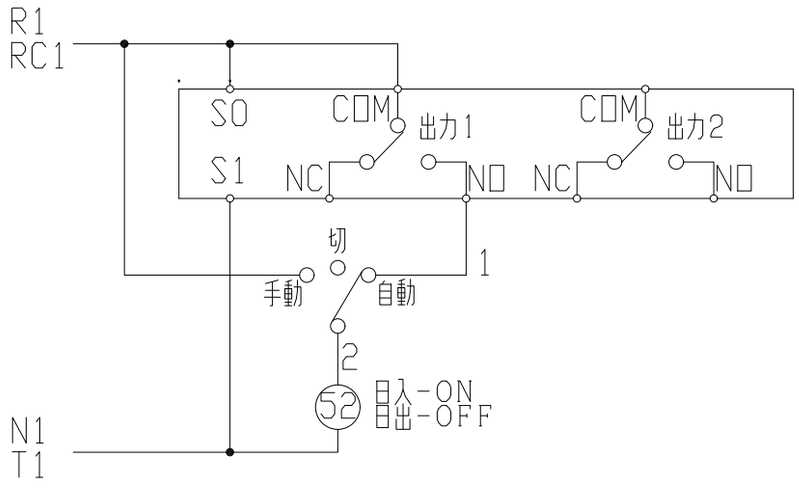


カギ取付用金具詳細図 1:1

分電盤接続部
開口部詳細図 1:3



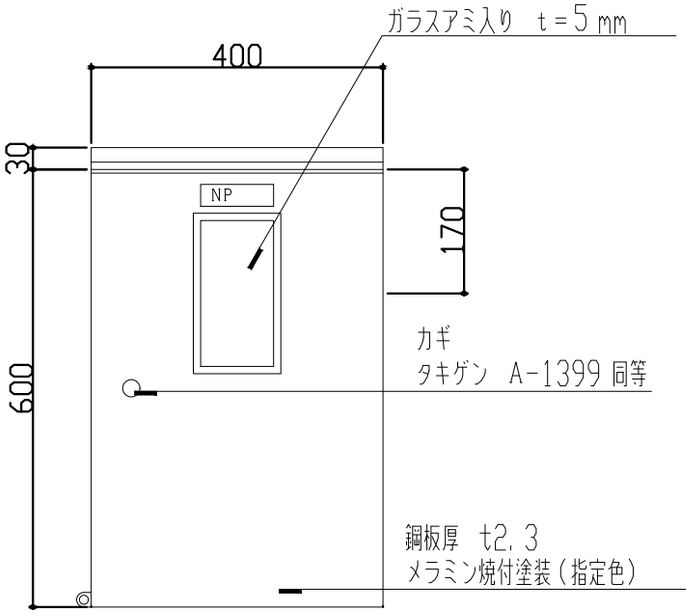




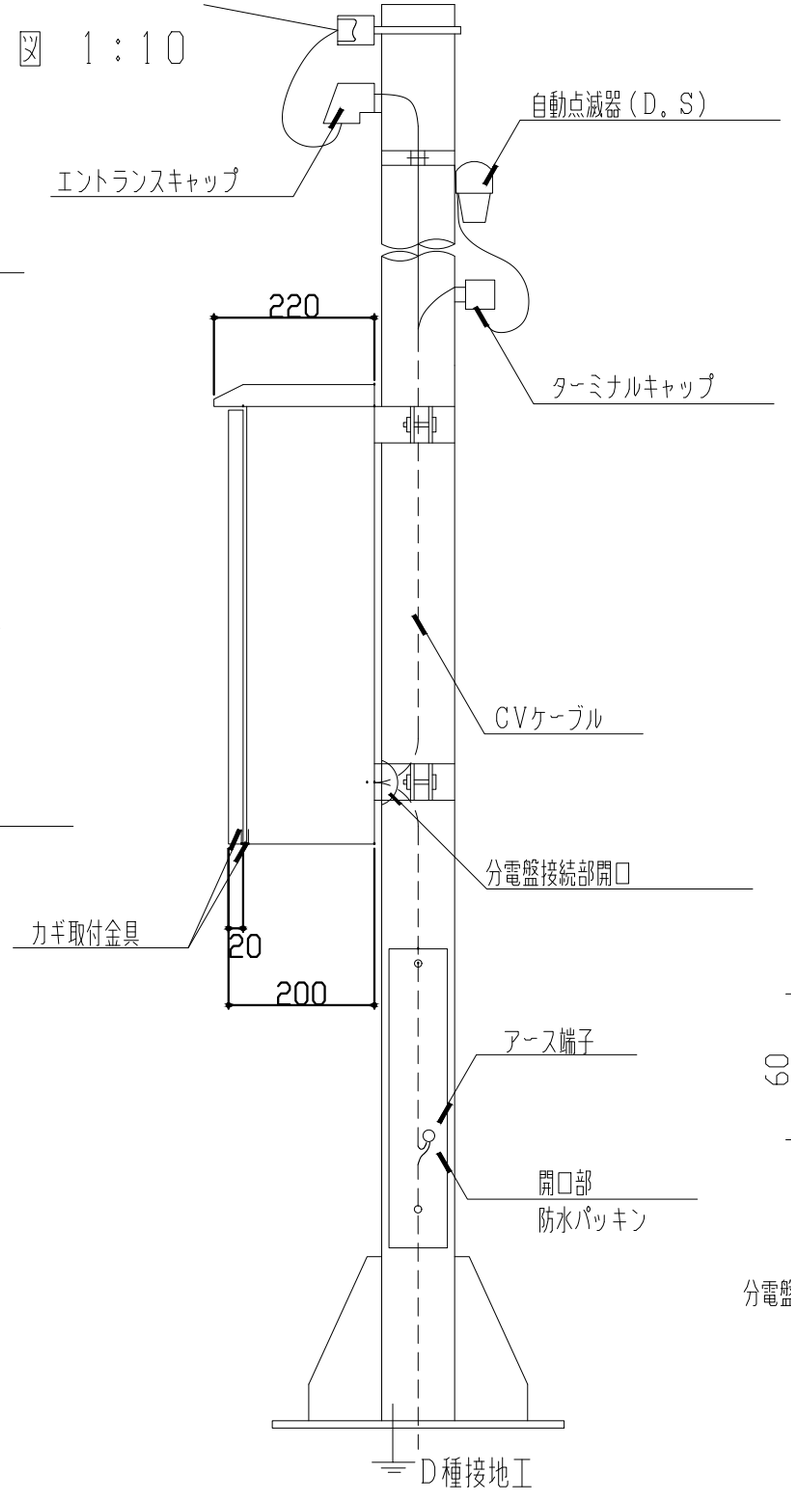
令和8年10月改定

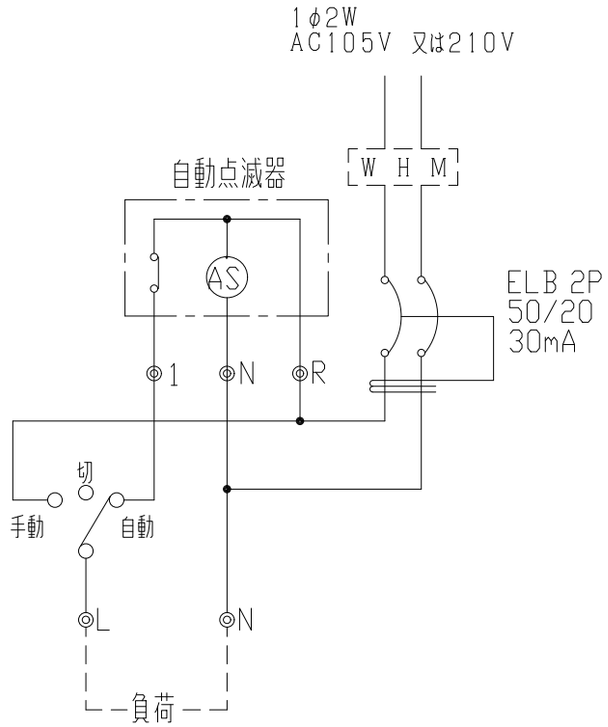
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・WHMスペース(関電内線規定による)を確保すること。 ・扉は内蝶番式とし、ピンはステンレスとする。 ・分電盤A 引き込み100V、分電盤B 引き込み100/200V。 ・分電盤には、配線図を備えつけること。 ・引込距離が8mを超える場合、構造計算に基づき引込柱の規格を決定すること	分電盤 A・B	S5310 備考 6年 7月修正 29年10月修正 21年10月修正 05年10月修正 24年10月修正 06年10月修正		124-1

正 面 図 1：10

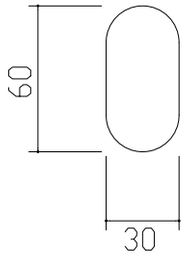


側 面 図 1：10

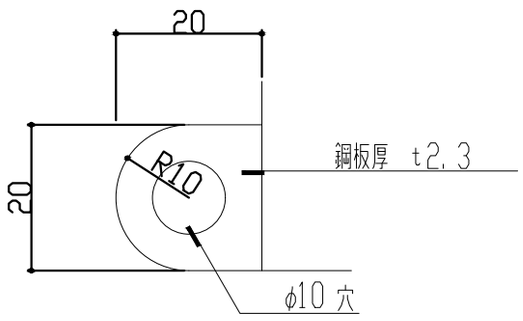




記号	仕様 100V	数量	備考
WHM	スペース 1φ 2W	1	
ELB 1	2P100V 20/50A	1	30mA
COS		1	自動・手動切換
TB-1	3P 30A	1	端子盤
TB-2	3P 20A	1	端子盤
DS	100V20A 点滅器	1	外部取付



分電盤接続部
開口部詳細図 1：3

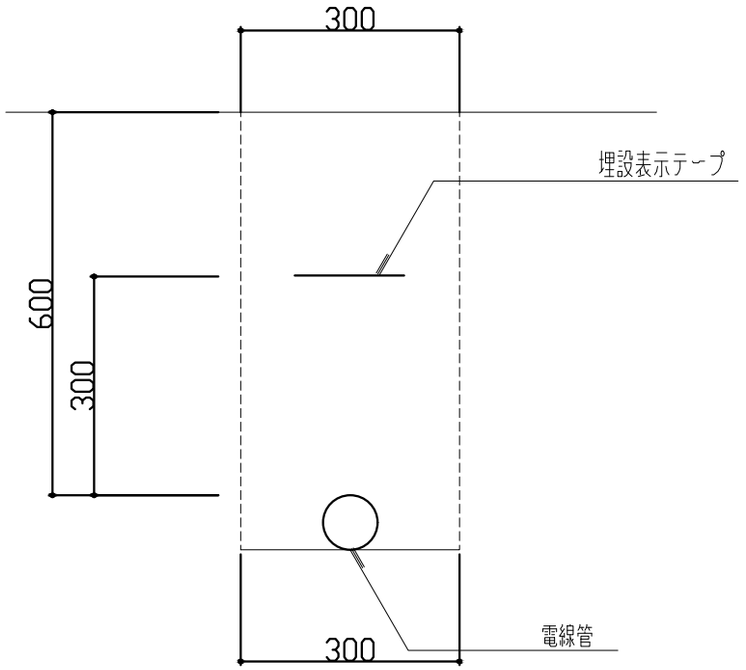


カギ取付用金具詳細図 1：1

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・WHMスペース（関電内線規定による）を確保すること。 ・DSは盤外の引込柱に取り付けること。 ・扉は内蝶番式とし、ピンはステンレスとする。 ・分電盤C 引き込み100V。 ・引込距離が9mを超える場合、構造計算に基づき引込柱の規格を決定すること ・分電盤には、配線図を備えつけること。 ・中に図面入れポケットを付けること。	分電盤 C	S5310 備考 6年 7月修正 29年10月修正 21年10月修正 05年10月修正 24年10月修正 06年10月修正		124-2

電線管布設詳細図　1：10



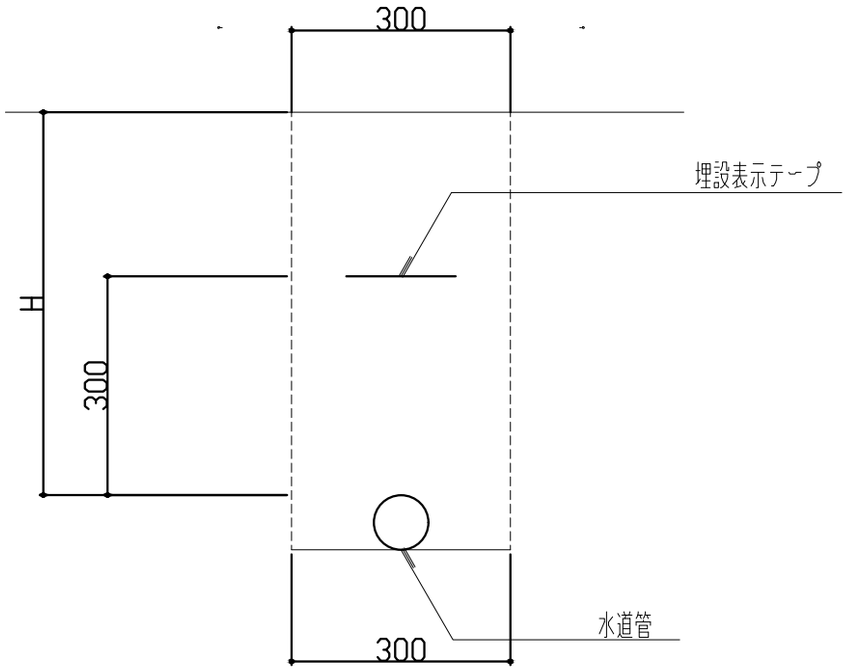
150 注意、神戸市建設局　低圧ケーブルあり

表示テープ（黄色に赤文字）
（テープの折り返しあり）

電線管布設　（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
埋設表示テープ		m	1．0	
電　線　管		〃	1．0	
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	

水道管布設詳細図　1：10



150 水道管注意　神戸市建設局

表示テープ（青色に白文字）
（テープの折り返しあり）

水道管布設　（1．0m当り）

名称	形状寸法	単位	市道（車道）		公道（歩道）		公　園　内		摘　要
			□径25mm以下	□径50mm以下	□径25mm以下	□径50mm以下	一　般	寒冷地適用	
埋設表示テープ		m	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	
水　道　管		〃	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	1．0	
床掘		m^3	—	—	—	—	—	—	
埋戻		〃	—	—	—	—	—	—	

寸法表

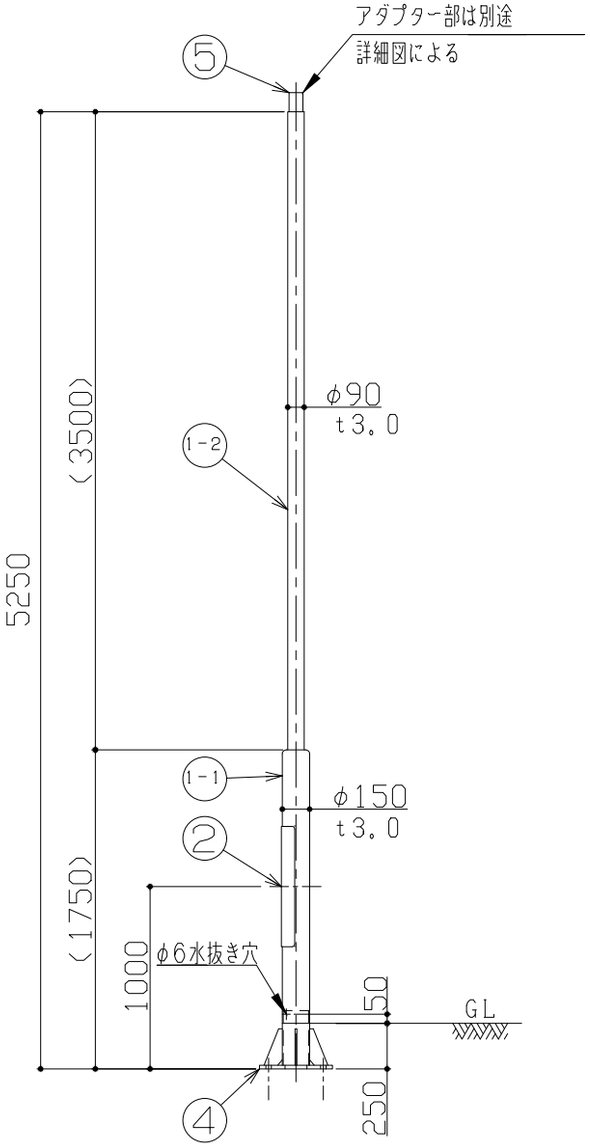
	市道（車道）		公道（歩道）		公　園　内	
	□径25mm以下	□径50mm以下	□径25mm以下	□径50mm以下	一　般	寒冷地適用
H	950	1000	650	700	600	700

令和8年10月改定

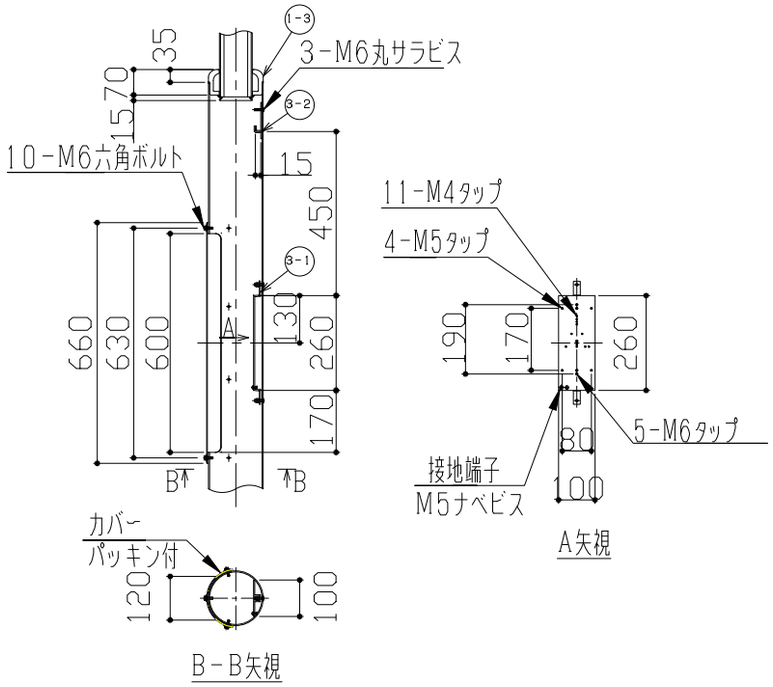
神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
		電線管布設工・水道管布設工	WE110310, WE122200 WE110500, WB610400 備　考 13年9月修正 18年3月修正 14年9月修正 21年10月修正		125

参考図

設計条件
- 瞬間最大風速40m/s
- 適合器具(別途)
  受圧面積：0.2m2以下
  風力係数：0.7
- 架空配線は考慮していない。

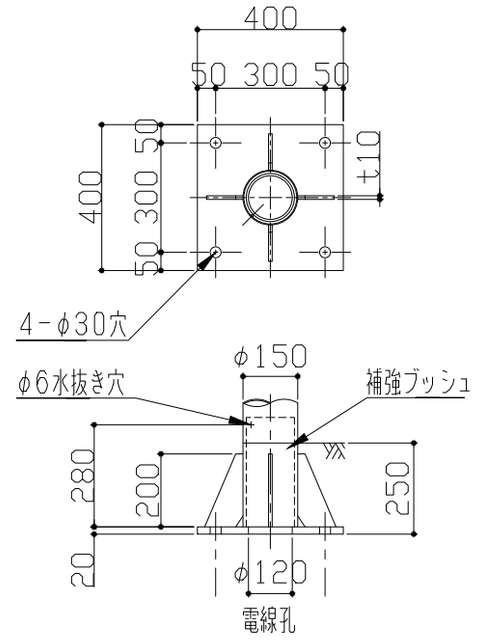


ポール姿図
S=1:40



開口部詳細
S=1:20

品番	品名	材質
1-1	根元ポール	A6061TE-T6(8)
1-2	先端ポール	A6063TE-T6
1-3	段ブッシュ	AC
2	カバー(平パッキン付)	A5052P
3-1	スイッチ取付金具	SS400 Znメッキ
3-2	安定器取付金具	SS400 Znメッキ
4	板ベース・リブ	A5052P/A5052P
5	アダプター	A6063TE

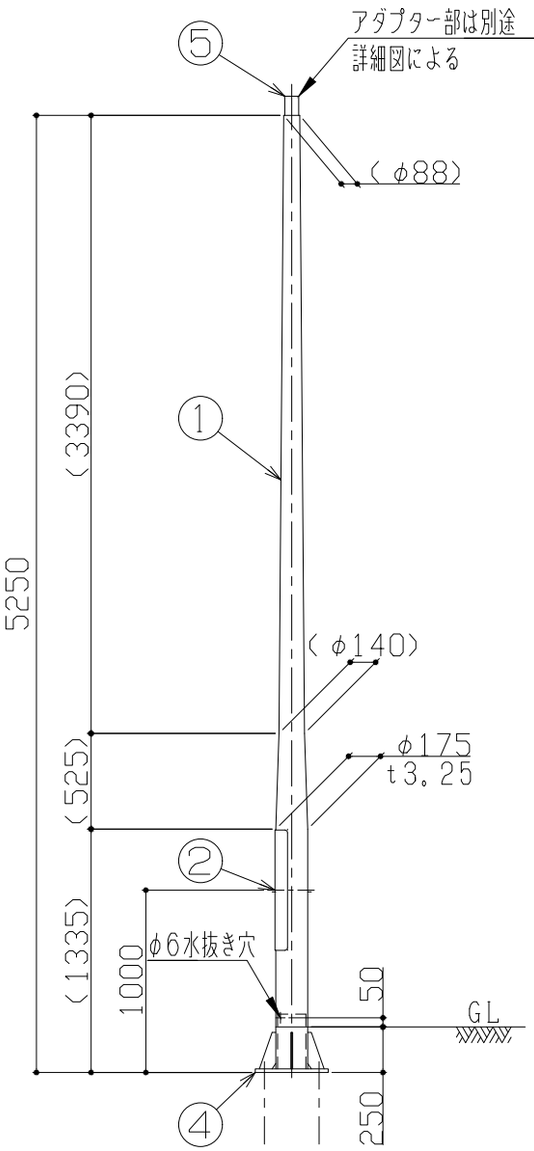


ベース部詳細
S=1:20

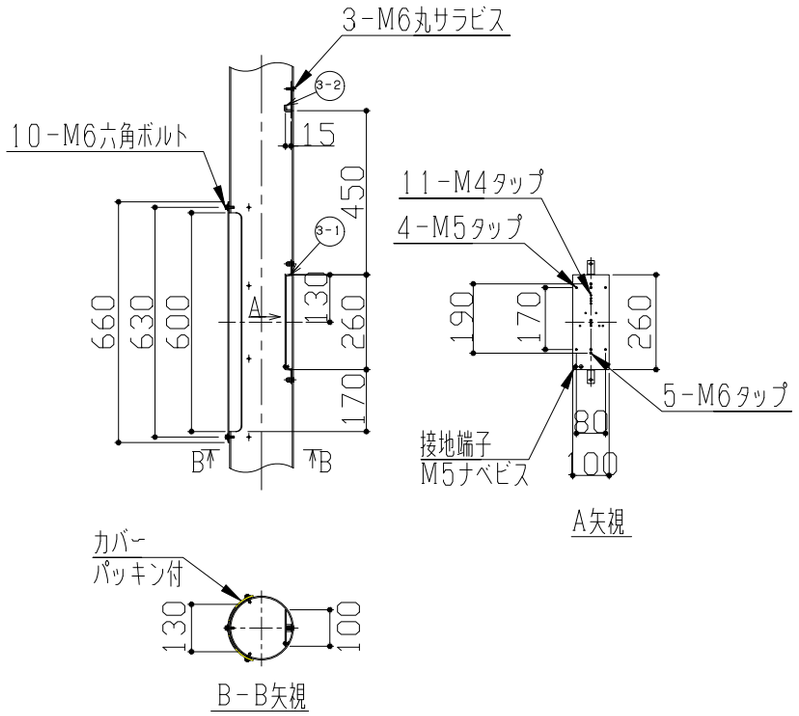
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・主要材料はアルミニウム合金製とする。 ・表面処理はポリウレタン樹脂塗装を施すこと。 ・色調については監督員の承諾を得ること。 ・材質指示のないボルト類はSUS304とする。	参考図 照明工LEDアルミポール灯柱(段付)	備考 R3年10月追加		126-1

参考図



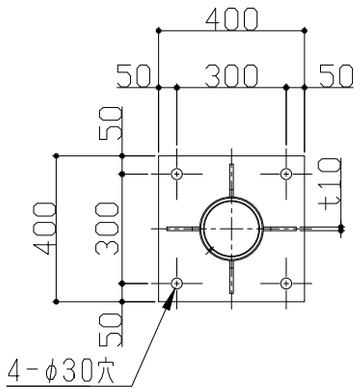
ポール姿図
S=1:40

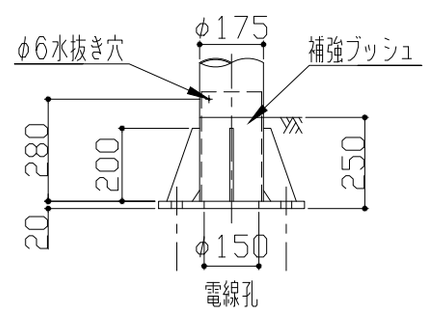


開口部詳細
S=1:20

設計条件
- 瞬間最大風速40m/s
- 適合器具(別途)
  受圧面積:0.2m2以下
  風力係数:0.7
- 架空配線は考慮していない。

品番	品名	材質
1	ポール	A6061TE-T6
2	カバー(平パッキン付)	A5052P
3-1	スイッチ取付金具	SS400 Znメッキ
3-2	安定器取付金具	SS400 Znメッキ
4	板ベース・リブ	A5052P/A5052P
5	アダプター	A6063TE





ベース部詳細
S=1:20

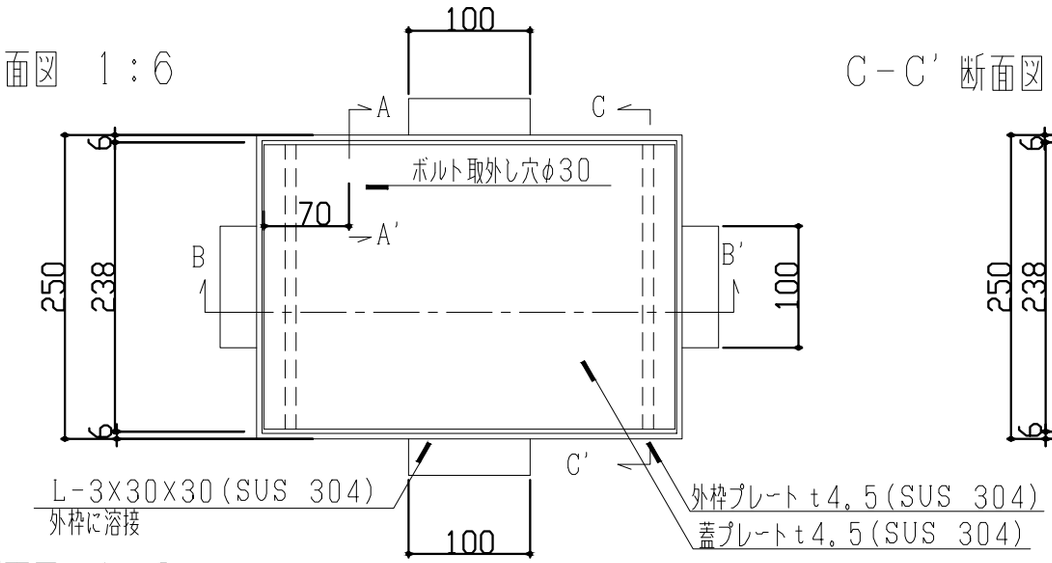
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・主要材料はアルミニウム合金製とする。 ・表面処理はポリウレタン樹脂塗装を施すこと。 ・色調については監督員の承諾を得ること。 ・材質指示のないボルト類はSUS304とする。	参考図 照明工LEDアルミポール灯柱(テーパー)	備考 R3年10月追加		126-2

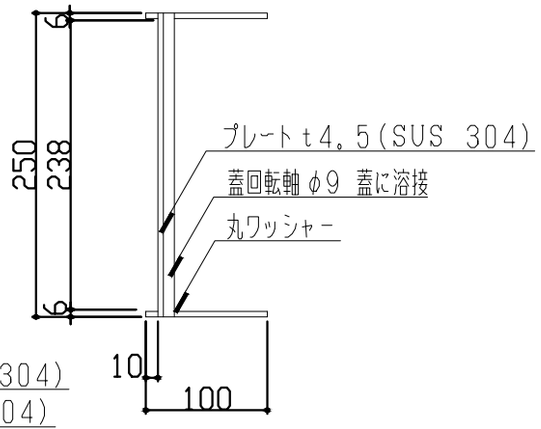
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘要
基礎砕石工	径0~40　t100	m^2	0．2	再生砕石
散水栓ボックス		式	1．0	巻立てコンクリート共
散水栓タイプ－1	φ13	基	1．0	
散水栓タイプ－2	φ20			
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0．01	
型枠損料		m^2	0．2	
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

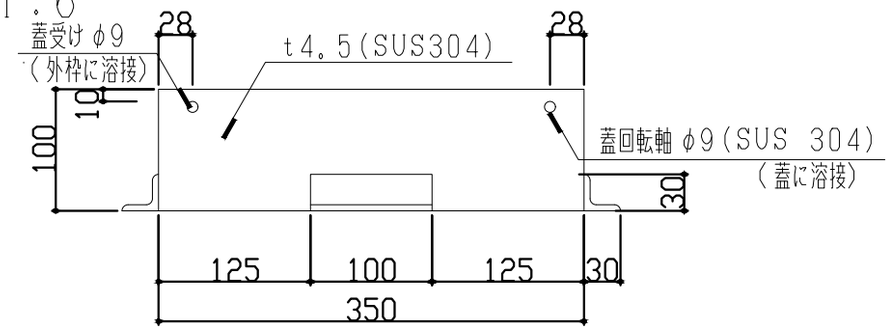
平面図　1：6



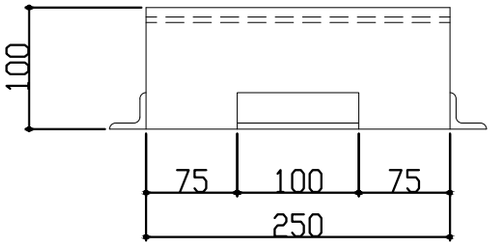
C－C'断面図　1：6



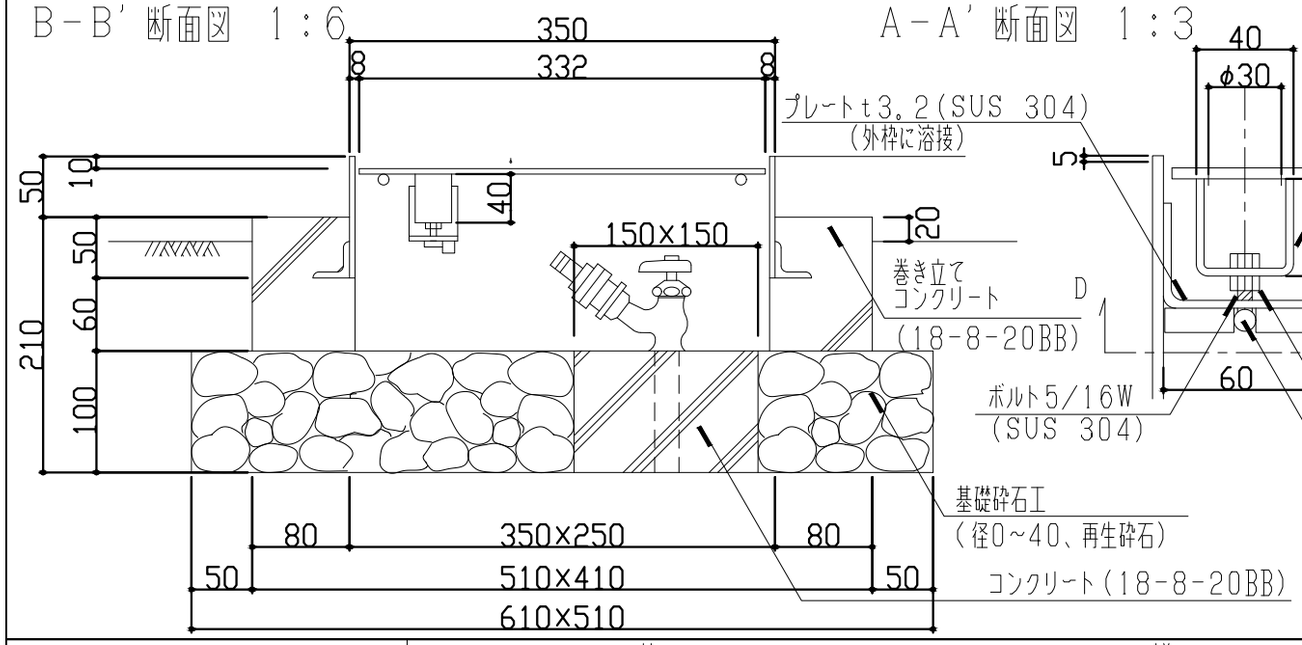
側面図　1：6



立面図　1：6

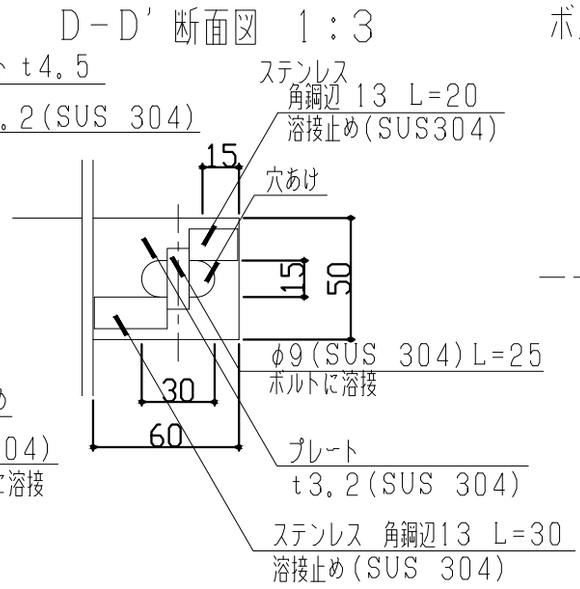


B－B'断面図　1：6

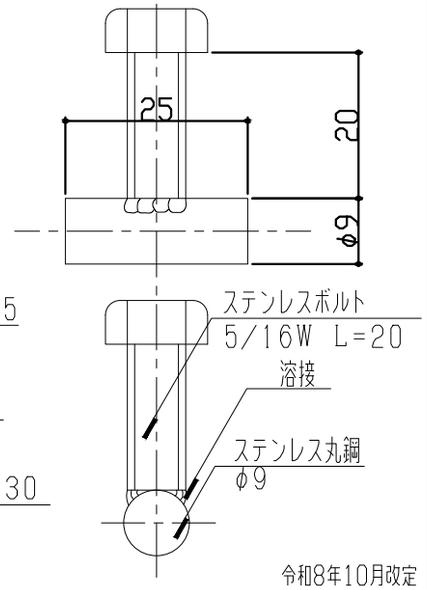


A－A'断面図　1：3

D－D'断面図　1：3



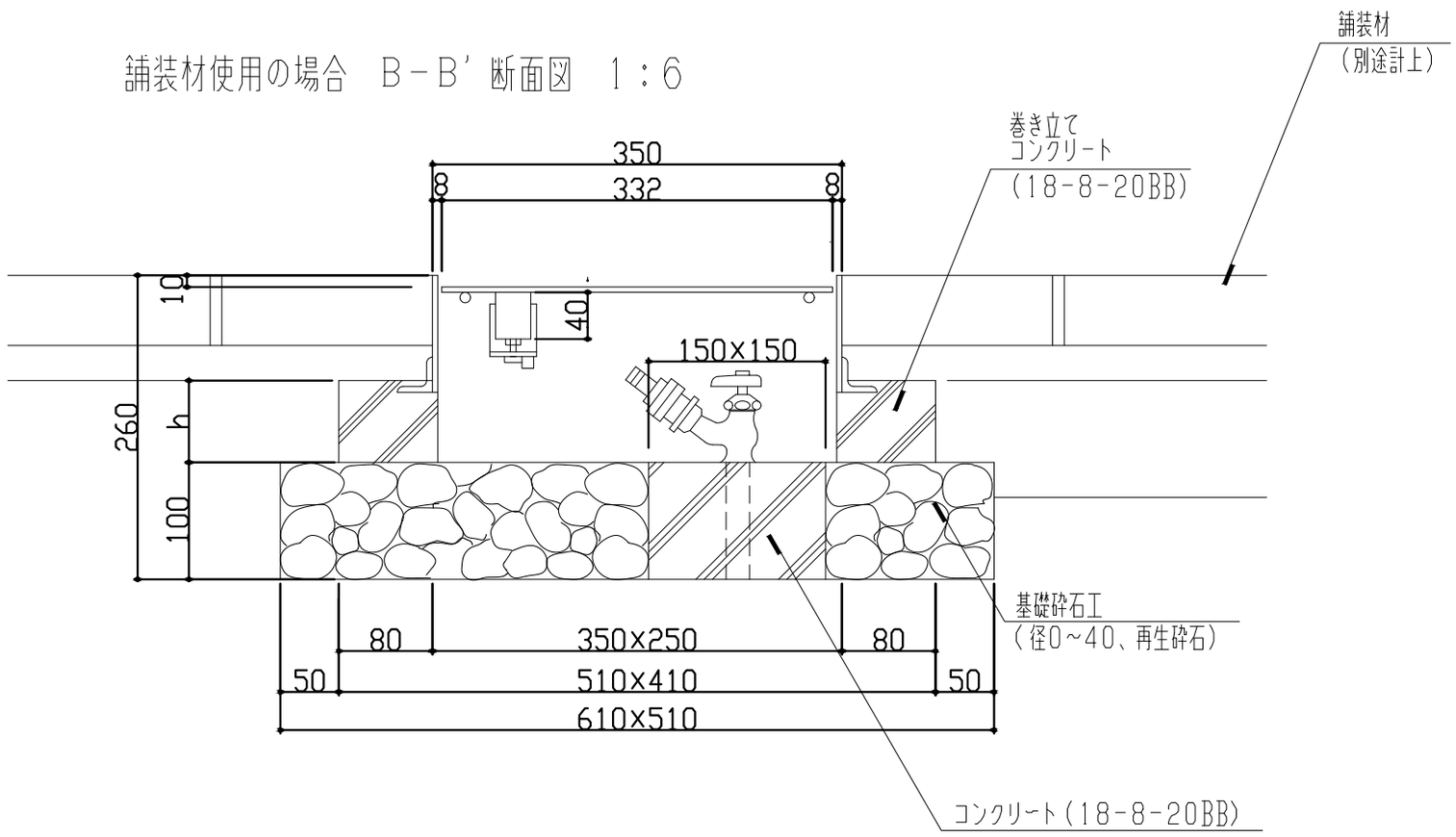
ボルト詳細図　1：1



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・ボルトW5／16ボックススパナは係員に渡すこと。 ・散水栓はタイプ－1は自動接手式φ13mm，タイプ－2は自動接手式φ20mmの45°傾斜とする。 ・散水栓ボックスには、巻き立てコンクリートをふくむ。 ・カギの開く位置であわさるように、ボルトの頭とプレート　t3．2に朱線の彫り込みを入れること。	散　水　栓　工 （ステンレス製）	WB610410 備　考 14年9月修正　21年10月修正 18年3月修正　04年10月修正		127-1

舗装材使用の場合　B－B’断面図　1：6



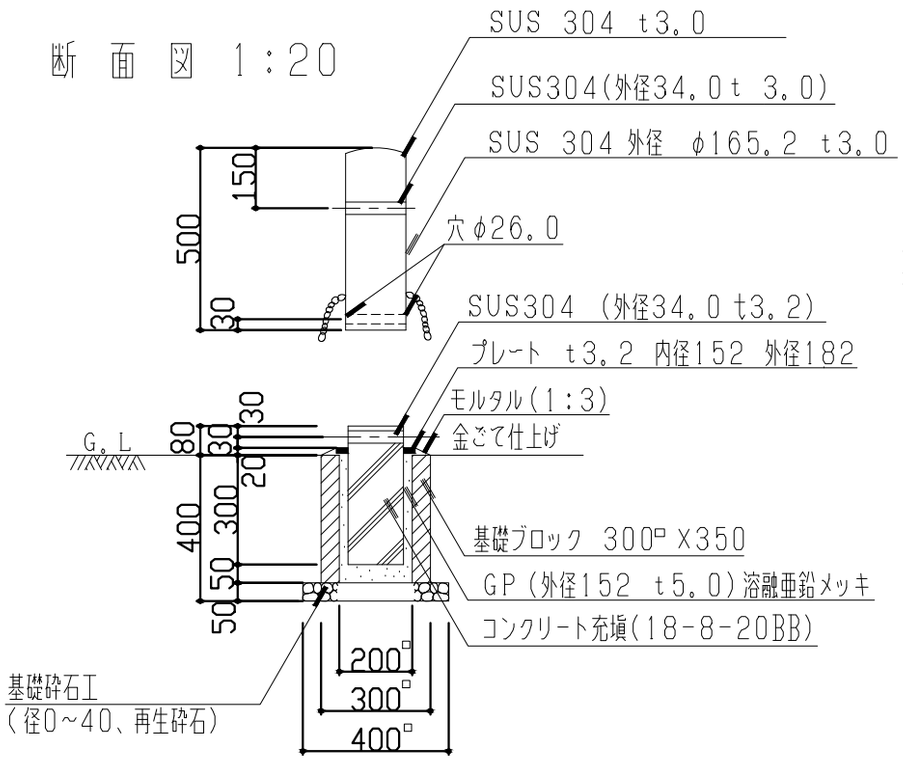
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・舗装面に使用する場合は、車両通行のない個所へ設置すること。	散　水　栓　工 （ステンレス製）	WB610410 備　考 13年9月修正　18年3月修正 14年9月修正　21年10月修正		127-2

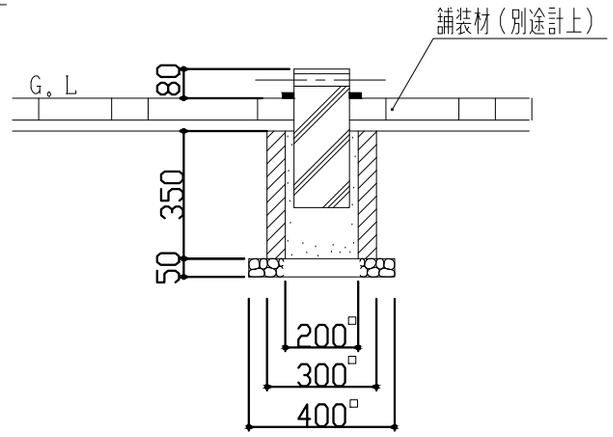
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘要
本体		基	1．0	充填コンクリート含む
基礎砕石工	径0~40 t50	m^2	0．1	再生砕石
基礎ブロック	300□X350	個	1．0	モルタルを含む
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

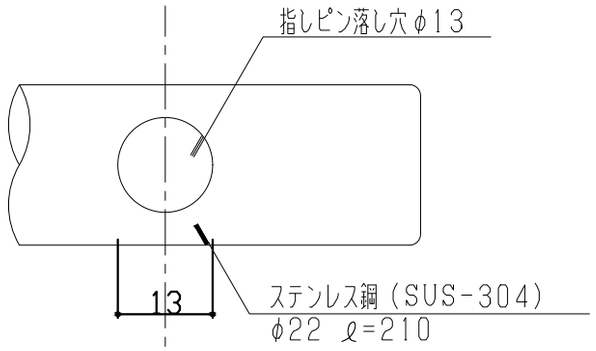
断面図 1：20



舗装材使用の場合



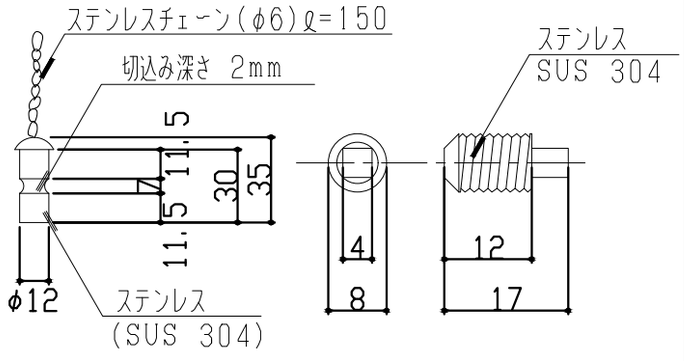
A部詳細図 1：1



指し金図 1：3



指しピン詳細図 1：3　止めネジ詳細図 1：1

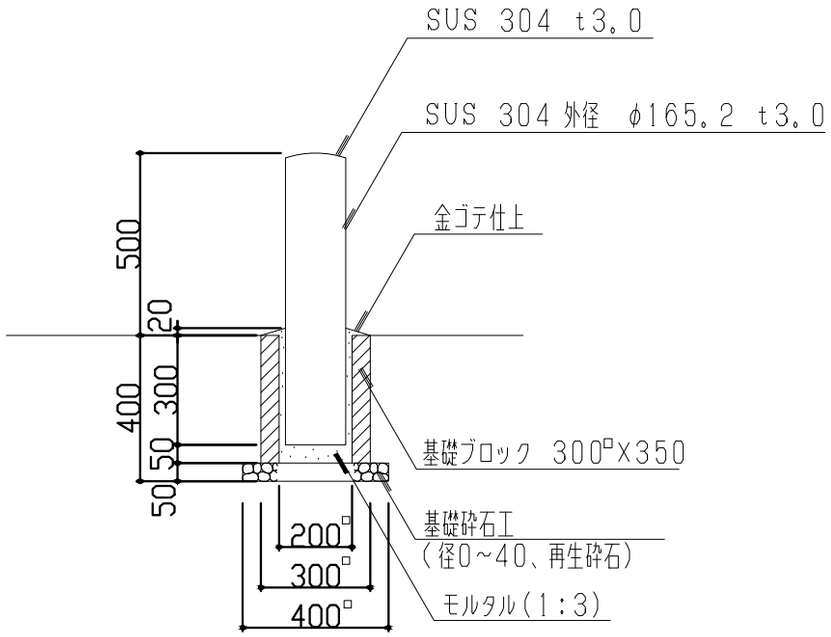


令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・(A)-2はステンレス製とし、H．L仕上げとする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。 ・指し金は、人の流れと平行な方向に設置すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	車止工(A)-2	S5330 備考 13年 9月修正　18年3月修正 14年 9月修正　21年10月修正 29年10月修正　21年10月修正		128-1

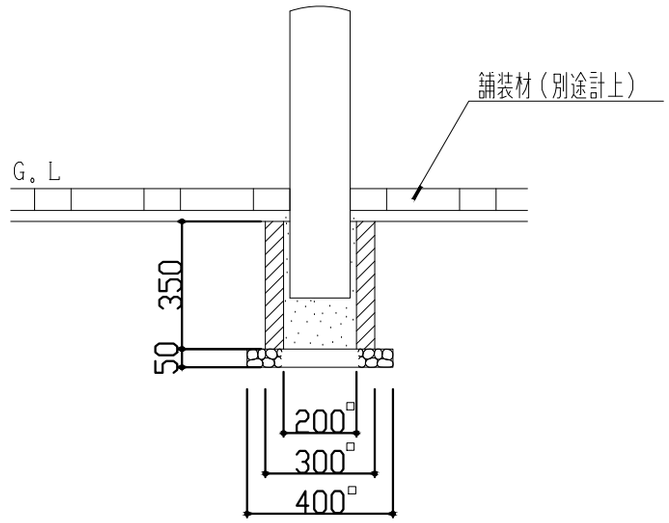
（1。0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1。0	
基礎砕石工	径0~40　t50	m^2	0。1	再生砕石
基礎ブロック	300□X350	個	1。0	モルタルを含む
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	



断 面 図 1：20

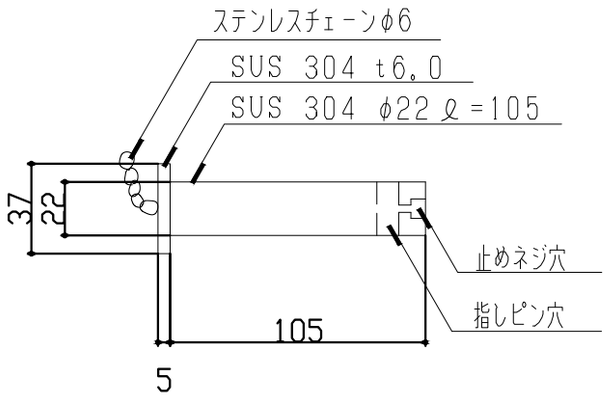
鋪装材使用の場合



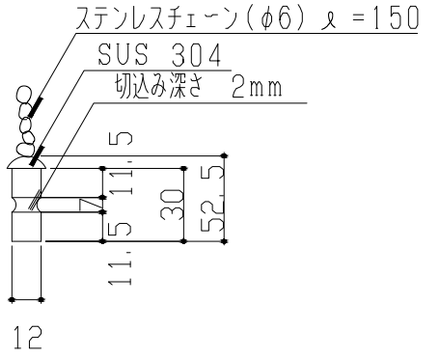
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・（B）-2はステンレス製とし、H。L仕上げとする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	車止工（B）-2 （固 定 式）	S5330 備考 13年9月修正 14年9月修正		128-2

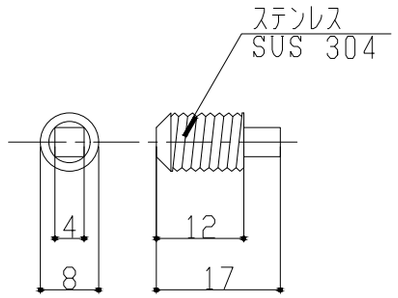
指し金部　1：3



指しピン　1：3



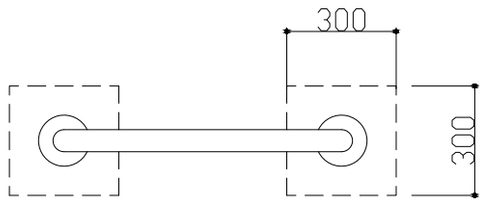
止めネジ詳細図　1：1



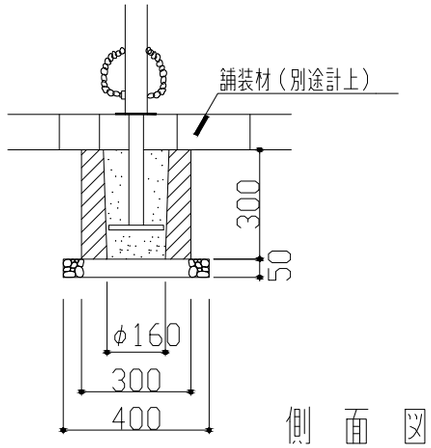
（1.0基当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘要
本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m^2	0.3	再生砕石
基礎ブロック	300□X300	個	2.0	モルタルを含む
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

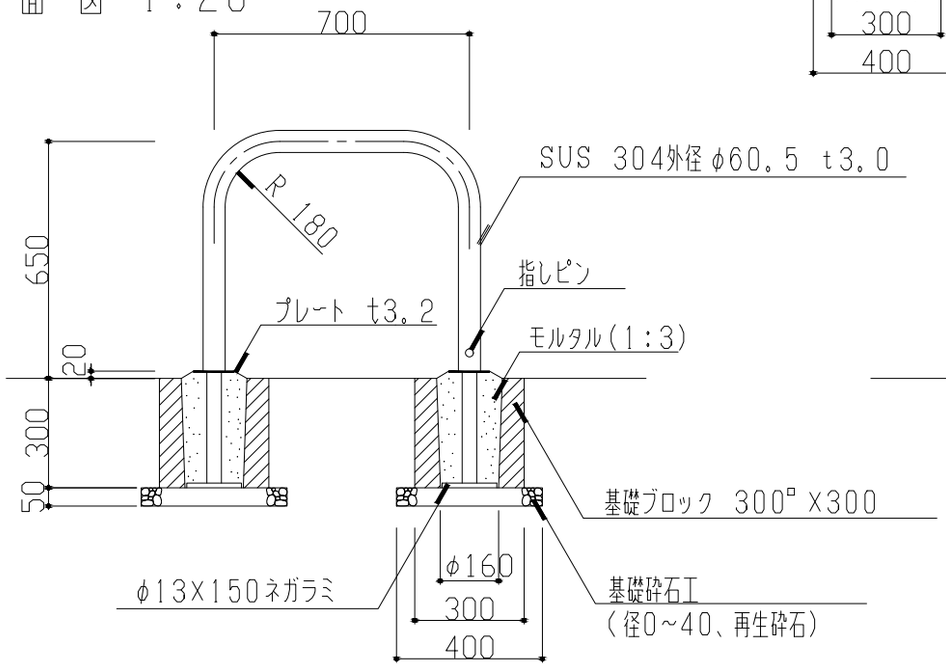
平　面　図　1：20



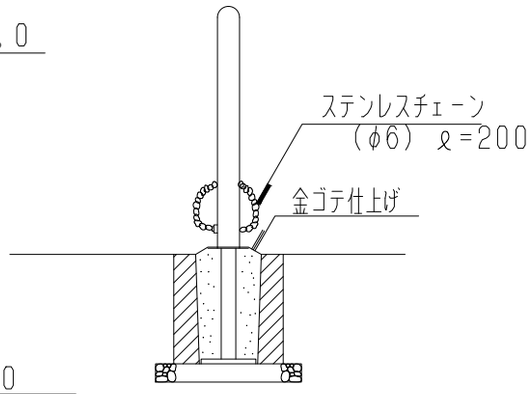
舗装材を使用した場合



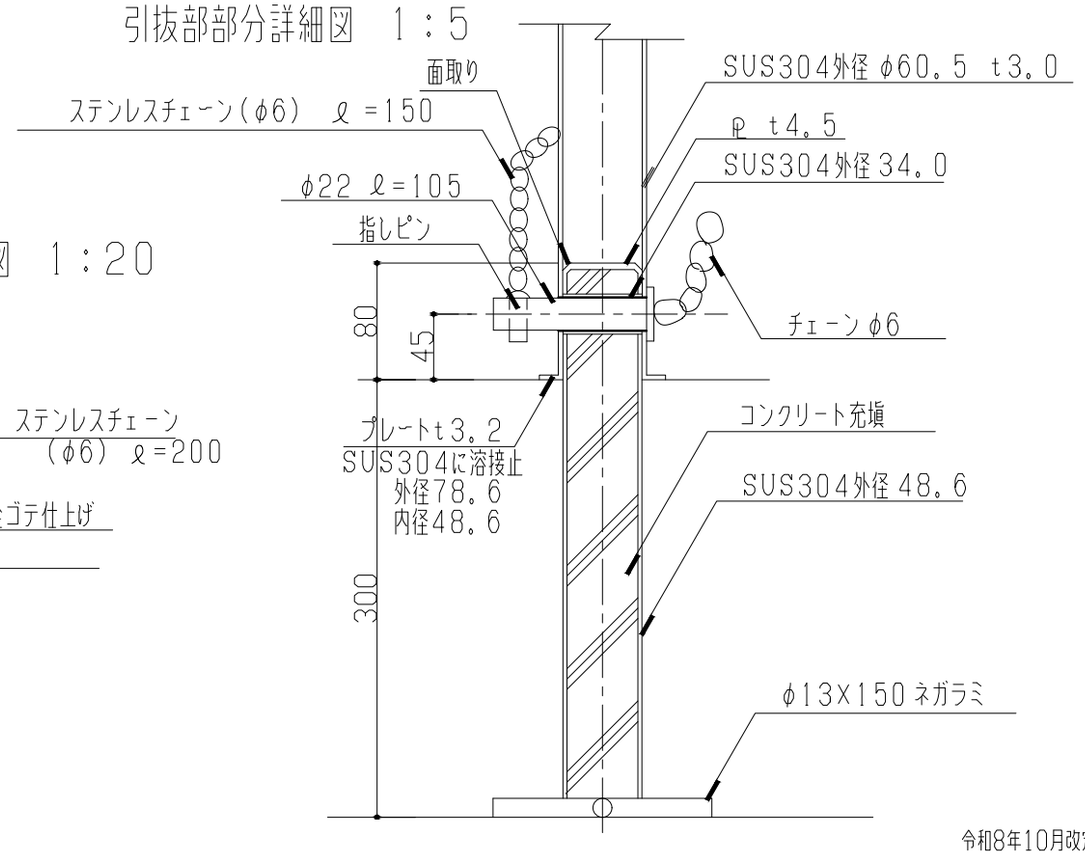
断　面　図　1：20



側　面　図　1：20



引抜部部分詳細図　1：5



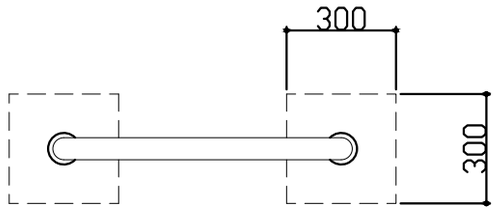
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・(E)-2はステンレス製とし、H.L仕上げとする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	車止工(E)-2 （可　動　式）	S5330 備　考 13年9月修正 14年9月修正		128-3

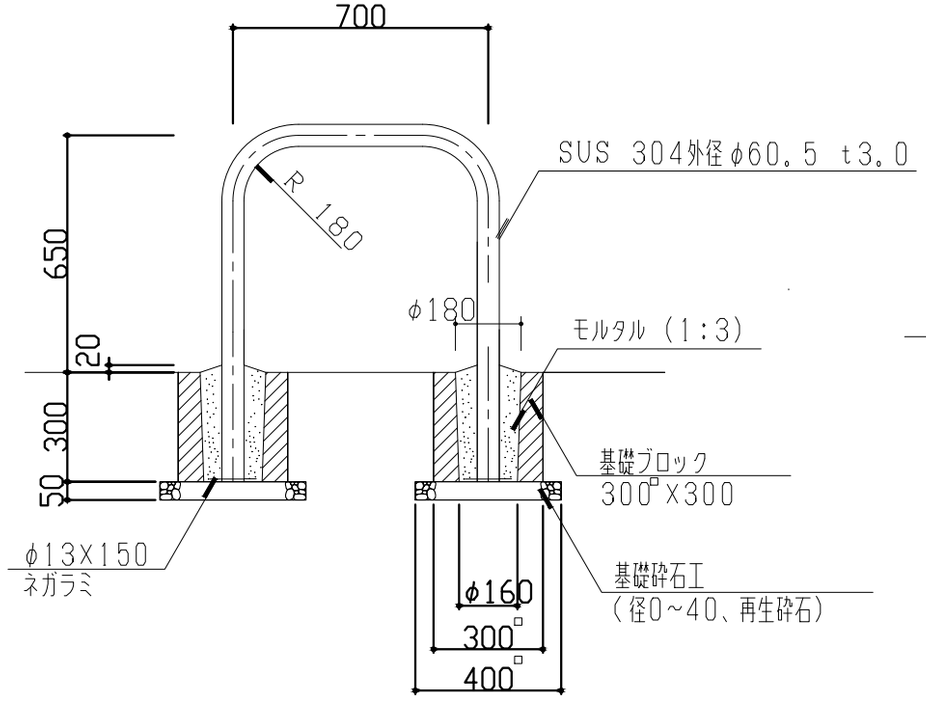
（1。0基当り）

名称	形状寸法	単位	数　量	摘要
本体		基	1。0	
基礎砕石工	径0~40　t50	m^2	0。3	再生砕石
基礎ブロック	300□X300	個	2。0	モルタルを含む
床掘		m^3	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

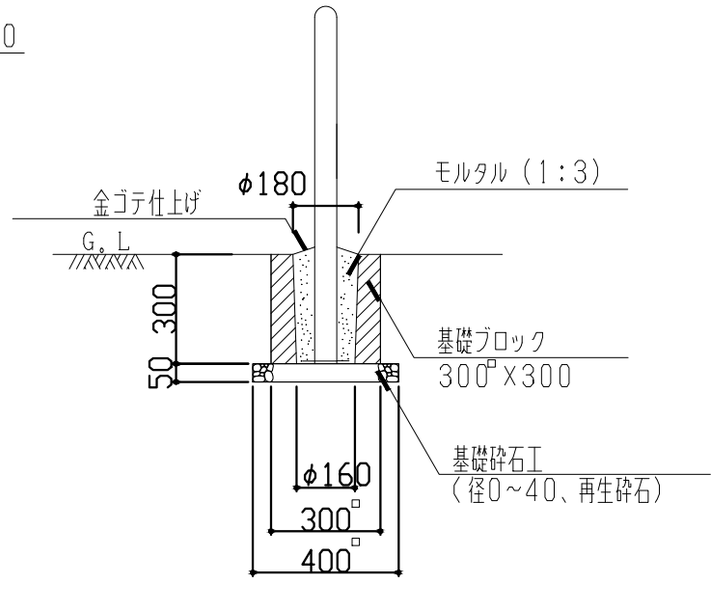
平　面　図　1：20



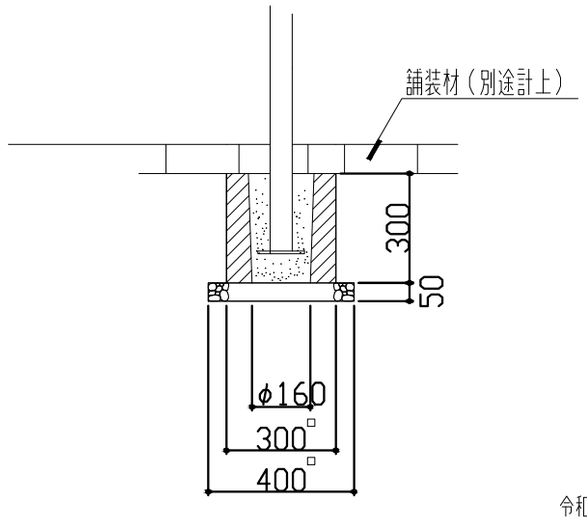
断　面　図　1：20



側　面　図　1：20



舗装材を使用した場合



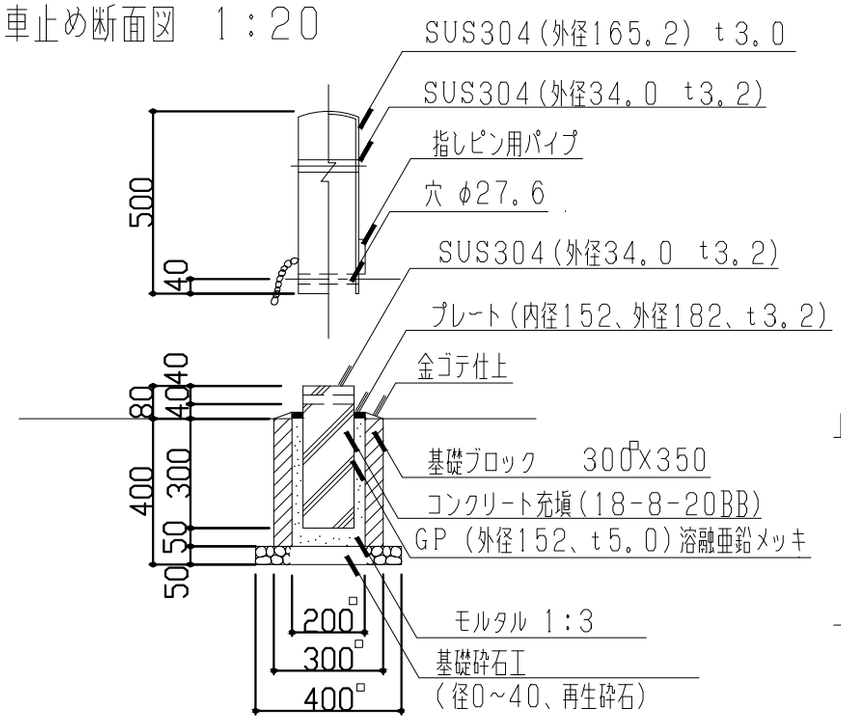
令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕　様	名　称	コード番号	記　号	ページ
	・（F）-2はステンレス製とし、H。L仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	車止工（F）-2 （固　定　式）	S5330 備　考 13年9月修正 14年9月修正		128-4

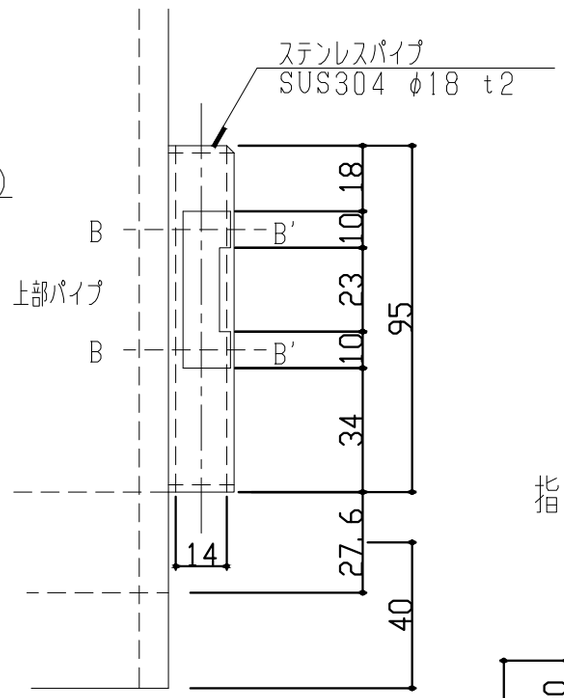
（1．0基当り）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1．0	充填コンクリート含む
基礎砕石工	径0～40　t50	m^2	0．1	再生砕石
基礎ブロック	300□ X350	個	1．0	モルタルを含む
床掘		〃	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

車止め断面図　1：20



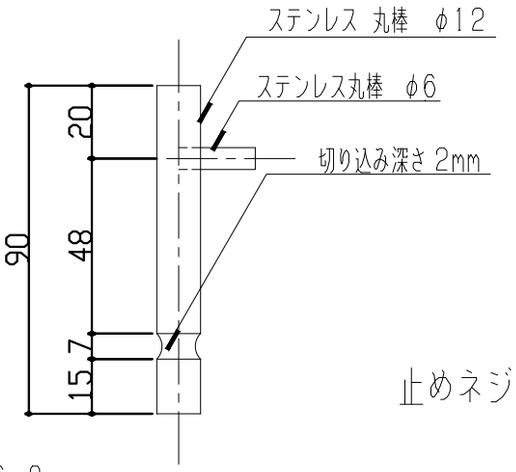
指しピンパイプ詳細図　1：2



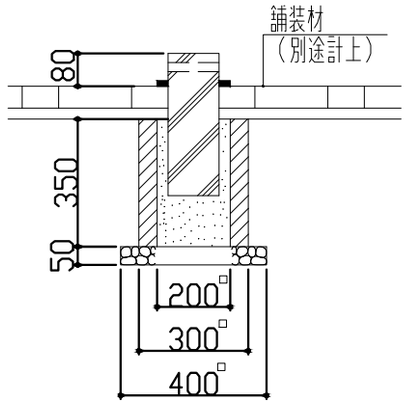
B－B'断面図



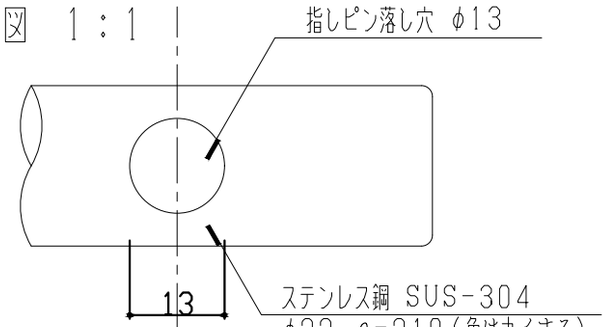
指しピン詳細図　1：2



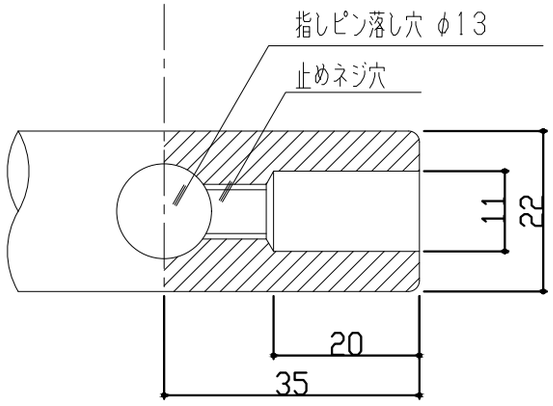
舗装材使用の場合



A部詳細図　1：1

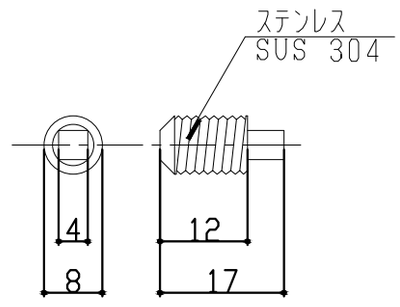


指し金図　1：3



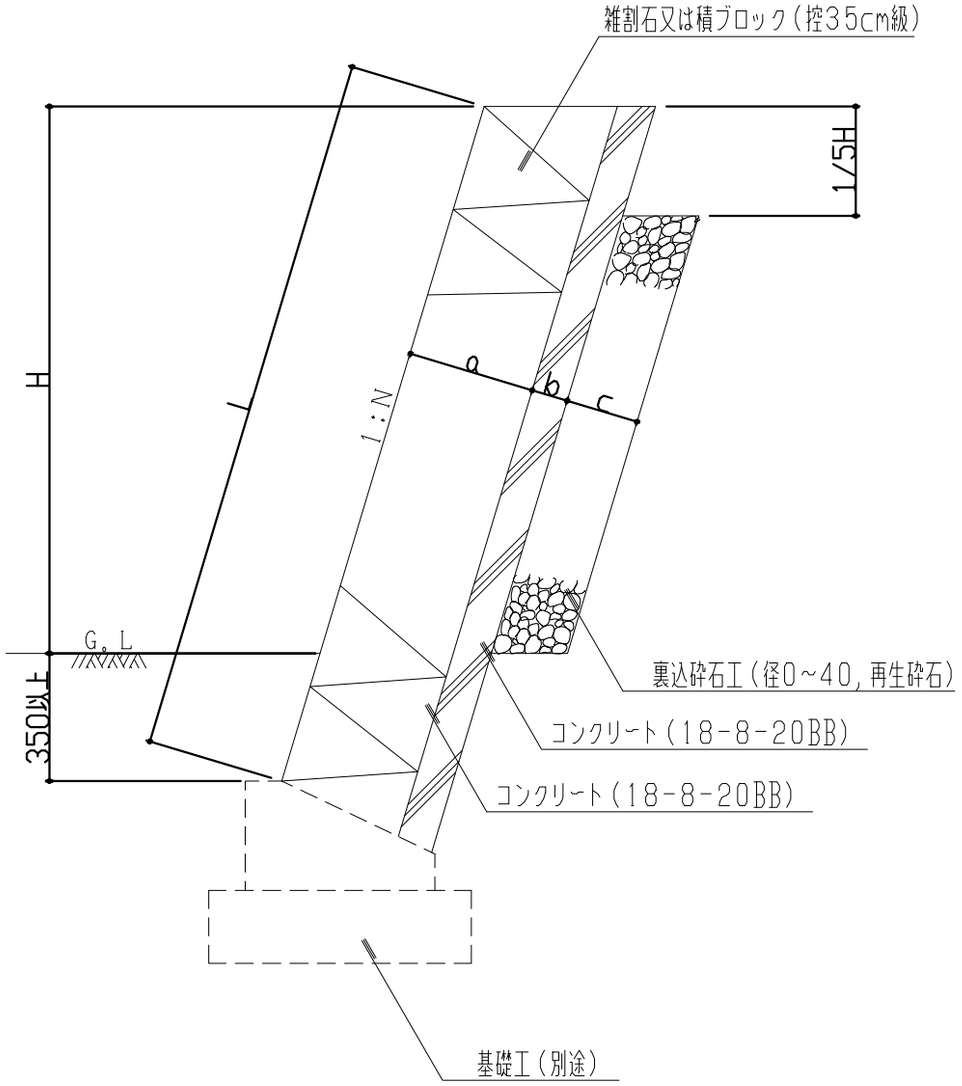


止めネジ詳細図　1：1



令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・G－2はステンレス製とし、H．L仕上げとする。 ・鋼材接合部は、溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。 ・指し金は、人の流れと平行な方向に設置すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	車止工（G）－2 （可　動　式）	S5330 備　考 13年9月修正　29年10月修正 14年9月修正		128-5



(1.0m²当り)

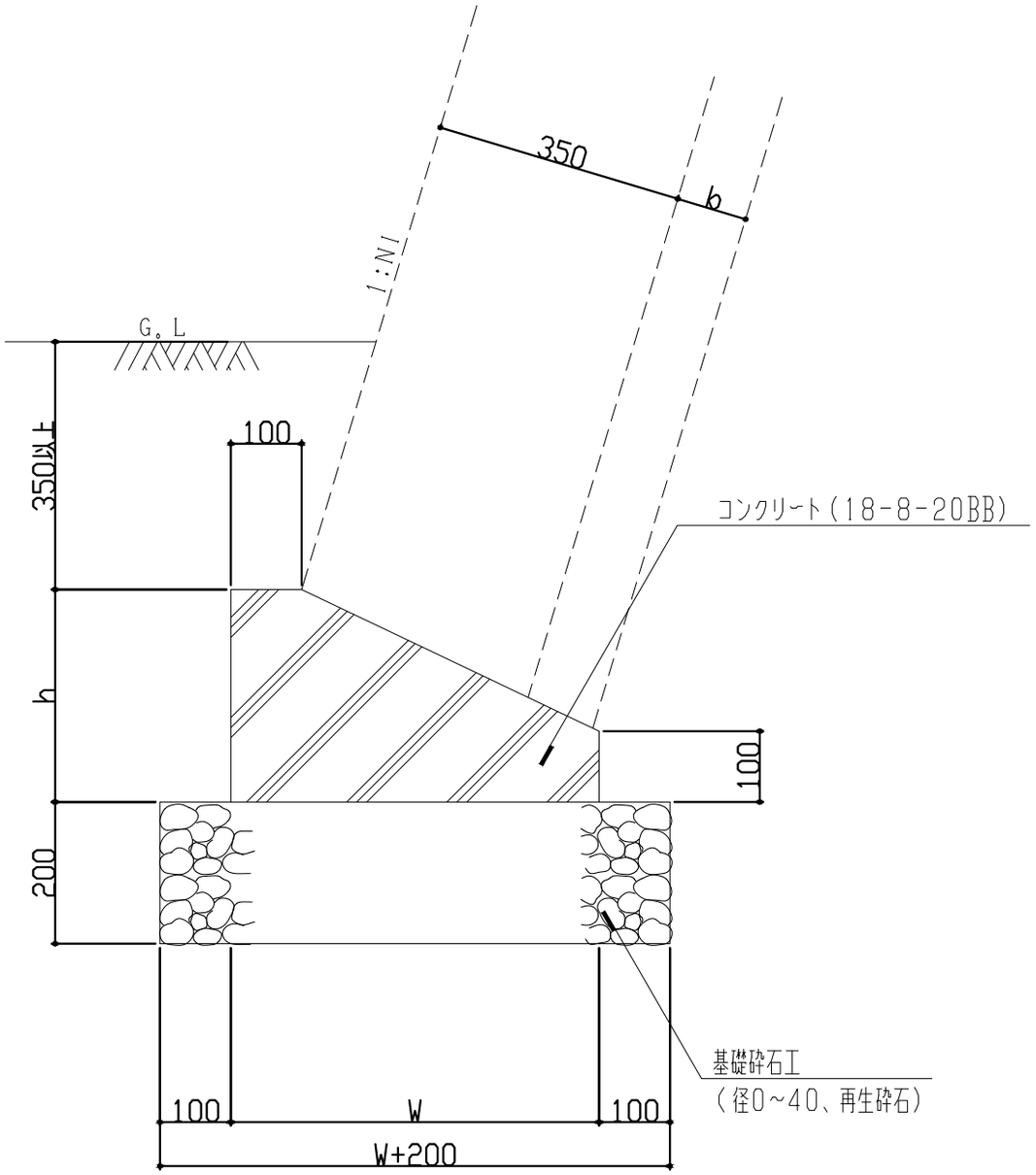
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			石積工	ブロック積工	
雑割石	控35cm級	m²	1.0		御影石、宝殿石
積ブロック	〃	〃		1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m³	0.280	0.280	H=2.0m以上(抜型枠を含む)
	18-8-20BB	〃	0.180	0.180	(抜型枠を含む)
裏込砕石工	径0~40	m²	(別途計上)	(別途計上)	再生砕石

寸法表 (mm)

○印施工	工種	(M) H (直高)	L(のり長) N(前面勾配) 1:0.3	1:0.4	1:0.5	a (控長)	b (裏込コン)	c (裏込砕石)
	H= 500-N-b	0.500	0.887	0.915	0.950	350	0	200
	H=1,000-N-b	1.000	1.409	1.453	1.509	350	0	200
	H=1,500-N-b	1.500	1.931	1.992	2.068	350	0	200
	H=2,000-N-b	2.000	(2.453)	2.530	2.627	350	0	200
	H=2,500-N-b	2.500	(3.001)	3.096	3.214	350	100	300
	H=3,000-N-b	3.000	(3.601)	3.715	3.857	350	100	300
	H=3,500-N-b	3.500	———	(4.334)	4.499	350	100	300
	H=4,000-N-b	4.000	———	(4.954)	5.142	350	100	300

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・土質によりNについて考慮する。 ・よく締まった地山の切土に使用する場合は、Nを1ランク下げることが出来る。 ・水抜きパイプはVPφ75を3m²に1ヵ所入れること。 ・15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。	石積工、ブロック積工	備考 13年9月修正 14年9月修正		129



	b	h	W
基礎工(A)	0	250	430
基礎工(B)	100	300	520

(1。0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(A)	(B)	
基礎砕石工	径0~40 t200	m^2	0。63	0。72	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m^3	0。083	0。114	
型枠損料		m^2	0。350	0。400	

令和8年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	・根入れは350を基準とするが、傾斜地等に設置する場合は、深さを考慮すること。	石積、ブロック積基礎工(A)、(B)	備考 13年9月修正 14年9月修正		130